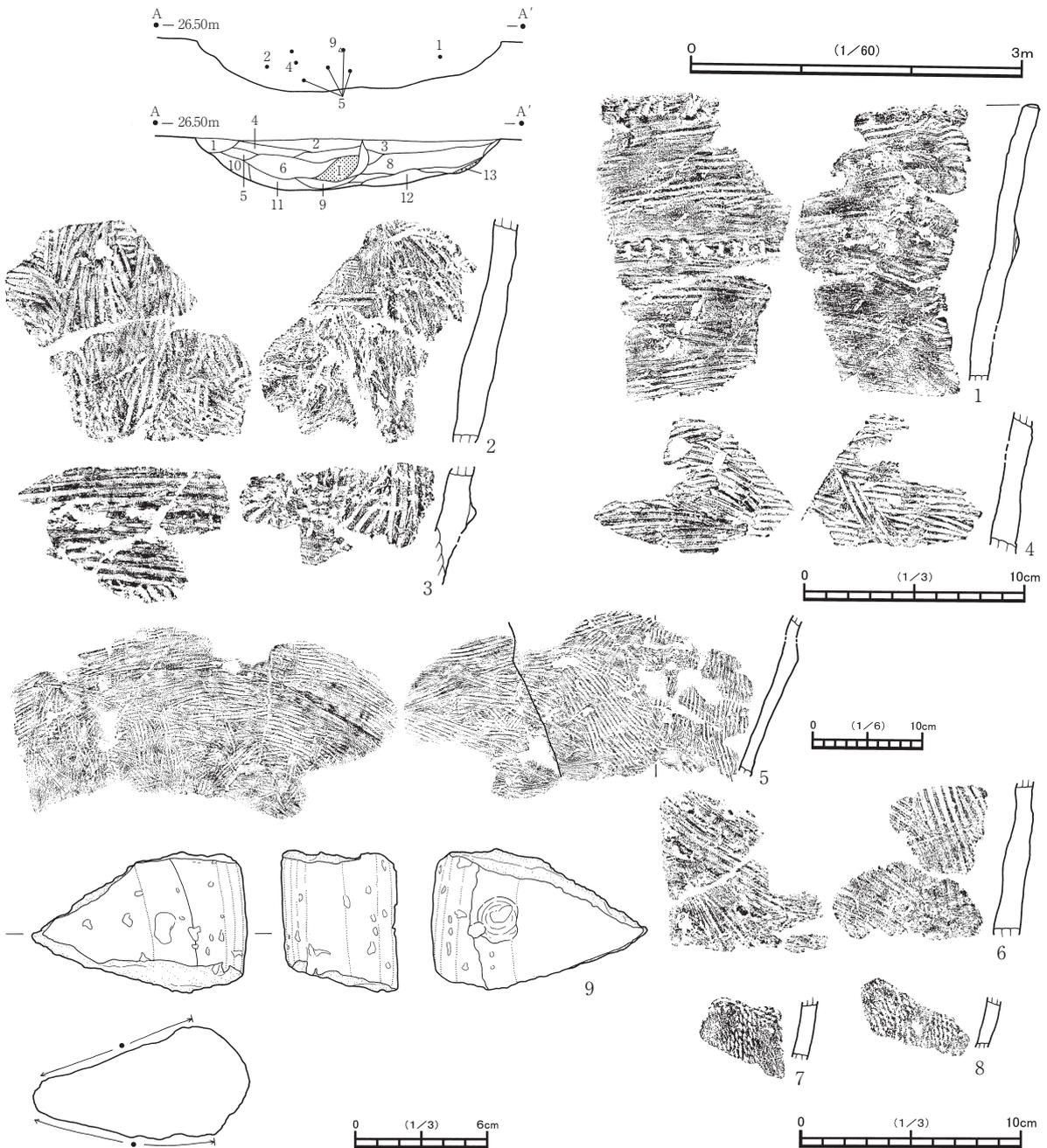


セクション位置：A-A'

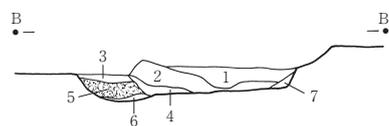
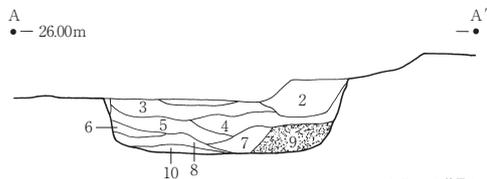
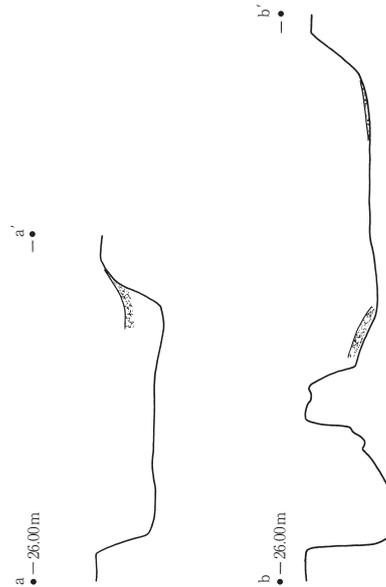
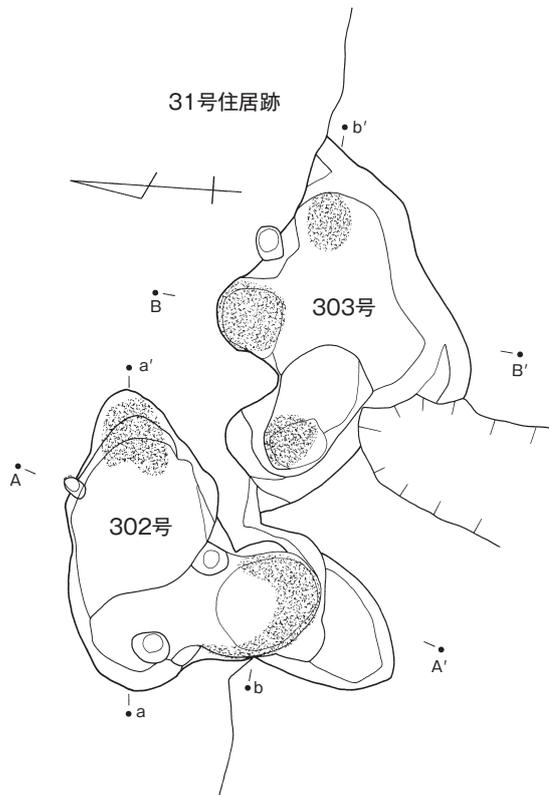
No.	種別（土の混じり具合）	主体貝	その他の貝	備考
I	混貝土層			

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	多量の焼土			
2	暗黒褐色	多量のローム粒			
3	黒色	多量の褐色土			
4	黒褐色	多量のローム粒			
5	黒褐色	多量の褐色土			
6	黒色				
7	黒褐色			軟質	
8	黒色				
9	暗黒茶褐色	多量のローム粒			
10	暗茶色	ローム粒・ロームブロック・多量の褐色土			
11	暗赤褐色	若干の焼土粒			
12	暗赤褐色				
13					焼土



第458図 301号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



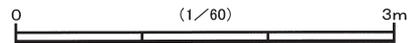
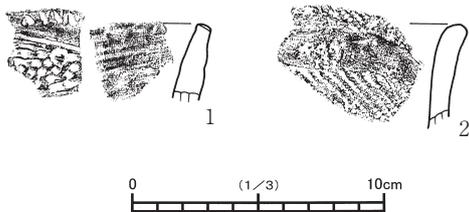
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗茶褐色	多量のローム粒・ロームブロック			
2	暗黒褐色		密		
3	黒褐色	多量のローム粒・ロームブロック			
4	黒褐色	ロームブロック(A)・ローム粒			
5	暗茶褐色	ロームブロック・ローム粒・多量の焼土粒			
6	暗黒褐色	多量のローム粒			
7	赤茶褐色	ローム粒・ロームブロック・焼土			
8	暗茶褐色	ロームブロック			
9		焼土粒			
10	暗茶色	ロームブロック			

セクション位置：B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	多量のローム粒			
2	黒色	ローム粒			
3	暗赤褐色	多量の焼土粒			
4	黒褐色	多量のローム粒			
5					焼土
6					ローム焼土化
7	暗黄色				

<303号>



第459図 302・303号遺構実測図および出土遺物実測図

【出土遺物】 6点・282gの礫が出土している。すべてに被熱のあとがみられる。土器は、3点・47g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。図示できる状態の資料は少ないが、このうち条痕文系の土器をもって、当該時期を303号遺構の帰属時期とみたい。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第459図1・2に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。2は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。

304号遺構

【検出位置】 セ28区J9-06・10

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.45m・短軸1.51m・深さ51cm。燃焼面1箇所（第460図）。

【覆土】 暗黒褐色土・暗茶色土などを主体とする。

【重複関係】 古墳周溝との重複により、遺構東側と西側の一部を欠失する。

【出土遺物】 3点・274gの礫および礫石器が出土している。このうちの2点に被熱のあとがみられる。石器は、石皿1点が出土している。土器は、39点・464g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ91%あり、当該時期を304号遺構の帰属時期とみる。ただし、いずれも図示できる状態にない資料であった。

【遺物説明】 出土石器を、第460図1に示した。スコリア質安山岩製の石皿破片である。

305号遺構

【検出位置】 セ28区J9-10・11・14・15

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸5.10m・短軸4.78m・深さ73cm。燃焼面1箇所（第461図）。

【覆土】 黒褐色土・暗茶色土などを主体とする。

【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。

【出土遺物】 3点・335gの礫が出土している。このうちの2点に被熱のあとがみられる。土器は、68点・1,709g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・安行式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ96%あり、当該時期を305号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第462図1に、覆土一括扱いのものを第462図2～15に示した。1～4は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5～10は胴部、11は底部の破片である。11は現存器高35mm・底径16mmを測る尖底状の底部である。12・13は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、14は胴部の破片である。15は安行式深鉢形土器の胴部破片とみられる。

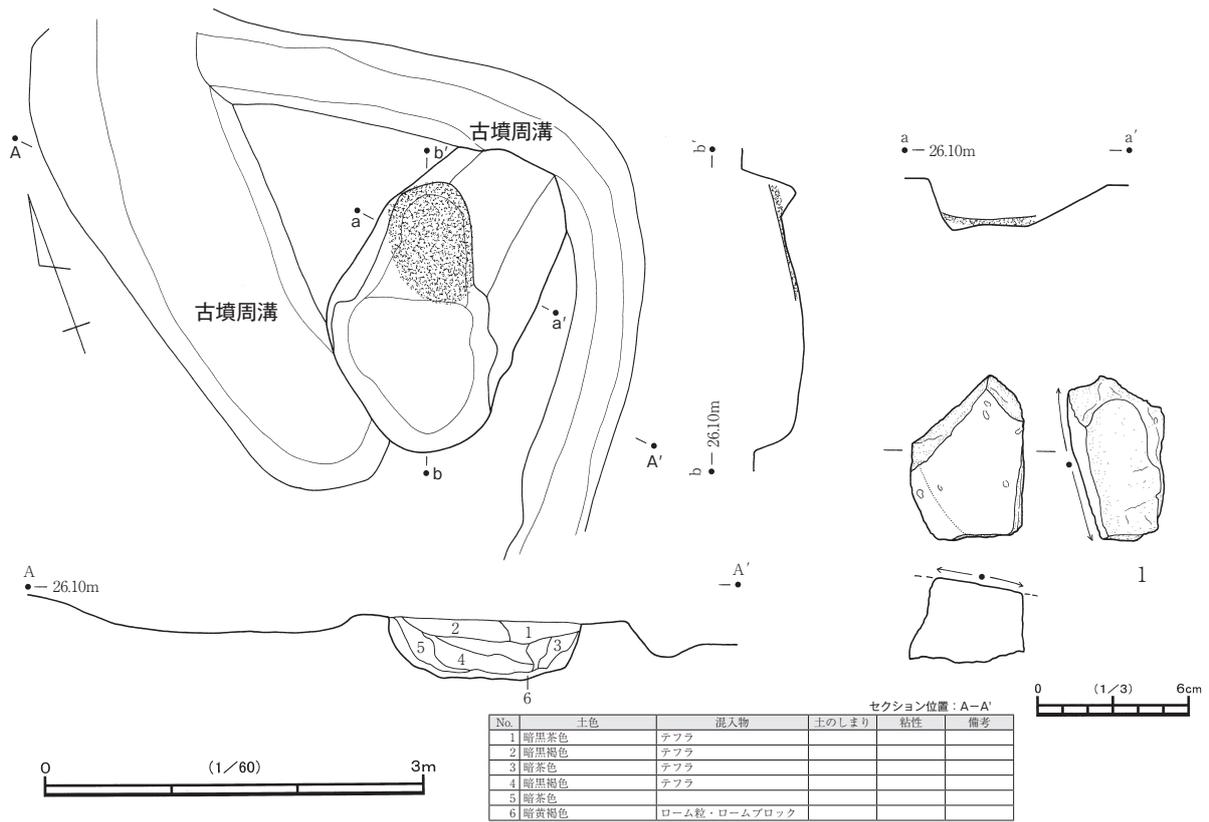
306号遺構

【検出位置】 セ28区J9-07・08・11・12

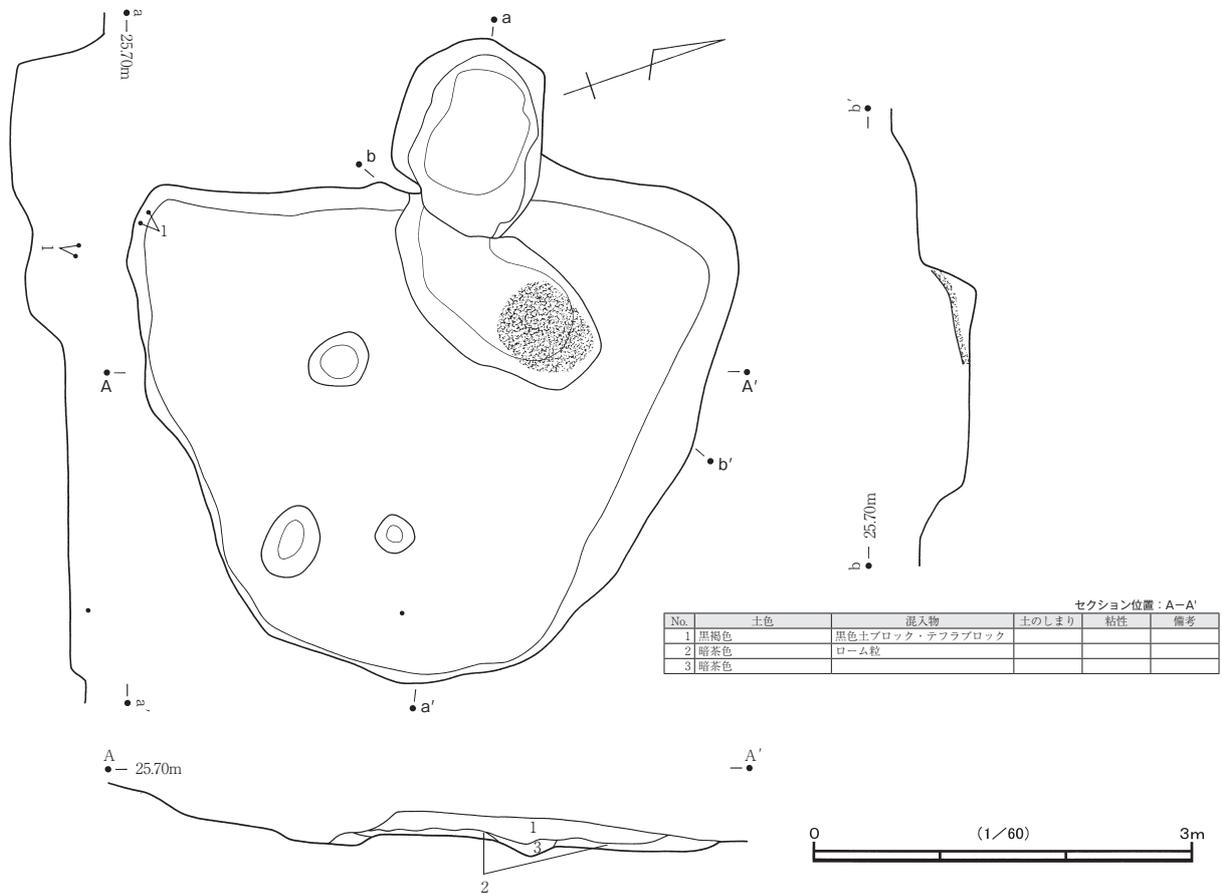
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸6.15m・短軸4.59m・深さ110cm。燃焼面5箇所（第463図）。

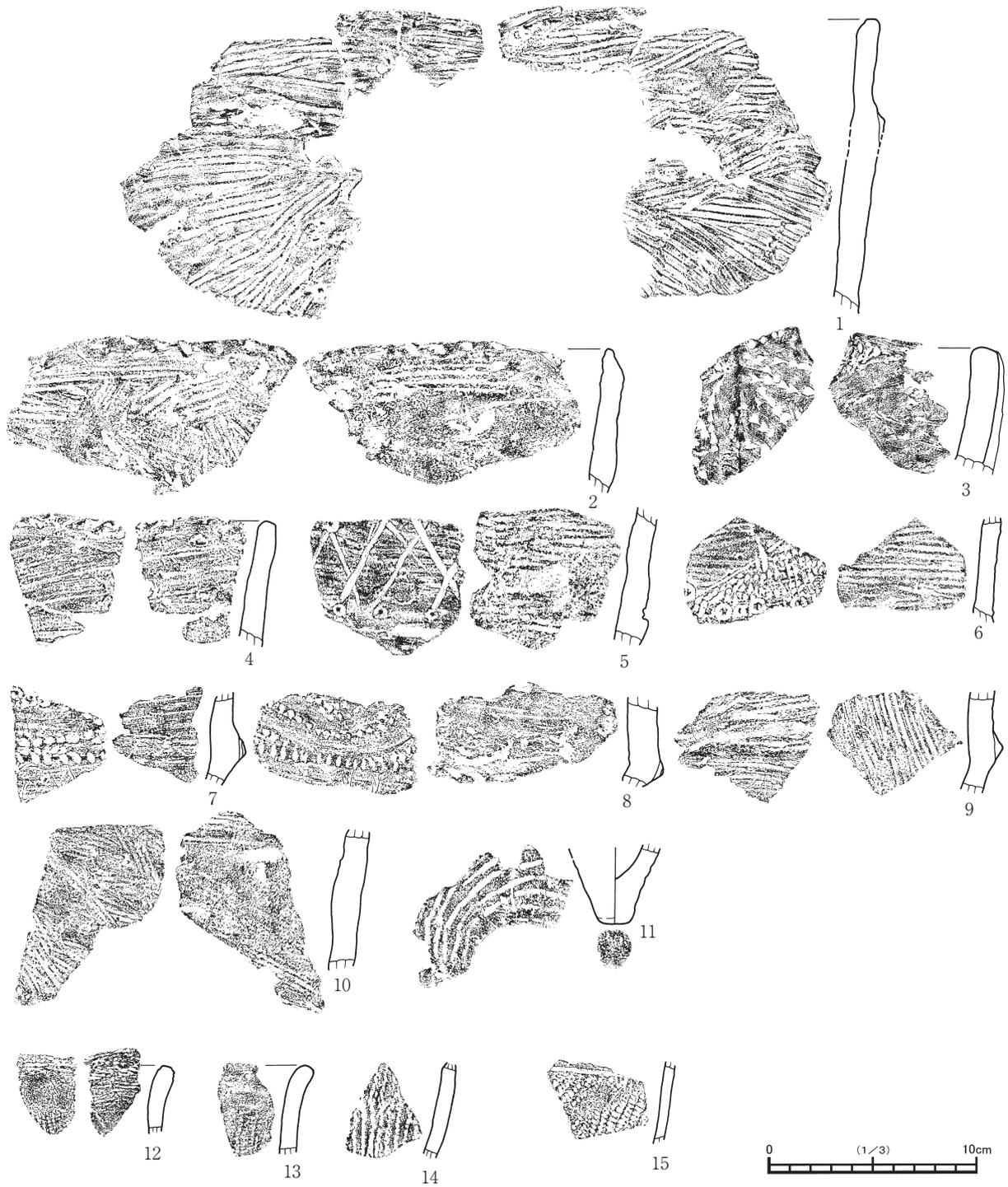
【覆土】 暗黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。



第460図 304号遺構実測図および出土遺物実測図



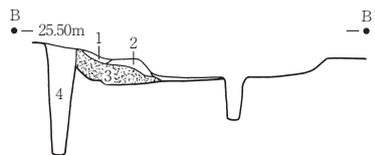
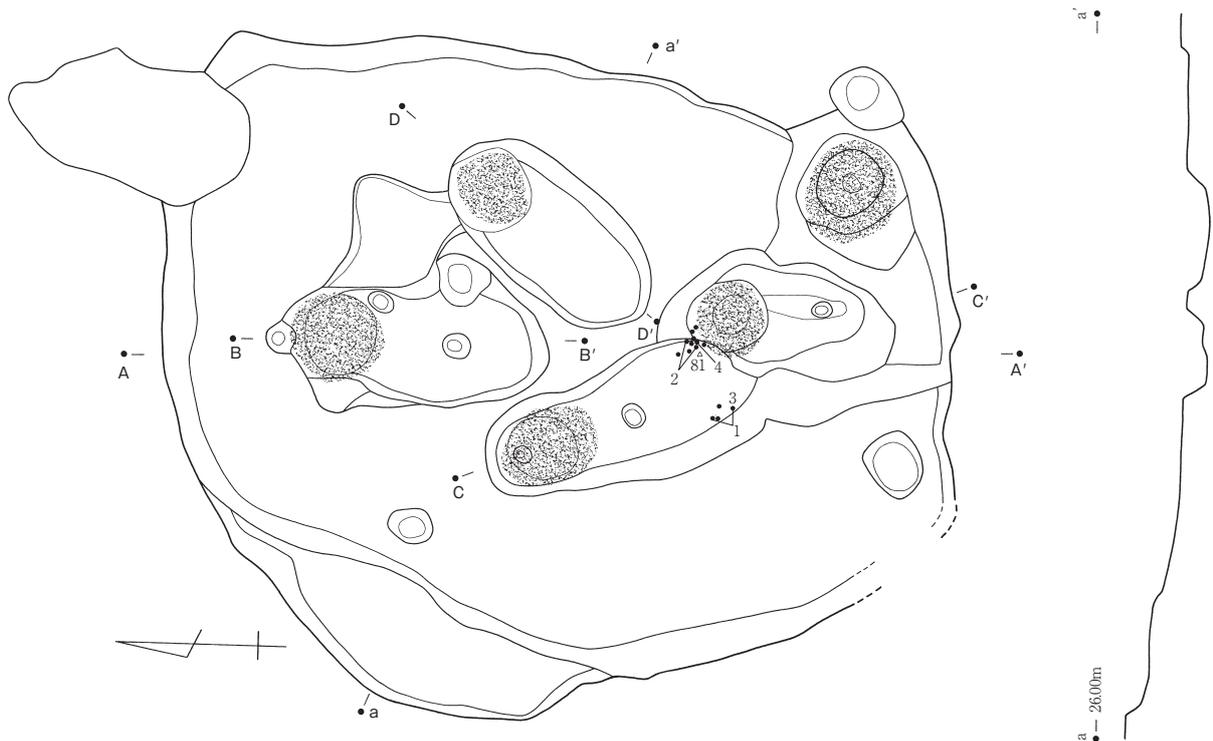
第461図 305号遺構実測図



第462図 305号遺構出土遺物実測図

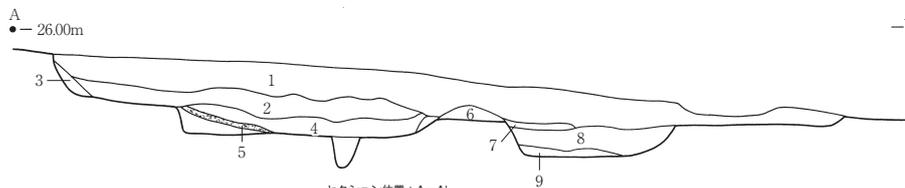
【その他】 周囲に豎穴状の掘り込みがある。

【出土遺物】 219点・17,062gの礫および礫石器が出土している。このうち82%に被熱のあとがみられる。石器は、12点出土している。うちわけは、RF 1点、楔形石器 1点、楔状石器 1点、打製石斧 1点、砥石 1点、石皿 2点、磨石・敲石 2点、敲石 1点、磨石 1点、軽石 1点、このほか黒曜石の剥片 1点がある。土器は、1,009点・17,475g 出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録



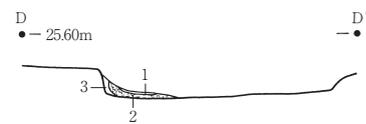
セクション位置：B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	焼土			
2	暗褐色	多量の粒土			
3					焼土
4	黒色	焼土			



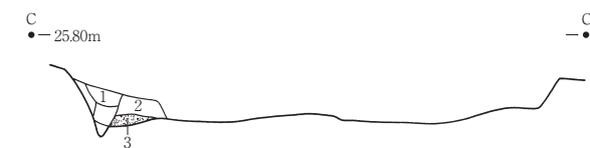
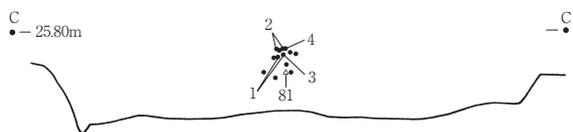
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色	多量のテフラブロック			
2	暗黒褐色	黒色土ブロック・多ローム粒			
3	暗褐色	ローム			
4	暗黒褐色	若干の褐色土・焼土粒・ローム粒			
5					焼土
6	暗茶褐色	ローム粒			
7	茶褐色	流入土			
8	暗黒褐色・黒色				
9	黒褐色	ローム			



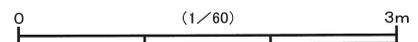
セクション位置：D-D'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	焼土粒			
2					焼土
3					ローム焼土化

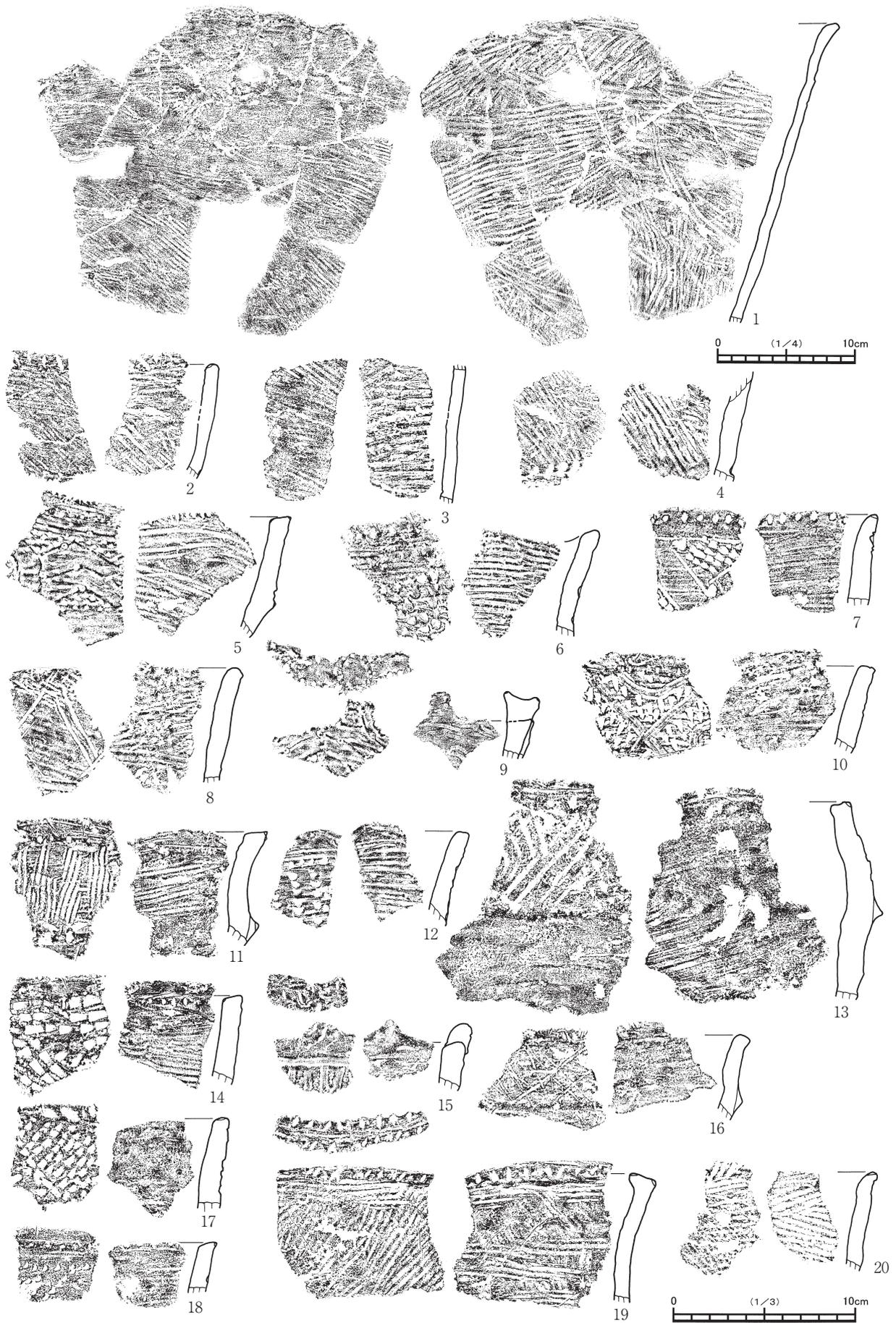


セクション位置：C-C'

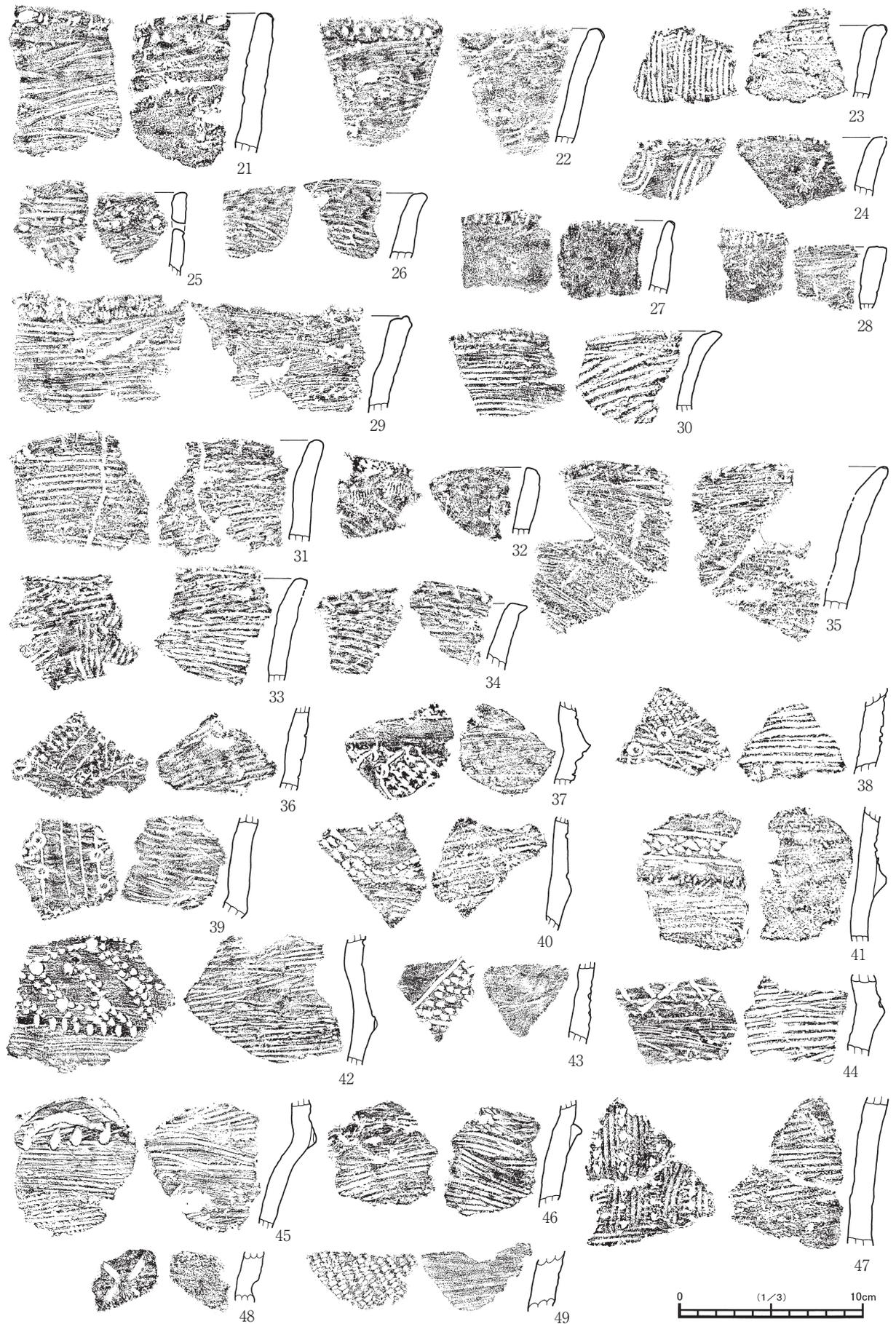
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	焼土粒			
2	暗褐色	多量の焼土			
3					焼土



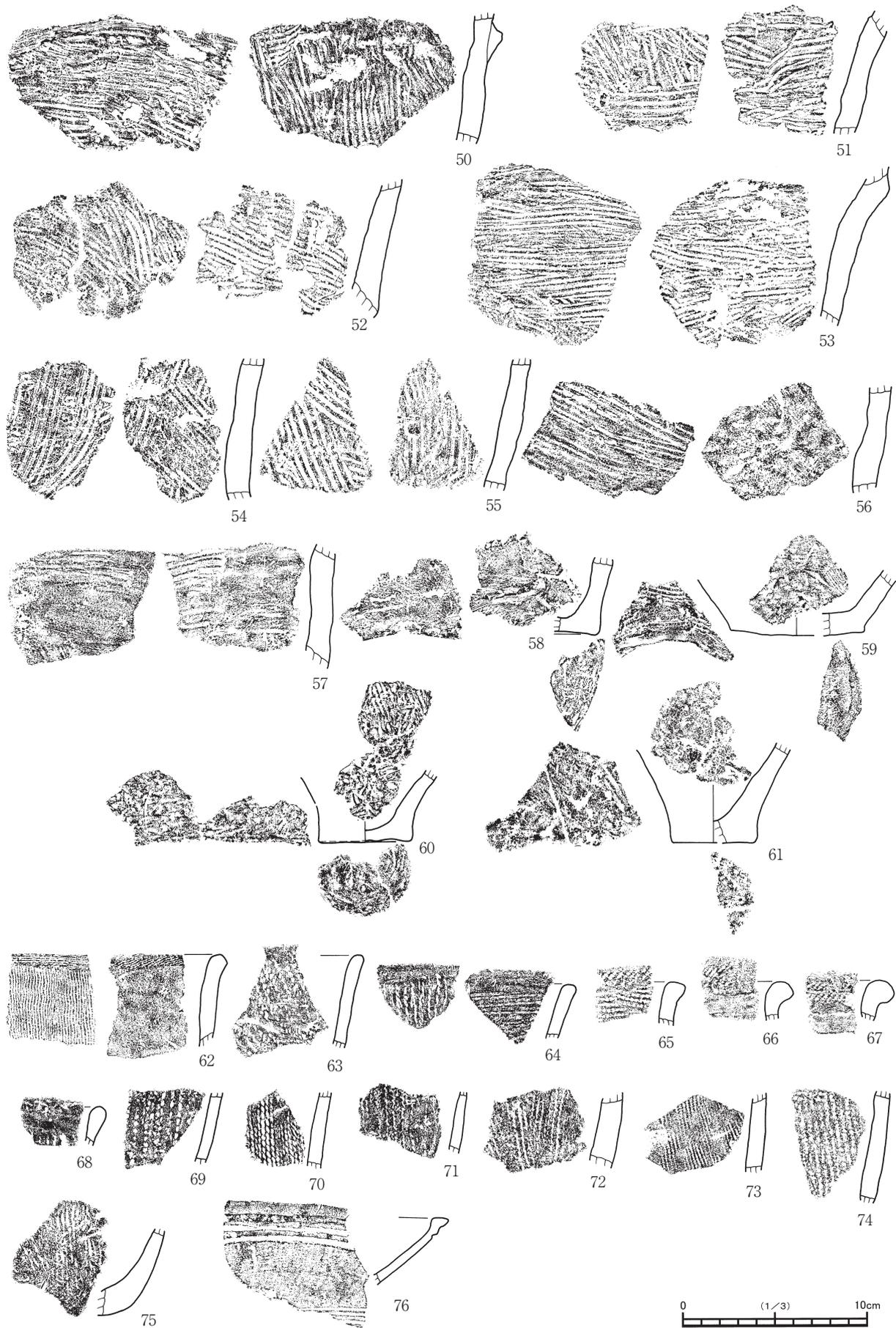
第463図 306号遺構実測図・遺物出土状況図



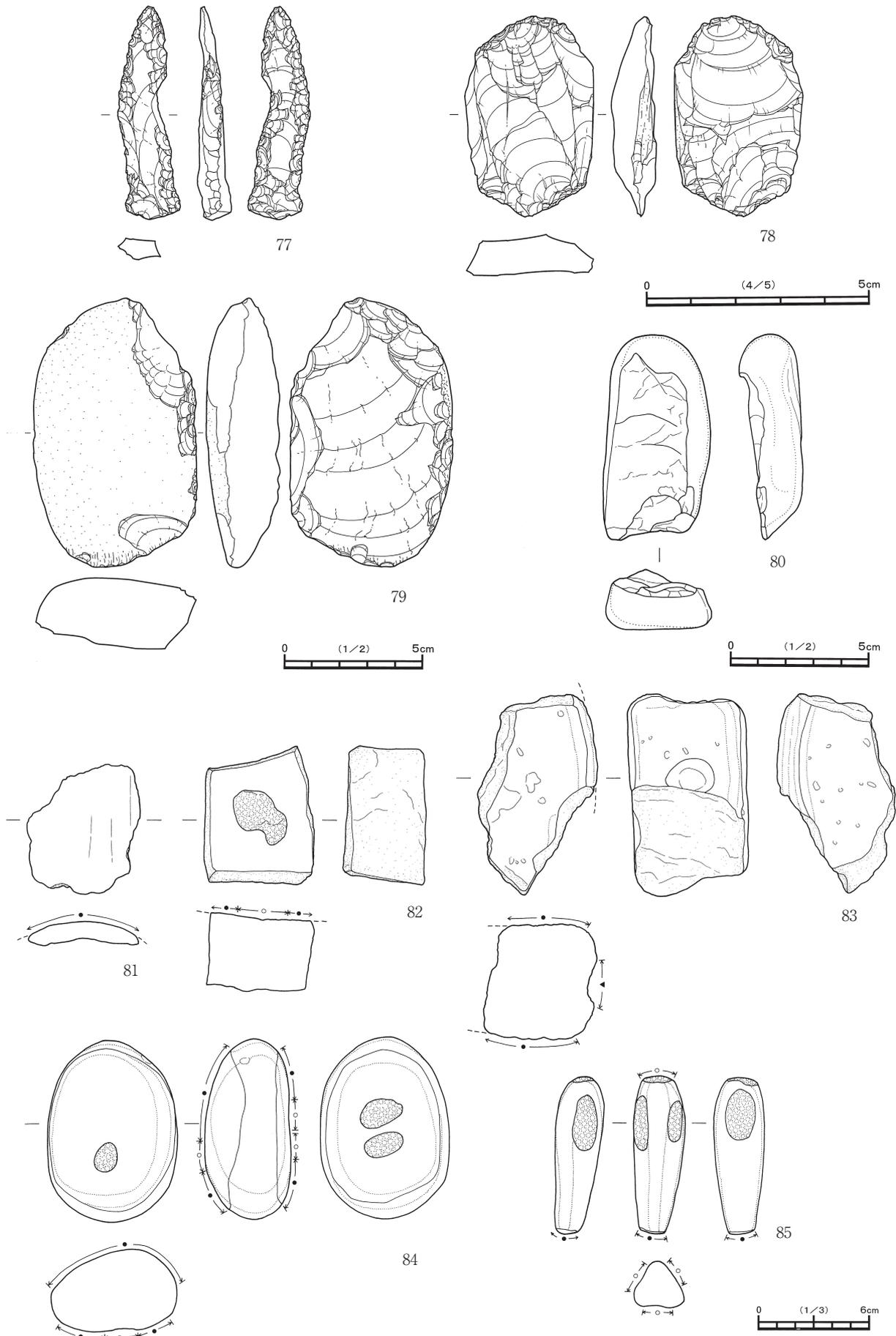
第464图 306号遺構出土遺物実測図(1)



第465图 306号遺構出土遺物実測図(2)



第466图 306号遺構出土遺物実測图(3)



第467图 306号遺構出土遺物実測図(4)

した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の95.9%あり、当該時期を306号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第464図1～4に、覆土一括扱いのものを第464図5～20、第465図21～49、第466図50～76に示した。

1・2・5～35は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3・4・36～57は胴部、58～61は底部の破片である。62～68は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、69～74は胴部、75は底部の破片である。76は晩期末の鉢形土器の口縁部破片とみられる。

出土石器のうち主なものを、第467図77～85、第468図86・87に示した。77は最大長48.1mmを測るチャート製のRFである。両側縁部に剥離を加え尖頭状に器体を整えているが、器体に反りがあるため尖頭器とはみなしえない。また、先端部も錐状には整えられていない。78は最大長45.2mmを測る緻密質安山岩製の楔形石器である。79は最大長97.7mmを測る輝石安山岩製の打製石斧である。片側に石材の自然面をのこす。80は最大長75mmを測る頁岩製の楔状石器である。81はスコリア質安山岩製の砥石破片である。82はデイスイト製の石皿破片である。器体中央に敲打痕をのこす。83は輝石安山岩製の石皿破片である。84は最大長98mmを測る砂岩製の磨石・敲石である。表裏面中央付近に敲打痕がみられる。85は最大長85mmを測る輝石安山岩製の磨石・敲石である。側縁部・上端部に敲打痕、下端部に摩耗痕がみられる。86は砂岩製の敲石である。87は輝石安山岩製の磨石である。

307号遺構

【検出位置】 セ28区J9-12

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.01m・短軸1.66m・深さ40cm。燃烧面2箇所。306号・308号遺構に隣接する（第469図）。

【覆土】 暗褐色土・暗赤褐色土などを主体とする。焼土粒などを含む。

【その他】 やや規模が小さいが周囲に竪穴状の掘り込みがある。

【出土遺物】 19点・629gの礫および礫石器が出土している。このうち99.7%に被熱のあとがみられる。石器は、軽石1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、11点・146g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ87%あり、当該時期を307号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、覆土一括扱いのものを第469図1に示した。条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。

308号遺構

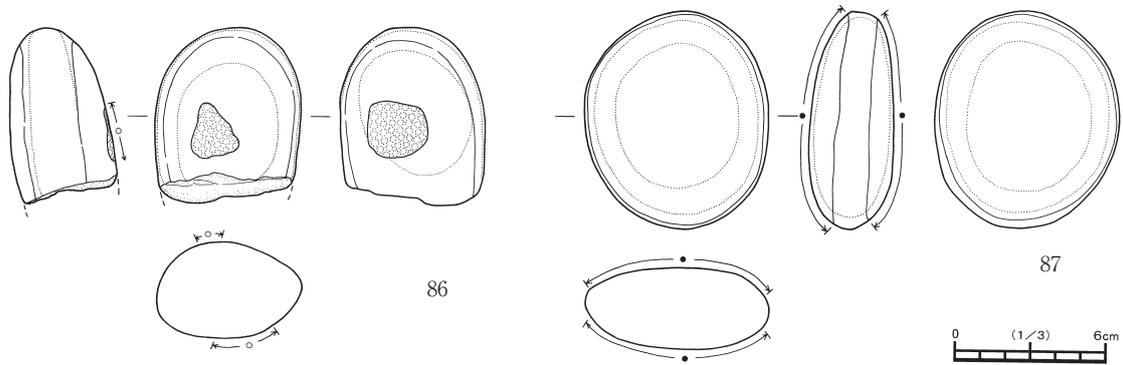
【検出位置】 セ28区J9-12、J10-09

【種別】 炉穴

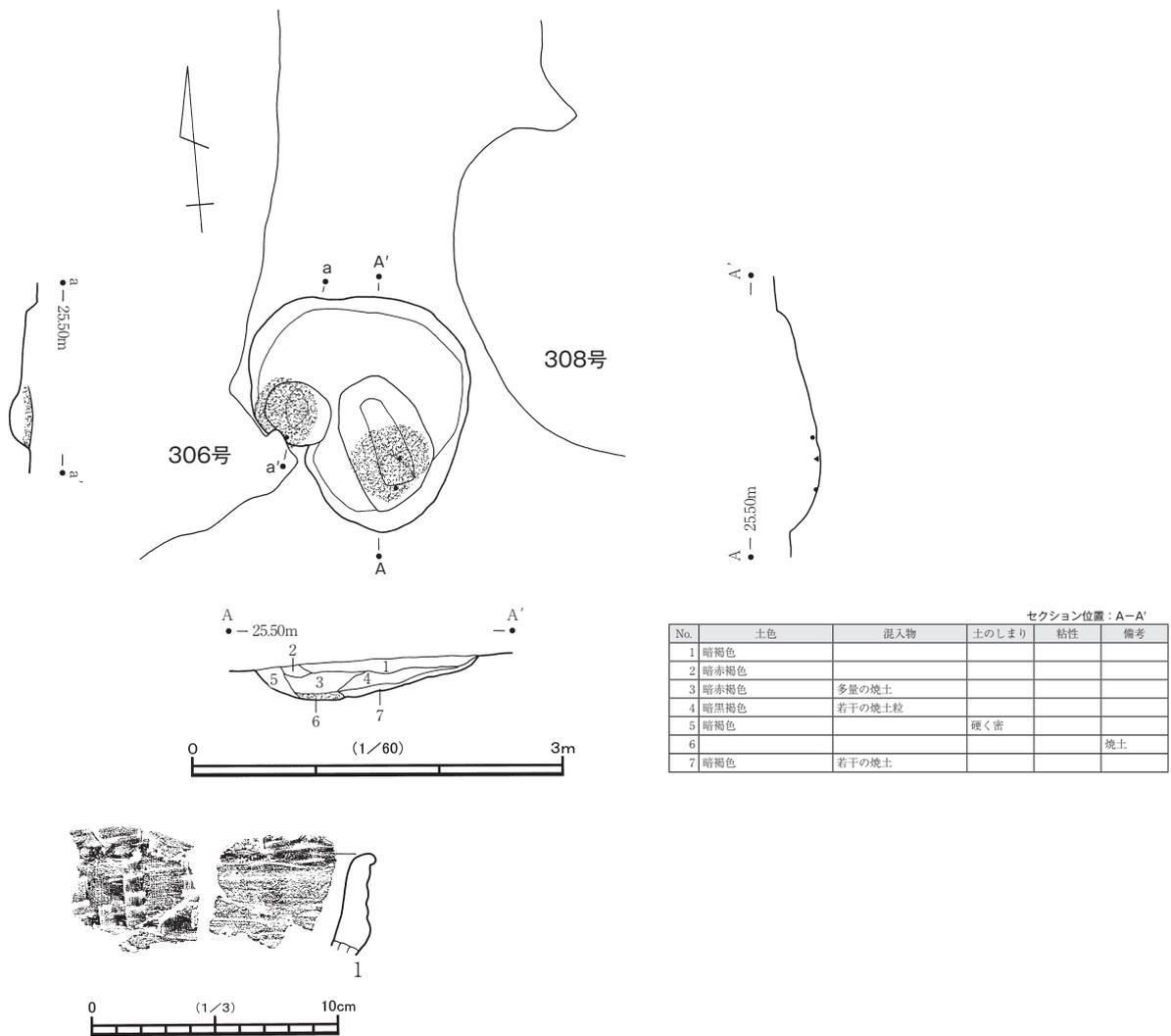
【規模ほか】 長軸3.69m・短軸3.00m・深さ86cm。燃烧面2箇所（第470図）。

【覆土】 暗黒茶色土・暗黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

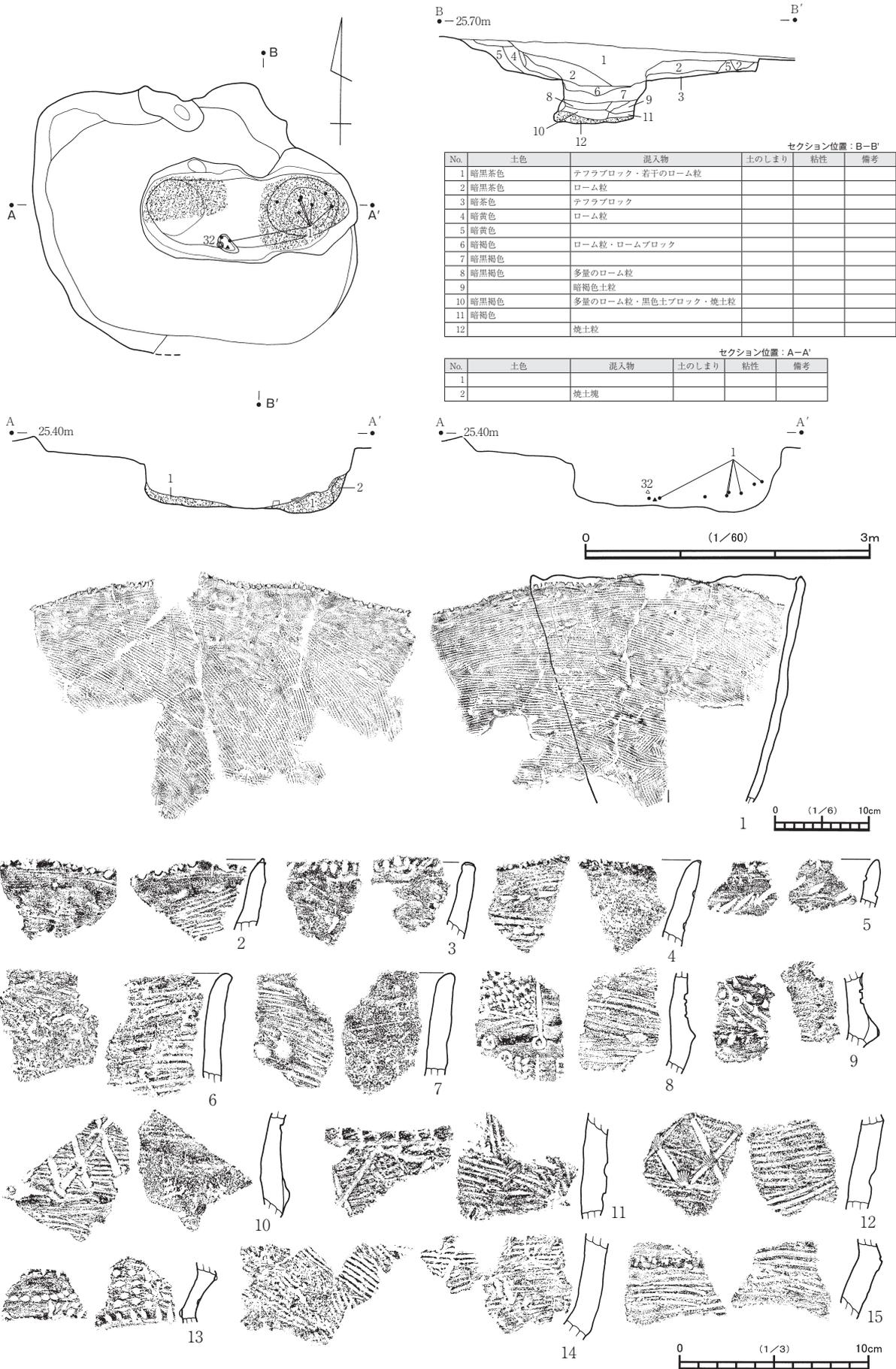
【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。



第468図 306号遺構出土遺物実測図(5)



第469図 307号遺構実測図および出土遺物実測図



第470図 308号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)

【出土遺物】 39点・3,106gの礫および礫石器が出土している。このうち35.9%に被熱のあとがみられる。石器は、3点出土している。うちわけは、磨石・敲石1点、敲石1点、軽石1点である。土器は、359点・6,254g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は北側の燃焼面上面を中心に出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系・堀之内2式・加曾利B式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の96.8%あり、当該時期を308号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第470図1に、覆土一括扱いのものを第470図2～15・第471図16～31に示した。1は推定口径284mm・現存器高243mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。口唇部に刺突がめぐるとともに文様はない。外面斜方向に、内面横・斜方向に条痕が施される。2～7は条痕文系深鉢形土器の口縁部、8～17は胴部の破片である。18は平底の、19は尖底の底部である。20・21は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、22～27は胴部の破片である。28・29は羽状縄文系深鉢形土器の胴部の破片である。30は堀之内2式の深鉢形土器口縁部である。31は加曾利B式注口土器の破片とみられる。出土石器のうち主なものを、第471図32・33に示した。32は最大長88mmを測る輝石安山岩製の磨石・敲石である。表裏中央部および両側縁部に敲打痕が認められる。33は砂岩性の敲石である。

309号遺構

【検出位置】 セ28区J10-07・11

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.09m・短軸2.44m・深さ76cm。燃焼面3箇所。形状はアメーバ状（第472図）。

出土遺物がないため、遺構の詳細時期は不明。

310号遺構

【検出位置】 セ28区J10-09・10・13

【種別】 炉穴

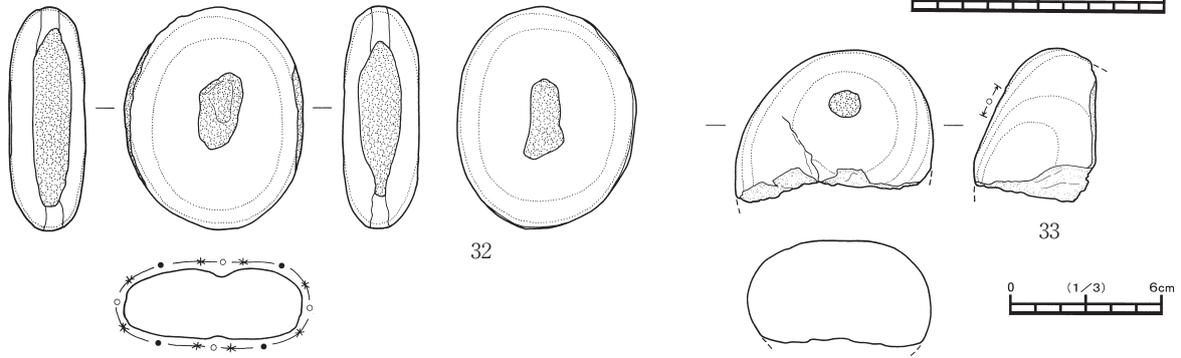
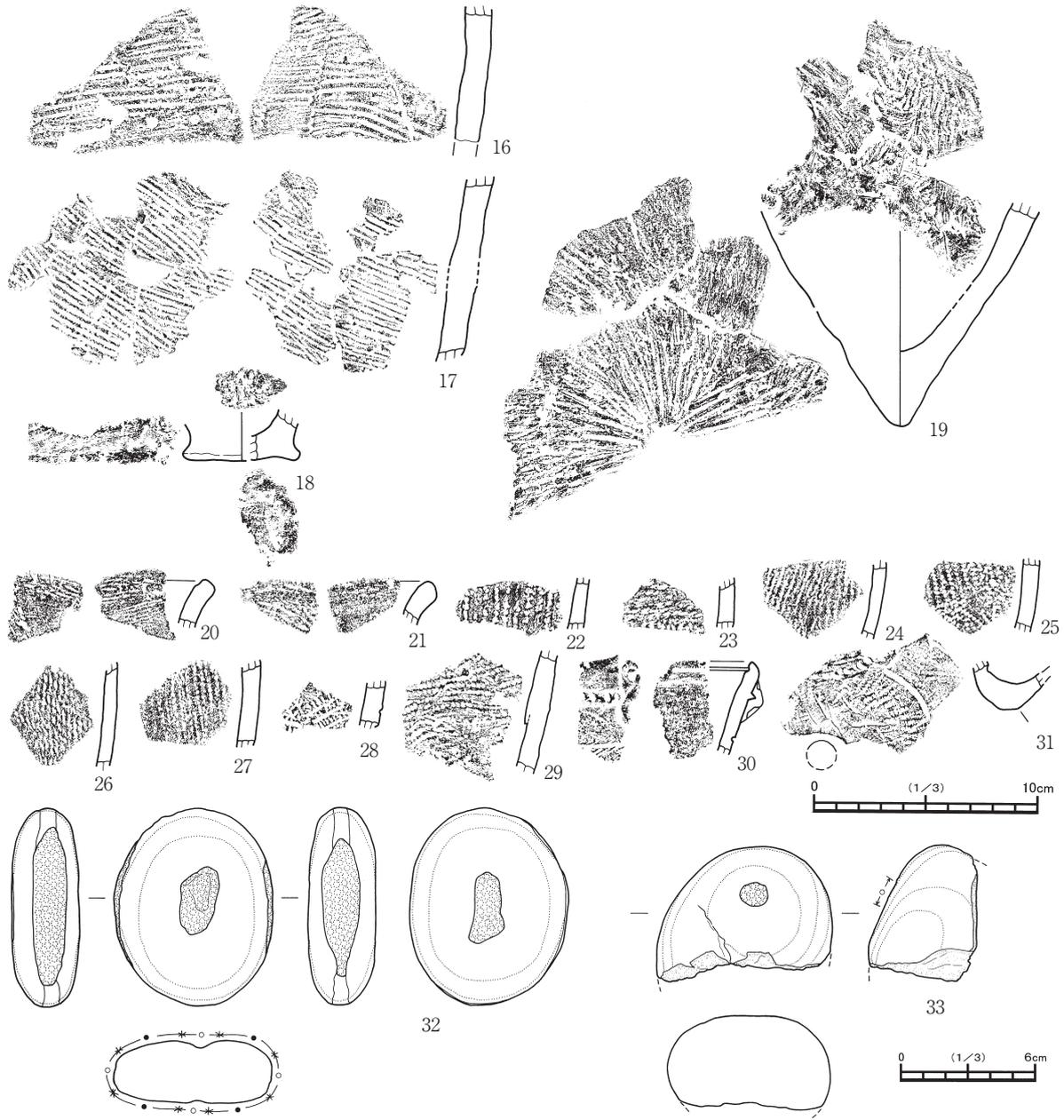
【規模ほか】 長軸3.49m・短軸3.25m・深さ60cm。燃焼面3箇所（第473図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。

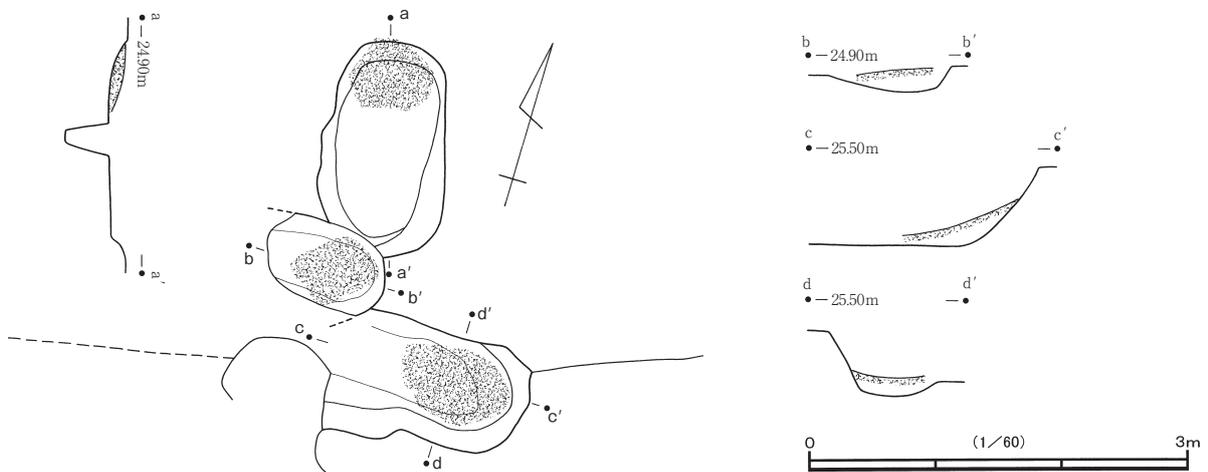
【重複関係】 南側で34号住居跡と一部重複する。新旧関係は34号住居跡の方が新。

【出土遺物】 75点・3,584gの礫および礫石器が出土している。このうち67.8%に被熱のあとがみられる。石器は、5点出土している。うちわけは、軽石製品1点、磨石・敲石1点、石皿1点、磨石2点、このほか黒曜石などの剥片3点がある。土器は、205点・4,874g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を310号遺構の帰属時期とみる。

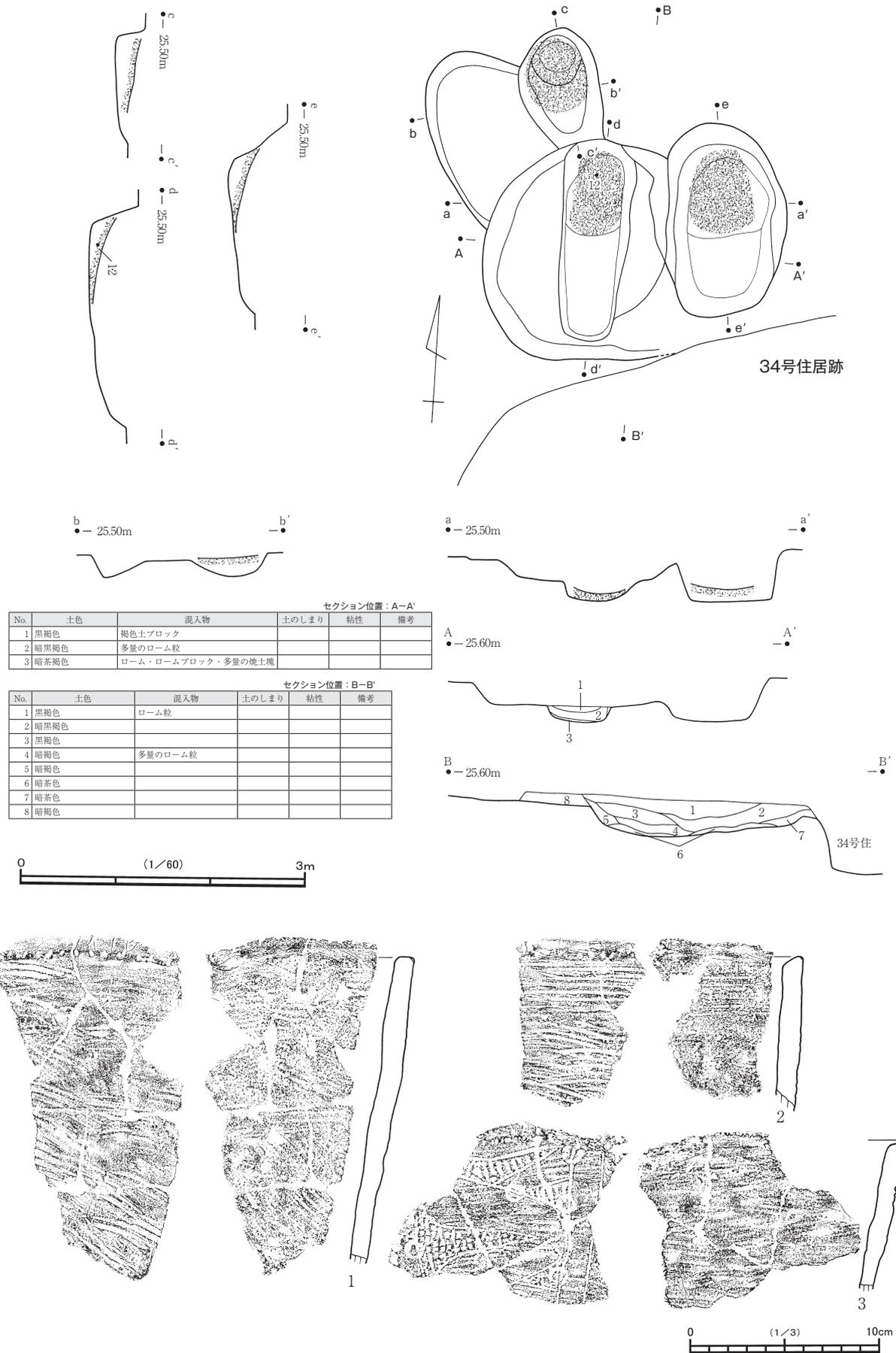
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第473図1・2に、覆土一括扱いのものを第473図3・第474図4～27・第475図28～32に示した。1～22は条痕文系深鉢形土器の口縁部、23～32は胴部破片である。4・5は浅い沈線区画内を縦位の押し引き沈線で充填、要所に円形文を施すもの。文様帯は浅い刺突を付す横位隆帯で区分される。口唇部に刺突もしくは浅いキザミをめぐらす。28は沈線による格子状文と要所に円形文を施すもの。文様帯は縦位のキザミを付す横位隆帯で区分される。出



第471图 308号遺構出土遺物実測図(2)



第472图 309号遺構実測図



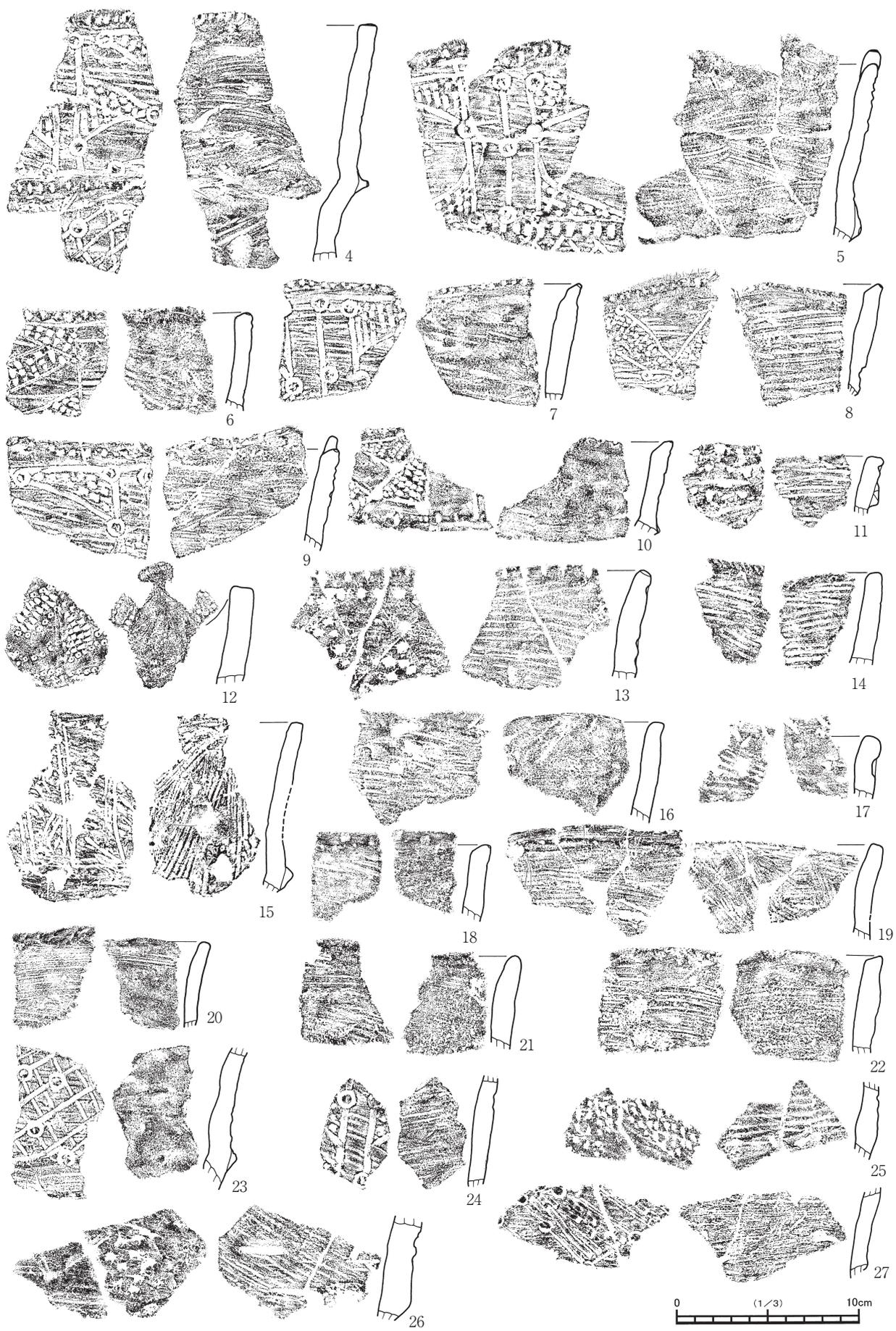
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	褐色土ブロック			
2	暗黒褐色	多量のローム粒			
3	暗茶褐色	ローム・ロームブロック・多量の焼土塊			

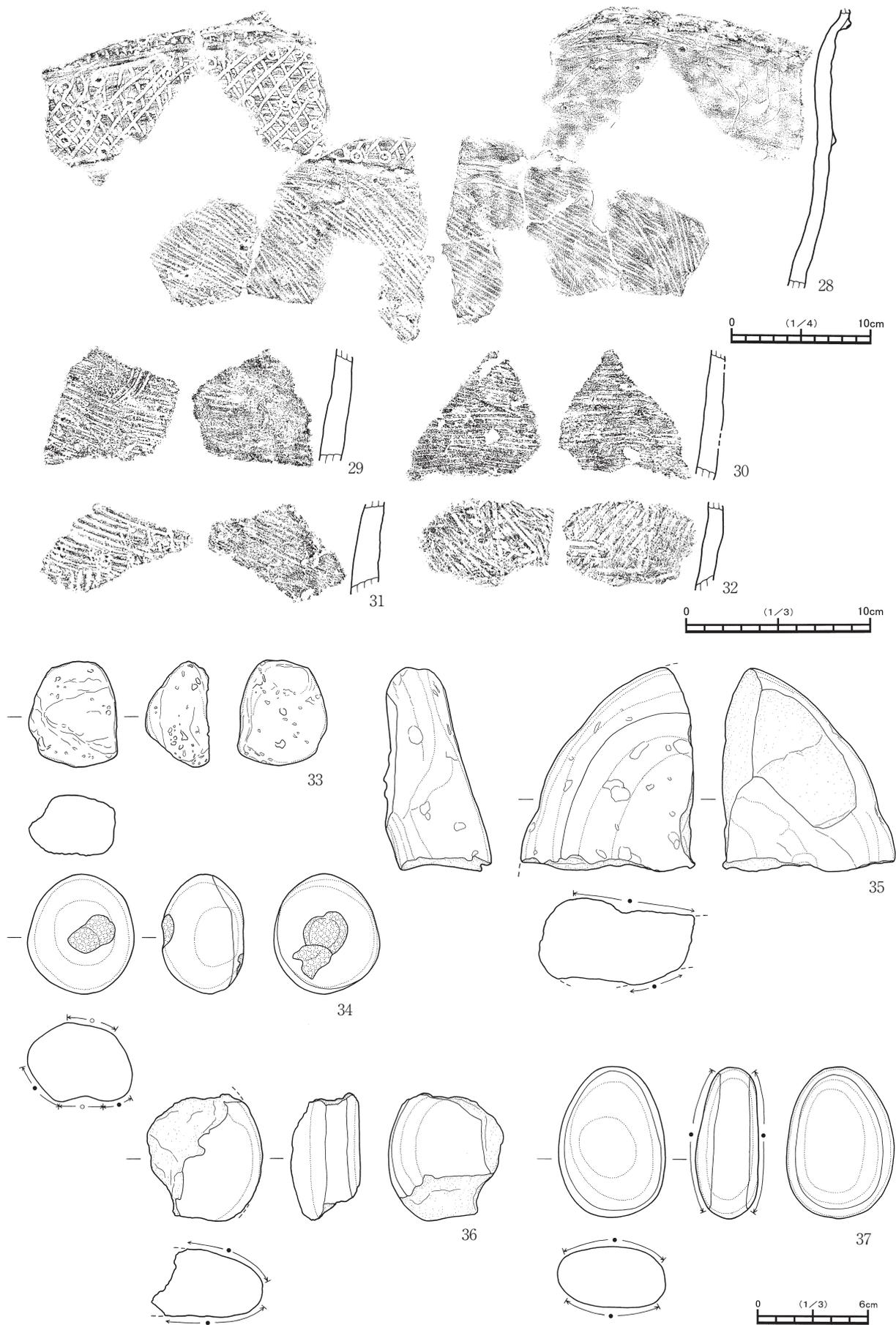
セクション位置：B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ローム粒			
2	暗黒褐色				
3	黒褐色				
4	暗褐色	多量のローム粒			
5	暗褐色				
6	暗茶色				
7	暗茶色				
8	暗褐色				

第473図 310号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



第474图 310号遺構出土遺物実測図(2)



第475图 310号遺構出土遺物実測図(3)

土石器を、第475図33～37に示した。33は最大長57mm・重さ23.9gを測る軽石製品である。34は最大長64mmを測る砂岩性の磨石・敲石である。表裏面中央部に敲打面がみられる。35は輝石安山岩製の石皿破片である。36は礫岩製の磨石破片である。37は最大長82mmを測る砂岩製の磨石である。

311号遺構

【検出位置】 セ28区J10-14

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.80m・短軸2.20m・深さ38cm。燃烧面3箇所。形状はアメーバ状（第476図）。

【その他】 34号住居跡内部に位置する。

【出土遺物】 土器は、4点・163g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を311号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第476図1に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

312号遺構

【検出位置】 セ28区J10-15、K10-03

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.64m・短軸2.67m・深さ47cm。燃烧面4箇所。形状はアメーバ状（第477図）。

【覆土】 黒褐色土・暗茶色土などを主体とする。焼土粒などを含む。

【出土遺物】 151点8,963gの礫および礫石器が出土している。このうち87.7%に被熱のあとがみられる。石器は、4点出土している。うちわけは、砥石1点、磨石・敲石1点、磨石2点である。土器は、267点・6,028g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、南側燃烧面の上部からややまとまって出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の97.4%あり、当該時期を312号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第478図1～5に、覆土一括扱いのものを第478図6～9・第479図10～28に示した。1・2・6～15は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3～5・16～23は胴部、24は底部の破片である。1は平縁の深鉢形土器で、口縁部下に幅広工具による刺突文がやや間隔をあけて施されるもの。これ以外に文様はなく、外面には横・斜方向、内面には斜・横方向に条痕が施される。6・7は平縁の深鉢形土器で、幅広工具による縦位・横位の押し引き沈線文が施されるもの。25・26は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。27・28は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を、第479図29～32に示した。29は砂岩製の砥石である。表裏面の一部には敲打痕がみられる。30は最大長81mmを測る輝石安山岩製の磨石・敲石である。表裏面中央部および両側縁部に敲打痕が認められる。31・32は輝石安山岩・砂岩製の磨石破片である。

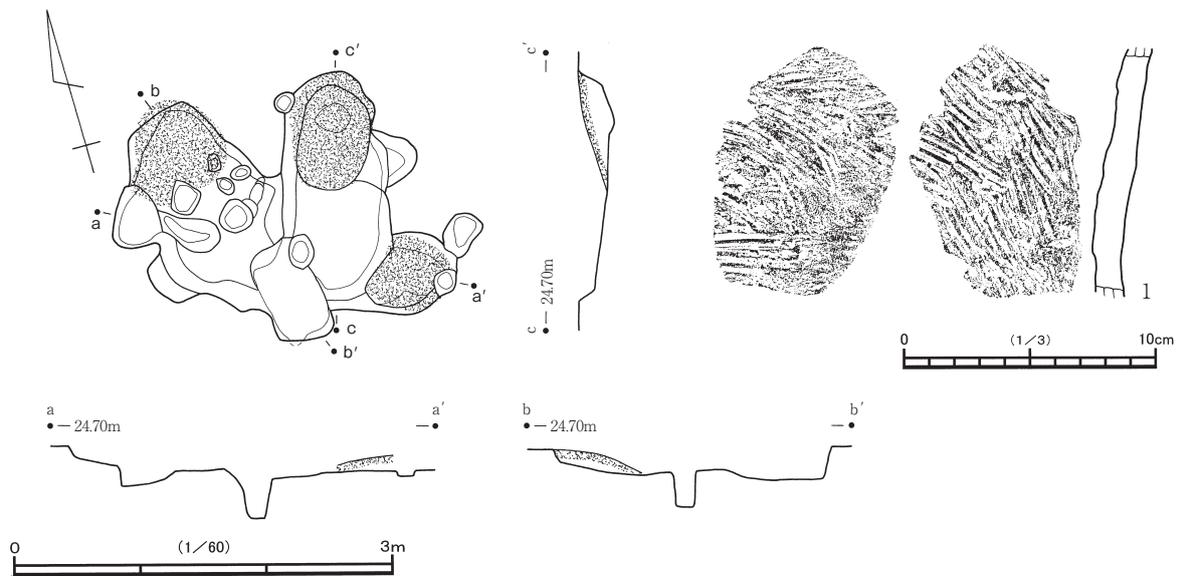
313号遺構

【検出位置】 セ28区K9-07・08

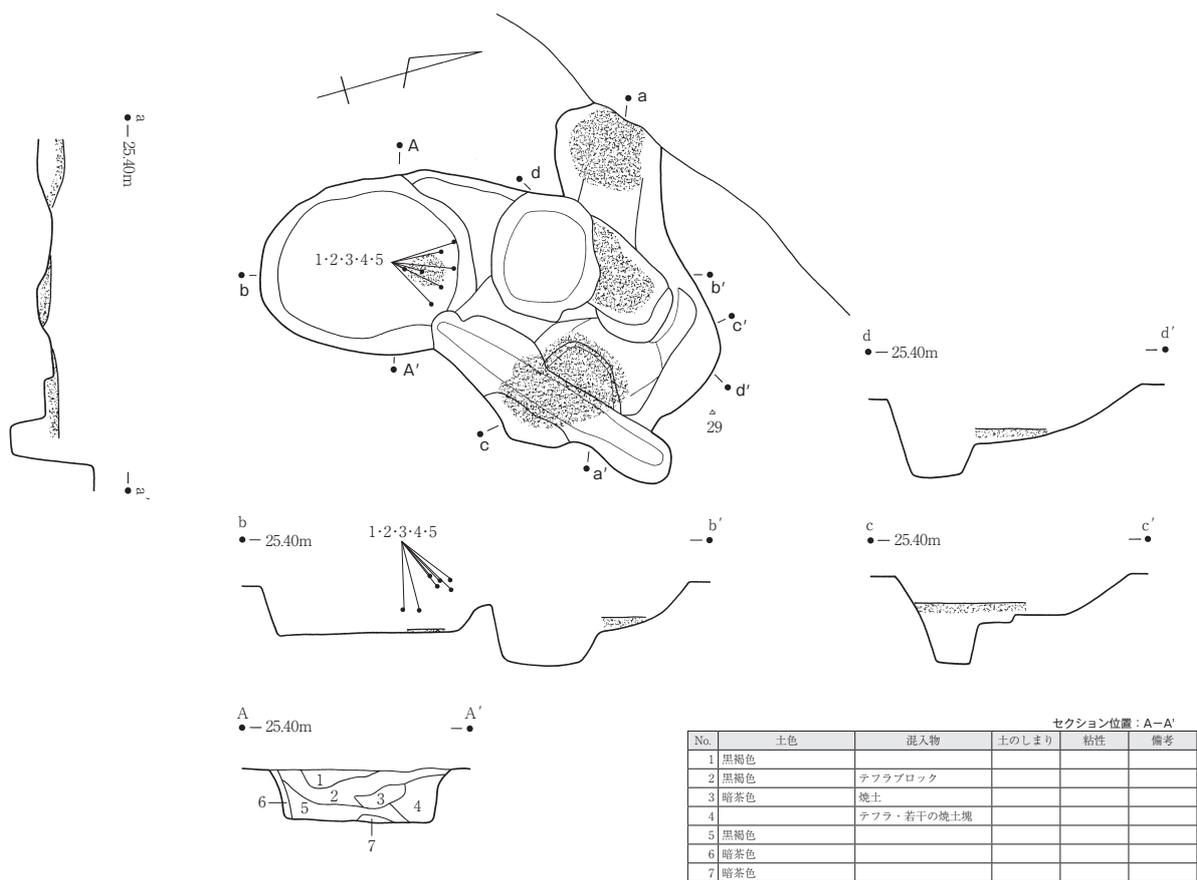
【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.65m・短軸1.80m・深さ222cm。形状は長楕円形（第480図）。

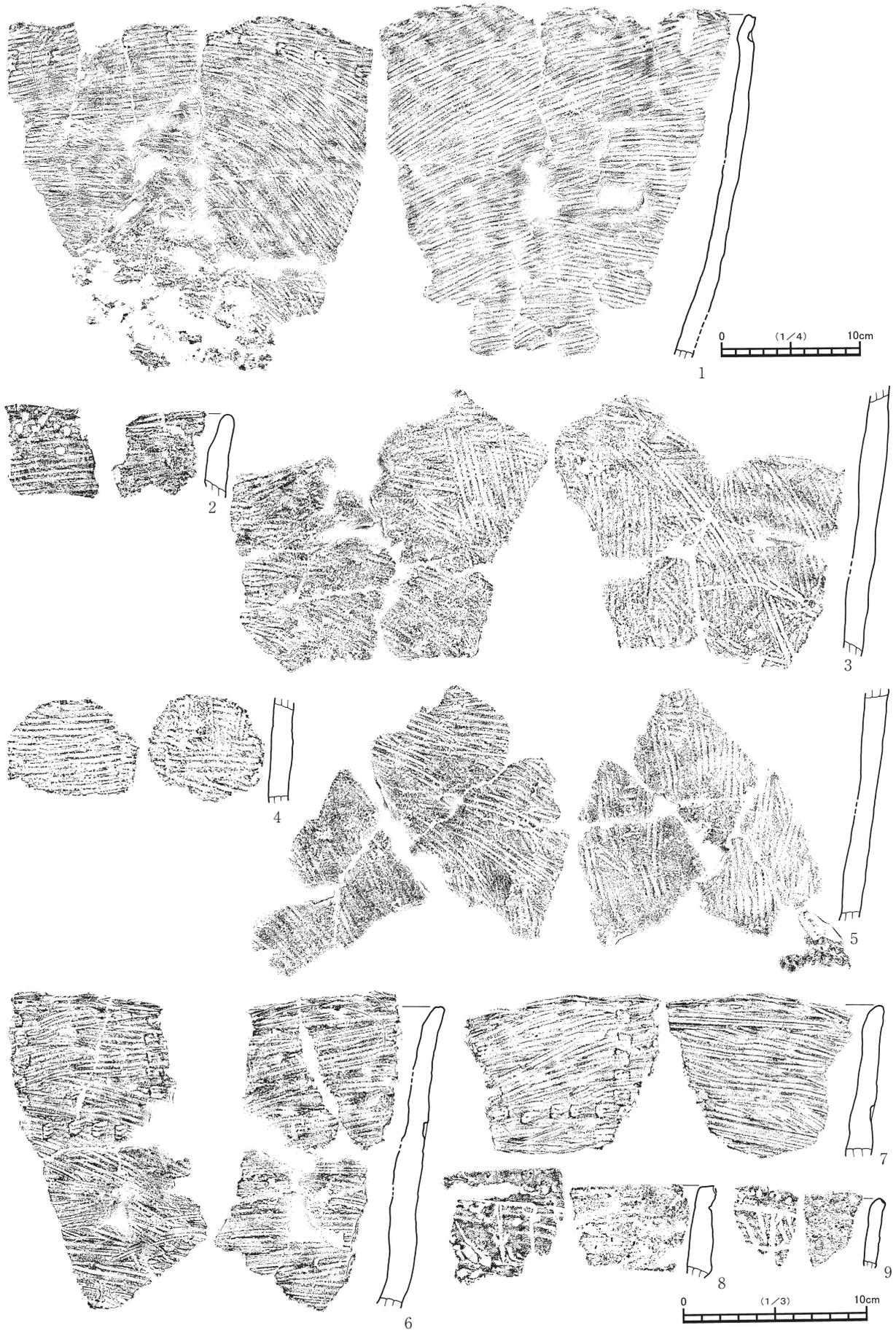
【覆土】 暗黒褐色土・黄褐色土などを主体とする。ローム粒を多く含む。



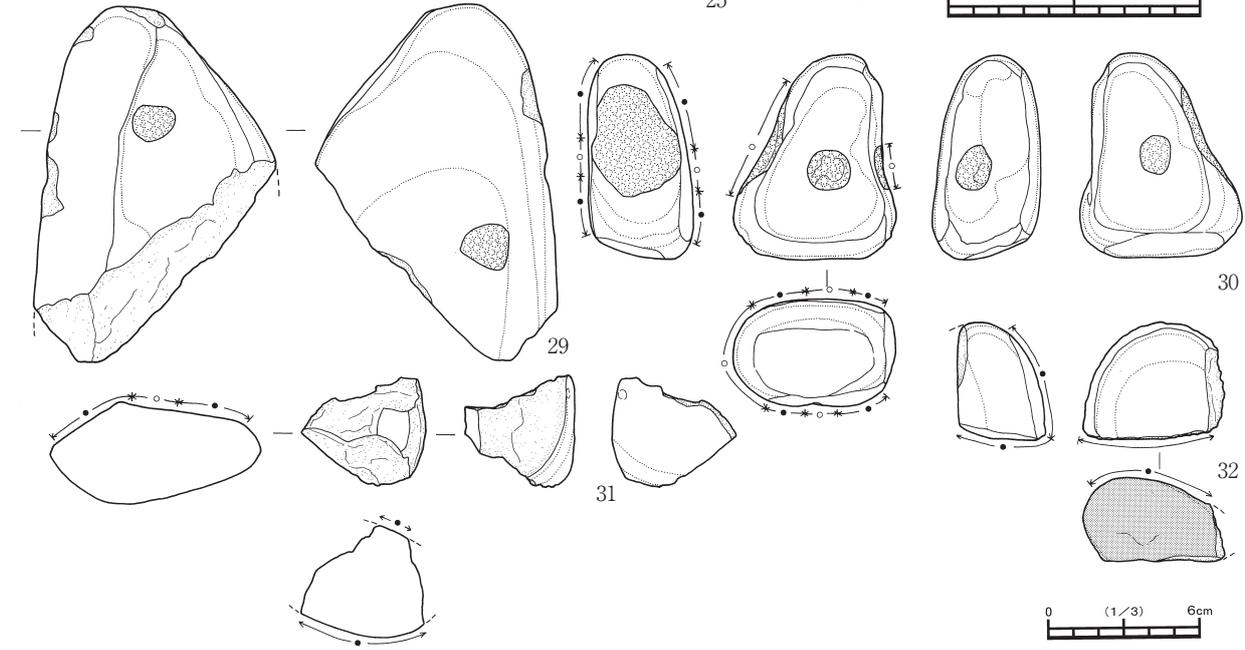
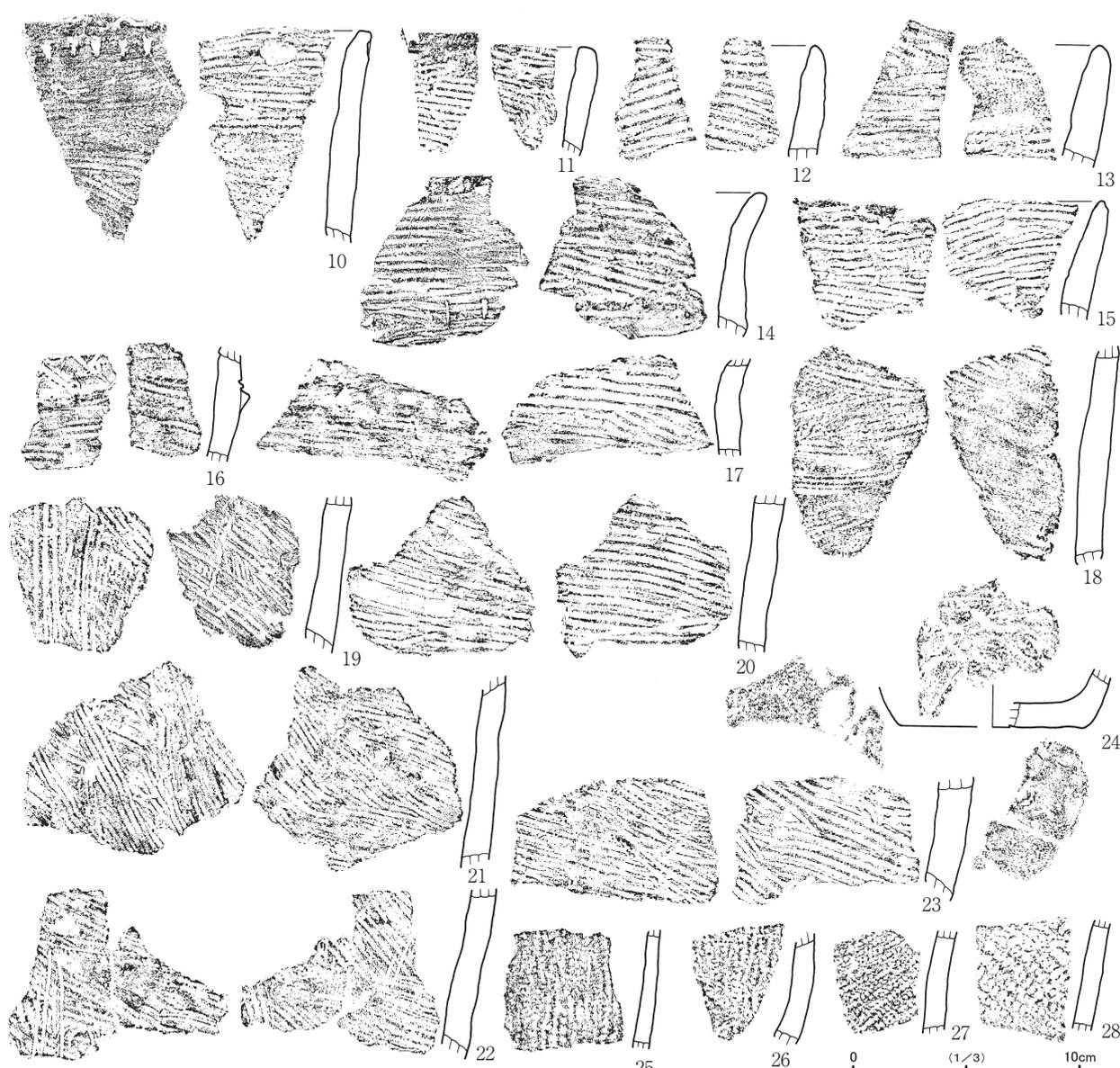
第476図 311号遺構実測図および出土遺物実測図



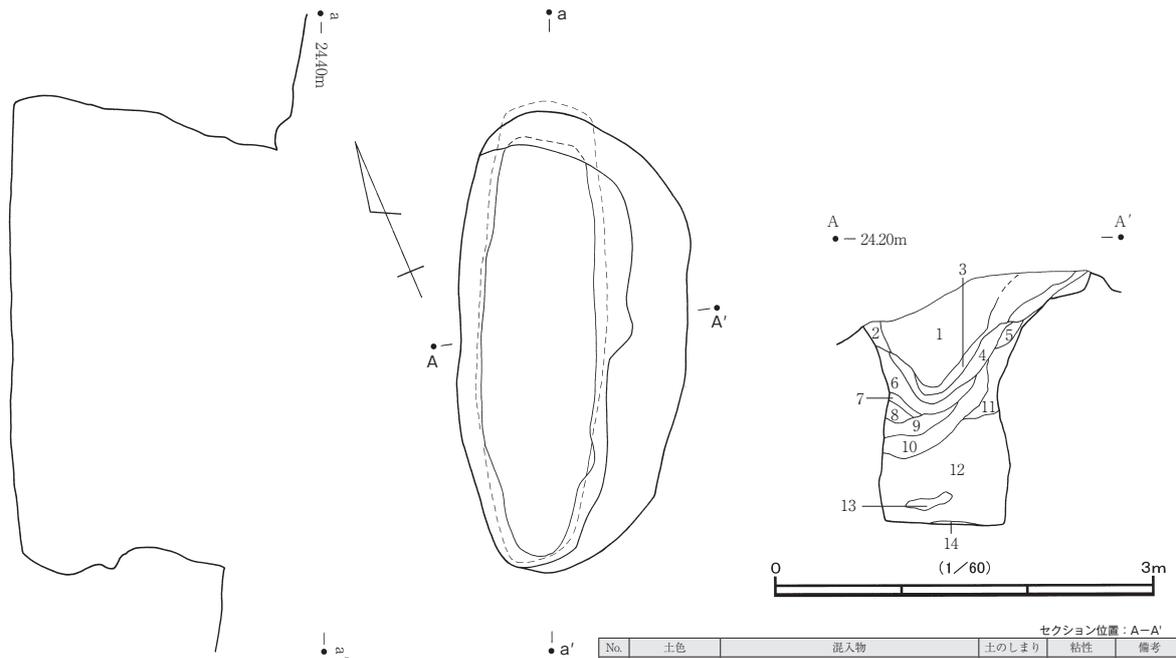
第477図 312号遺構実測図・遺物出土状況図



第478图 312号遺構出土遺物実測図(1)



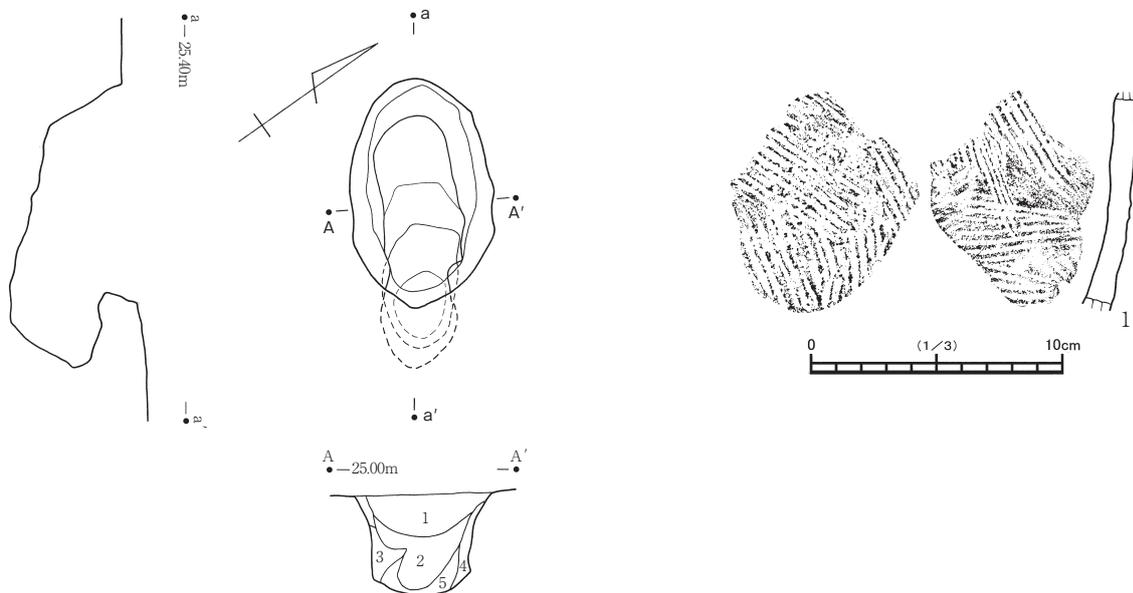
第479图 312号遺構出土遺物実測図(2)



セクション位置：A-A'

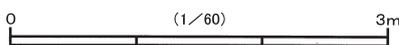
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色	黒色土ブロック・暗褐色土ブロック			
2		テフラ・ローム粒			
3	暗黒褐色	テフラ			
4	暗褐色	テフラ			
5		テフラ・ローム粒			
6	暗茶褐色	ローム粒・黒褐色土粒・若干のロームブロック			
7	暗褐色	ローム粒・黒褐色土粒			
8	暗黄色	ローム粒・若干のロームブロック			
9	暗茶褐色				
10	暗茶褐色	ローム粒・黒褐色粒			
11	暗黄色	ローム粒			
12	黄褐色	ローム・ロームブロック(大)			
13	黒色	黒色土粒			
14	黒色				

第480図 313号遺構実測図



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ローム粒			
2	暗黒色	若干のローム粒			
3	暗茶色	ローム粒・テフラブロック			
4	暗茶色	ローム粒・テフラブロック			
5	暗黒褐色	ローム粒			



第481図 314号遺構実測図および出土遺物実測図

出土遺物がないため、遺構の詳細時期は不明。

314号遺構

【検出位置】 セ28区K10-02・06

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.27m・短軸1.13m・深さ100cm。形状は楕円形（袋状）（第481図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒を多く含む。

【出土遺物】 9点・515gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、3点・83g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。いずれも条痕文系のものであることから、当該時期を314号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第481図1に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

315号遺構

【検出位置】 セ28区H10-07

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.30m・短軸1.85m・深さ42cm。燃焼面4箇所。形状はアメーバ状（第482図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により北側および西側の一部を欠失する。また、316号遺構とも重複する。

出土遺物がないため、遺構の詳細時期は不明。

316号遺構

【検出位置】 セ28区H10-07・08

【種別】 竪穴状遺構

【規模ほか】 長軸3.78m・短軸2.86m・深さ34cm。形状は不整形（第482図）。

【覆土】 黒褐色土を主体とする。

【重複関係】 古墳周溝との重複により北側の一部を欠失する。

【出土遺物】 被熱した礫1点・12gが出土している。土器は、50点・912g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・堀之内1式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を316号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第482図1～9に示した。1・2は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3～6は胴部、7は底部の破片である。8は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。9は堀之内1式深鉢形土器の胴部破片とみられる。

317号遺構

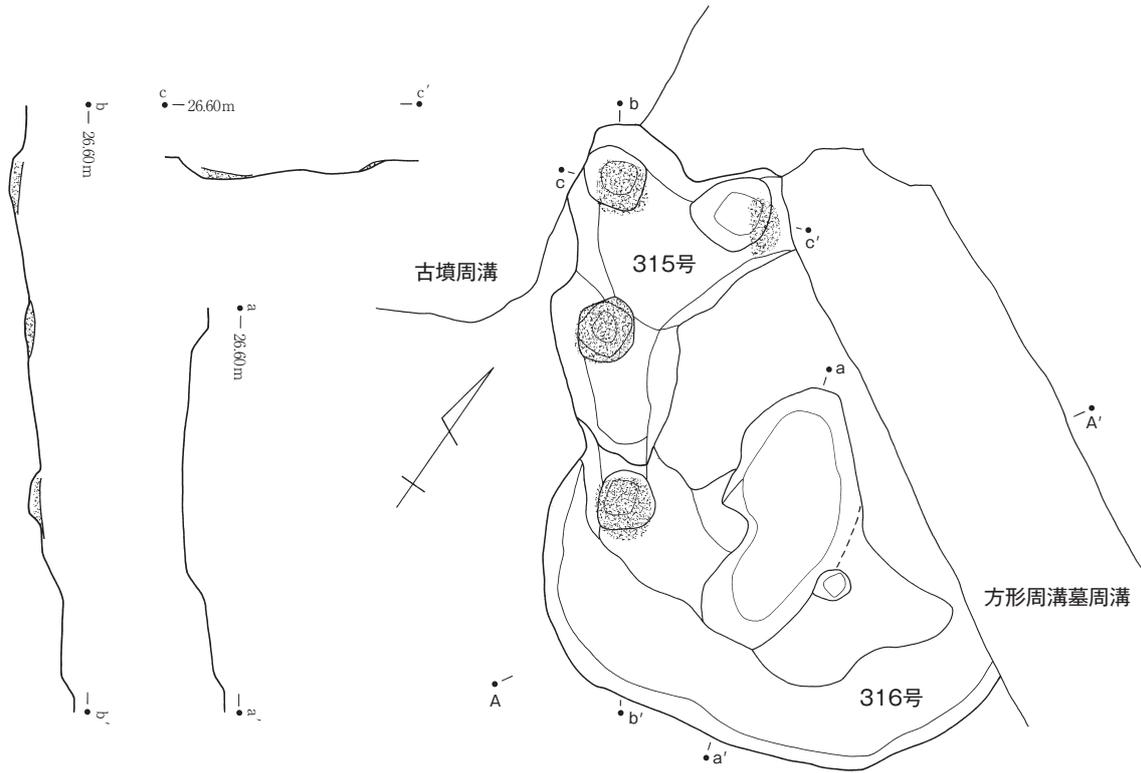
【検出位置】 セ28区H10-12

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.81m・短軸1.27m・深さ31cm。主軸方向 94°。燃焼面1箇所（第483図）。

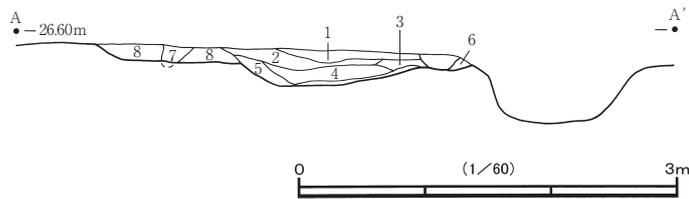
【覆土】 暗黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。

【出土遺物】 17点・492gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、

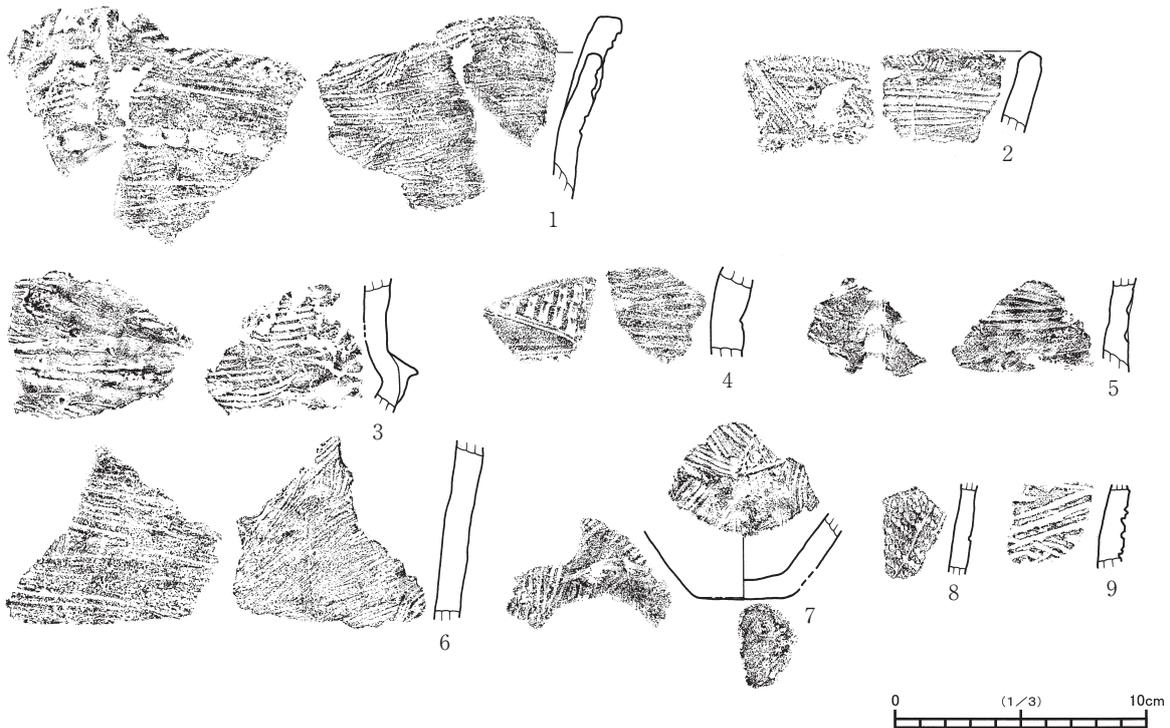


セクション位置：A-A'

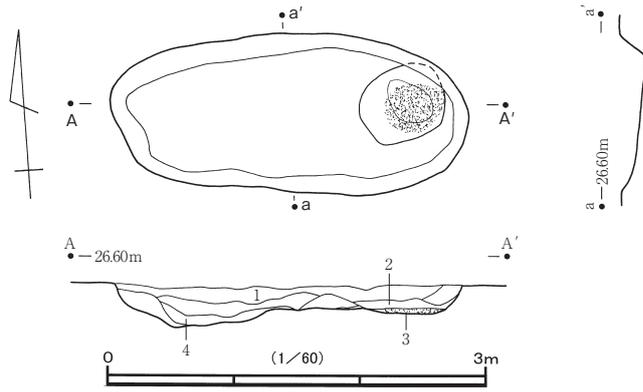
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色				
2	黒褐色				
3	黒褐色				
4	暗黒褐色				
5	暗黒色	若干の褐色土			
6	暗茶色				
7	黒褐色				
8	暗茶色				



(316号)



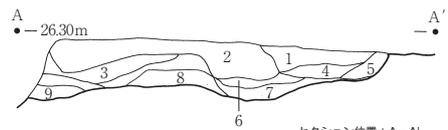
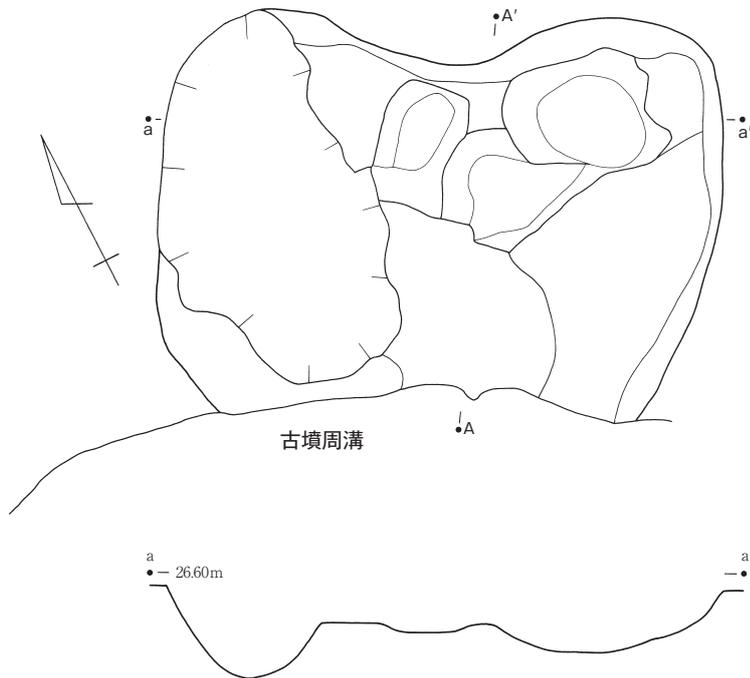
第482図 315・316号遺構実測図および出土遺物実測図



セクション位置：A-A'

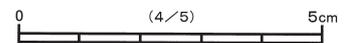
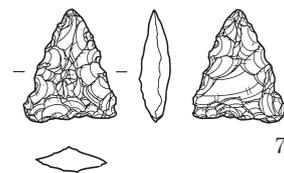
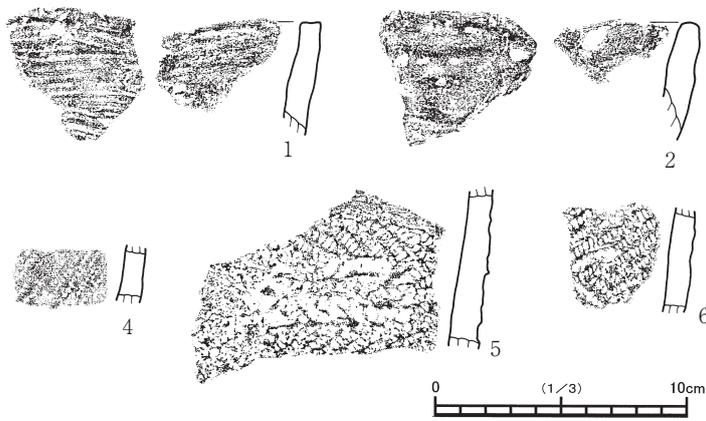
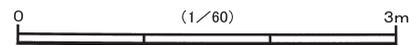
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色				
2		若干の焼土			
3					焼土
4	暗褐色				

第483図 317号遺構実測図



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	褐色土ブロック			
2	黒褐色	テフラブロック			
3	暗黒褐色	ロームブロック			
4	黒褐色	多量のローム			
5	暗褐色				
6	黒褐色				
7	暗茶色				
8	暗黄色				
9	暗茶褐色	ロームブロック			



第484図 318号遺構実測図および出土遺物実測図

チャートの剥片1点がある。土器は、9点・203g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を317号遺構の帰属時期とみる。ただし、図示できる資料はなかった。

318号遺構

【検出位置】 セ28区H10-11・12

【種別】 竪穴状遺構

【規模ほか】 長軸4.40m・短軸3.13m・深さ56cm。形状は不整形（第484図）。

【覆土】 黒褐色土を主体とする。ロームブロックを含む。

【重複関係】 古墳周溝との重複により南側の一部を欠失する。また後世のカクランにより西側でも壁面や基底面の一部が失われている。

【出土遺物】 69点・3,145gの礫および礫石器が出土している。このうち98.5%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石鏃1点、石核1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、125点・1,755g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ86%あり、当該時期を318号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第484図1～6に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。4は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、5・6は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。出土石器のうち主なものを、第484図7に示した。最大長18.2mmを測るチャート製の石鏃である。

319号遺構

【検出位置】 セ28区H11-02

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.84m・短軸1.26m・深さ28cm。燃焼面1箇所（第485図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。

【出土遺物】 被熱した2点・283gの礫が出土している。土器は、7点・108g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を319号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、一括扱いのものを第485図1に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

320号遺構

【検出位置】 セ28区H11-04・08

【種別】 炉穴

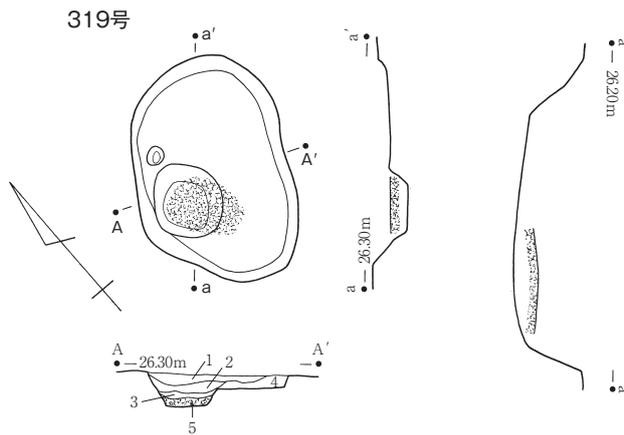
【規模ほか】 長軸2.50m・短軸1.15m・深さ54cm。主軸方向 152°。燃焼面1箇所（第485図）。

出土遺物がないため、遺構の詳細時期は不明。

321号遺構

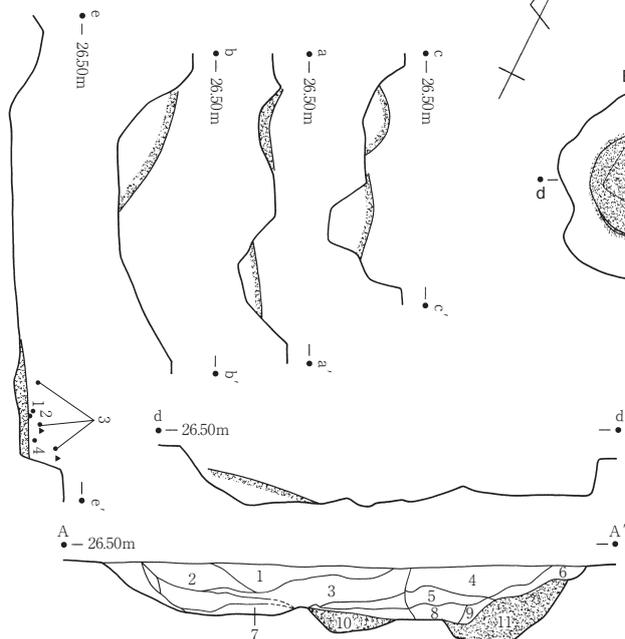
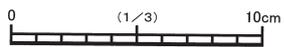
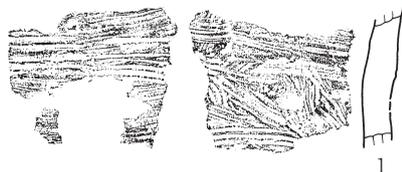
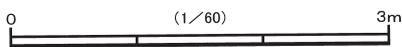
【検出位置】 セ28区H11-09・10・13・14

【種別】 炉穴



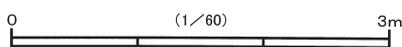
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色				
2	暗褐色	多量の焼土			
3	暗赤褐色	若干の焼土			
4	暗黒茶褐色				
5					焼土

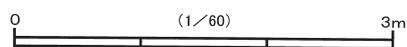
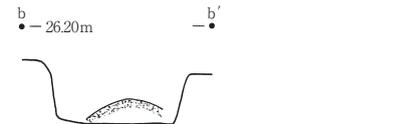
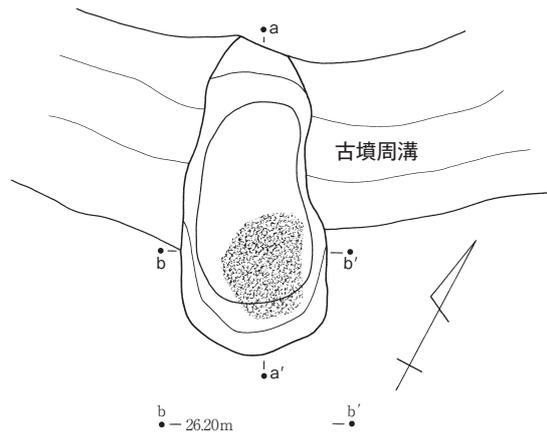


セクション位置：A-A'

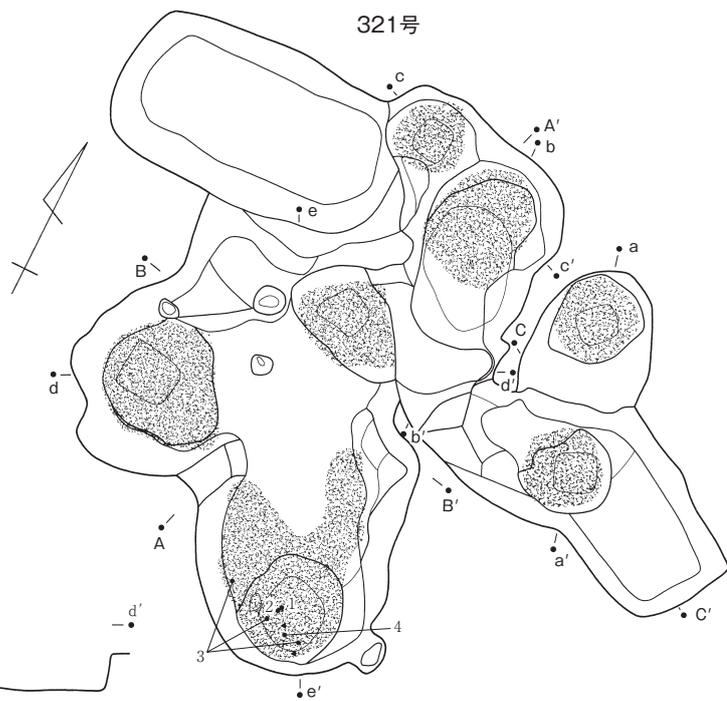
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色				
2	暗褐色				
3	暗黒色				
4	暗黒褐色				
5	暗褐色				
6		焼土			
7		焼土			
8	暗茶色				
9		焼土			
10					焼土
11					焼土



320号

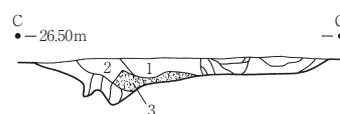


321号



セクション位置：B-B'

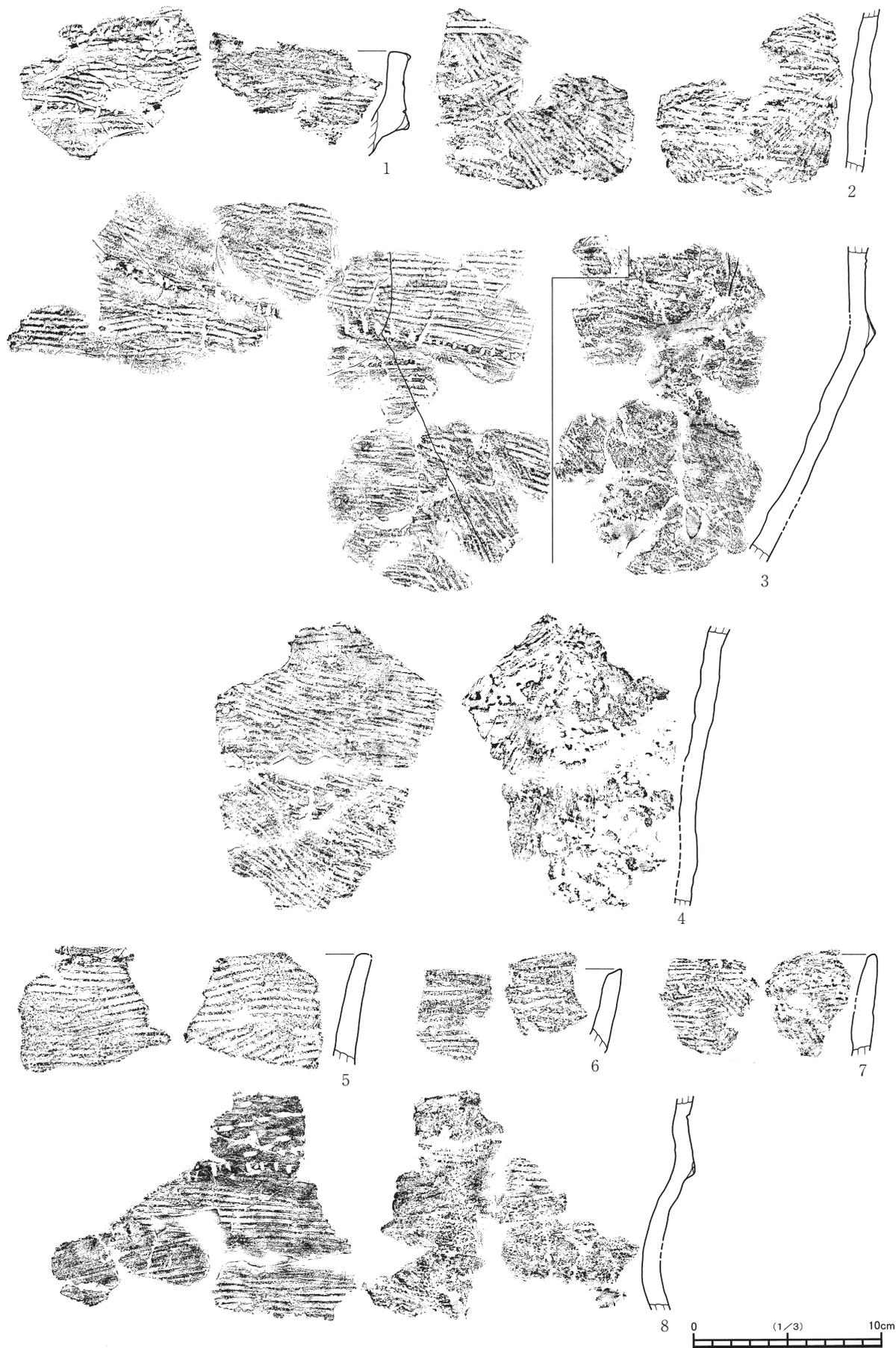
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色				
2	暗茶褐色	多量のローム			
3	暗黒褐色				
4		焼土			
5	暗黄色				



セクション位置：C-C'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ロームブロック			
2		焼土			
3					焼土

第485図 319・320・321号遺構実測図および出土遺物実測図



第486图 321号遺構出土遺物実測図(1)

【規模ほか】 長軸4.56m・短軸3.36m・深さ65cm。燃焼面7箇所。形状はアメーバ状（第485図）。

【覆土】 暗黒褐色土・黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 73点・2,429gの礫および礫石器が出土している。このうち98.8%に被熱のあとがみられる。石器は、黒曜石の剥片1点がある。土器は、93点・2,091g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、南端の燃焼面上部にややまとまって出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を321号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第486図1～4に、覆土一括扱いのものを第486図5～8・第487図9～18に示した。1・5～7は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2～4・8～16は胴部の破片である。3は現存器高167mm・胴部最大径259mmを測る条痕文系深鉢形土器で、楕円刺突文を付す横位隆帯が一条みられる。外面は横・斜方向、内面は斜方向の条痕が施される。17・18は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。

322号遺構

【検出位置】 セ28区H11-12

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.14m・短軸1.36m・深さ48cm。燃焼面2箇所。形状はアメーバ状（第489図）。

【出土遺物】 5点・379gの礫および礫石器が出土している。このうち32.7%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点が出土している。土器は、20点・262g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を322号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第489図1～4に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2～3は胴部の破片である。4は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第489図5に示した。砂岩製磨石である。

323号遺構

【検出位置】 セ28区H11-11・12・15・16

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸5.69m・短軸4.25m・深さ79cm。形状は不整形（第489図）。

【重複関係】 古墳主体部との重複により、また後世のカクランにより壁面や基底面の一部が失われている。

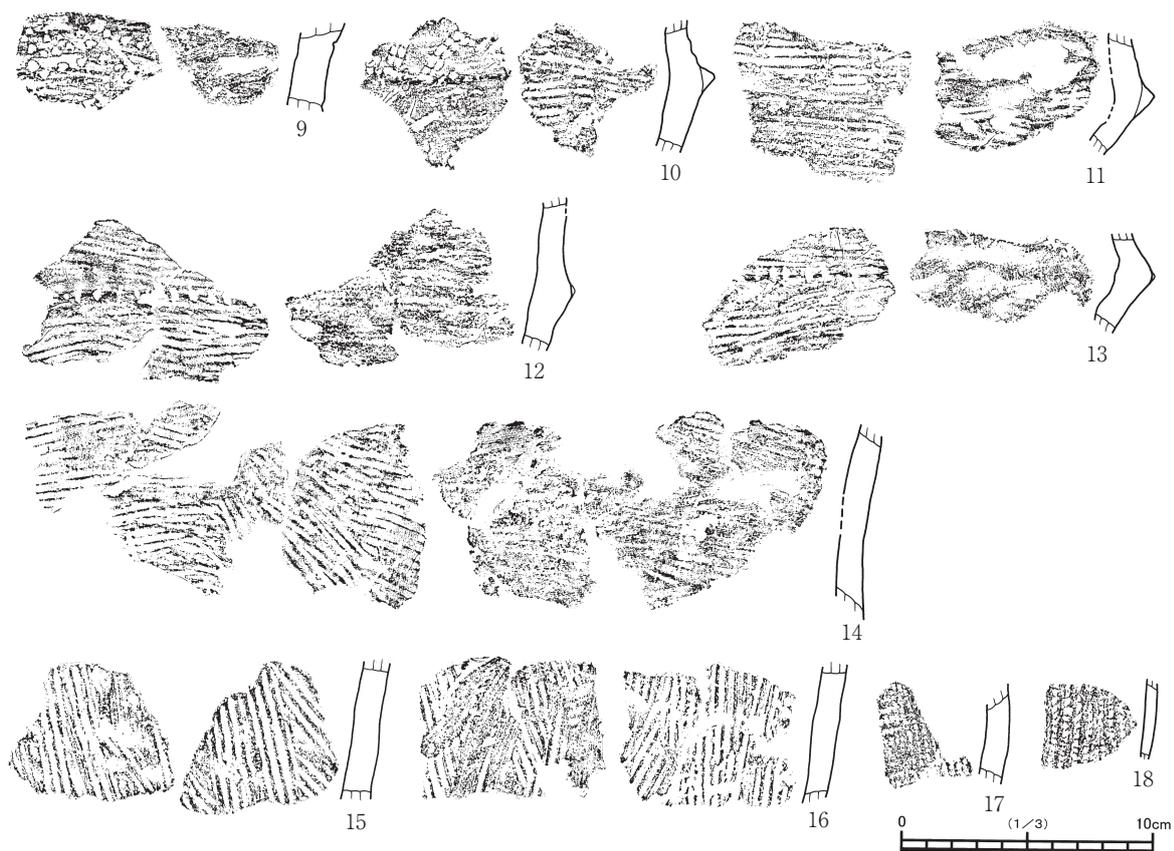
【出土遺物】 60点・2,808gの礫が出土している。このすべてに被熱のあとがみられる。土器は、41点・777g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を323号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第489図6・7に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

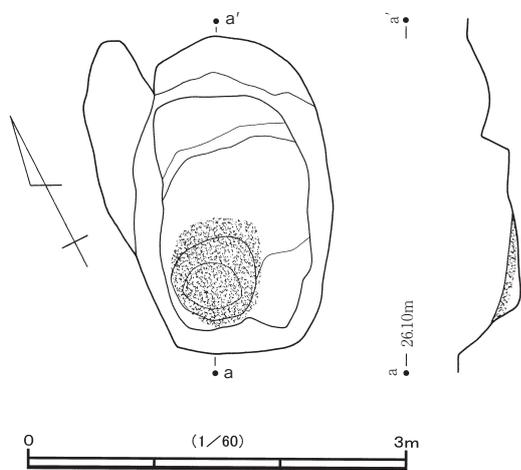
324号遺構

【検出位置】 セ28区I11-08・12、H12-05・09

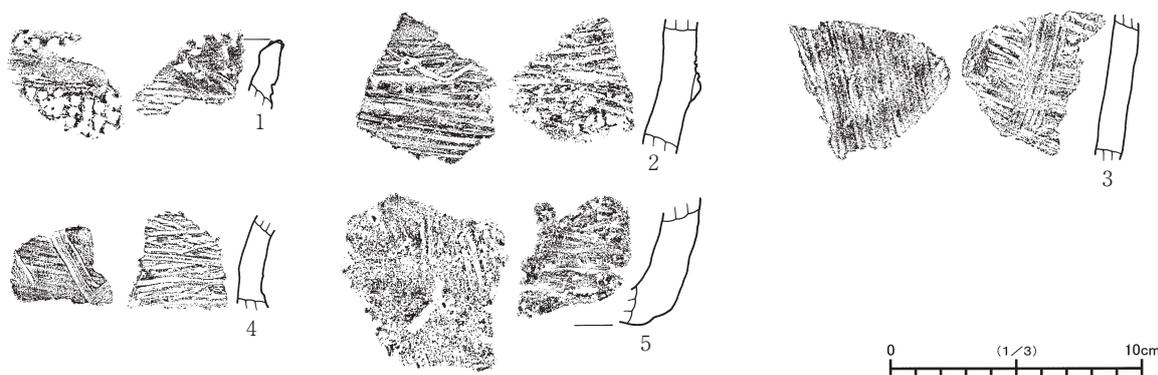
【種別】 炉穴



第487図 321号遺構出土遺物実測図(2)

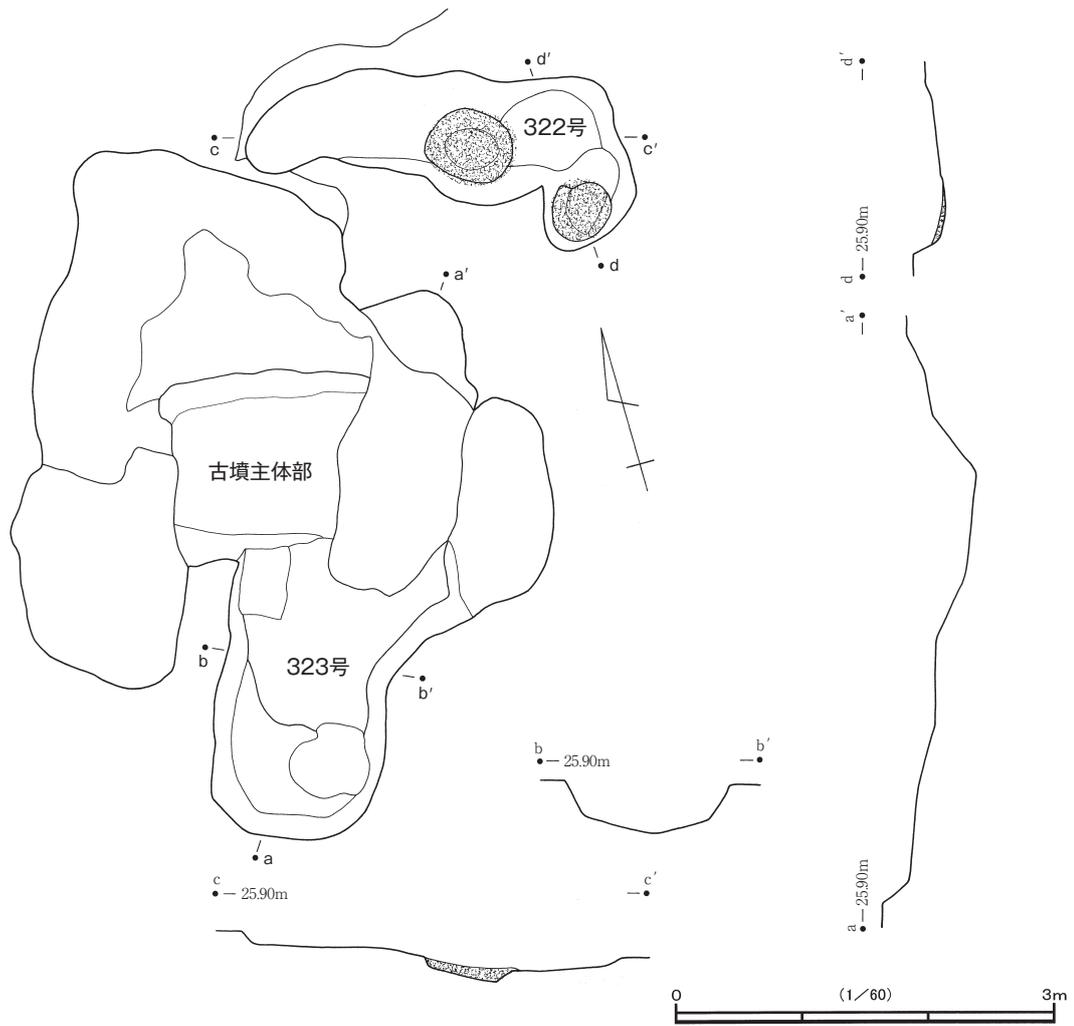


0 (1/60) 3m

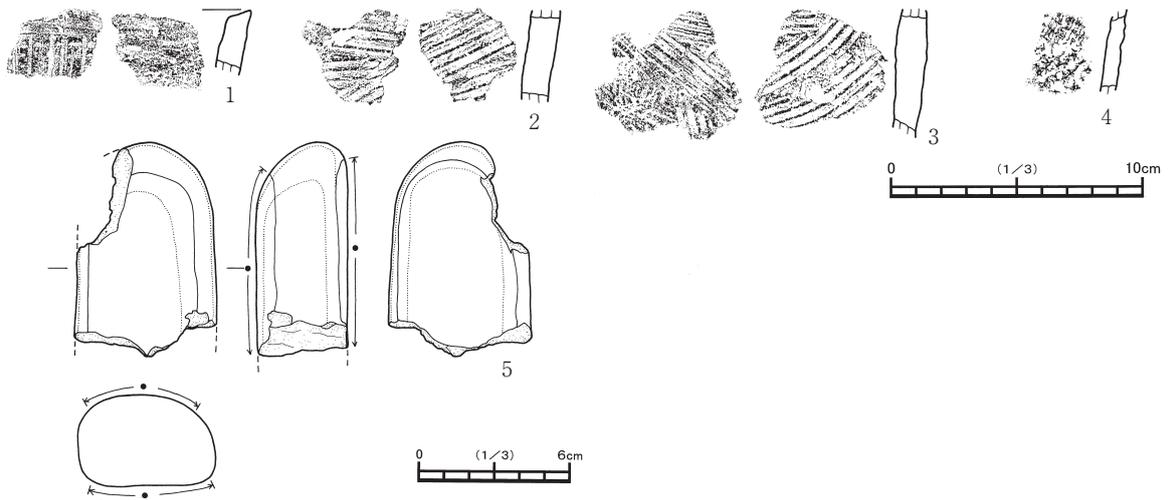


0 (1/3) 10cm

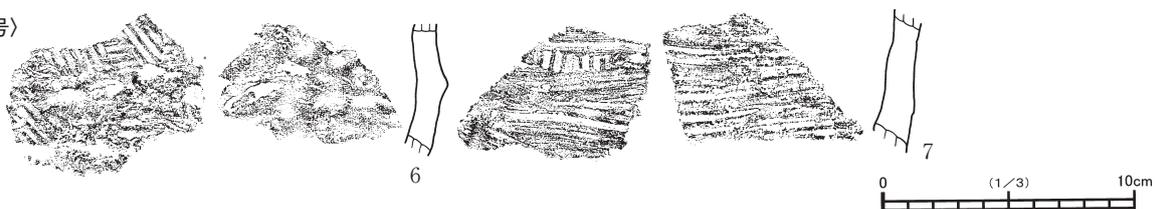
第488図 325号遺構実測図および出土遺物実測図



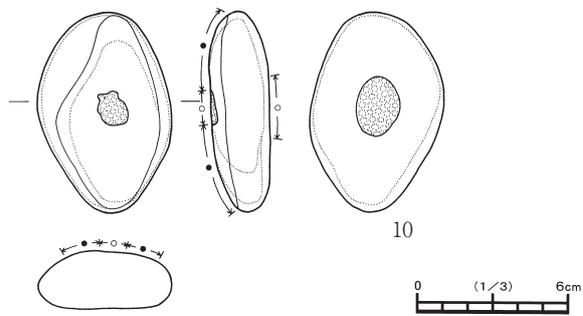
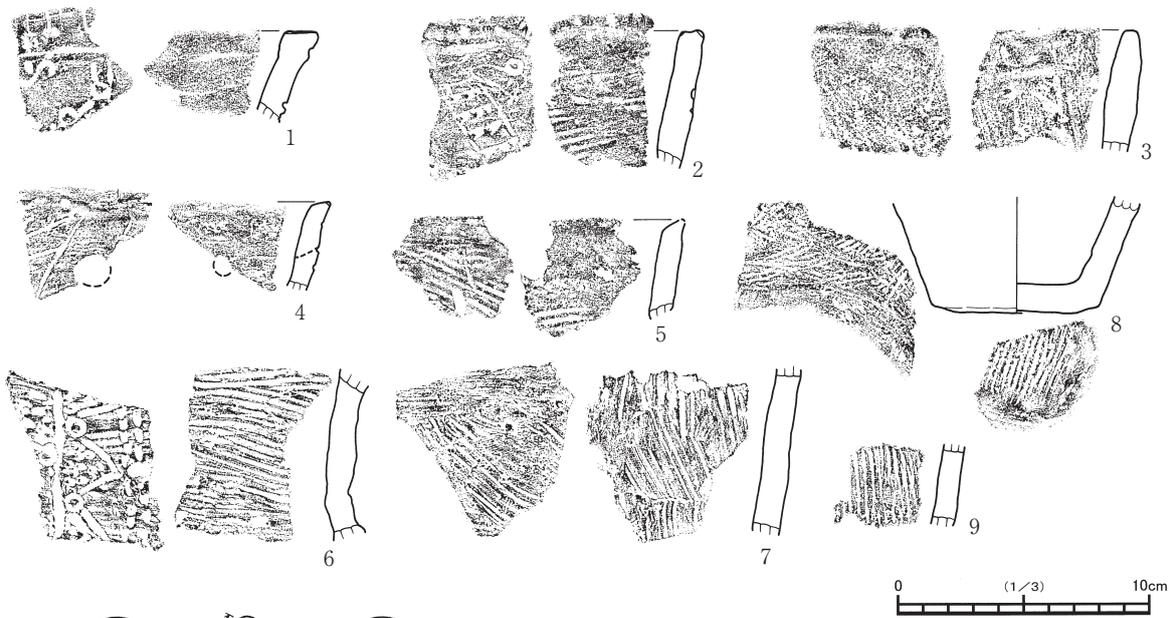
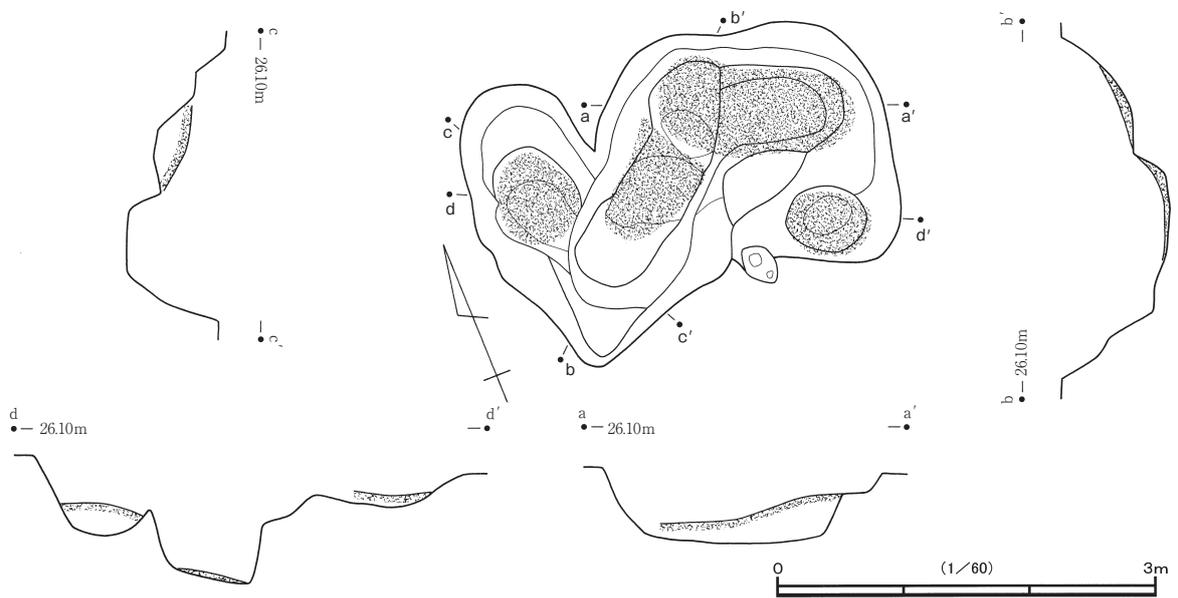
(322号)



(323号)



第489図 322・323号遺構実測図および出土遺物実測図



第490図 324号遺構実測図および出土遺物実測図

【規模ほか】 長軸3.33m・短軸2.34m・深さ101cm。燃焼面4箇所。形状はアメーバ状（第490図）。

【出土遺物】 25点・989gの礫および礫石器が出土している。このうち85.5%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石・敲石1点が出土している。土器は、59点・1,289g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を324号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第490図1～9に示した。1～5は条痕文系深鉢形土器の口縁部、6・7は胴部、8は底部の破片である。9は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第490図10に示した。最大長79mmを測る輝石安山岩製の磨石・敲石である。

325号遺構

【検出位置】 セ28区H11-12、H12-09

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.51m・短軸1.56m・深さ55cm。主軸方向 207°。燃焼面1箇所（第488図）。

【出土遺物】 10点・657gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、17点・396g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を325号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第488図1～5に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2～4は胴部、5は底部の破片である。

326号遺構

【検出位置】 セ28区H11-14、I11-02

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.15m・短軸2.22m・深さ96cm。燃焼面3箇所。形状はアメーバ状（第491図）。

【覆土】 暗褐色土・褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒を多く含む。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部よりに、長軸162・短軸97・厚さ48cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 10点・195gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、13点・266g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を326号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第491図1・2に、覆土一括扱いのものを第491図3～5に示した。3・4は条痕文系深鉢形土器の口縁部、1・2・5は胴部の破片である。5は沈線による格子状文・円形文、横位隆帯がみられる。内面には指頭圧痕が残る。

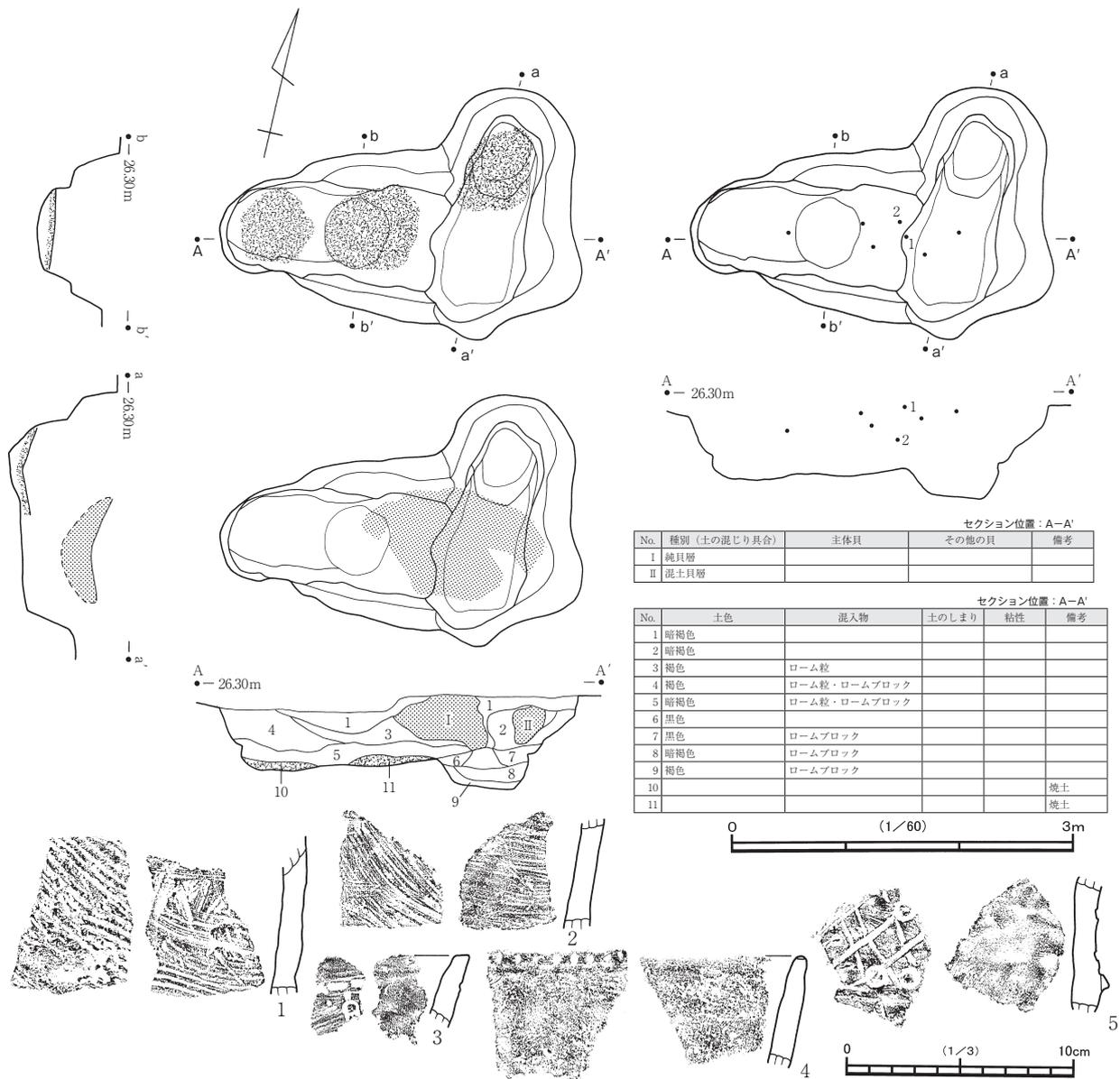
327号遺構

【検出位置】 セ28区I11-03・07

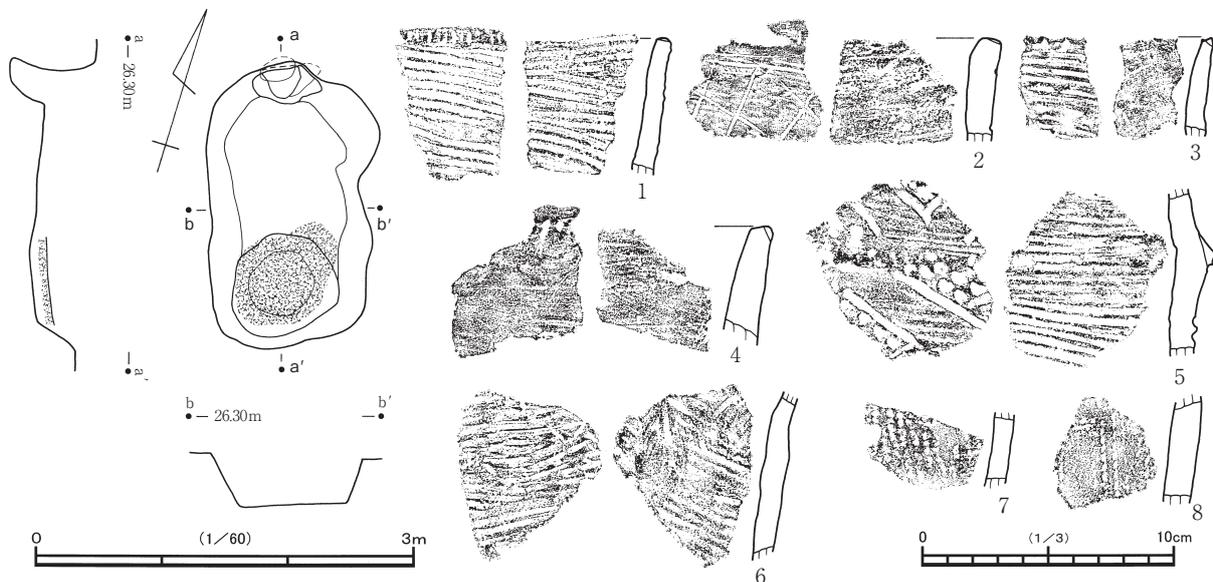
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.29m・短軸1.36m・深さ51cm。主軸方向 163°。燃焼面1箇所（第492図）。

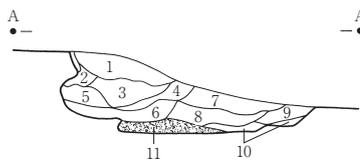
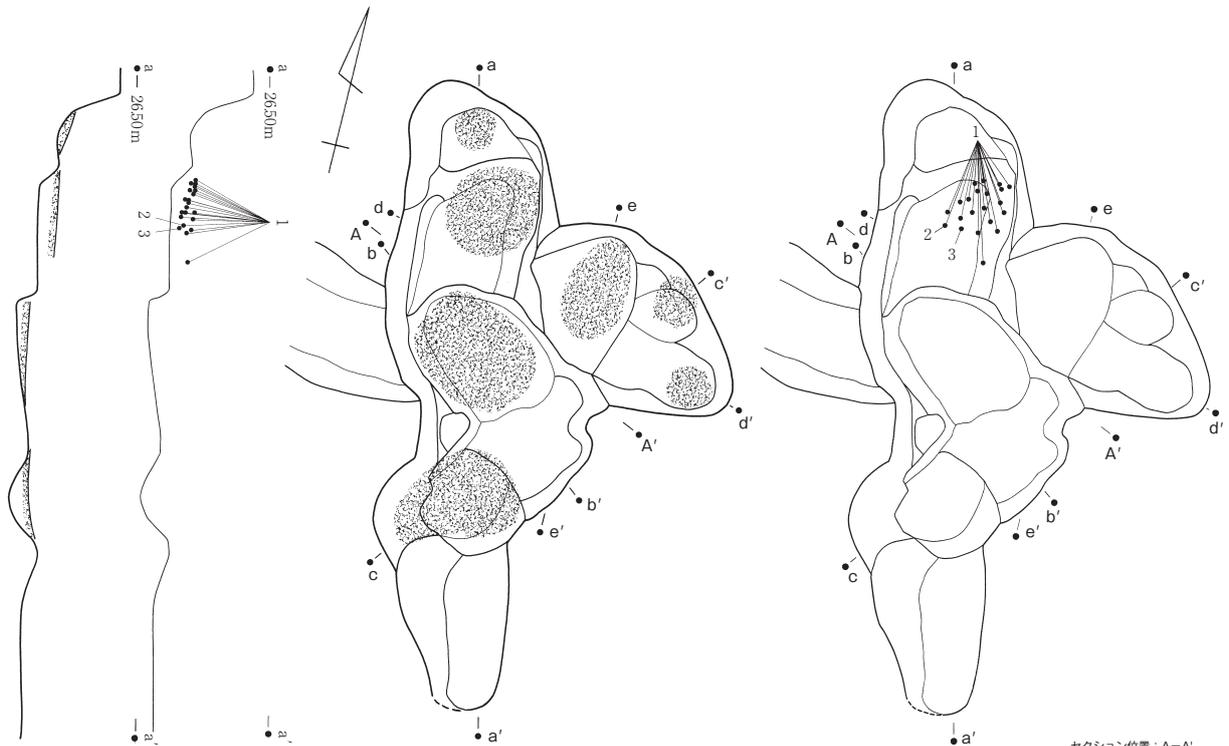
【出土遺物】 31点・1,500gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、65点・903g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ96%あ



第491図 326号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

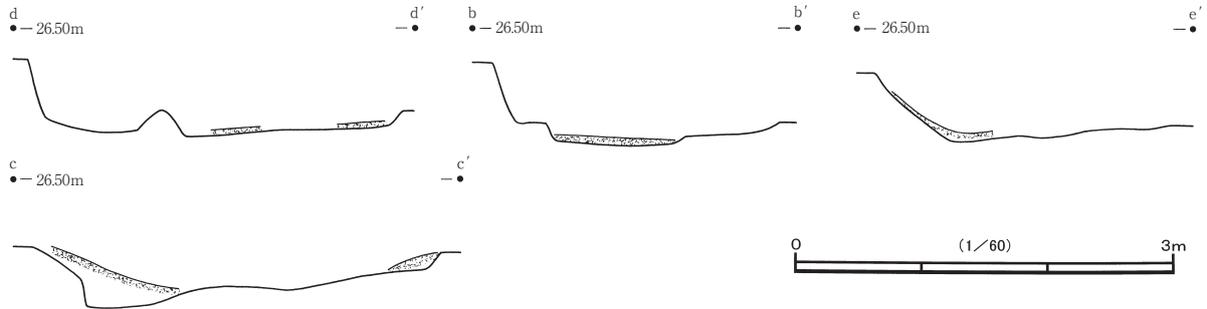


第492図 327号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色				
2	暗黒茶色				
3	暗黒褐色				
4	黒褐色	ローム粒			
5	暗茶色	暗茶色土・若干のローム粒・焼土粒			
6	暗褐色	ローム粒・褐色土粒・焼土粒			
7	暗黒褐色	暗黒褐色土粒・ローム粒・若干のロームブロック・焼土粒			
8	暗茶色	ロームブロック			
9	暗褐色	暗褐色土粒・多量のローム粒・焼土粒			
10		ロームブロック・焼土粒・褐色土粒			
11					焼土



第493図 328号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)

り、当該時期を327号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第492図1～8に示した。1～4は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5～6は胴部の破片である。7・8は捺糸文系深鉢形土器の胴部破片である。

328号遺構

【検出位置】 セ28区I11-05・09

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.73m・短軸2.85m・深さ63cm。燃焼面7箇所。形状はアメーバ状（第493図）。

【覆土】 暗黒褐色土・黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 31点・314gの礫および礫石器が出土している。このうち74.5%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石・敲石1点が出土している。土器は、69点・2,772g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は北側燃焼面上部からややまとまって出土している。土器のうちわけは、捺糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ97%あり、当該時期を328号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第493図1～3に、覆土一括扱いのものを第494図4～12に示した。1は推定口径384mm・現存器高263mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。横位隆帯が二条めぐる。また口縁部下に縦位の隆帯もみられる。外面には横・斜方向、内面には横・斜・縦方向の条痕が施され、また口唇部にも縦位・斜位の条痕がおよぶ。2・4～6は条痕文系深鉢形土器の口縁部、7～9は胴部の破片である。3・10～12は捺糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第494図13に示した。最大長60mmを測る輝石安山岩製の磨石・敲石である。

329号遺構

【検出位置】 セ28区I11-09・10

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.61m・短軸2.32m・深さ80cm。燃焼面2箇所。形状はアメーバ状（第495図）。

【覆土】 黒褐色土・暗黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の北側中心部に、長軸82・短軸66・厚さ6cmほどの規模で形成されていた。

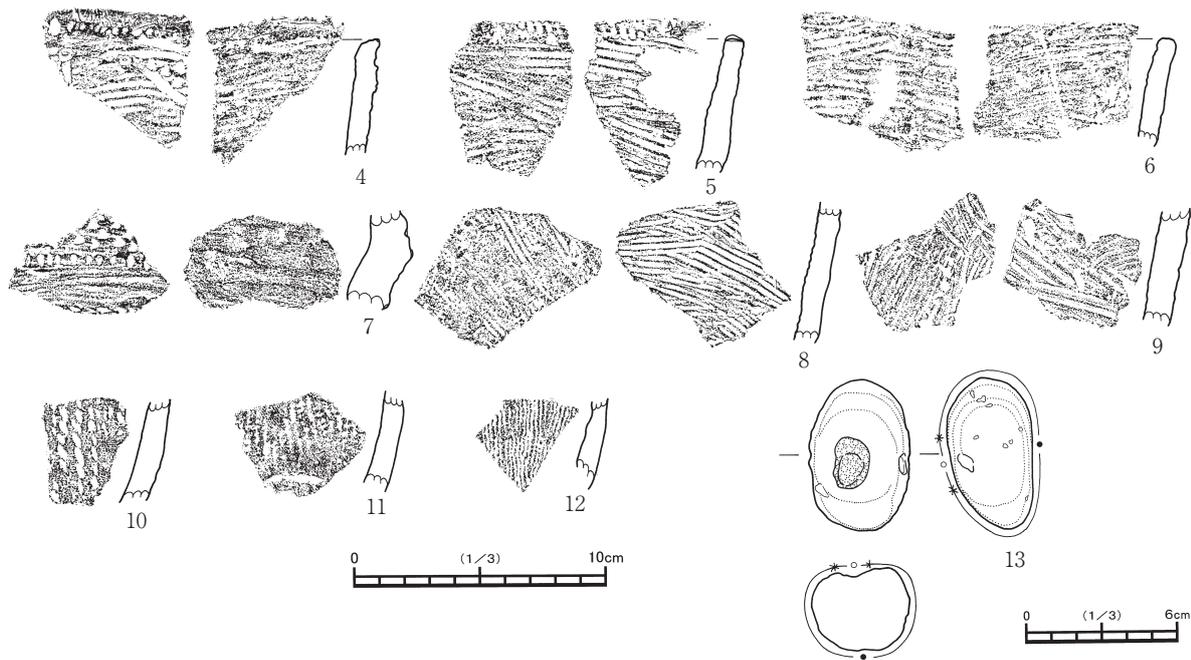
【出土遺物】 88点・3,734gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、146点・3,089g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は北側燃焼面上部、貝層中からややまとまって出土している。土器のうちわけは、捺糸文系・条痕文系・曾谷式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の98.3%あり、当該時期を329号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第496図1～3に、覆土一括扱いのものを第496図4～15に示した。1・4～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2・3・10～12は胴部、13は平底の底部破片である。15は曾谷式深鉢形土器の口縁部破片である。

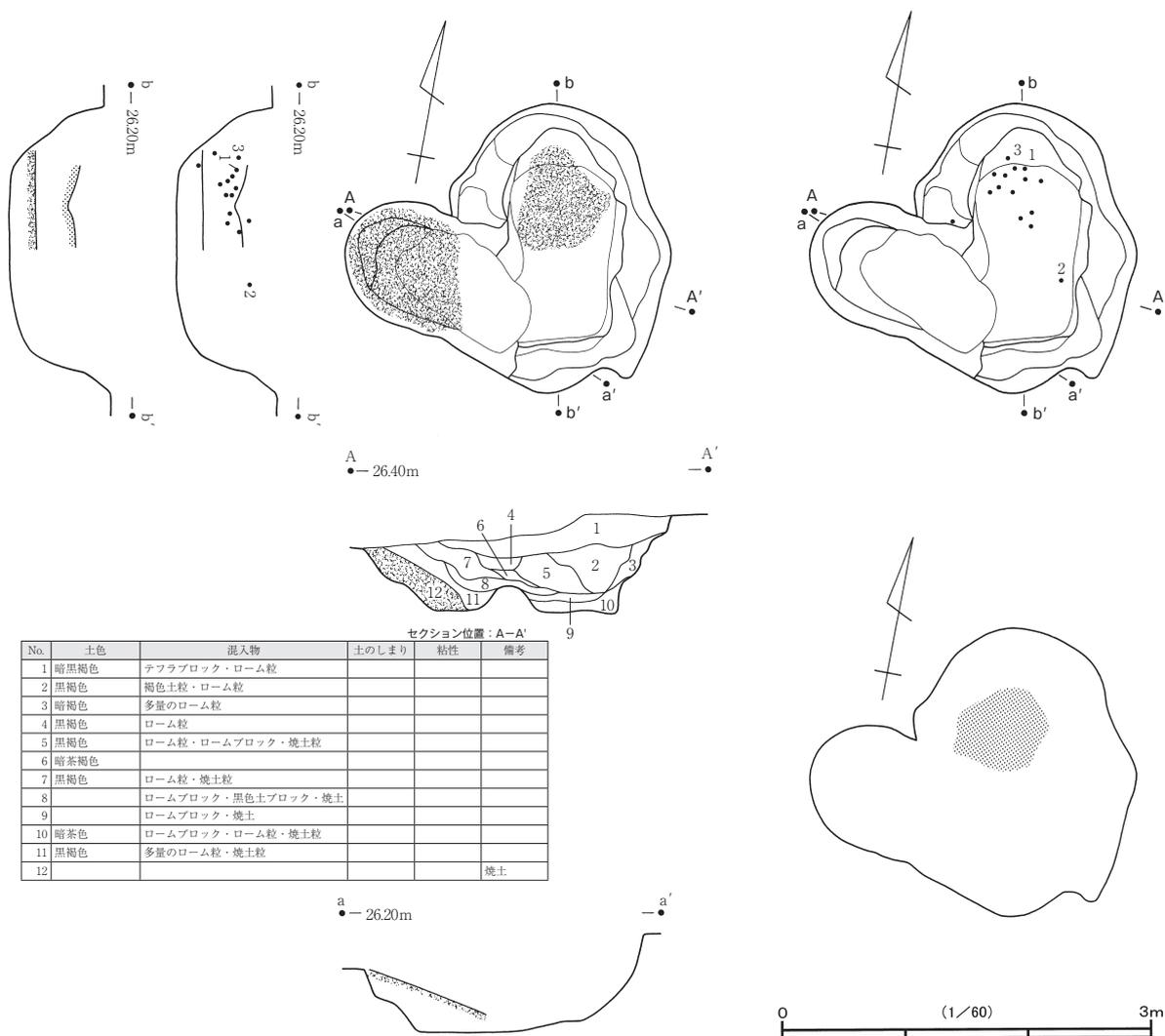
330号遺構

【検出位置】 セ28区I11-09・13

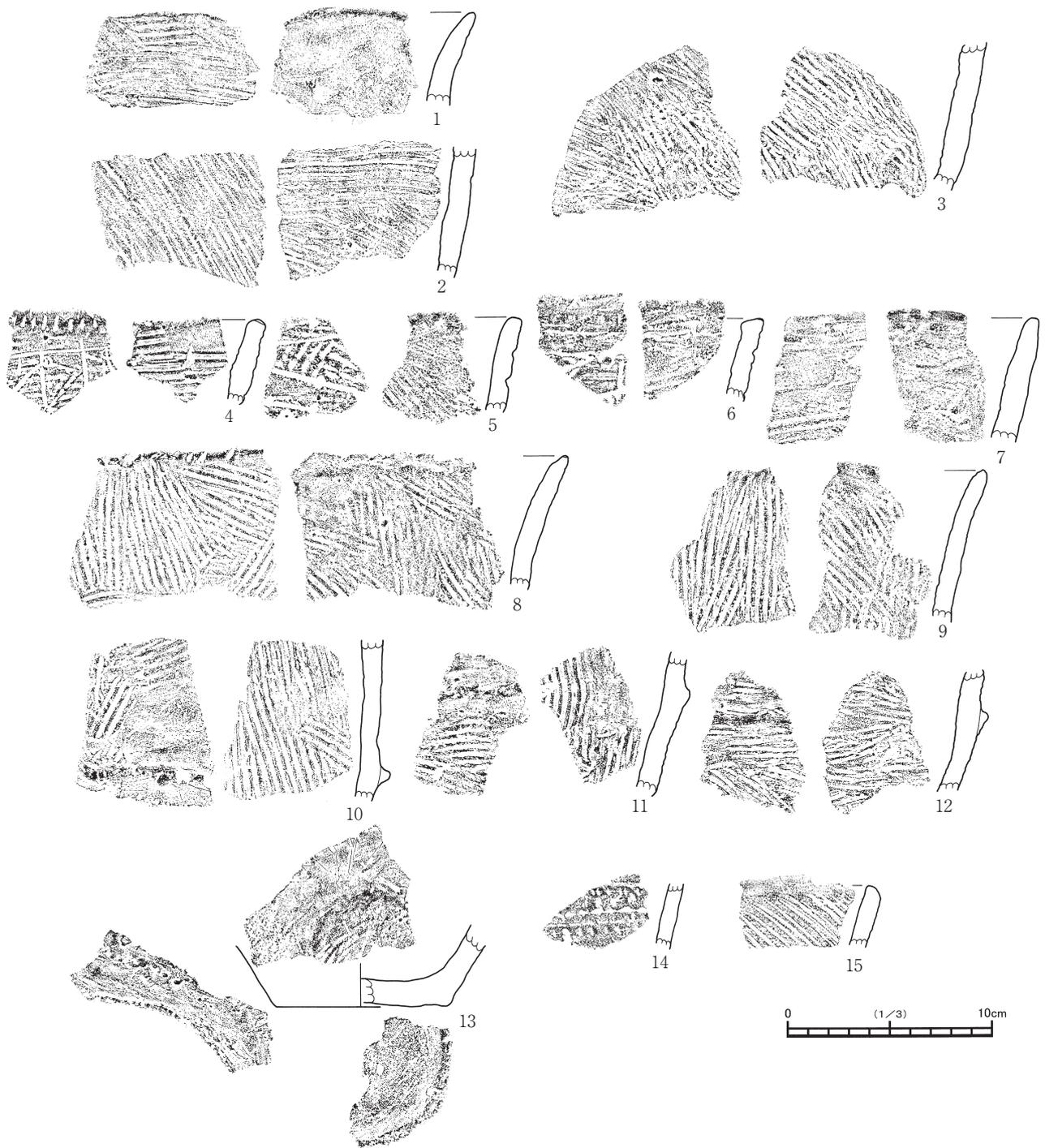
【種別】 炉穴



第494図 328号遺構出土遺物実測図(2)



第495図 329号遺構実測図・遺物出土状況図



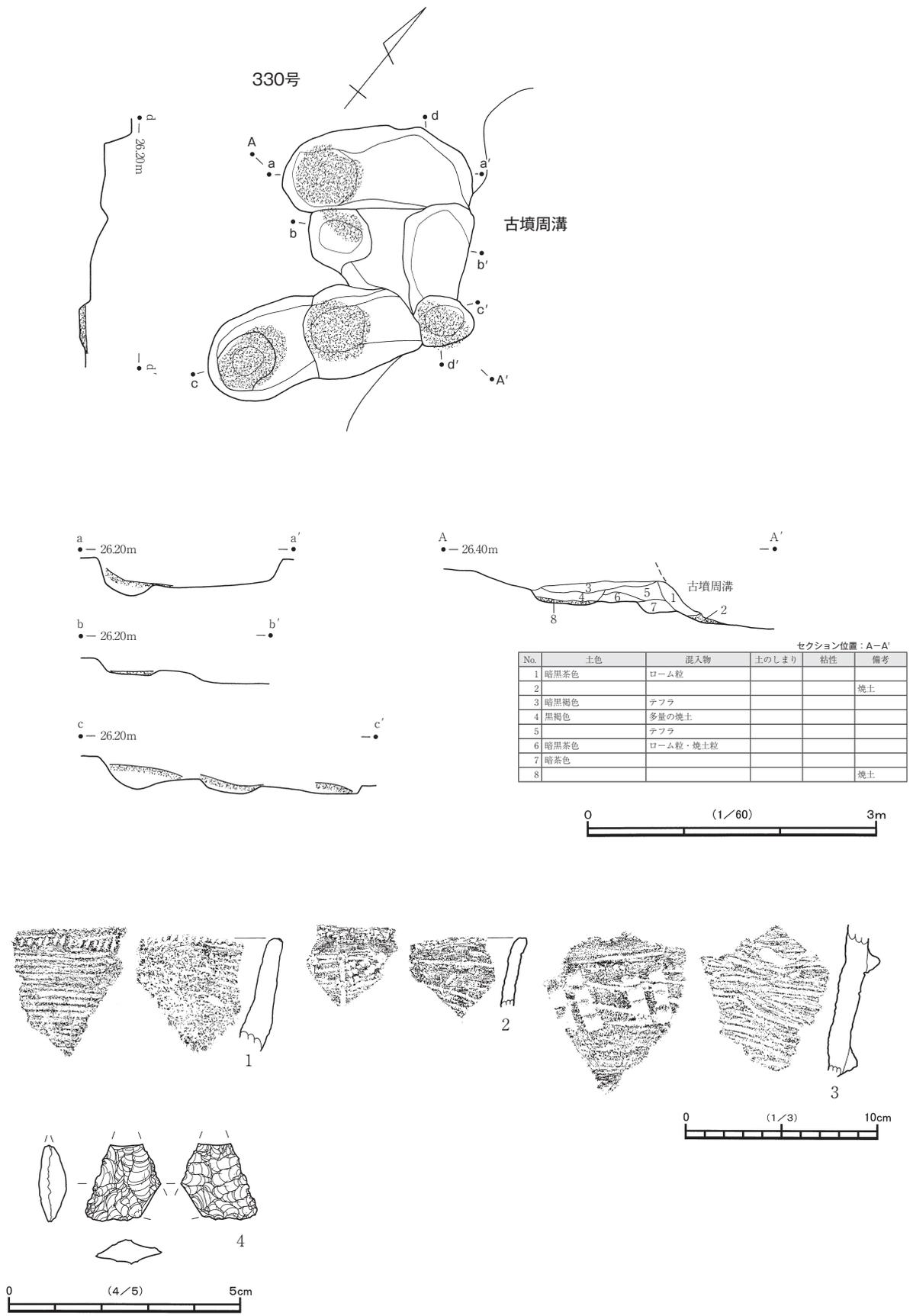
第496図 329号遺構出土遺物実測図

【規模ほか】 長軸2.76m・短軸2.51m・深さ54cm。焼面5箇所。形状はアメーバ状（第497図）。

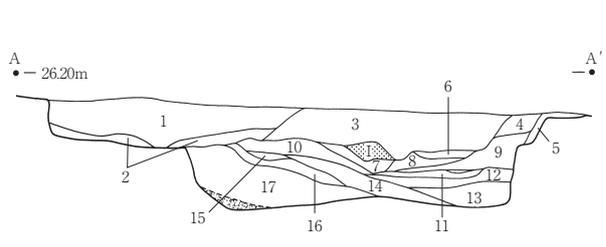
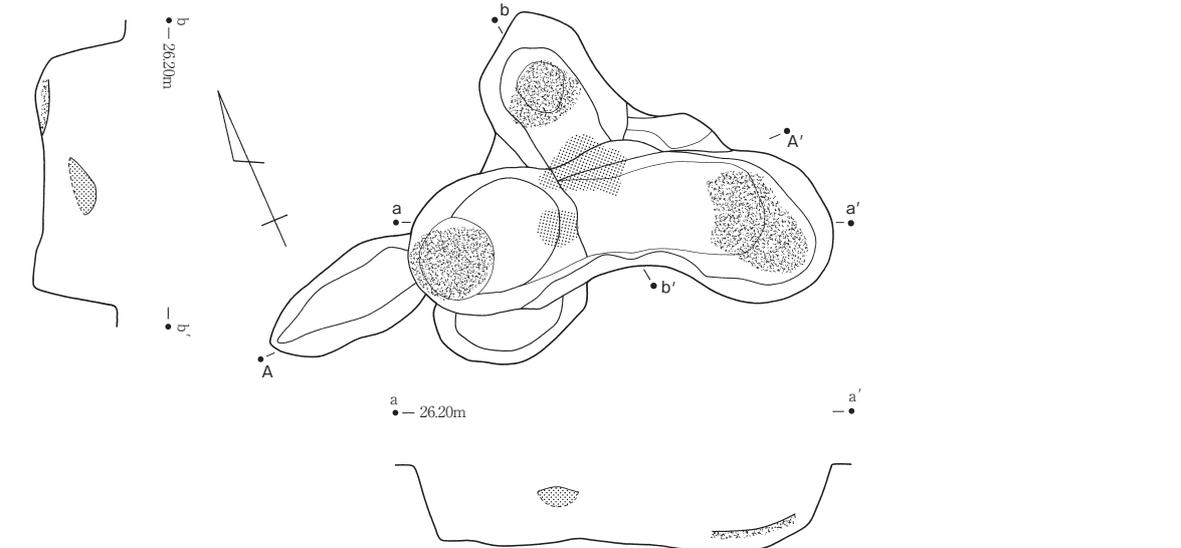
【覆土】 暗黒褐色土・暗黒茶色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【重複関係】 古墳周溝との重複により、東側の一部を欠失する。

【出土遺物】 30点・936gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、石鏃1点が出土している。土器は、48点・598g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系



第497図 330号遺構実測図および出土遺物実測図

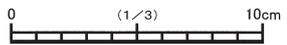
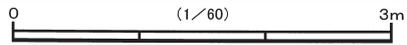


セクション位置：A-A'

No.	種別 (土の混じり具合)	主体貝	その他の貝	備考
1	混土貝層	マテガイ		

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色				
2	暗茶色				
3	暗褐色	多量のローム粒			
4	暗黒褐色				
5	暗黒褐色				
6	黒褐色				
7	暗黒褐色	黒色土ブロック			
8	暗茶褐色	ロームブロック・焼土			
9	黒色	多量のローム粒			
10	暗黒褐色				
11		ロームブロック・焼土			
12	暗茶色				
13	暗黄色	ローム粒・ロームブロック・多量の焼土粒			
14	黒色	若干の褐色土・ローム粒			
15	暗褐色				
16	暗茶色	ローム粒・褐色土粒			
17		暗黄色土粒・若干の焼土			



第498図 331号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



第499图 331号遺構出土遺物実測図(2)

のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を330号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第497図1～3に示した。1・2は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3は胴部破片である。出土石器を第497図4に示した。最大長16.5mmを測る黒曜石製石鏃である。

331号遺構

【検出位置】 セ28区I11-12・16

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.44m・短軸2.27m・深さ76cm。燃焼面3箇所。形状はアメーバ状（第498図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部よりに2箇所、長軸94・短軸62・厚さ18cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 26点・1,435gの礫および礫石器が出土している。このうち97.2%に被熱のあとがみられる。石器は、両極石核1点、このほか黒曜石・チャートなどの剥片3点がある。土器は、250点・4,361g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を331号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第498図1～8・第499図9～20に示した。1～7は条痕文系深鉢形土器の口縁部、8～16は胴部、17・18は底部の破片である。19・20は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第499図21に示した。最大長44.0mmを測るチャート製の両極石核である。

332号遺構

【検出位置】 セ28区I11-16

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.60m・短軸2.35m・深さ70cm。燃焼面2箇所。形状はアメーバ状（第500図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により、南側の一部を欠失する。

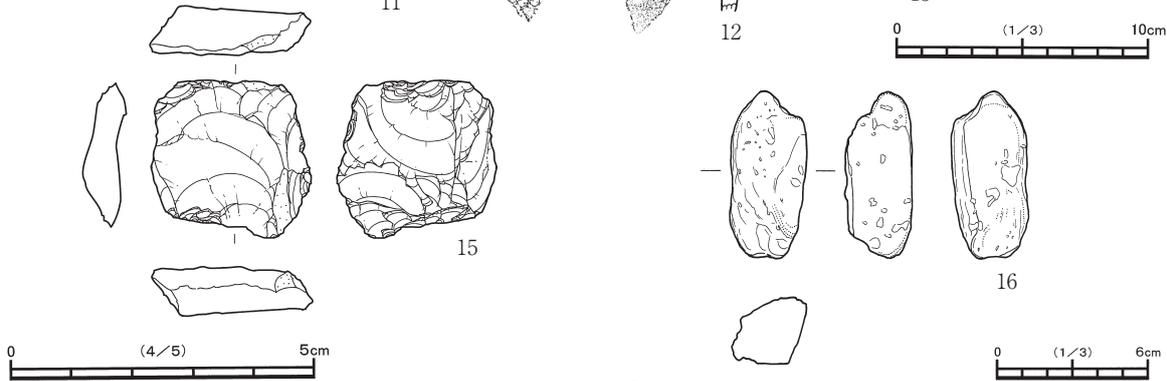
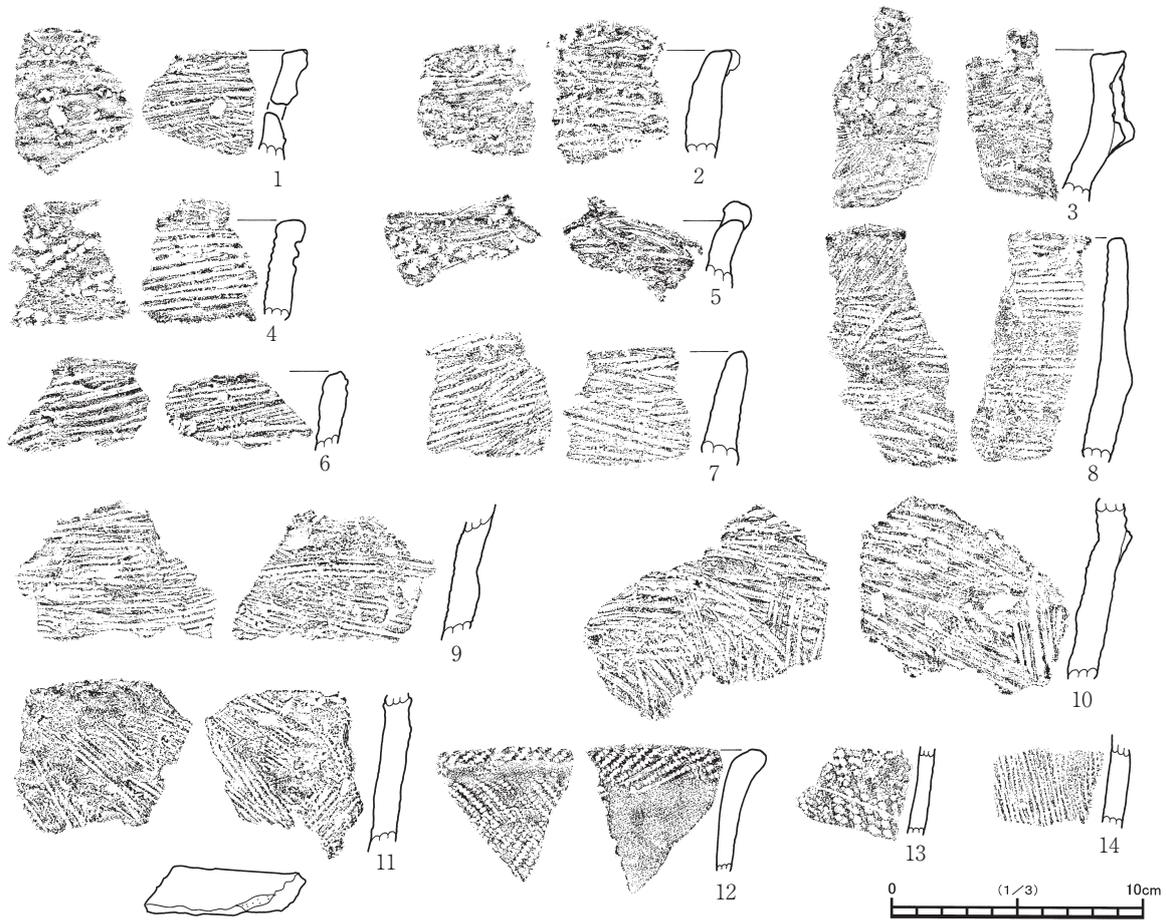
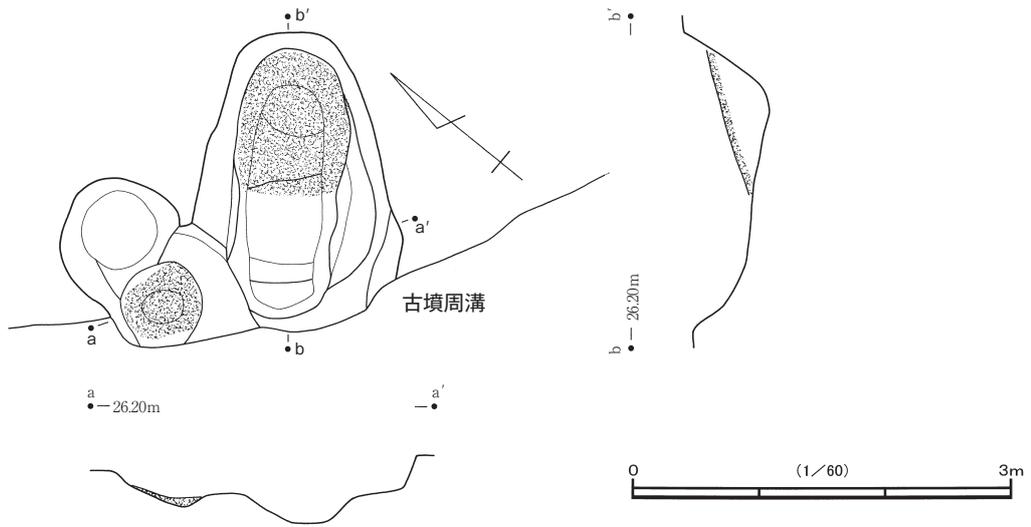
【出土遺物】 70点・2,722gの礫および礫石器が出土している。このうち99.6%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、楔形石器1点、軽石製品1点である。土器は、160点・2,427g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ97%あり、当該時期を332号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第500図1～14に示した。1～8は条痕文系深鉢形土器の口縁部、9～11は胴部の破片である。12は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、13・14は胴部の破片である。出土石器を第500図15・16に示した。15は最大長26.5mmを測るチャート製の楔形石器である。16は最大長66mm・重さ10.5gを測る軽石製品である。

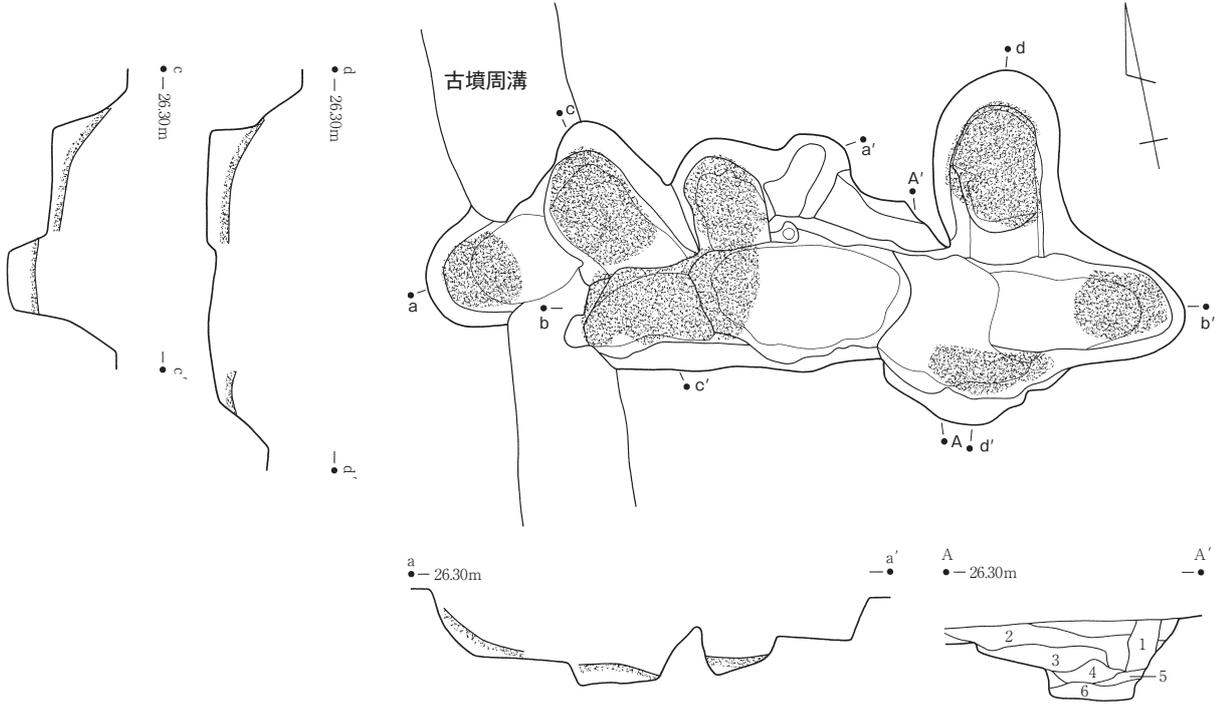
333号遺構

【検出位置】 セ28区I10-15・16、J10-04

【種別】 炉穴

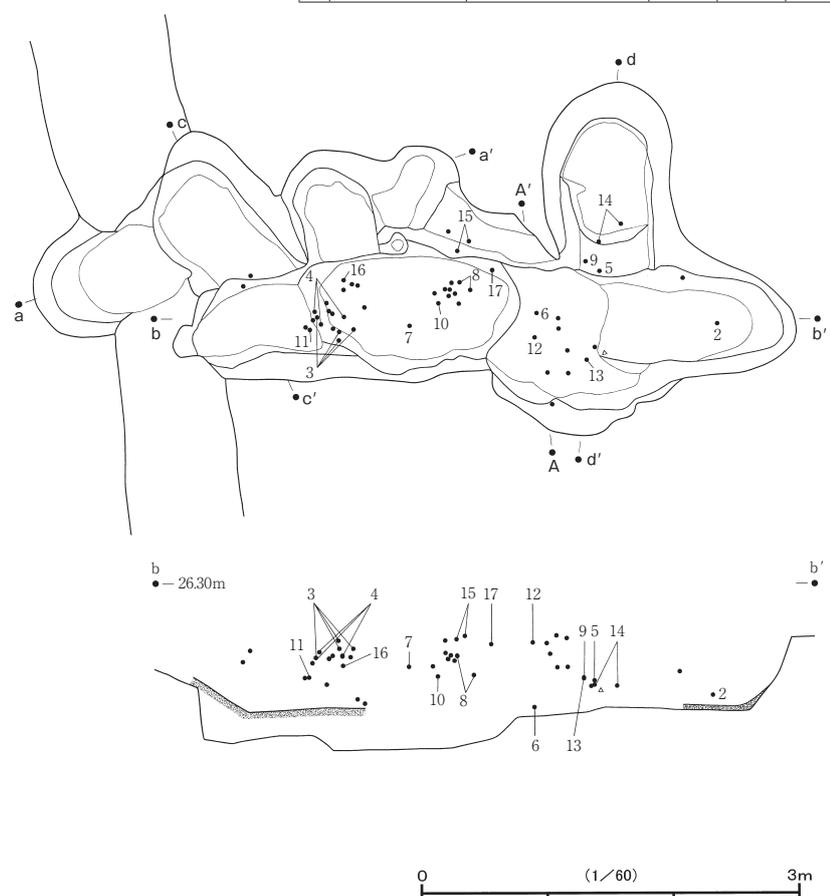


第500図 332号遺構実測図および出土遺物実測図

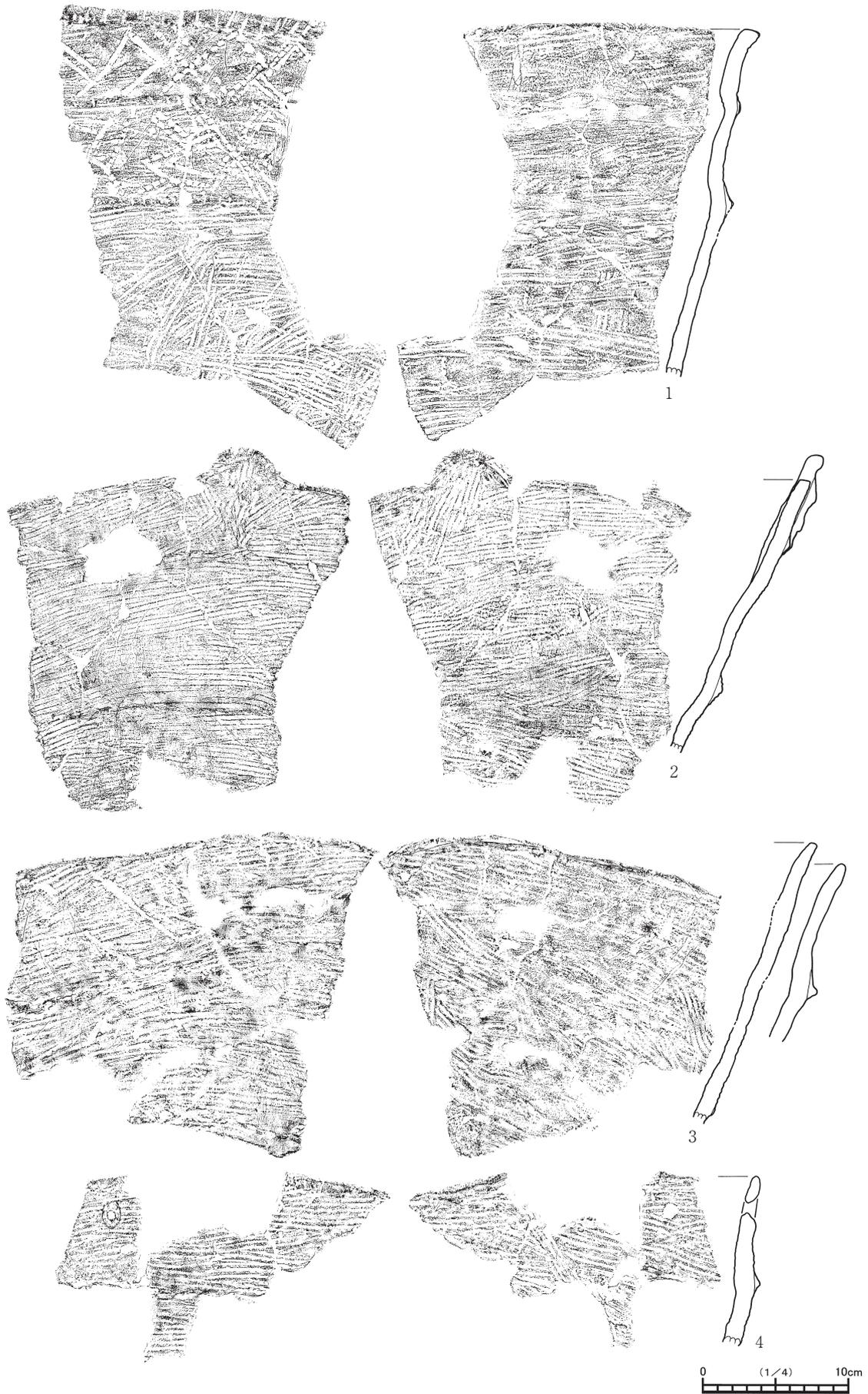


セクション位置：A-A'

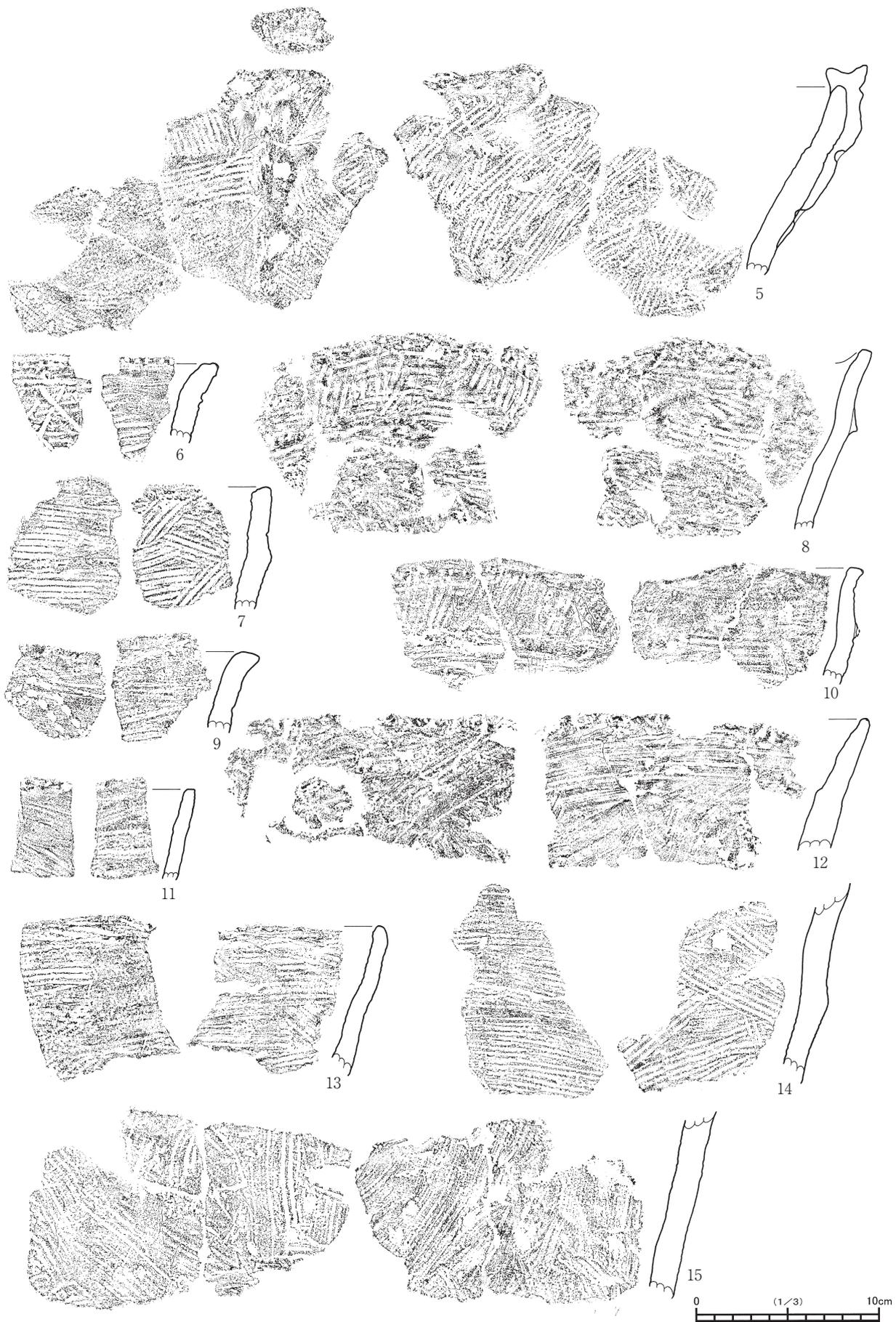
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ローム粒・若干のロームブロック			
2	褐色	ローム粒・若干の焼土塊			
3	黒褐色	ローム粒・ロームブロック・焼土			
4		ロームブロック・焼土			埋め戻し
5	暗褐色	焼土塊			
6	暗褐色	暗褐色土粒・焼土			



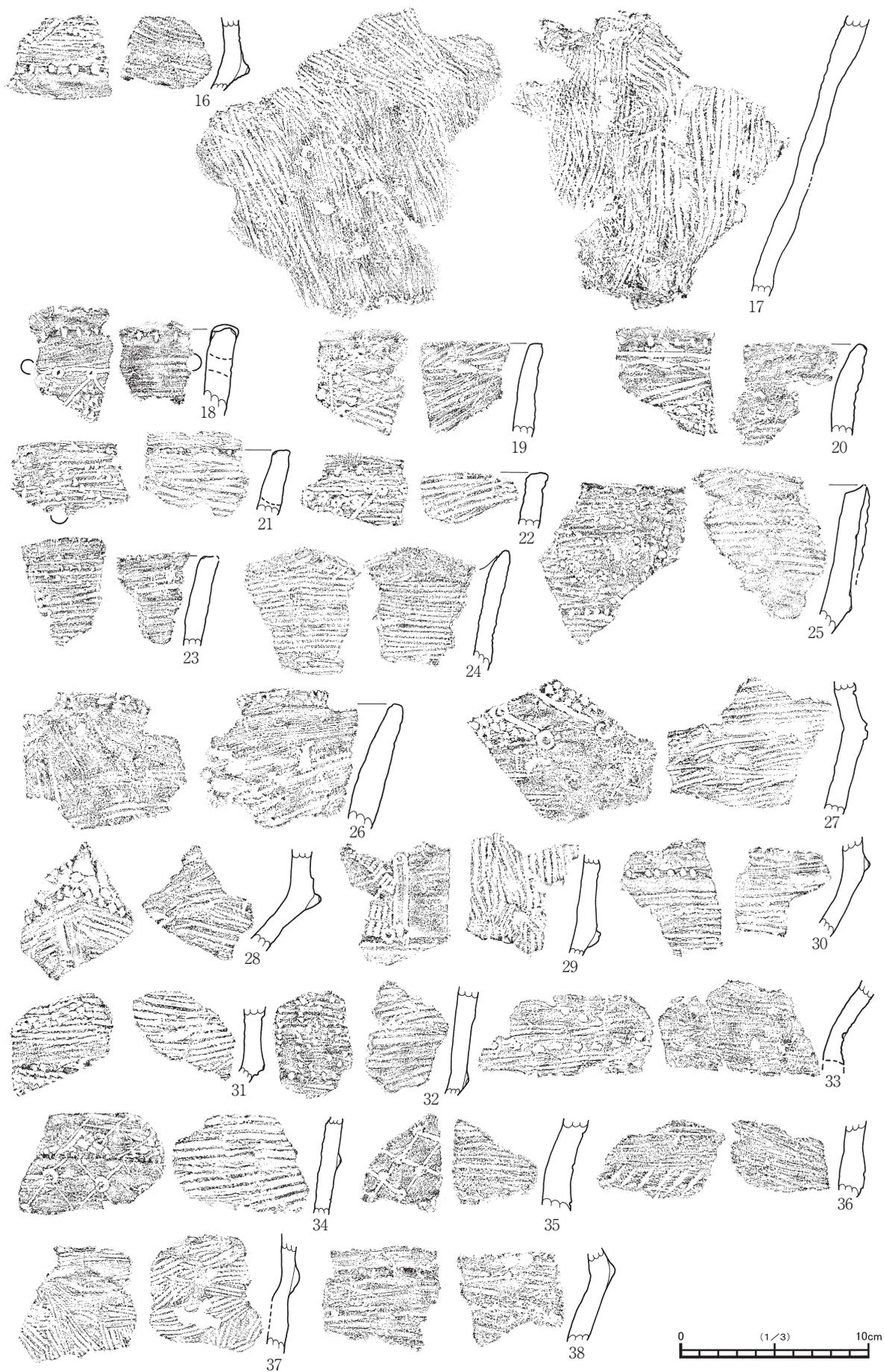
第501図 333号遺構実測図・遺物出土状況図



第502図 333号遺構出土遺物実測図(1)



第503图 333号遺構出土遺物実測図(2)



第504图 333号遺構出土遺物実測図(3)

【規模ほか】 長軸5.96m・短軸2.81m・深さ119cm。燃烧面7箇所。形状はアメーバ状（第501図）。

【覆土】 黒褐色土・褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 50点・3,182gの礫および礫石器が出土している。このうち92.6%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点、このほか黒曜石・チャートなどの剥片3点がある。土器は、555点・11,714g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺構中心部付近、覆土上層から下層まで幅広い範囲に比較的多くの遺物が出土している。土器のうちわけは、捺糸文系・条痕文系・羽状縄文系・加曾利B式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の97.6%あり、当該時期を333号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第502図1～4、第503図5～15、第504図16・17に、覆土一括扱いのものを第504図18～38、第505図39～53に示した。1～13・18～26は条痕文系深鉢形土器の口縁部、14～17・27～42は胴部、43・44は底部の破片である。1は斜位の押し引き沈線の組み合わせにより菱形基調の文様を構成する。浅いキザミを付す二条の横位隆帯をもち、口唇部には縦位の浅いキザミをめぐらせる。2は二条の横位隆帯をもち、山形の波頂部下には縦位の隆帯をもつ。これ以外は無文で、内外面には斜・横方向の条痕を施す。5は波状口縁をもつ土器で波頂部は楕円状の把手となる。この下部に大きな刺突を付す幅広の縦位隆帯がつく。45は捺糸文系深鉢形土器の口縁部、46は胴部の破片である。47～49は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。50は諸磯b式深鉢形土器の胴部、51～53は加曾利B式深鉢形粗製土器の胴部破片とみられる。出土石器を第505図54に示した。最大長63mmを測る砂岩製磨石である。

334号遺構

【検出位置】 セ28区J10-04、J11-01

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.75m・短軸1.52m・深さ85cm。燃烧面2箇所（第506図）。

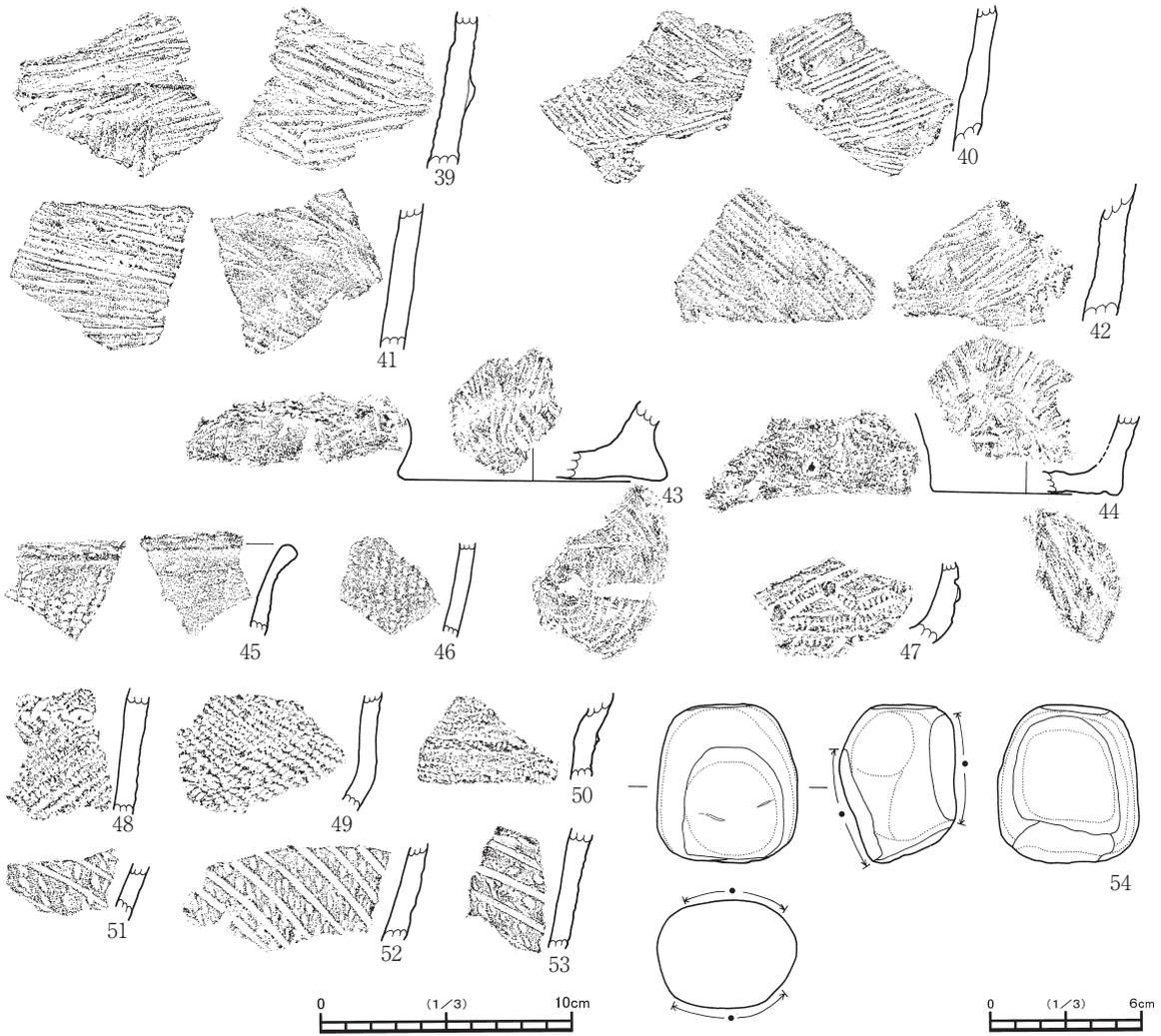
【覆土】 暗褐色土を主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部に、長軸104・短軸52・厚さ18cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 8点・1,230gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、石鏃1点、このほか黒曜石・チャートの剥片2点がある。土器は、246点・5,218g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は遺構中心部、覆土の上層から下層まで幅広い範囲に比較的多くの遺物が出土している。土器のうちわけは、捺糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の95.7%あり、当該時期を334号遺構の帰属時期とみる。

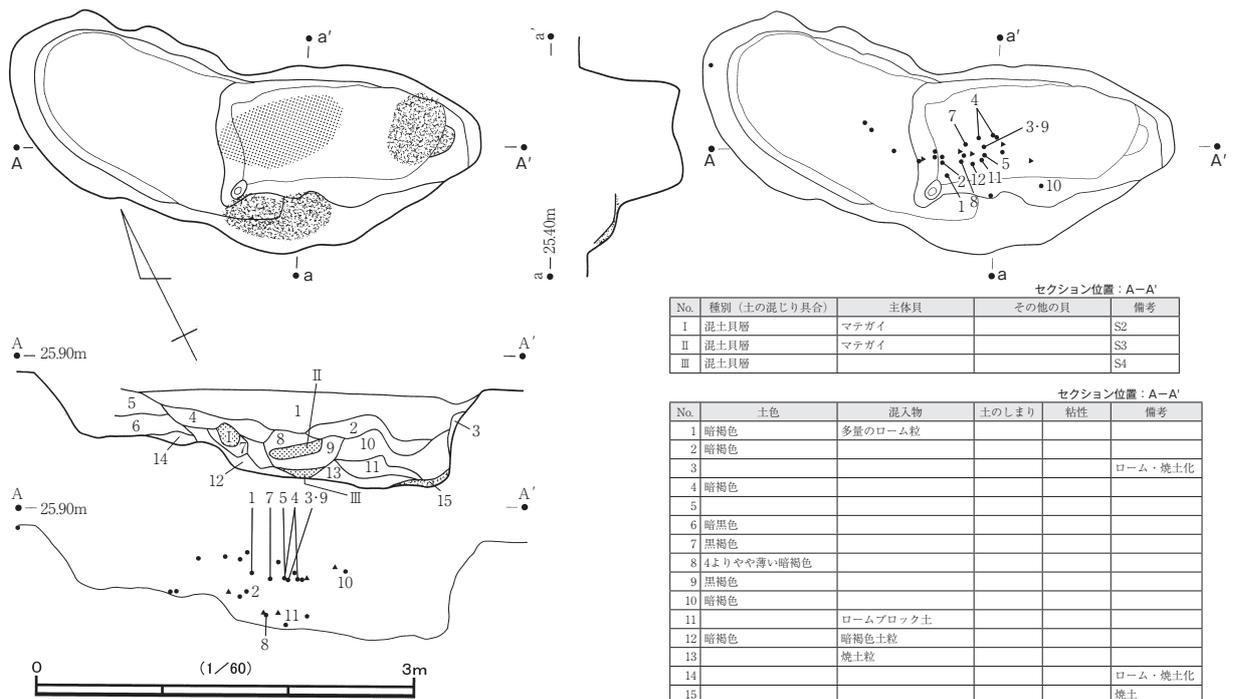
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第507図1～12に、覆土一括扱いのものを第508図13～38に示した。1～4・13～21は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5～9・22～30は胴部、31・32は底部の破片である。10・11・33は捺糸文系深鉢形土器の口縁部、34～37は胴部の破片である。12・38は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第508図39に示した。最大長11.5mmを測る黒曜石製の石鏃である。

335号遺構

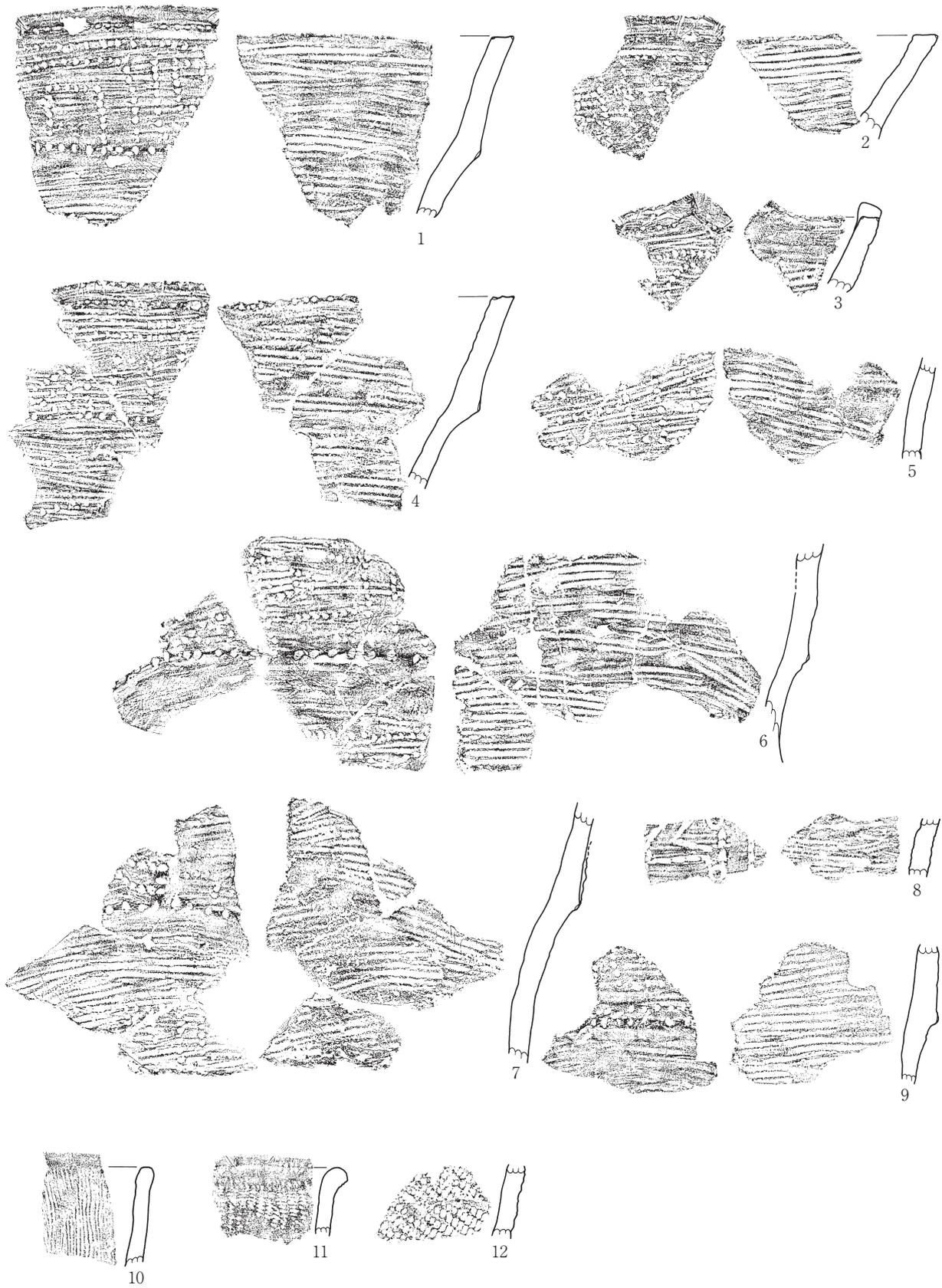
【検出位置】 セ28区J11-01・05



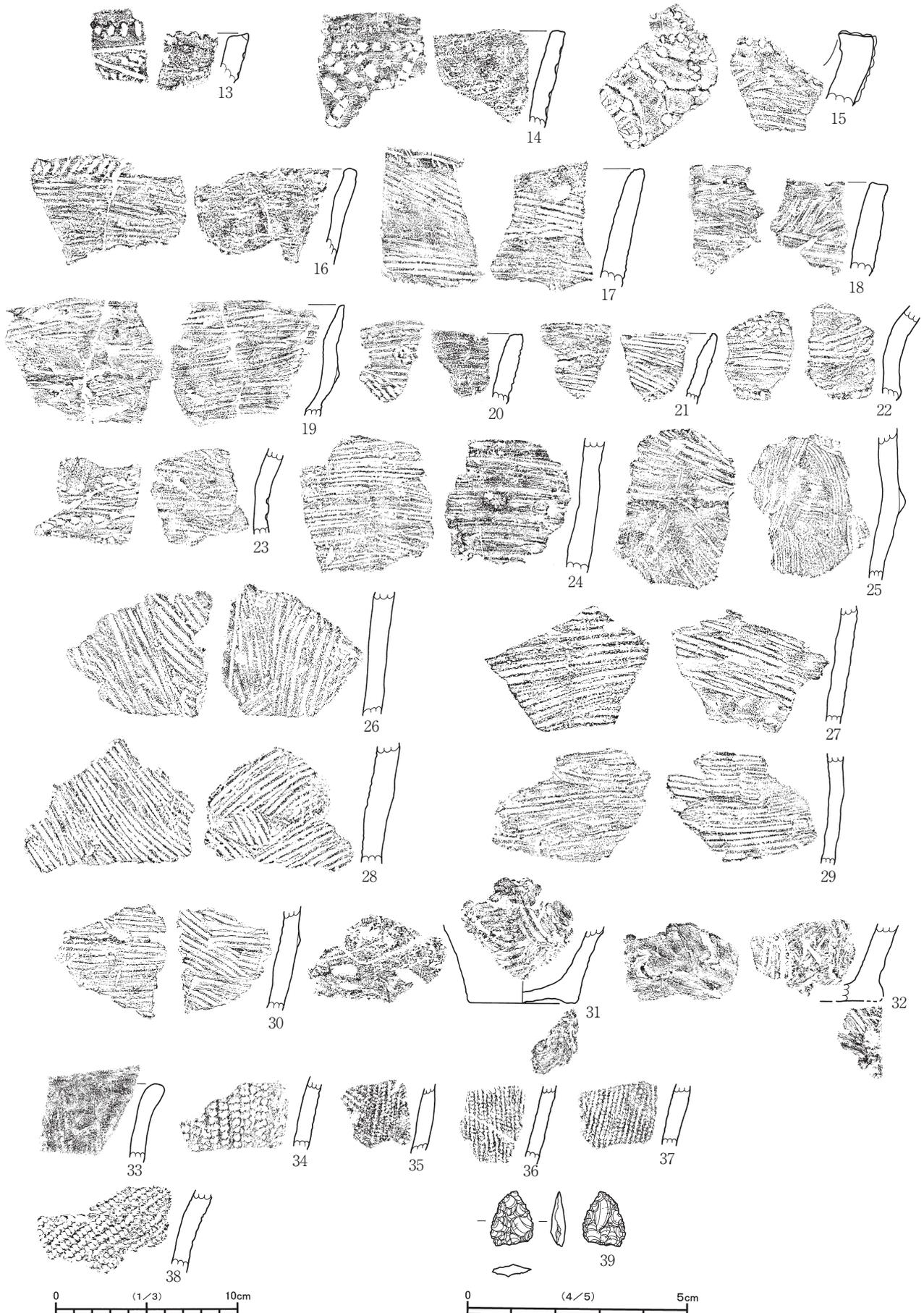
第505図 333号遺構出土遺物実測図(4)



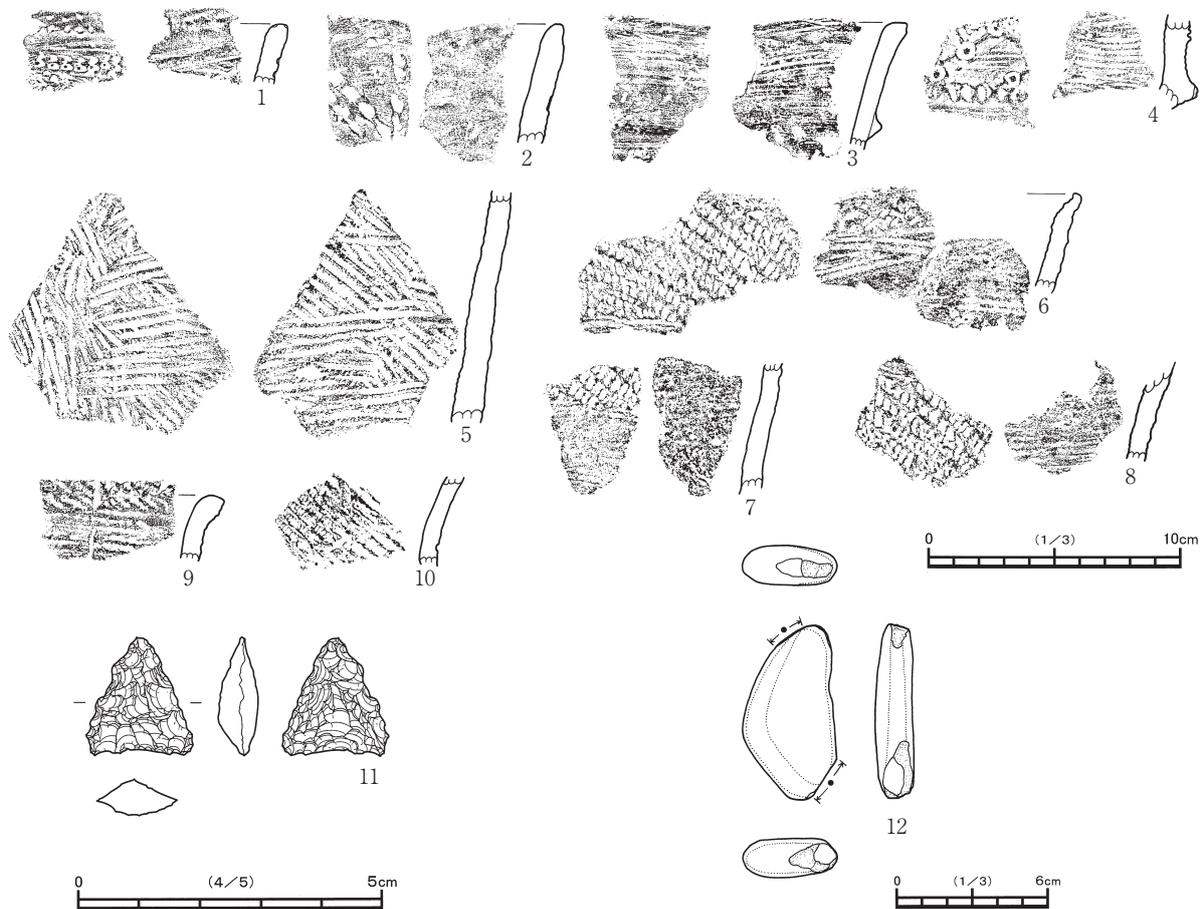
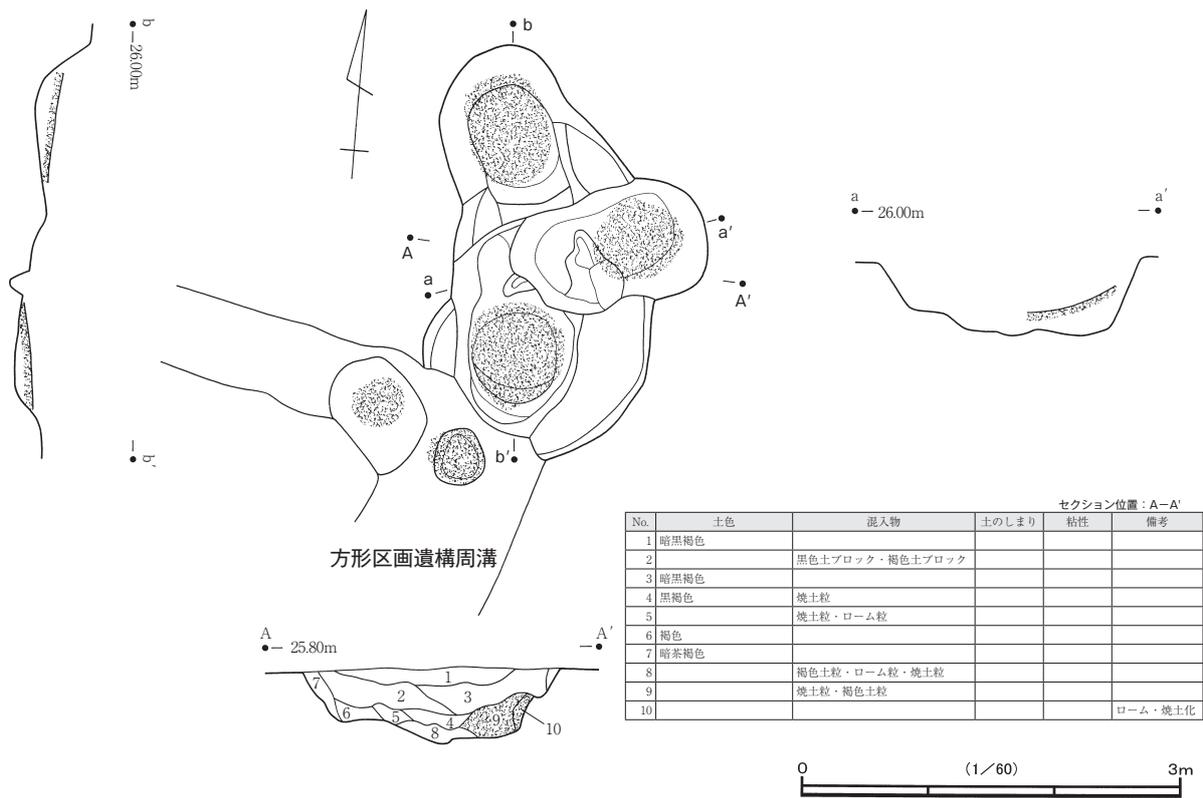
第506図 334号遺構実測図・遺物出土状況図



第507图 334号遺構出土遺物実測図(1)



第508图 334号遺構出土遺物実測図(2)



第509図 335号遺構実測図および出土遺物実測図

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.50m・短軸2.00m・深さ65cm。燃焼面5箇所。形状はアメーバ状（第509図）。

【覆土】 暗黒褐色土を主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【重複関係】 古墳周溝により南側の一部を欠失する。

【出土遺物】 48点・1,776gの礫および礫石器が出土している。このうち96.9%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石鏃1点、磨石1点、このほかチャートなどの剥片2点がある。土器は、115点・1,545g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系・安行式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の90.5%あり、当該時期を335号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第509図1～10に示した。1～3・6は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4・5・7・8は胴部の破片である。6は外面と内面口唇部に、7・8は外面に縄文が施される。9は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。10は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第509図11・12に示した。11は最大長19.4mmを測るチャート製の石鏃である。12は最大長69mmを測る砂岩製の磨石である。

336号遺構

【検出位置】 セ28区J11-06・07

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.60m・短軸2.90m・深さ73cm。燃焼面4箇所。形状はアメーバ状（第510図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 76点・2,787gの礫および礫石器が出土している。このうち99.1%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石鏃1点、石核1点である。土器は、125点・1,893g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ96%あり、当該時期を336号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第510図1～10に示した。1～4は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5～7は胴部、8は底部の破片である。9は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。10は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器のうち主なものを、第510図11に示した。最大長20.5cmを測るチャート製石鏃である。

337号遺構

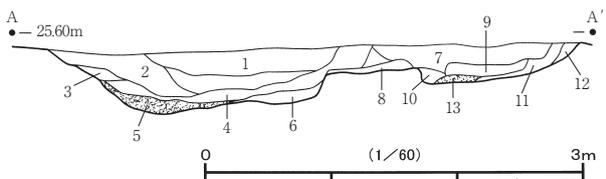
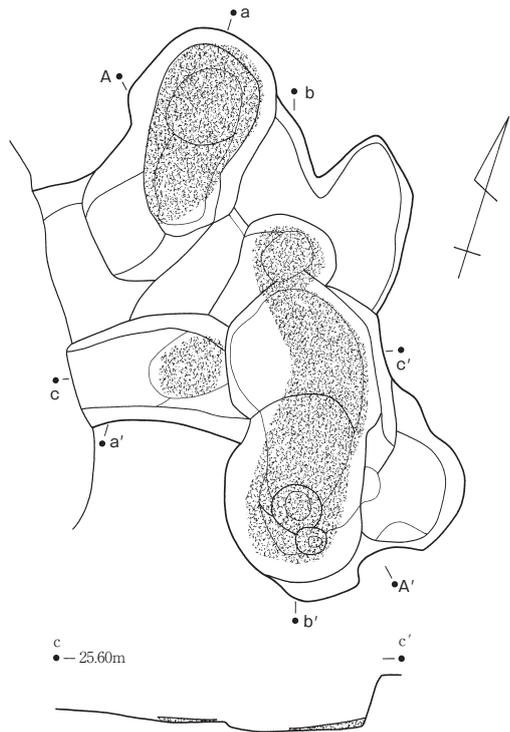
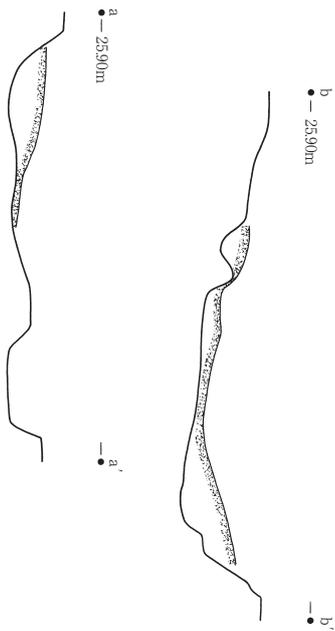
【検出位置】 セ28区J10-16、J11-13

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.00m・短軸3.00m・深さ76cm。燃焼面3箇所。アメーバ状（第511図）。

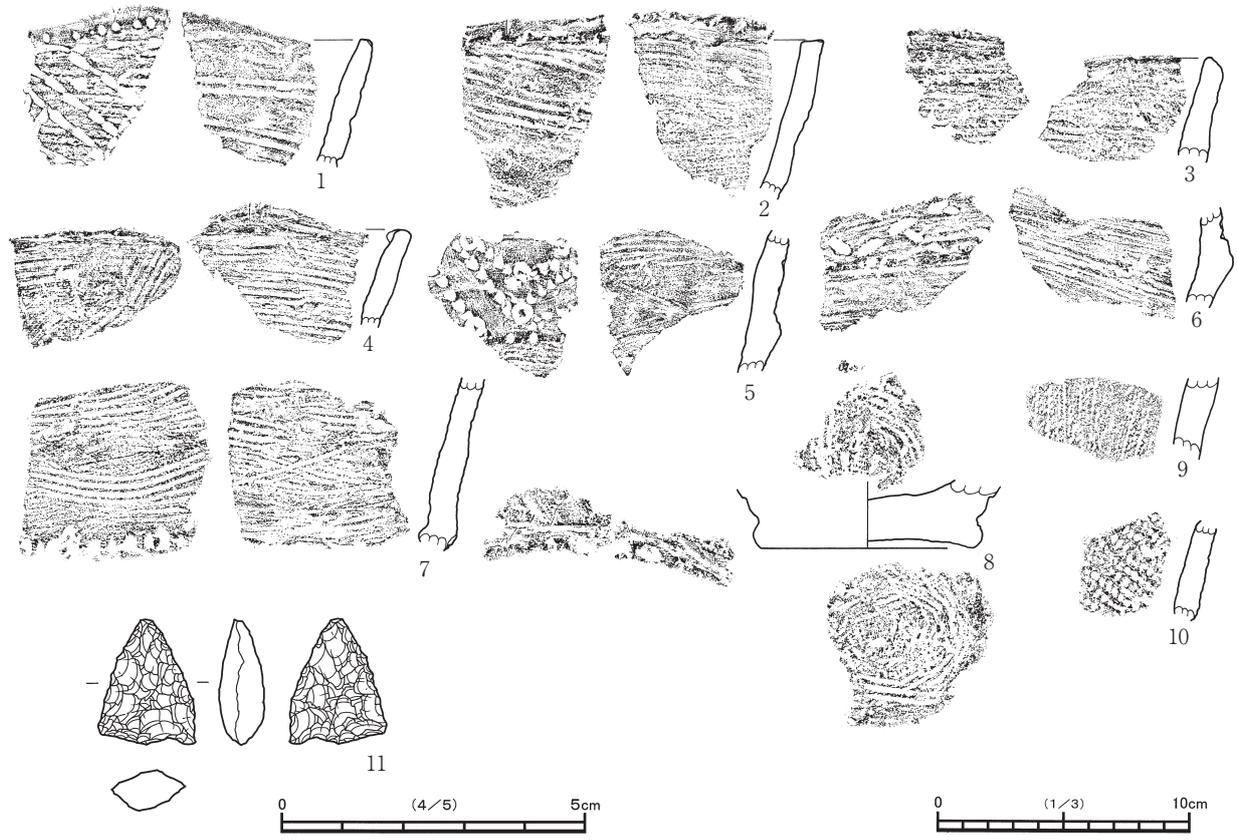
【重複関係】 北側で33号住居と重複するため一部を欠失する。新旧関係は33号住居が新。また、東側に338号遺構が隣接する。

【出土遺物】 66点・2,732gの礫および礫石器が出土している。このうち83.1%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石鏃1点、石皿1点、このほかチャートの剥片1点がある。土器は、161点・2,838g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あ

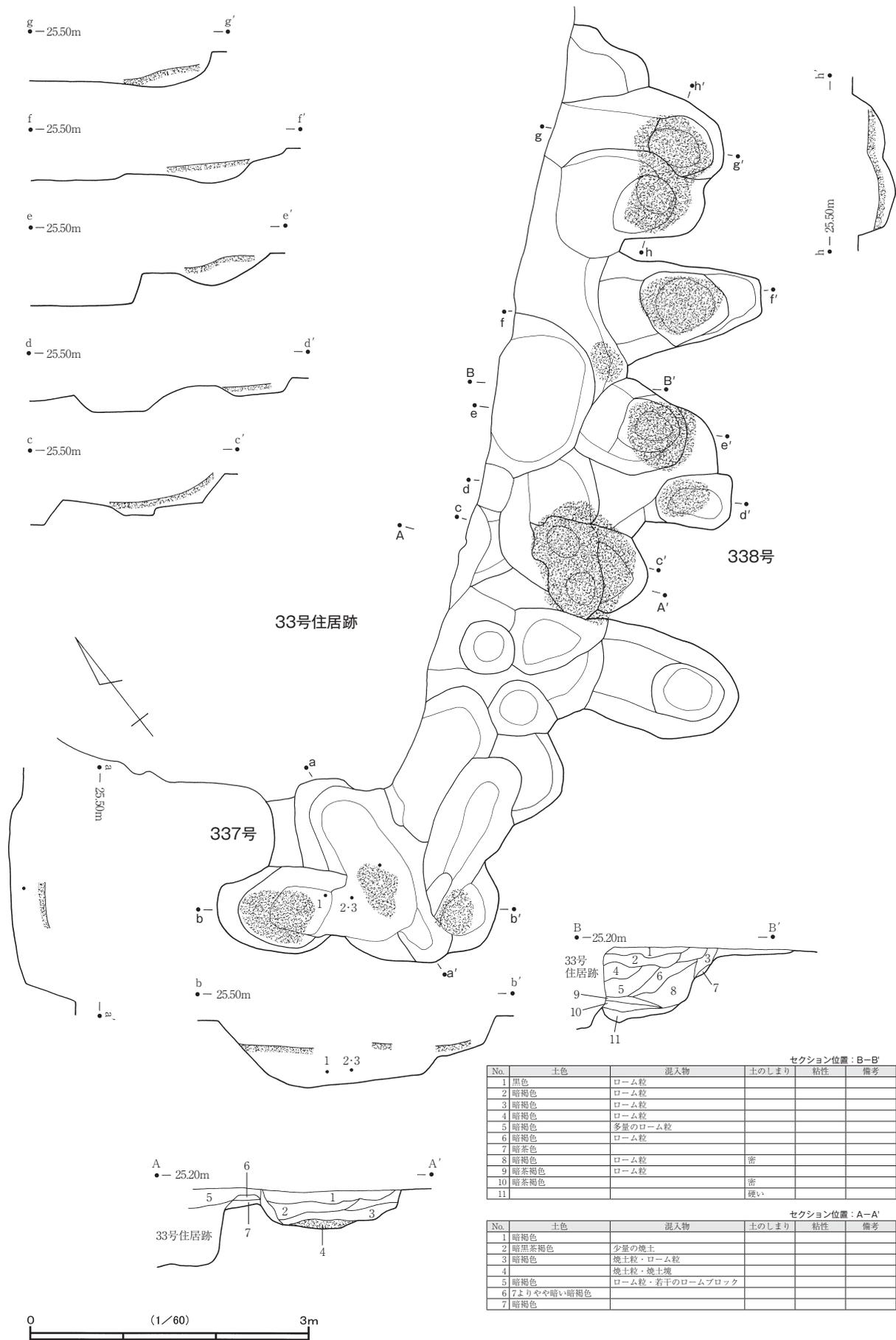


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	少量の焼土粒			
2	黒褐色	多量のローム粒			
3	明褐色	暗茶色土			
4	暗褐色	焼土粒			
5					焼土
6	暗褐色				
7	黒褐色	多量のローム粒			
8	明褐色	暗茶色土			
9	暗褐色	多量の焼土			
10	黒褐色	焼土			
11	暗褐色	多量の焼土			
12	茶褐色				
13					焼土



第510図 336号遺構実測図および出土遺物実測図



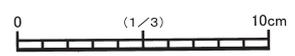
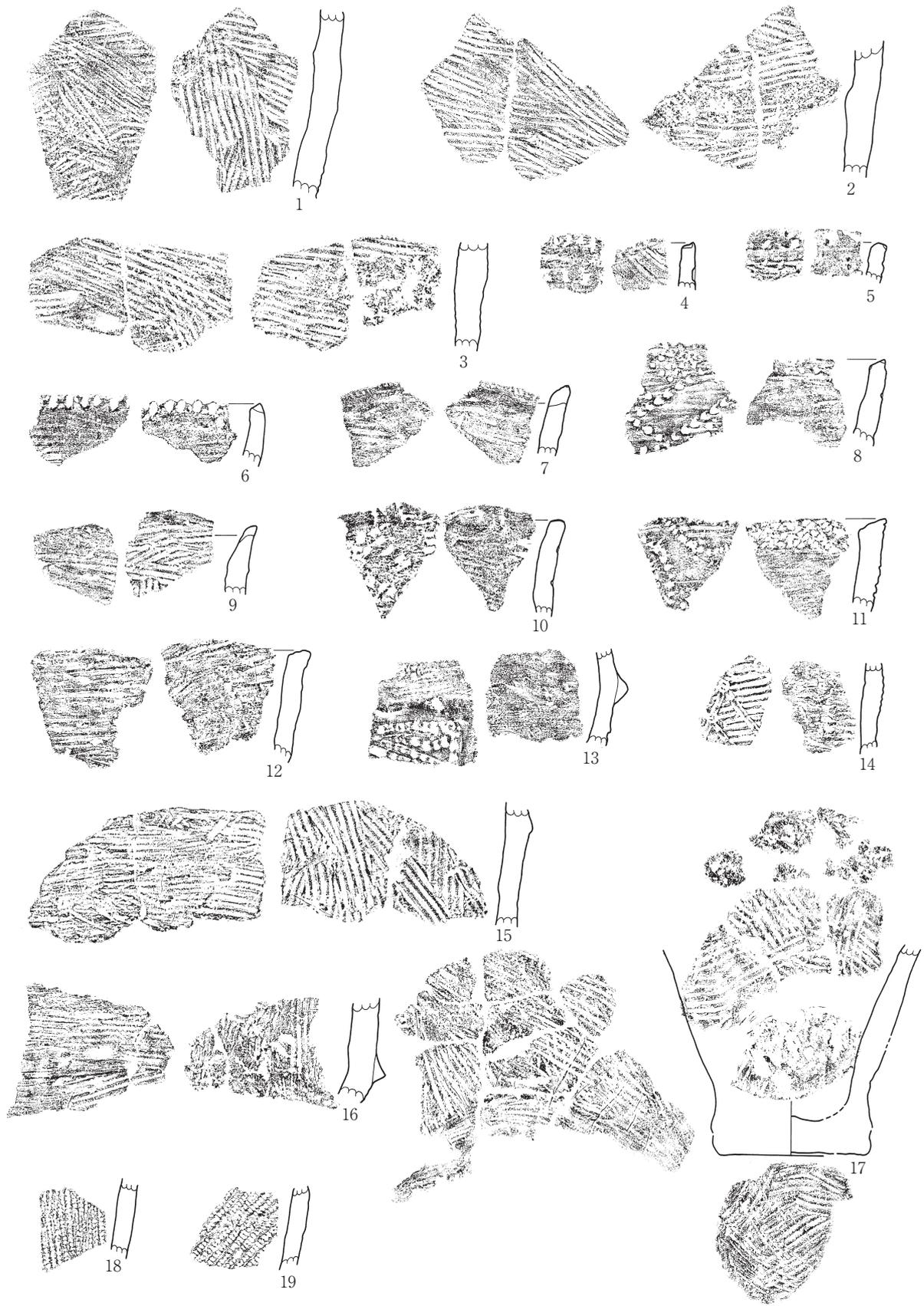
セクション位置：B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒色	ローム粒			
2	暗褐色	ローム粒			
3	暗褐色	ローム粒			
4	暗褐色	ローム粒			
5	暗褐色	多量のローム粒			
6	暗褐色	ローム粒			
7	暗茶色				
8	暗褐色	ローム粒	密		
9	暗茶褐色	ローム粒			
10	暗茶褐色		密		
11			硬い		

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色				
2	暗黒茶褐色	少量の焼土			
3	暗褐色	焼土粒・ローム粒			
4		焼土粒・焼土塊			
5	暗褐色	ローム粒・若干のロームブロック			
6	7よりやや暗い暗褐色				
7	暗褐色				

第511図 337・338号遺構実測図



第512图 337号遺構出土遺物実測図(1)

げ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、一部に縄文を施す条痕・縄文、羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ97%あり、当該時期を337号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第512図1～3に、覆土一括扱いのものを第512図4～19に示した。4～12は条痕文系深鉢形土器の口縁部、1～3・13～16は胴部の破片である。17は現存器高108mm・底径80mmを測る平底の胴部下半から底部の破片である。内外面に斜・横方向の条痕が施され、底面にもこれがおよぶ。18は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。19は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第513図20・21に示した。20は残存最大長12.7mmを測る黒曜石製の石鏃である。21は輝石安山岩製の石皿破片である。

338号遺構

【検出位置】 セ28区J11-10・13・14

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸7.65m・短軸3.28m・深さ50cm。燃焼面6箇所。形状はアメーバ状（第511図）。

【覆土】 暗褐色土・黒色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【重複関係】 北側で33号住居と重複するため一部を欠失する。新旧関係は33号住居が新。

【出土遺物】 126点・5,568gの礫および礫石器が出土している。このうち98%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、RF1点、石皿1点である。土器は、231点・3,518g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を338号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第514図1～17に示した。1～12は条痕文系深鉢形土器の口縁部、13～15は胴部の破片である。16・17は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第514図18・19に示した。18は最大長24.6mmを測るチャート製のRFである。片側に自然面を残す縦長の剥片を使用する。19は輝石安山岩製の石皿破片である。

339号遺構

【検出位置】 セ28区J11-14、K11-02

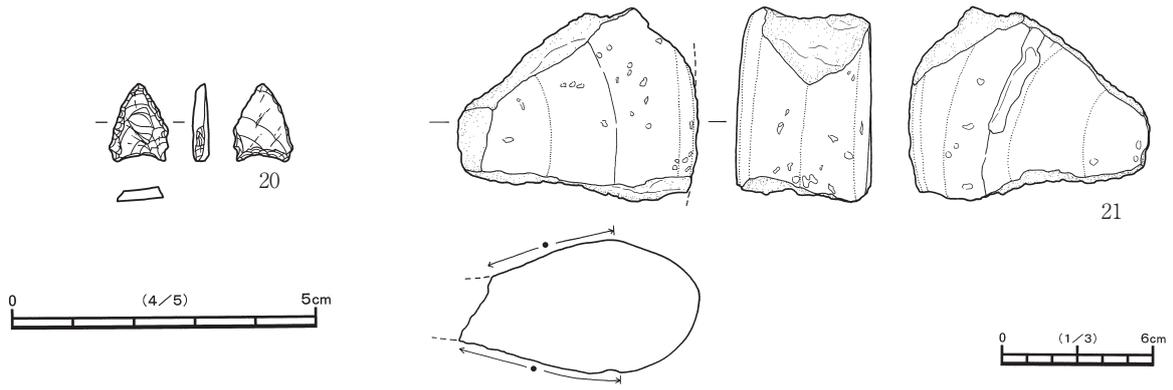
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.88m・短軸3.62m・深さ85cm。主軸方向67°。燃焼面5箇所。形状はアメーバ状（第515図）。

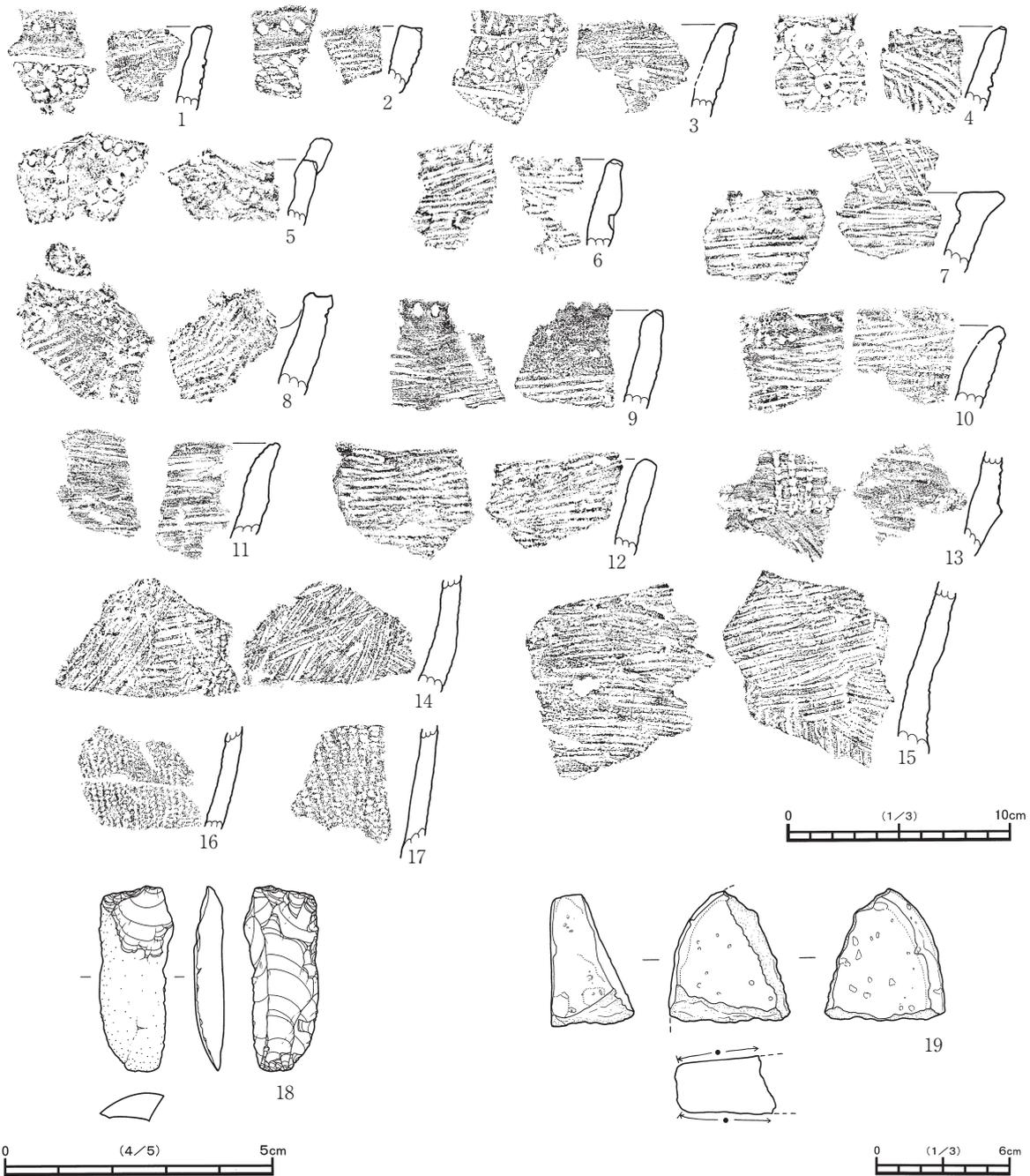
【覆土】 暗黒褐色土・黒色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 6点・1,200gの礫および礫石器が出土している。このうち53.5%に被熱のあとがみられる。石器は、3点出土している。うちわけは、打製石斧1点、砥石1点、尖頭器1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、166点・3,468g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を339号遺構の帰属時期とみる。

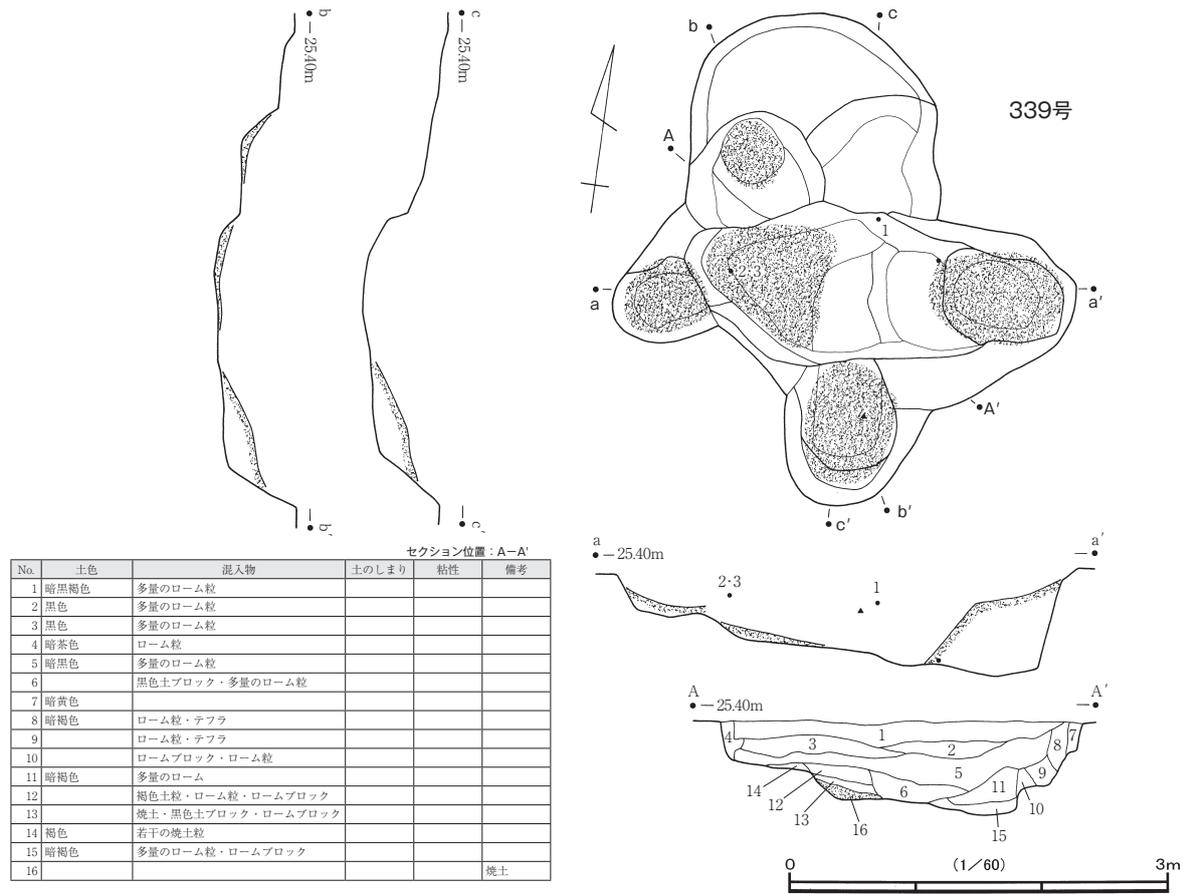
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第515図1～3に、覆土一括扱いのものを第515図



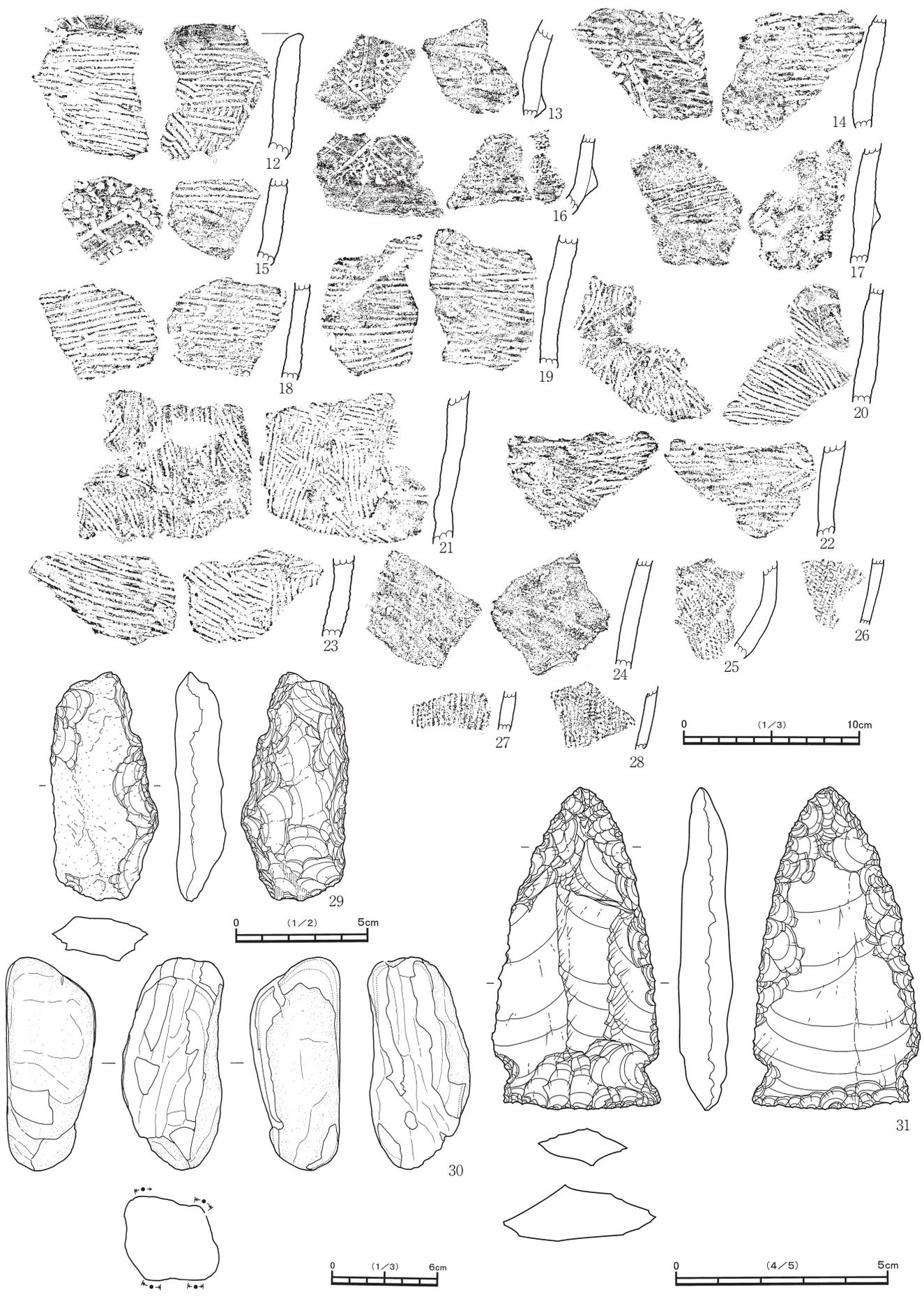
第513图 337号遺構出土遺物実測図(2)



第514图 338号遺構出土遺物実測図



第515図 339号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第516图 339号遺構出土遺物実測図(2)

4～11・第516図12～28に示した。4～12は条痕文系深鉢形土器の口縁部、1～3・13～24は胴部の破片である。25～28は捺糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第516図29～31に示した。29は最大長85.8mmを測る珪質頁岩製の打製石斧である。30は最大長121mmを測る凝灰質砂岩製の砥石である。31は最大長76.0mmを測る頁岩製尖頭器で、基部の両側に抉りを入れた特徴的な形態をなす。

340号遺構

【検出位置】 セ28区J11-14、K11-02

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.65m・短軸1.45m・深さ62cm。主軸方向 67°。焼面 1箇所（第517図）。

【重複関係】 南側で古墳周溝と重複のため一部を欠失する。

【出土遺物】 土器は、22点・301g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、捺糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ94%あり、当該時期を340号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、図示可能なものを第517図1に示した。捺糸文系深鉢形土器の胴部破片である。

341号遺構

【検出位置】 セ28区J11-03

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.16m・短軸2.00m・深さ111cm。焼面 3箇所。形状はアメーバ状（第518図）。

【重複関係】 南側で342号遺構と重複する。

【出土遺物】 5点・201gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、24点・643g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を341号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第518図1～3に、覆土一括扱いのものを第518図4・5に示した。1・5は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2～4は胴部の破片である。

342号遺構

【検出位置】 セ28区J11-03・04

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.14m・短軸0.97m・深さ68cm。主軸方向 60°。焼面 1箇所（第518図）。

【重複関係】 古墳周溝と重複するため東側部分を欠失する。周溝内からは焼面の残骸がこの他に2箇所みつかっており、あるいは342号遺構関連のものかもしれない。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

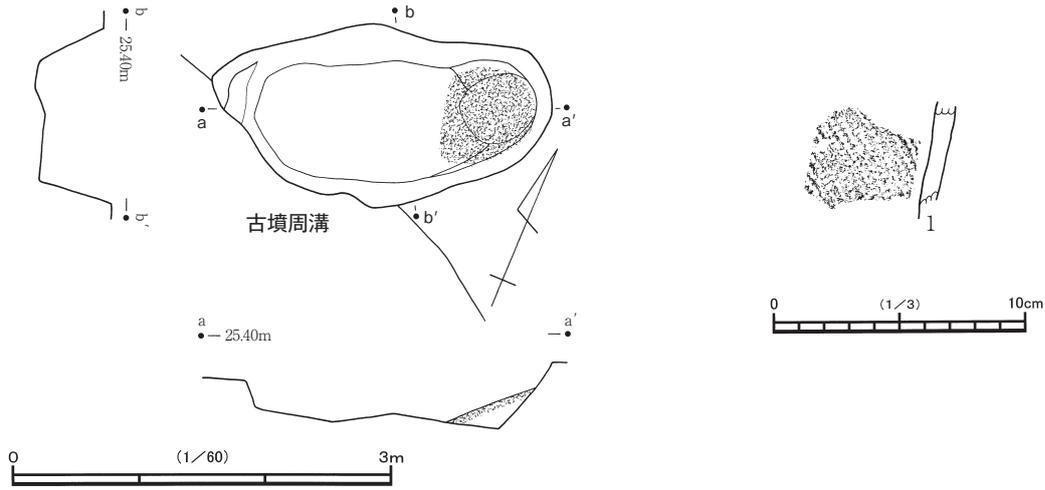
343号遺構

【検出位置】 セ28区J11-03・04

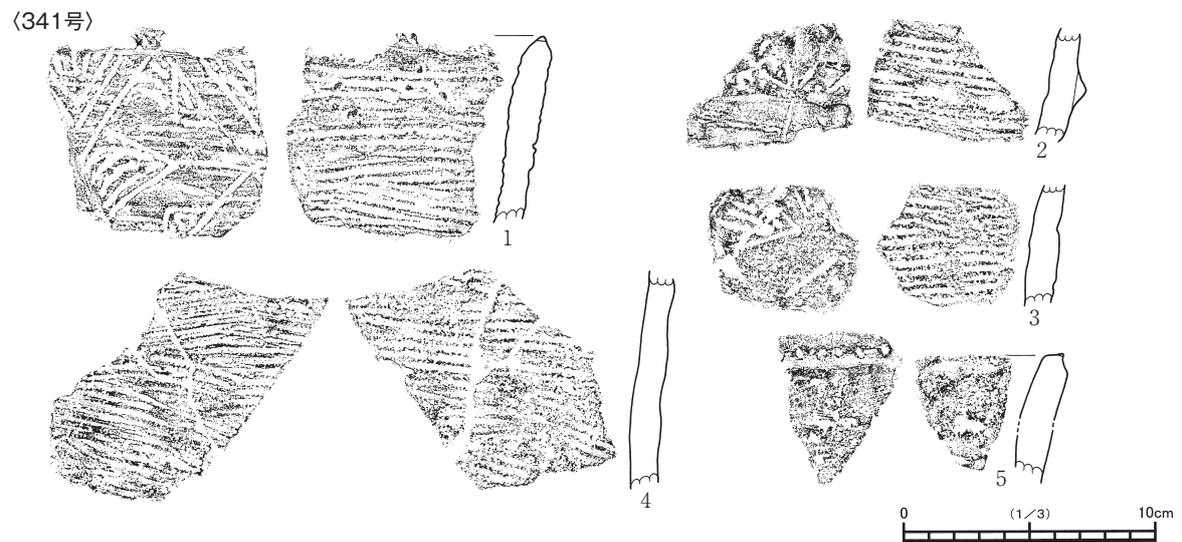
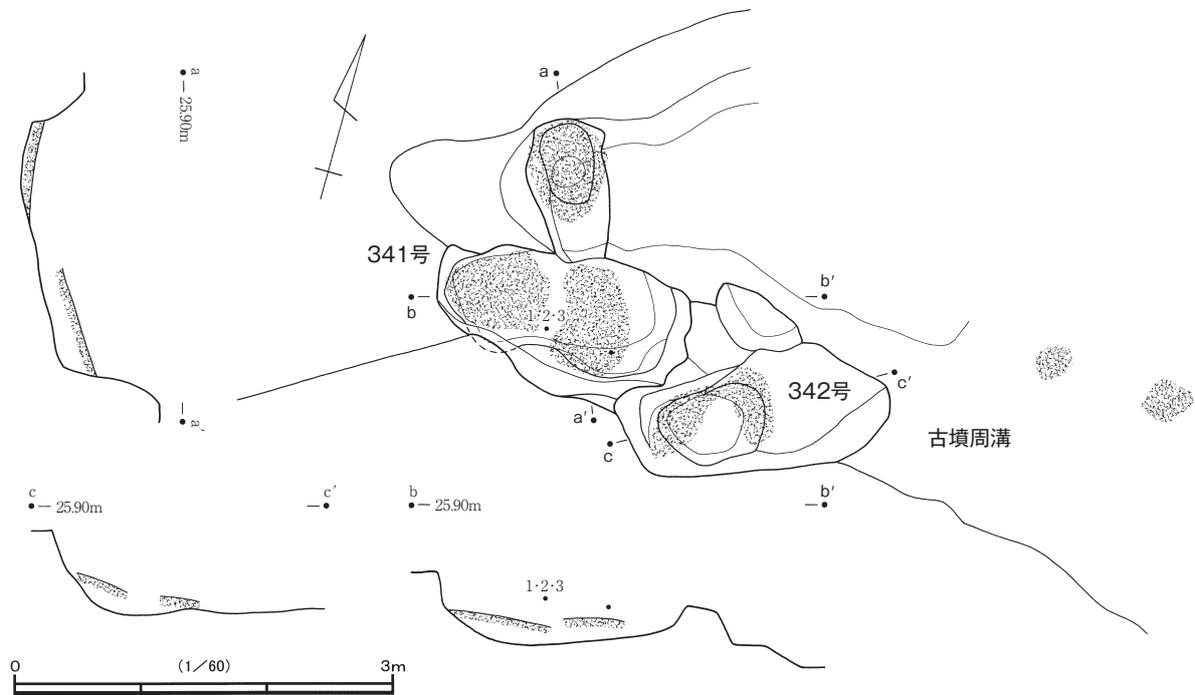
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.29m・短軸1.07m・深さ28cm。焼面 1箇所（第519図）。

【覆土】 この遺構内のものとする貝層サンプルが残されているが、その規模・厚さを示す図面記録がないため詳細は不明。ボリュームとしては、水洗後重量で4.9kg程度のものである。



第517図 340号遺構実測図および出土遺物実測図



第518図 341・342号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

【重複関係】 南側に344号遺構が隣接する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

344号遺構

【検出位置】 セ28区J11-07・08

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.14m・短軸2.27m・深さ59cm。燃焼面4箇所。形状はアメーバ状（第519図）。

【覆土】 暗黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 17点・2,383gの礫および礫石器が出土している。このうち82.8%に被熱のあとがみられる。石器は、3点出土している。うちわけは、磨石1点、楔状石器1点、原石1点である。土器は、206点・2,837g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・浮島式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の98.8%あり、当該時期を344号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第519図1に、覆土一括扱いのものを第519図2～14、第520図15・16に示した。2～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、1・10～15は胴部の破片である。16は浮島式深鉢形土器の口縁部破片である。出土石器のうち主なものを、第520図17・18に示した。17はデイスイト製磨石である。18は最大長45.9mmを測る頁岩製の楔状石器である。

345号遺構

【検出位置】 セ28区J11-11・12

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.60m・短軸2.16m・深さ75cm。燃焼面2箇所（第521図）。

【覆土】 黒色土・暗黒褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

【重複関係】 西側で346号遺構と重複する。

【出土遺物】 45点・1,687gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、黒曜石の剥片1点がある。土器は、131点・2,185g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の96.2%あり、当該時期を345号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第522図1・2に、覆土一括扱いのものを第522図3～16に示した。3～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、1・2・10～12は胴部、13は丸底の底部破片である。14・15は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。16は撚糸文系（無文）深鉢形土器の口縁部破片である。

346号遺構

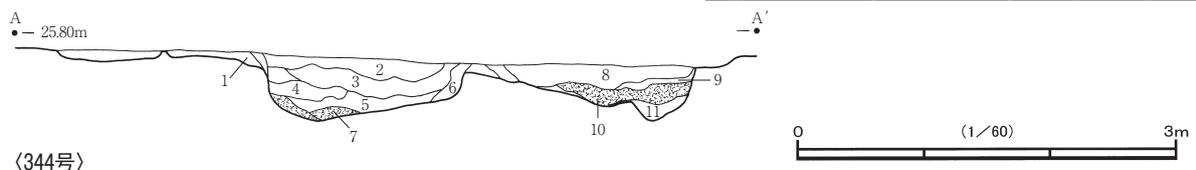
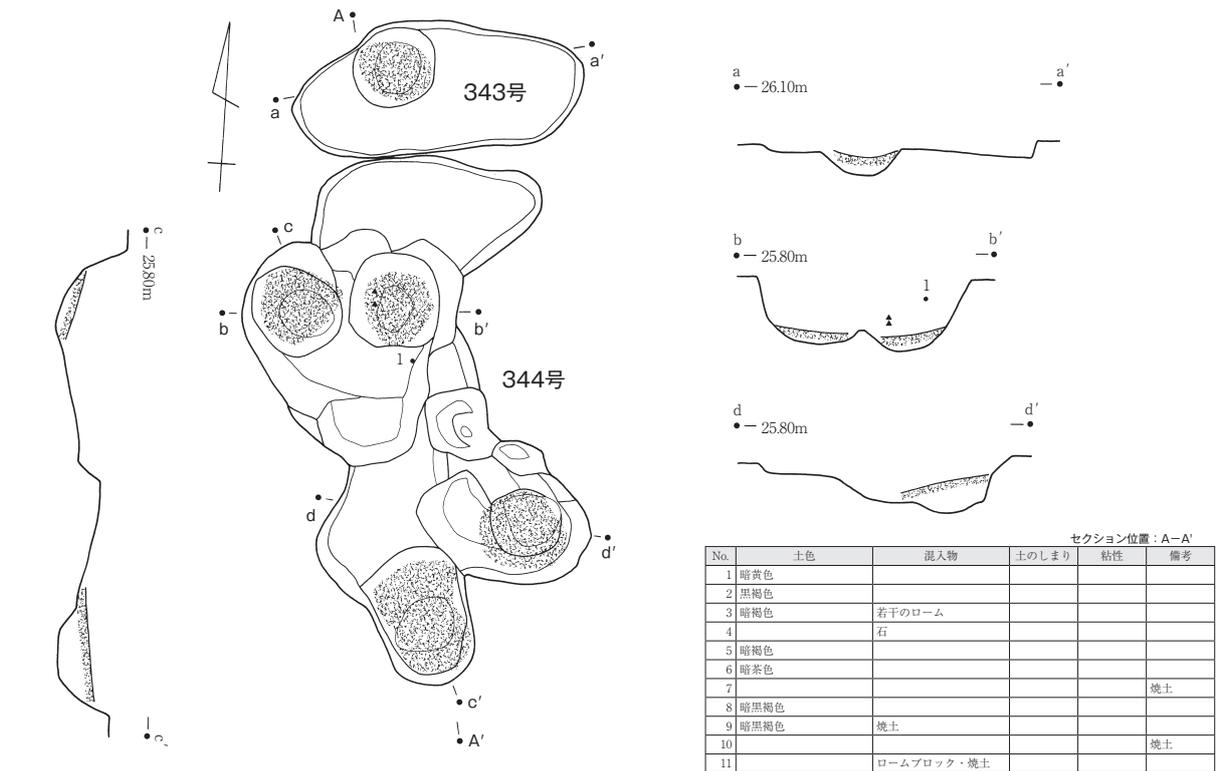
【検出位置】 セ28区J11-11

【種別】 炉穴

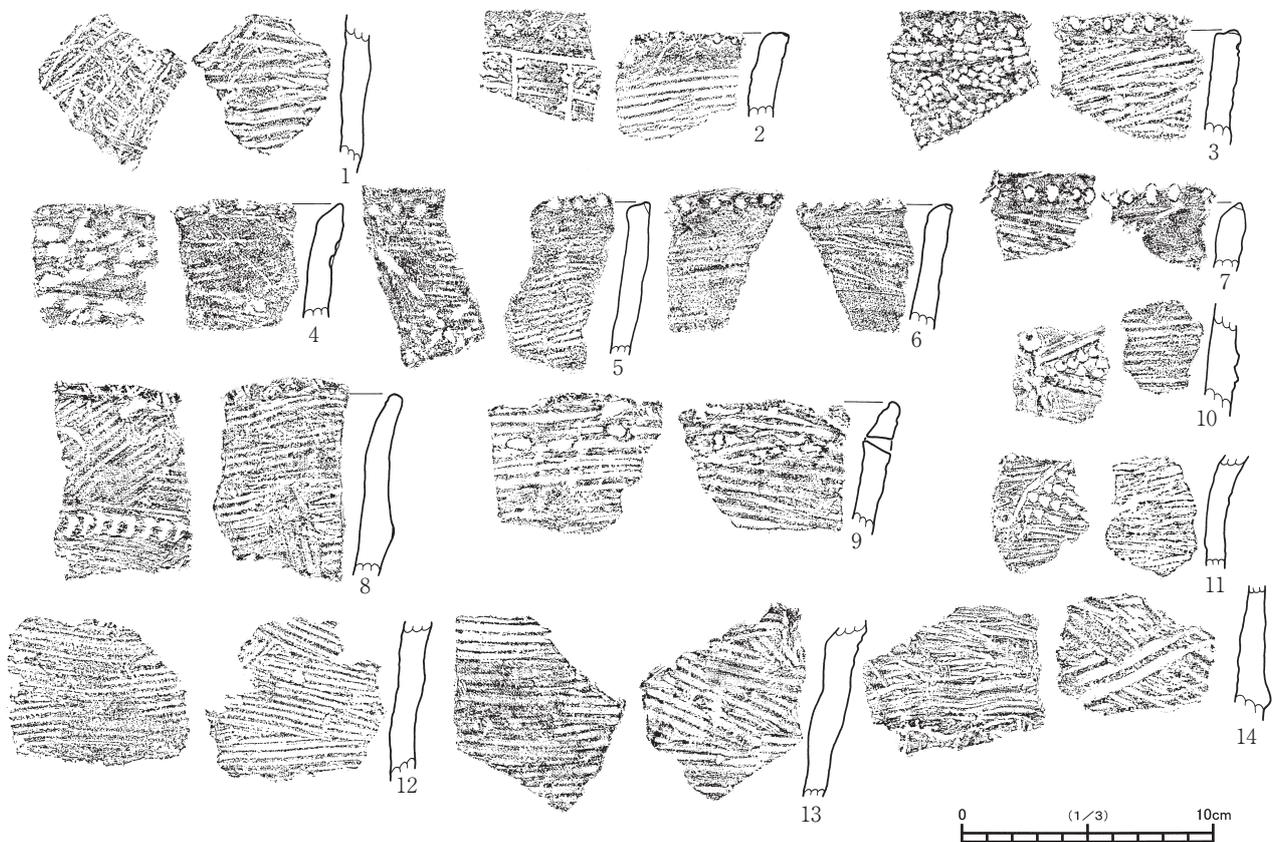
【規模ほか】 長軸2.36m・短軸1.96m・深さ45cm。燃焼面2箇所（第521図）。

【重複関係】 古墳周溝と重複のため南側部分を欠失、また東側で345号遺構と重複する。

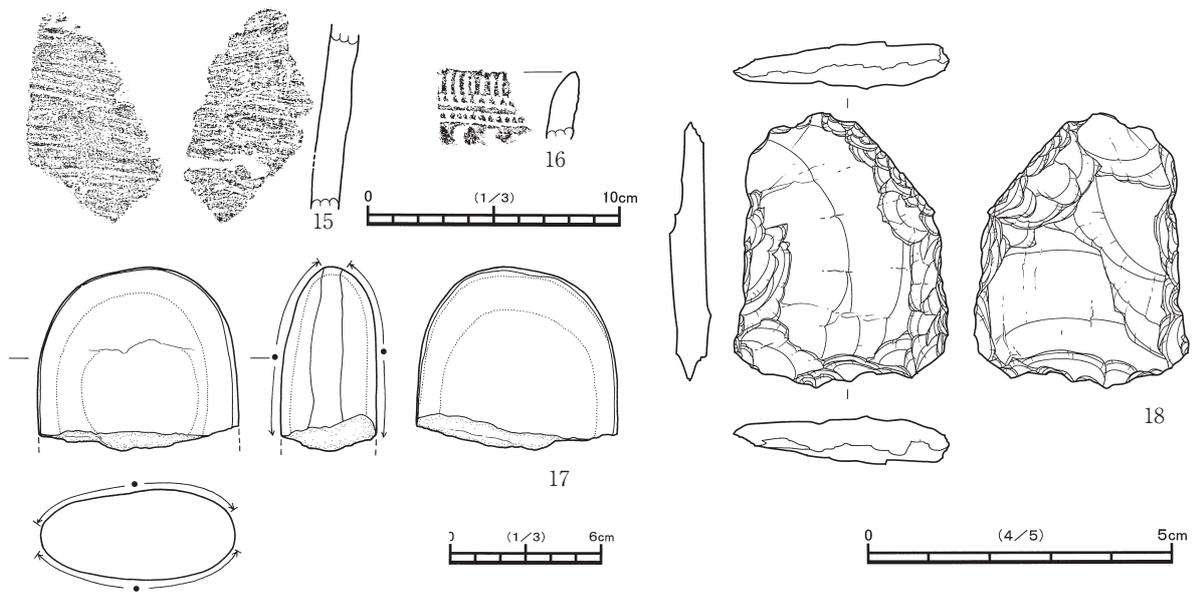
【出土遺物】 40点・1,495gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器



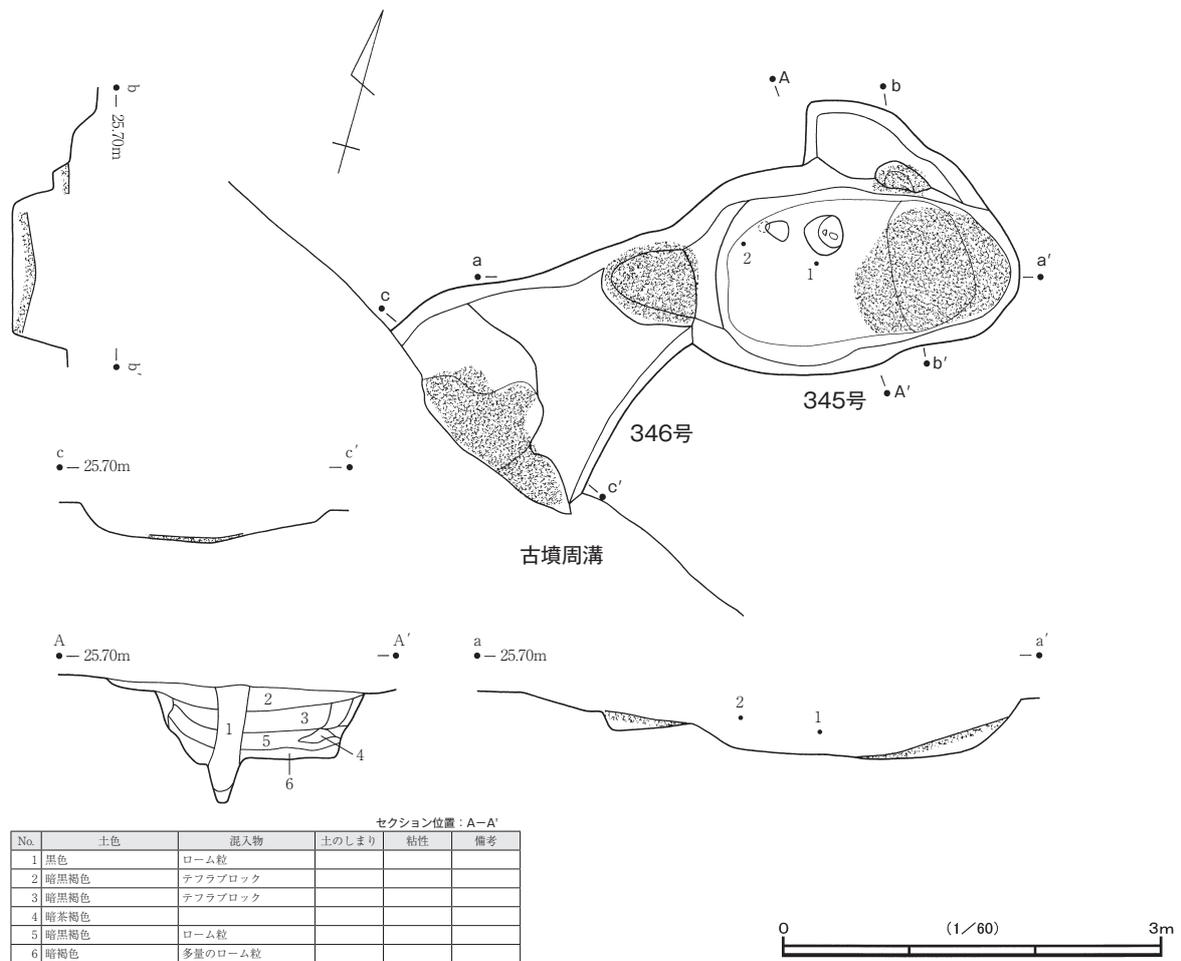
〈344号〉



第519図 343・344号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第520図 344号遺構出土遺物実測図(2)

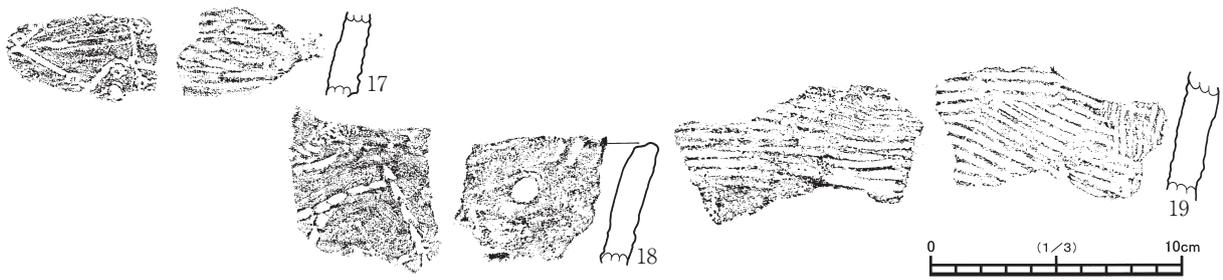


第521図 345・346号遺構実測図・遺物出土状況図

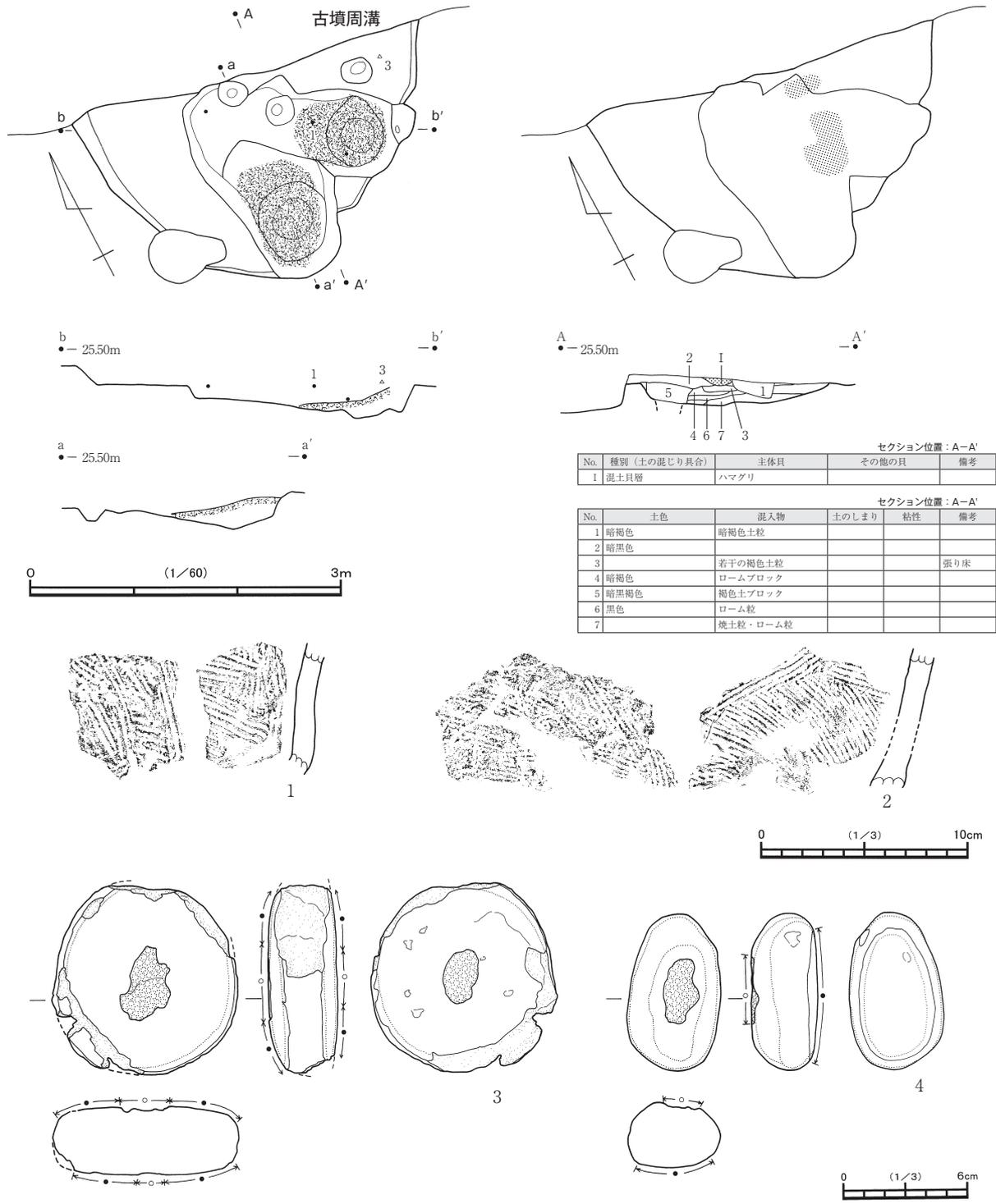
〈345号〉



〈346号〉



第522图 345・346号遺構出土遺物実測図



第523図 347号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

は、35点・478g 出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を346号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第522図17～19に示した。18は条痕文系深鉢形土器の口縁部、17・19は胴部の破片である。

347号遺構

【検出位置】 セ28区J11-15・16

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.48m・短軸2.04m・深さ36cm。燃焼面2箇所（第523図）。

【覆土】 暗黒褐色土・暗黒色土などを主体とする。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部より2箇所、長軸100・短軸40・厚さ8cmほどの規模で形成されていた。

【重複関係】 古墳周溝と重複のため北側部分を欠失する。

【出土遺物】 24点・1,239gの礫および礫石器が出土している。このうち54.4%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、磨石1点、磨石・敲石1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、34点・385g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を347号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第523図1に、覆土一括扱いのものを第523図2に示した。1・2は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第523図3・4に示した。3は花崗閃緑岩製の磨石である。4は最大長76mmを測る砂岩製の磨石・敲石である。

348号遺構

【検出位置】 セ28区J11-08・12

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.32m・短軸1.60m・深さ82cm。主軸方向 10°。燃焼面2箇所（第524図）。

【覆土】 暗黒褐色土・黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【重複関係】 古墳周溝との重複により東側部分を欠失する。

【出土遺物】 19点・750gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、140点・2,442g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を348号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第524図1に、覆土一括扱いのものを第524図2～8に示した。2・3は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4～7は胴部、1は底部の破片である。8は撚糸文系深鉢形土器の底部破片である。

349号遺構

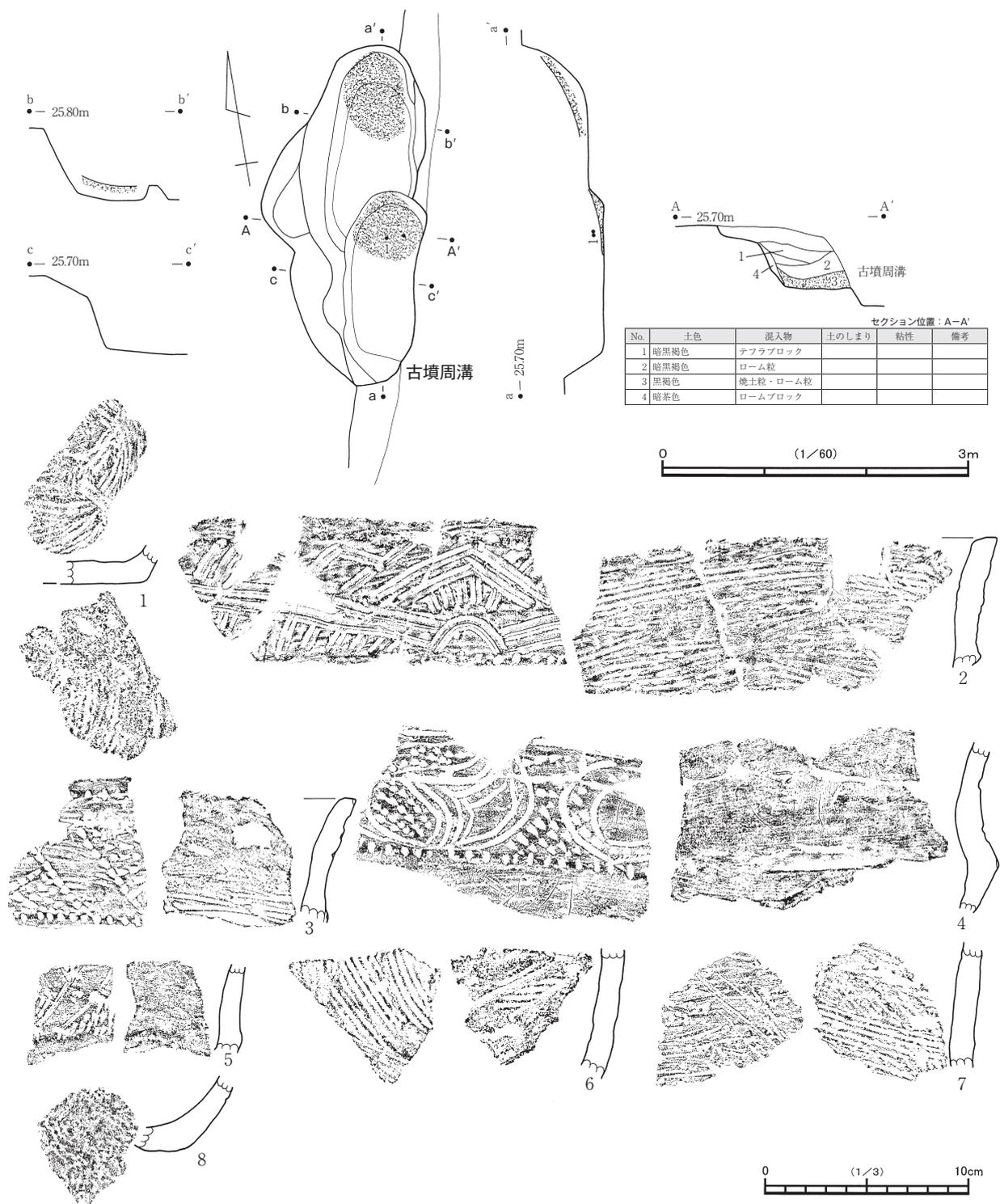
【検出位置】 セ28区J11-12

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.86m・短軸1.82m・深さ89cm。燃焼面2箇所。形状はアメーバ状（第525図）。

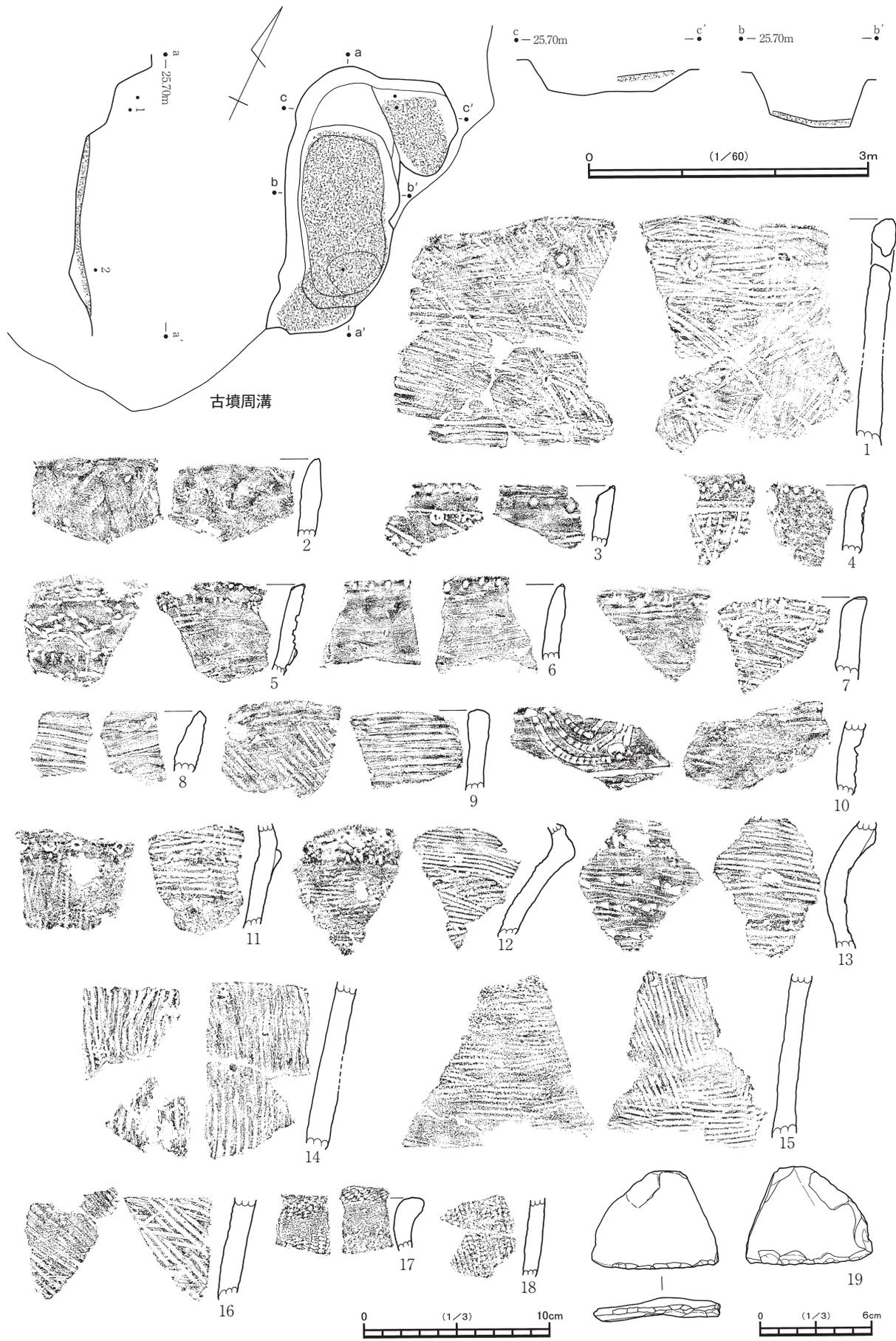
【重複関係】 古墳周溝との重複により東側部分を欠失する。

【出土遺物】 61点・2,817gの礫および礫石器が出土している。このうち98.7%に被熱のあとがみられる。石器は、スクレーパー1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、94点・1,910g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、条痕文系・撚糸文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を349号遺構の帰属時期とみる。



第524図 348号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第525図1・2に、覆土一括扱いのものを第525図3～18に示した。1～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、10～16は胴部の破片である。17は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、18は胴部破片である。出土石器を第525図19に示した。最大長53mmを測る無斑



第525図 349号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

晶質安山岩のスクレーパーである。

350号遺構

【検出位置】 セ28区J11-04、J12-01

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.35m・短軸1.08m・深さ167cm。形状は長楕円形（第526図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

351号遺構

【検出位置】 セ28区J12-05

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.26m・短軸1.15m・深さ39cm。主軸方向 69°。燃焼面 1箇所（第526図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により西側の一部を欠失する。

【出土遺物】 20点・844gの礫および礫石器が出土している。このうち98.5%に被熱のあとがみられる。石器は、石核1点、このほか珪質頁岩の剥片1点がある。土器は、29点・641g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を351号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第526図1に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

352号遺構

【検出位置】 セ28区J11-12、J12-09

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.05m・短軸0.90m・深さ71cm。主軸方向 57°。燃焼面 1箇所（第526図）。

【覆土】 暗茶色土・暗黒褐色土などを主体とする。

【重複関係】 古墳周溝との重複により西側の一部を欠失する。

【出土遺物】 25点・425gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、黒曜石の剥片1点がある。土器は、39点・527g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、条痕文系、一部に縄文の施文がみられる条痕・縄文などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を352号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第526図2～5に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

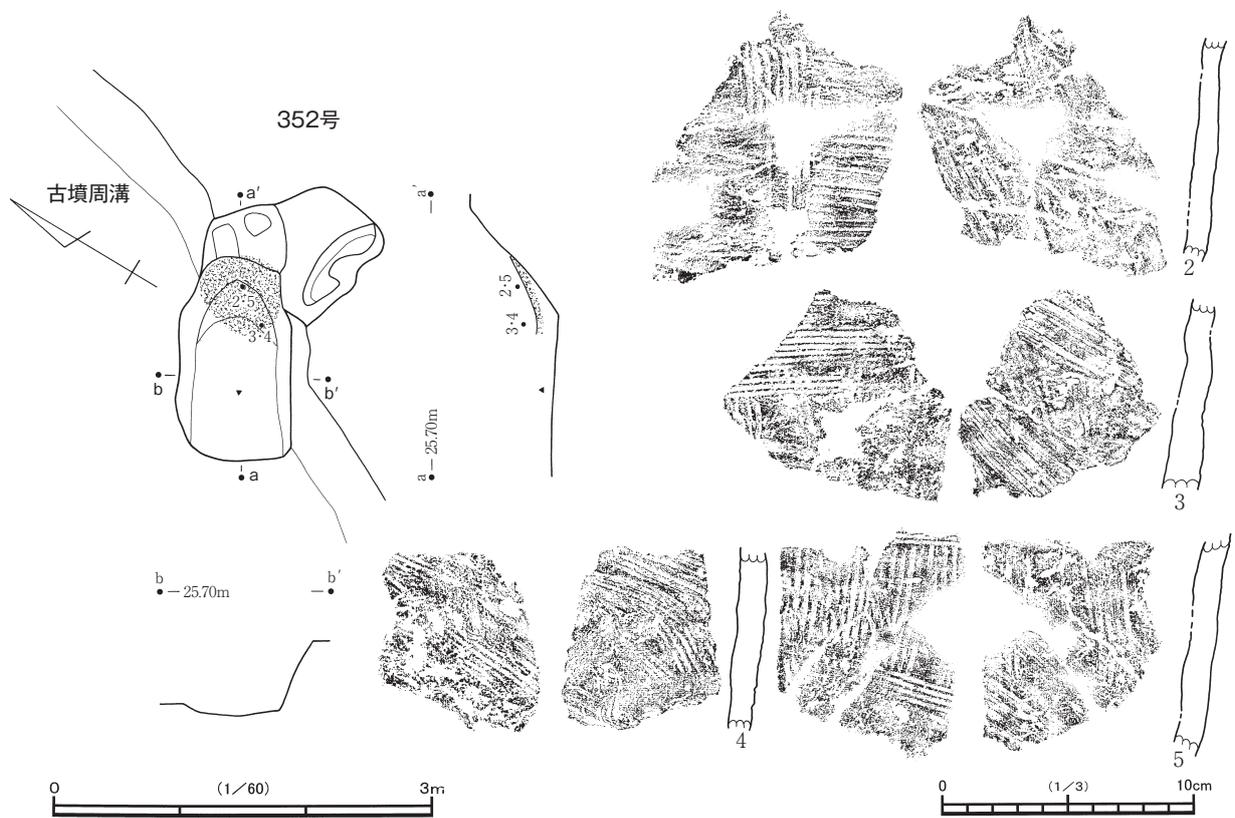
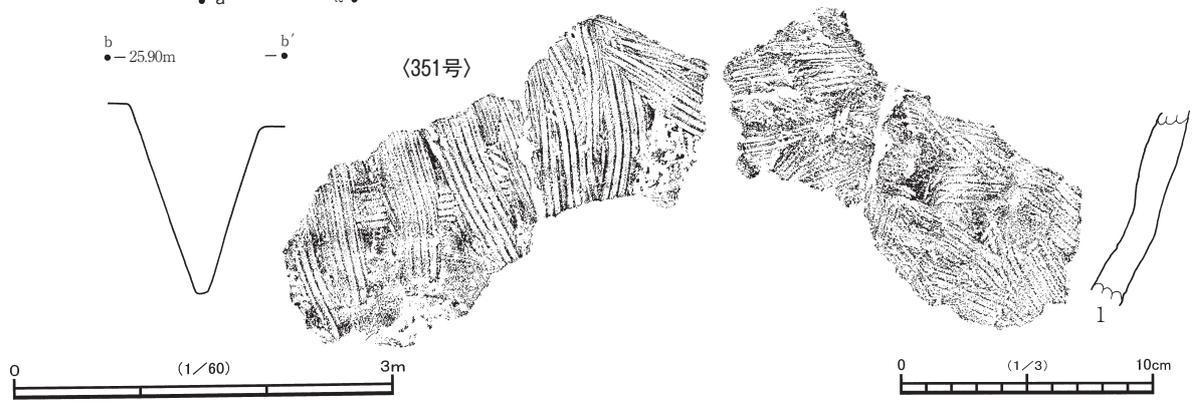
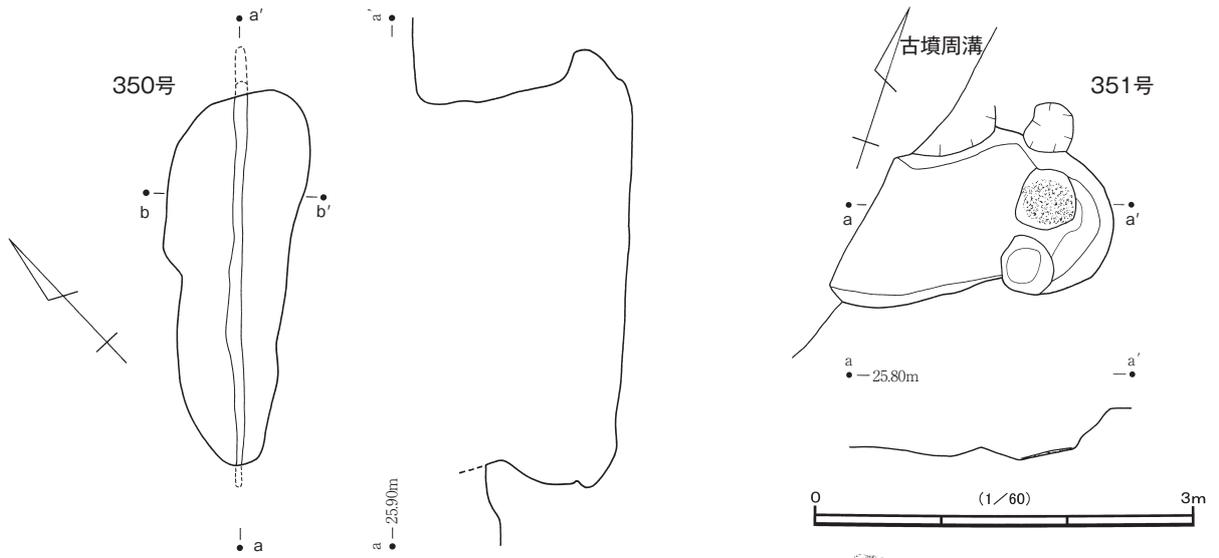
353号遺構

【検出位置】 セ28区J12-05・09

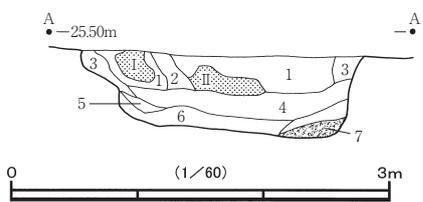
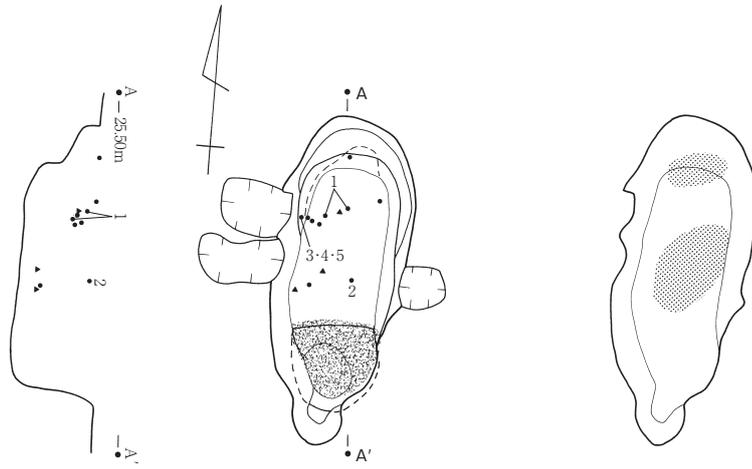
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.60m・短軸1.05m・深さ79cm。主軸方向 180°。燃焼面 1箇所（第527図）。

【覆土】 暗茶色土・暗黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部および北側の2箇所に、長軸130・短軸50・厚さ24



第526図 350・351・352号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

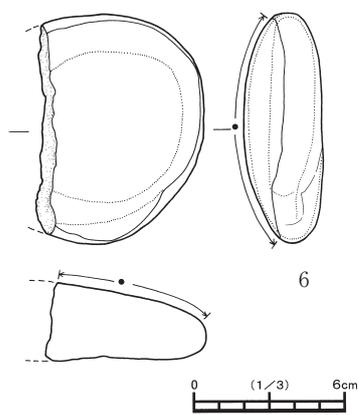
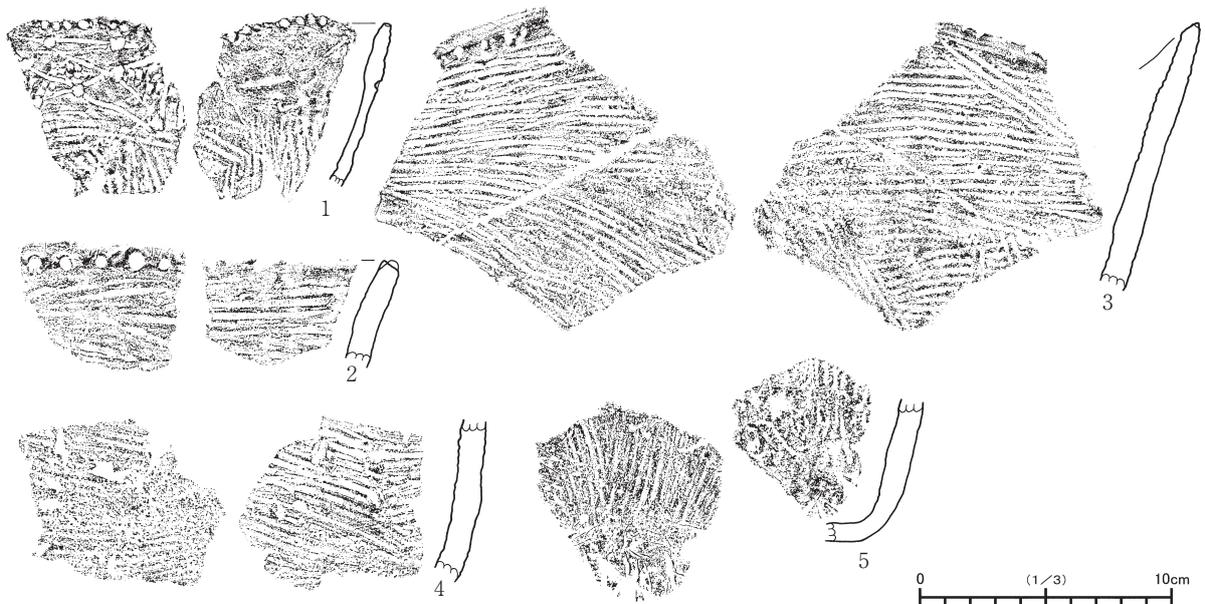


セクション位置：A-A'

No.	種別 (土の混じり具合)	主体貝	その他の貝	備考
I	混土貝層			S1
II	混土貝層			S2

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色	テフラブロック			
2	暗褐色	テフラブロック			
3	黒褐色	ローム粒			
4	暗茶色	ロームブロック			
5		ローム粒・ロームブロック			
6	暗茶色	ローム粒・焼土塊			
7					焼土



第527図 353号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 25点・1,736 gの礫および礫石器が出土している。このうち84.2%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、31点・847 g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は遺構中央部、覆土の上層と下層からややまとまって出土している。土器はそのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を353号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第527図1～5に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4は胴部、5は底部の破片である。出土石器を第527図6に示した。最大長91mmを測る石英斑岩製の磨石である。片面だけに摩耗痕がみられる。

354号遺構

【検出位置】 セ28区H12-11・15

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.68m・短軸2.50m・深さ96cm。燃焼面3箇所。形状はアメーバ状（第528図）。

【その他】 極めて規模の小さな貝ブロックが出土している。

【出土遺物】 105点・5,355 gの礫および礫石器が出土している。このうち97.9%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点、このほか黒曜石の剥片2点がある。土器は、295点・7,727 g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、遺構の中心部からやや南側に向け、覆土中層から下層より出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の99.6%あり、当該時期を354号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第528図1・2、第529図3～9に、覆土一括扱いのものを第529図10～25、第530図26～36に示した。1は推定口径174mm・現存器高185mmを測る条痕文系深鉢形土器である。幅広浅い沈線による横位曲線文とその間を埋める連続刺突文が施される。口縁部には4単位の環状把手がある。文様帯は上下二段。2は推定口径430mm・現存器高191mmを測る条痕文系深鉢形土器である。文様帯は浅い刺突を付す横位隆帯で区画され、横位・斜位の押し引き刺突文がみられる。口縁部には3箇所の小型の山形文があり緩やかな波状となる。その下位に刺突文を付す隆帯が縦位に施される。口唇部には浅い刺突がめぐる。36は現存器高141mm・底径74mmを測る条痕文系深鉢形土器の平底の底部である。出土石器を第530図37に示した。花崗閃緑岩製の磨石である。

355号遺構

【検出位置】 セ28区H12-16、H13-13

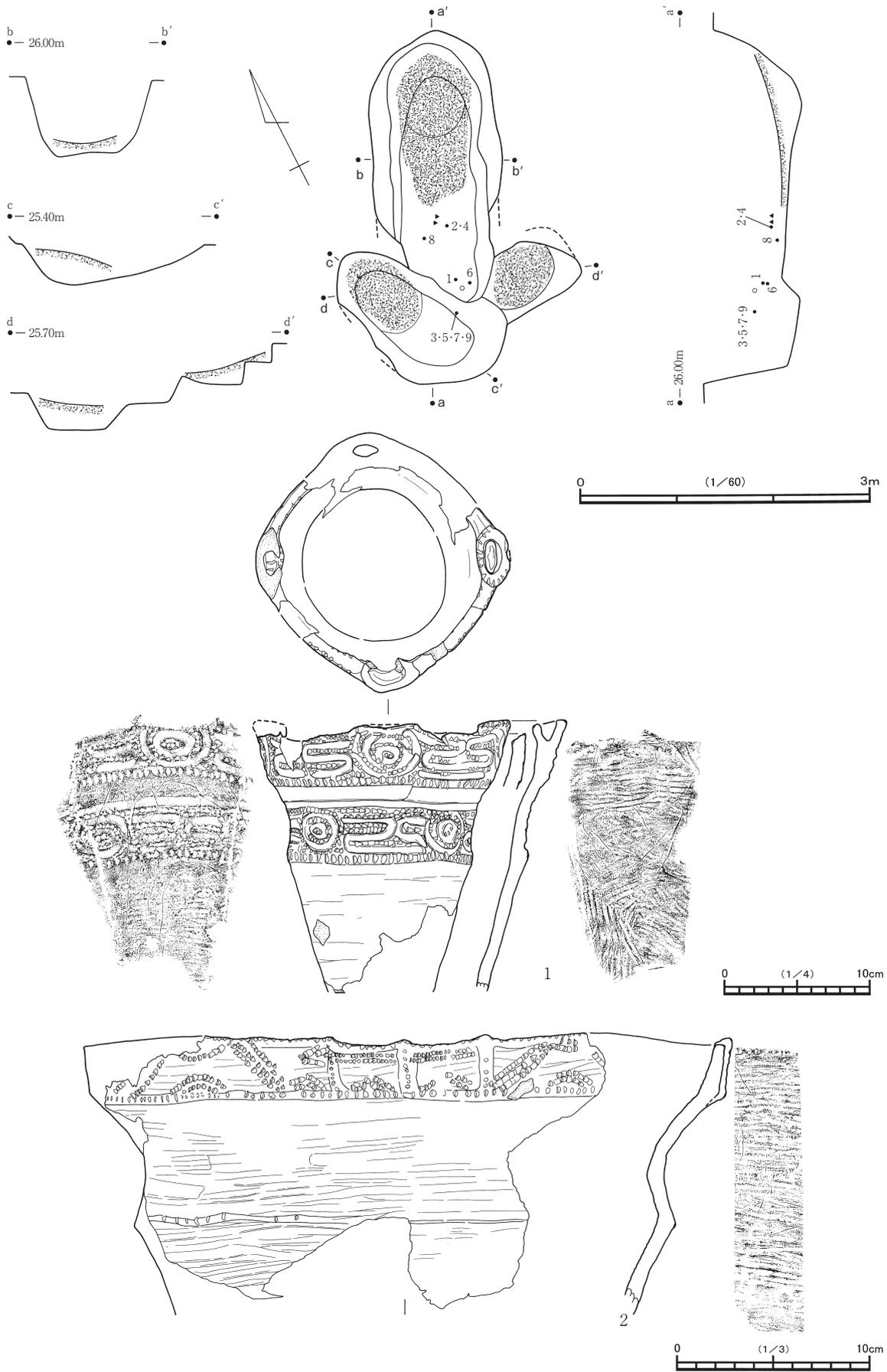
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.66m・短軸1.29m・深さ59cm。主軸方向 43°。燃焼面1箇所（第531図）。

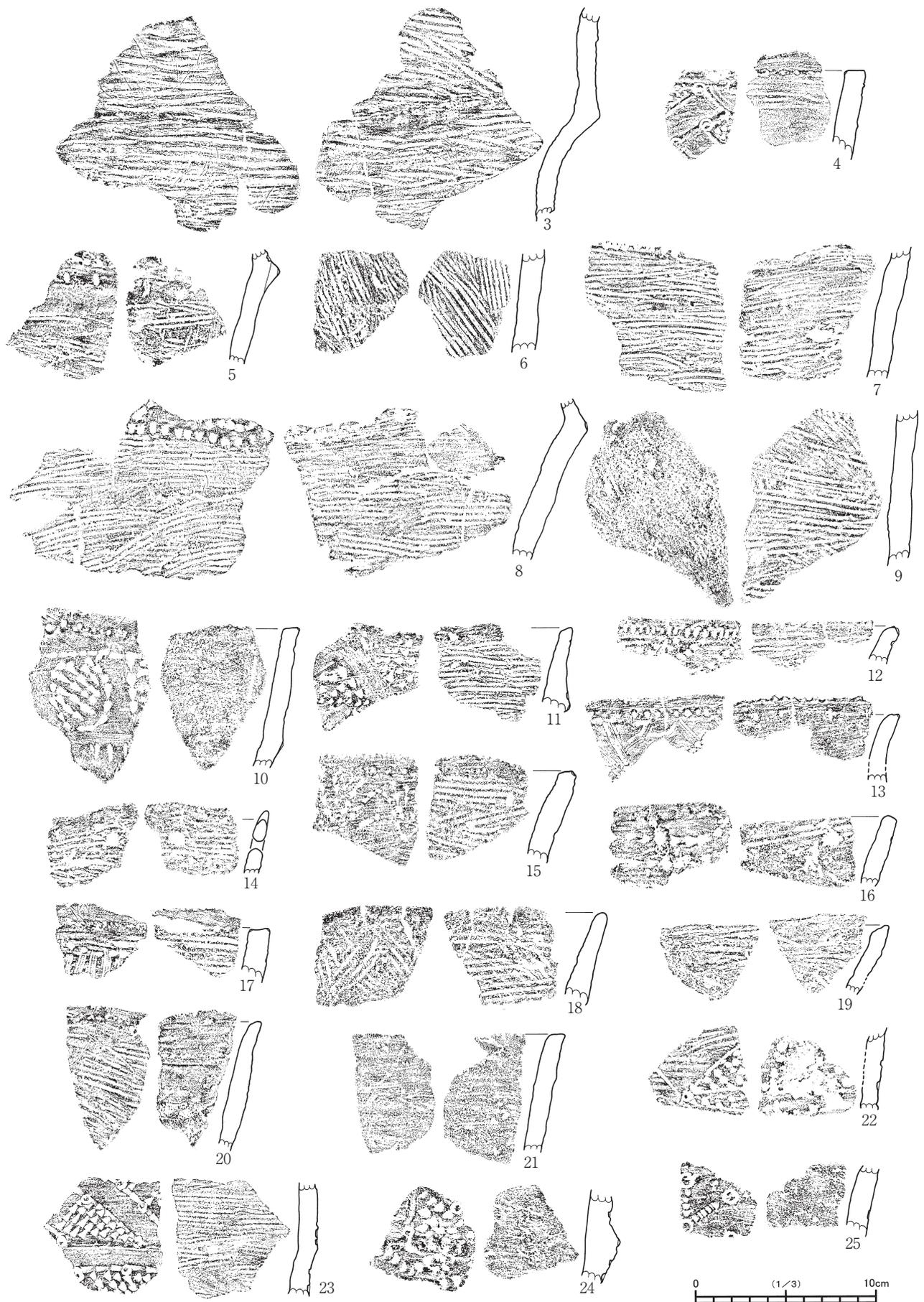
【覆土】 黒褐色土・茶褐色土などを主体とする。ロームブロック・焼土粒などを含む。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部に、長軸178・短軸100・厚さ46cmほどの規模で形成されていた。

【重複関係】 南側で古墳周溝と重複する。

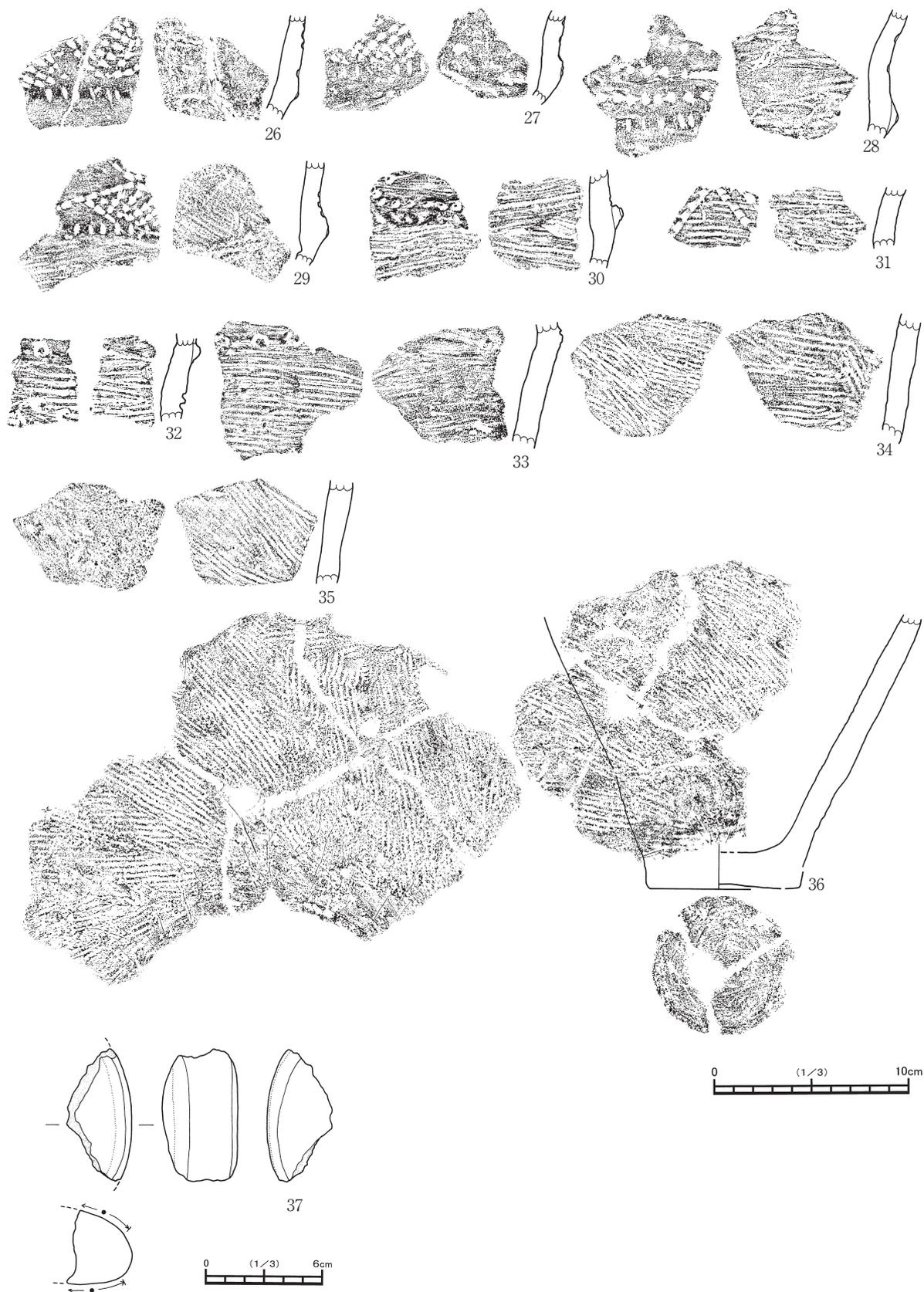
【出土遺物】 38点・1,692 gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、黒曜石の剥片1点がある。土器は、48点・712 g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位



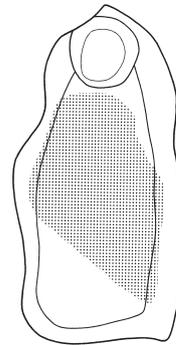
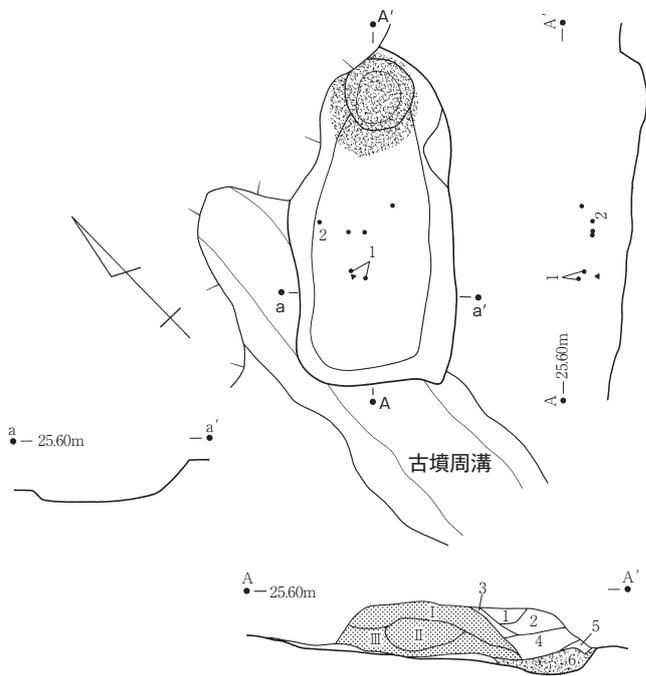
第528図 354号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第529图 354号遺構出土遺物実測图(2)



第530图 354号遺構出土遺物実測図(3)

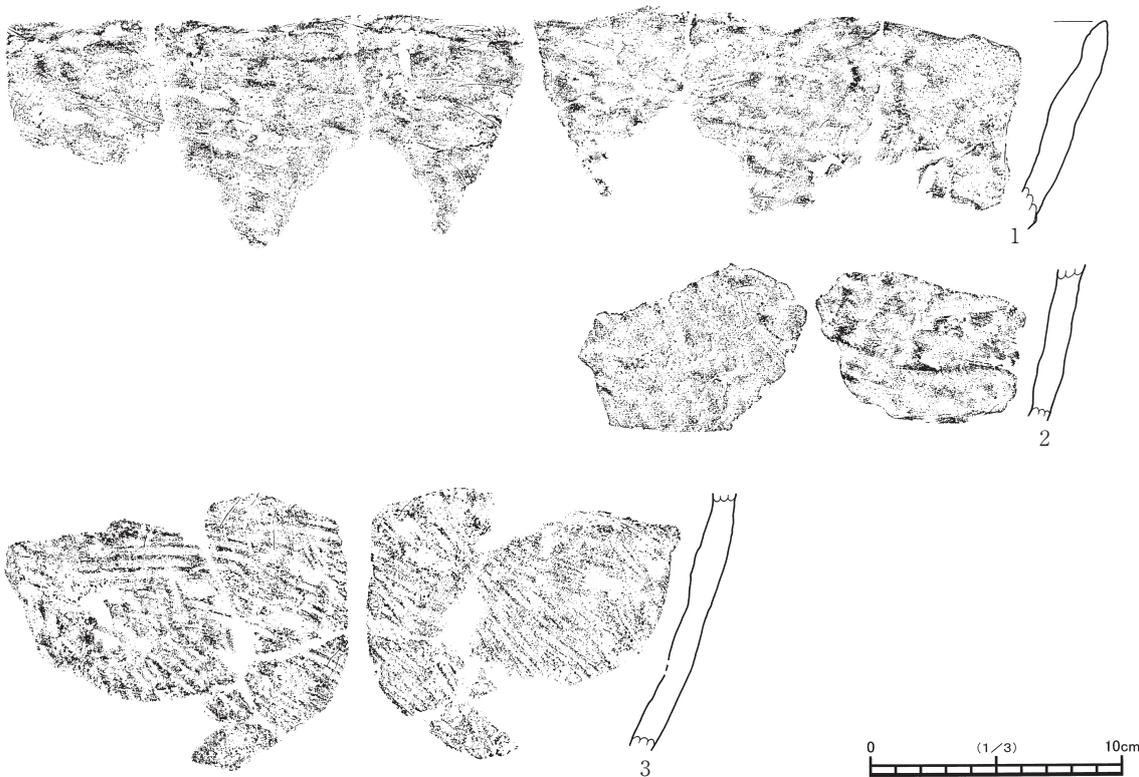
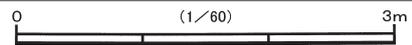


セクション位置：A-A'

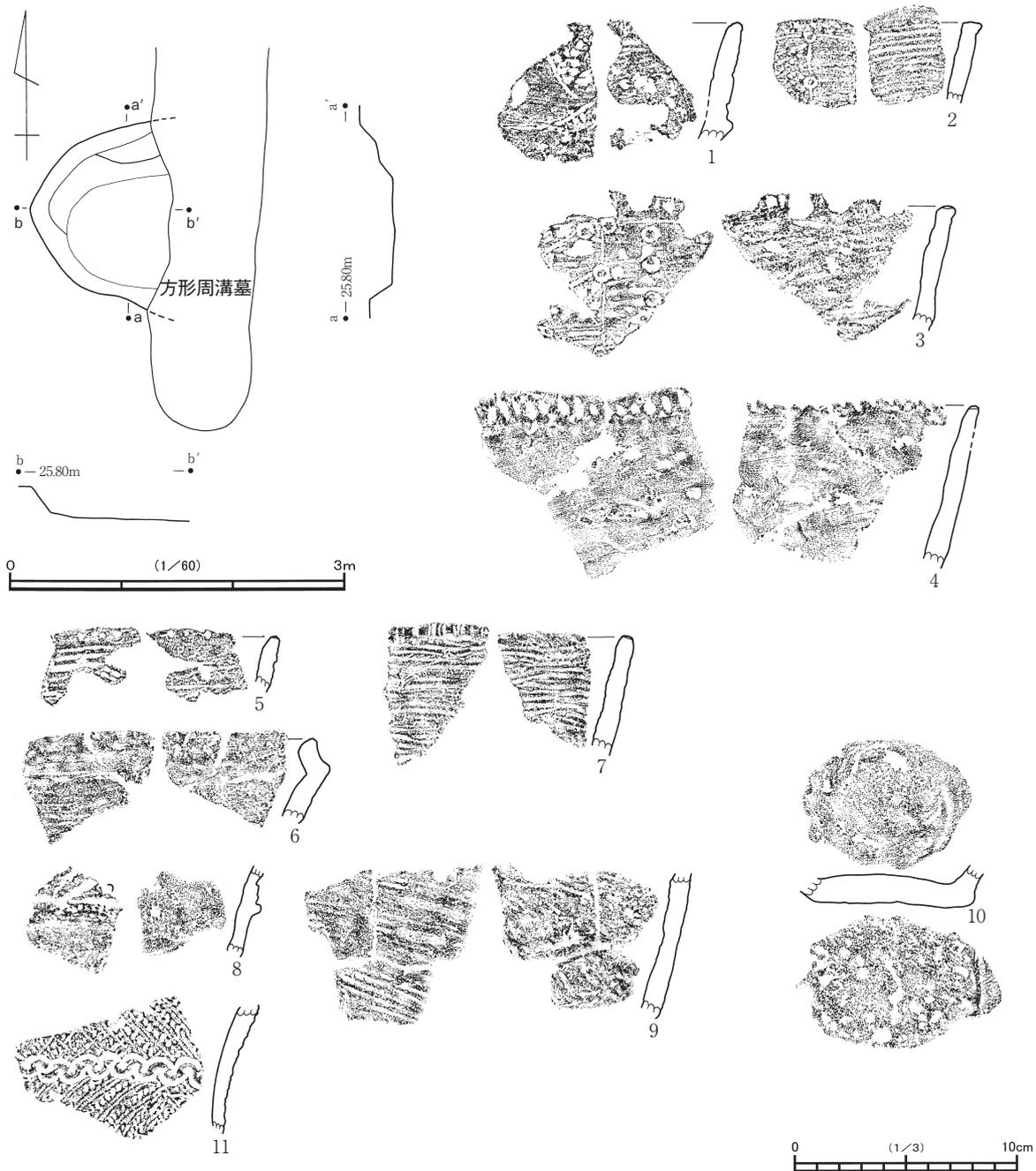
No.	種別 (土の混じり具合)	主体貝	その他の貝	備考
I	混土貝層	ハマグリ	アカニシ・ツメタガイ・マガキ・カガミガイ	
II	純貝層	ハマグリ	オキシジミ・マガキ	
III	混ローム土貝層	ハマグリ	マガキ・オキシジミ	

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	若干のローム	良い		
2	茶褐色	黒土とロームの混合?	良い	やや有り	
3	黒褐色		良い	有り	
4	黒褐色	ロームブロック・焼土粒			
5	黒褐色	多くの焼土粒			
6					焼土



第531図 355号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



第532図 356号遺構実測図および出土遺物実測図

置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を355号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第531図1・2に、一括扱いのものを第531図3に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2・3は胴部の破片である。1・2は内外面にナデ痕が顕著である。

356号遺構

【検出位置】 セ28区H12-16

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.70m・短軸1.24m・深さ32cm。形状は楕円形？（第532図）。

【重複関係】 方形周溝墓周溝との重複により、東側部分を欠失する。

【出土遺物】 19点・1,259gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、87点・1,378g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ97%あり、当該時期を356号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第532図1～11に示した。1～7は条痕文系深鉢形土器の口縁部、8・9は胴部、10は平底の底部破片である。11は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の破片である。地文の付加条文上にコンパス文が施される。

357号遺構

【検出位置】 セ28区I12-03・04・07・08

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸6.30m・短軸4.00m・深さ122cm。燃焼面8箇所。形状はアメーバ状（第533図）。

【出土遺物】 16点・1,807gの礫および礫石器が出土している。このうち51.7%に被熱のあとがみられる。石器は、4点出土している。うちわけは、石鏃1点・打製石斧1点・敲石1点・磨石1点・このほか黒曜石の剥片2点がある。土器は、509点・12,880g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系・称名寺式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の99.3%あり、当該時期を357号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第533図1・2、第534図3～8に、覆土一括扱いのものを第535図9～33、第536図34～54、第537図55～66に示した。1は推定口径146mm・現存器高103mmを測る条痕文系深鉢形土器である。横位隆帯が一段みられるが文様はない。外面に横・斜方向に条痕が施される。口唇部前面に浅い刺突がめぐる。2は現存器高139mm・胴部最大径400mmを測る条痕文系深鉢形土器である。微隆帯による三角形・菱形区画内に刺突文を充填、交点に円形文を施す。文様帯は刺突を付す二段の横位隆帯で区分される。3は現存器高253mm・胴部最大径360mmを測る条痕文系深鉢形土器である。一段の横位隆帯がみられる。9～33は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4～8・34～60は胴部、61は平底の底部破片である。62～64は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、65は無文土器の口縁部破片である。66は称名寺式深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第537図67～70に示した。67は最大長18.2mmを測る黒曜石製の石鏃である。68は輝石安山岩製打製石斧である。69はデイサイト製敲石である。70は砂岩製磨石である。

358号遺構

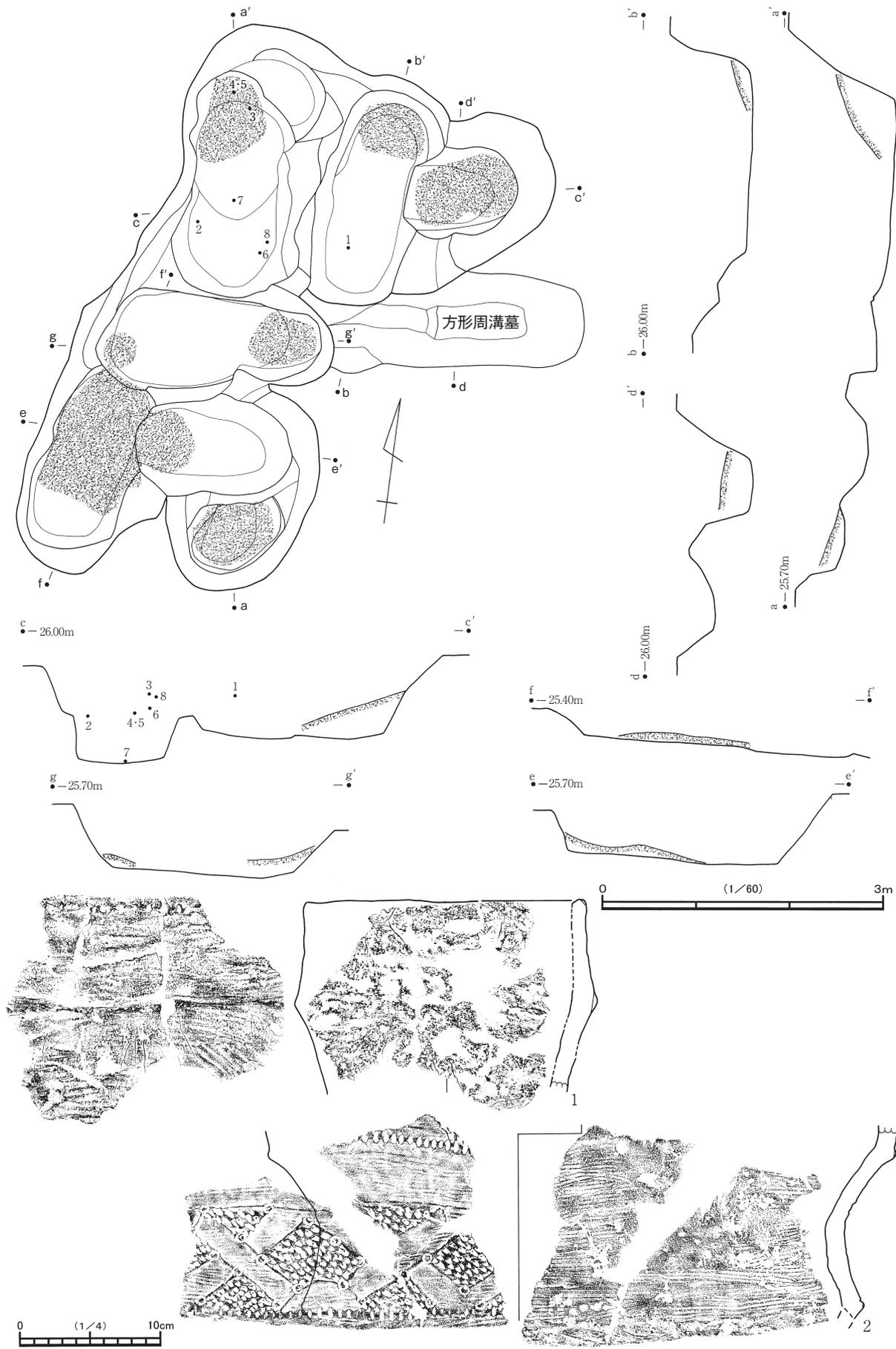
【検出位置】 セ28区I12-08、I13-05

【種別】 土坑

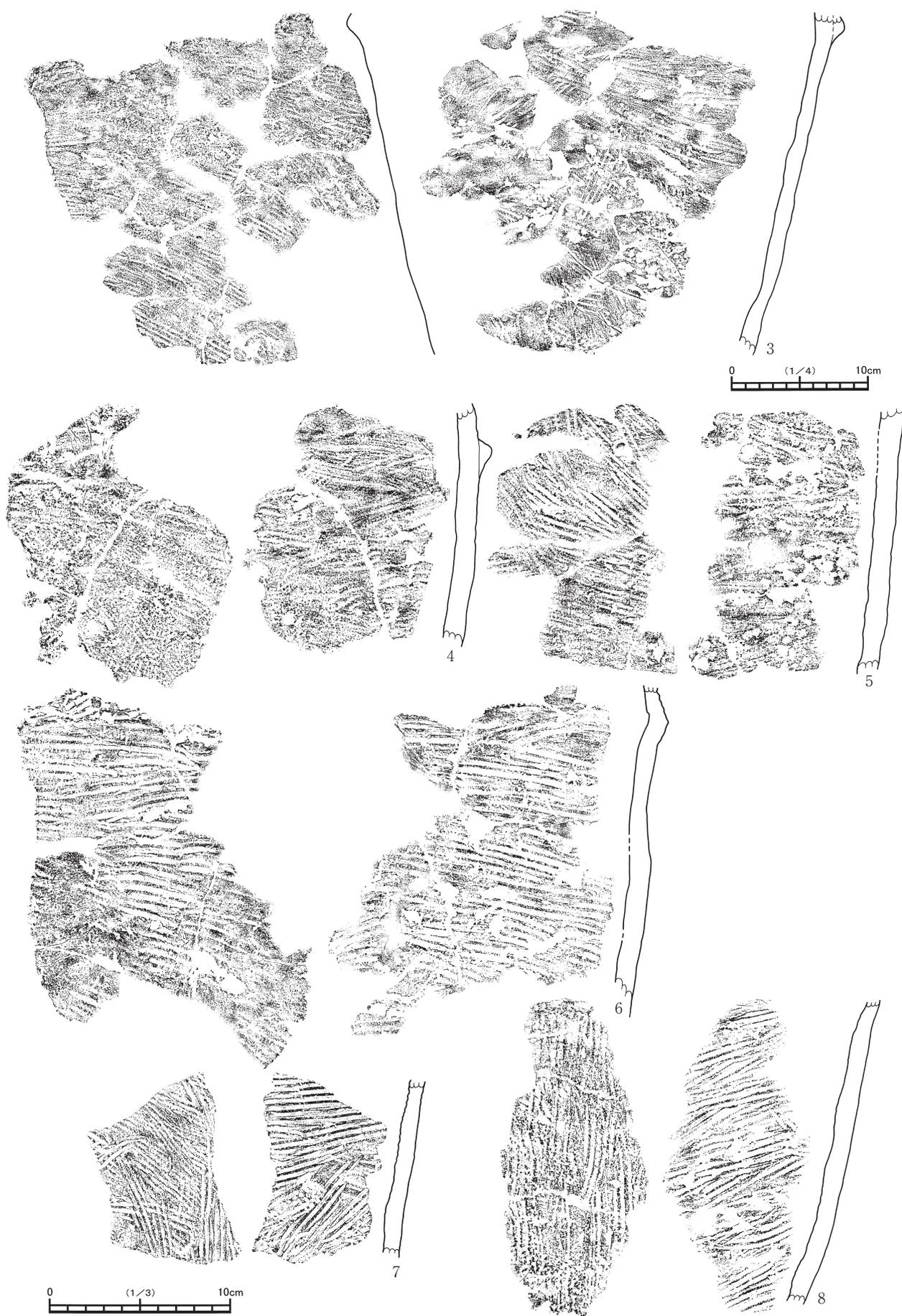
【規模ほか】 長軸1.78m・短軸1.59m・深さ42cm。形状は楕円形（第538図）。

【出土遺物】 土器は、24点・468g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を358号遺構の帰属時期とみる。

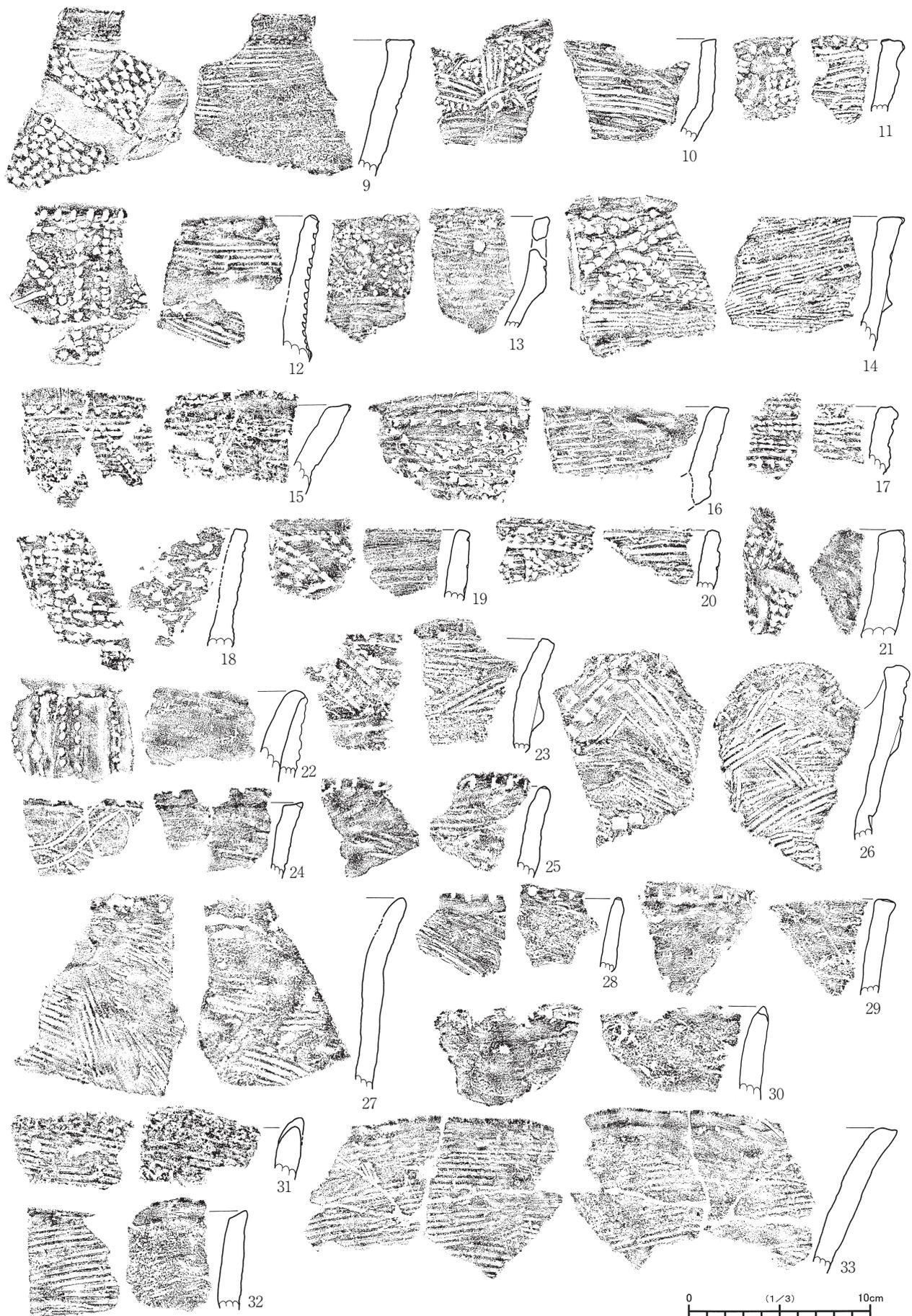
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第538図1～4に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁



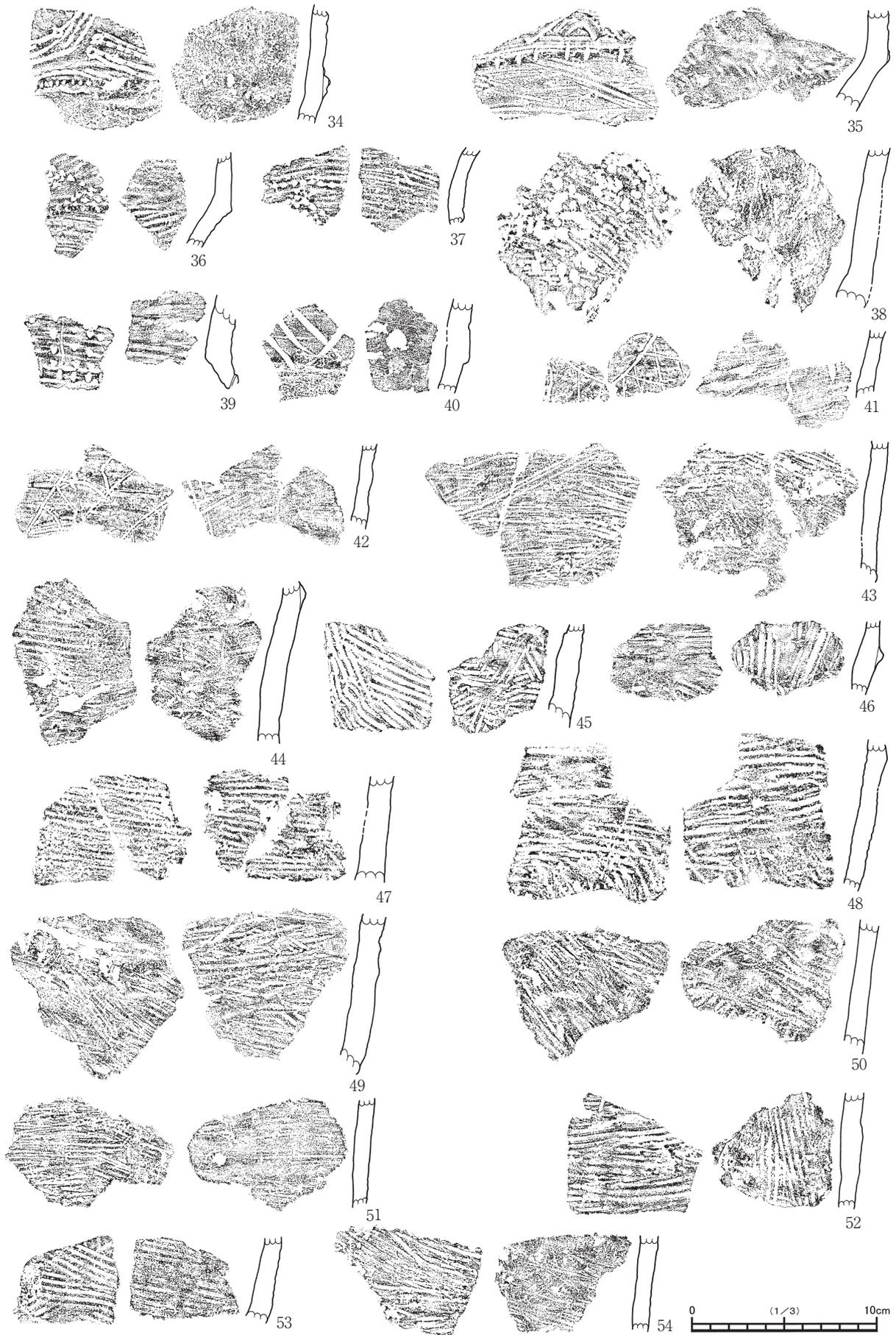
第533図 357号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



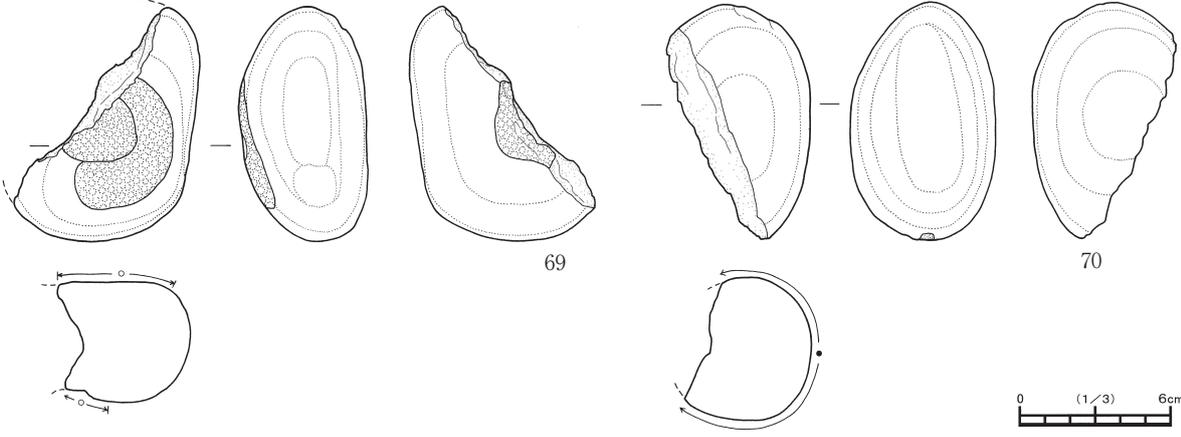
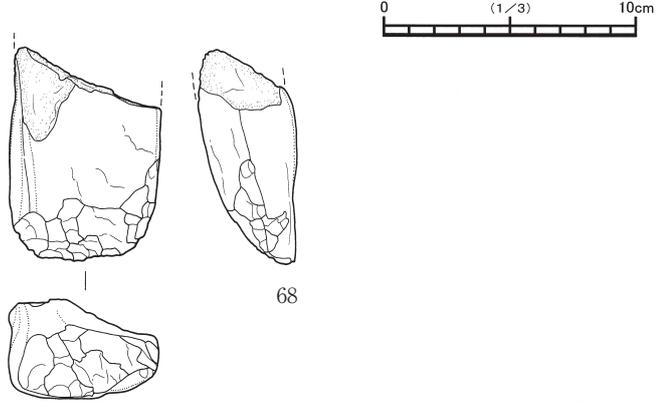
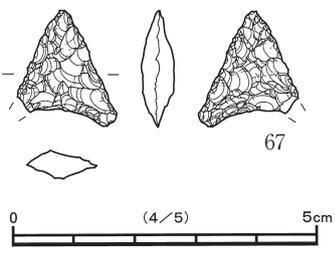
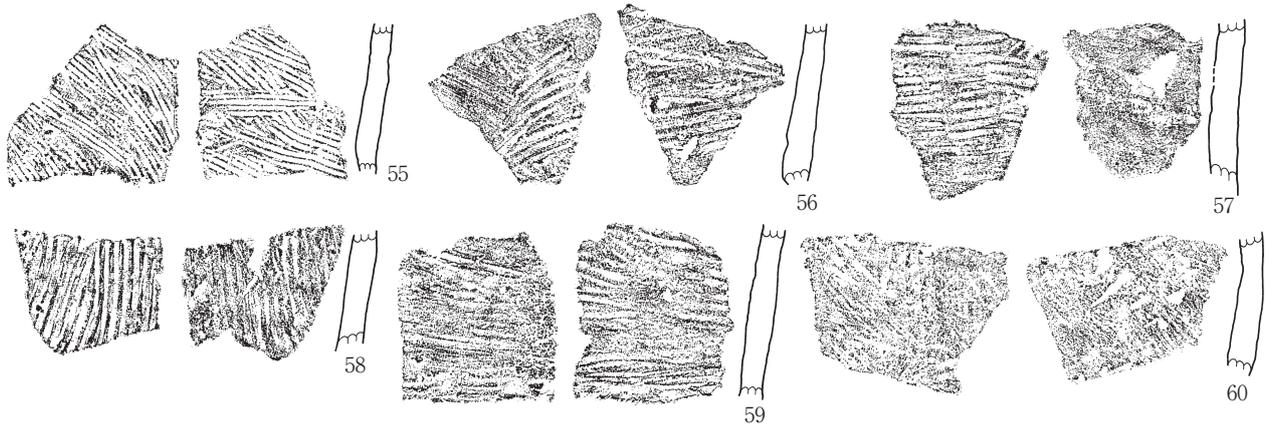
第534图 357号遺構出土遺物実測図(2)



第535图 357号遺構出土遺物実測図(3)



第536图 357号遺構出土遺物実測図(4)



第537图 357号遺構出土遺物実測図(5)

部、2～4は胴部破片である。

359号遺構

【検出位置】 セ28区I12-12、I13-09

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.38m・短軸1.90m・深さ48cm。燃焼面1箇所（第539図）。

【その他】 極めて規模の小さな貝ブロックが出土している。

【出土遺物】 48点・2,417gの礫および礫石器が出土している。このうち73%に被熱のあとがみられる。石器は、敲石1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、163点・6,217g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は遺構の西側、基底面よりやや上から出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の97.6%あり、当該時期を359号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第539図1～7・第540図8～16に、一括扱いのものを第541図17～25に示した。1～4・18は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。5は口径275mm・現存器高230mmを測る条痕文系深鉢形土器で、口縁直下に二列の横位連続刺突文、その下にX字状に二列の連続刺突文、交差点に円形文が施される。文様帯は楕円刺突文を付す横位隆帯により区画される。また口唇部には深い刺突がめぐる。17は推定口径206mm・現存器高224mmを測る条痕文系深鉢形土器で、楕円刺突を付す横位隆帯がめぐるが、内外面の条痕以外に文様はない。6～13・19～21は条痕文系深鉢形土器の胴部破片で、14は推定底径96mm、22は推定底径80mm、23は底径67mmを測る底部破片である。24も底部の破片である。15は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、16は胴部破片である。25は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第541図26に示した。最大長89mmを測るチャート製の敲石である。

360号遺構

【検出位置】 セ28区I13-14

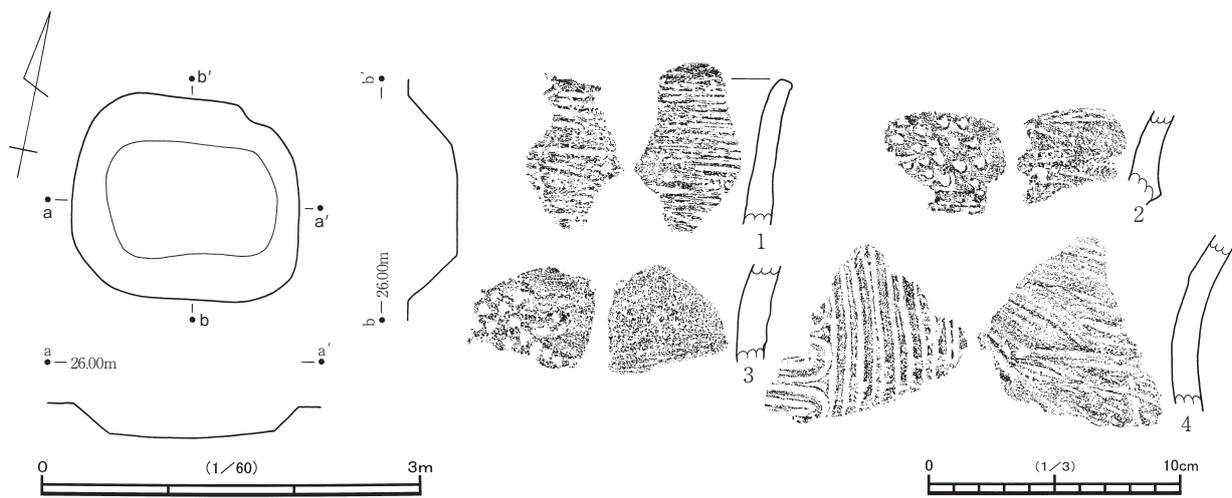
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.30m・短軸2.10m・深さ54cm。燃焼面1箇所（第542図）。

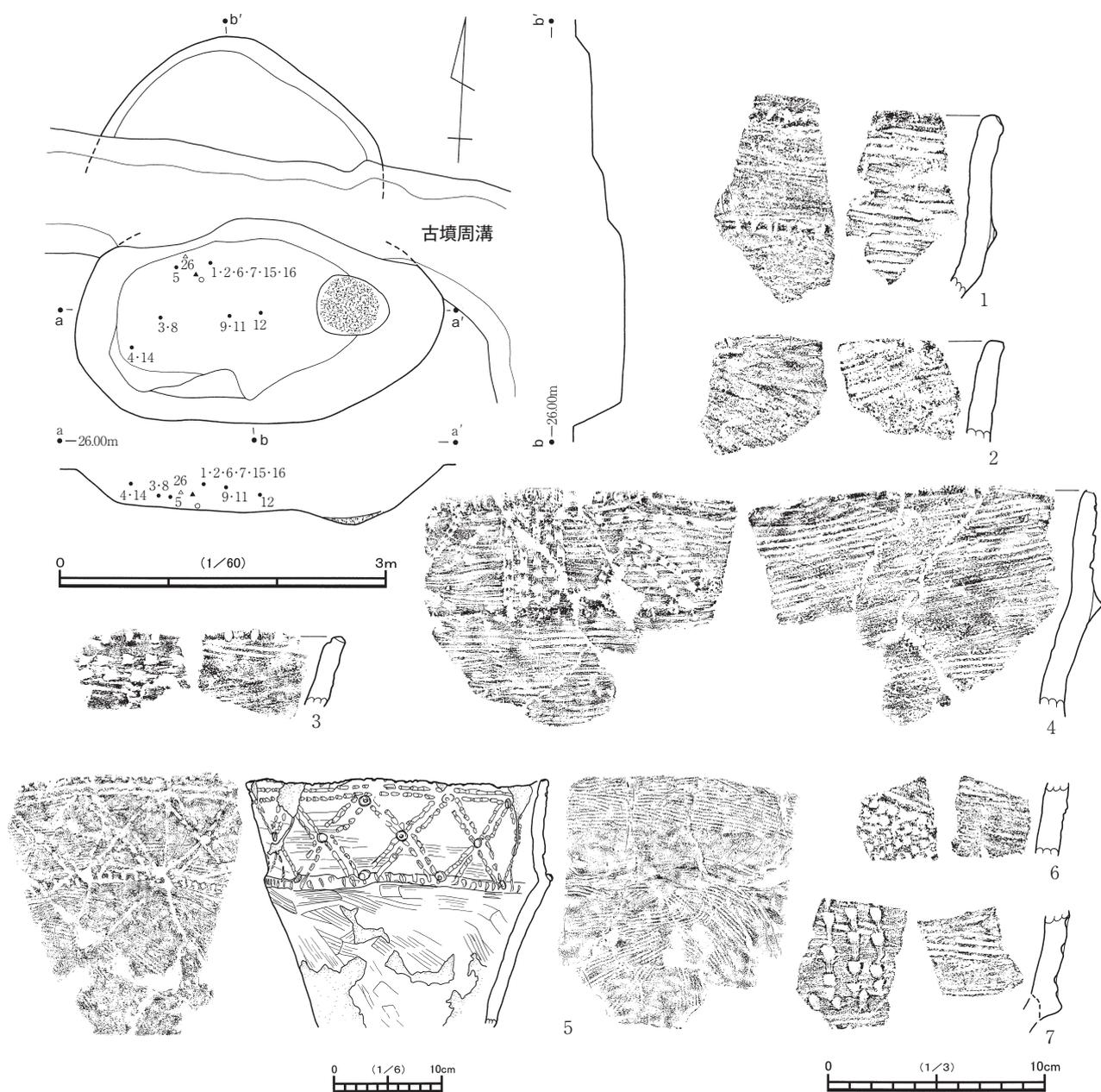
【覆土】 暗黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部分に、長軸54・短軸14・厚さ18cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 13点・1,336gの礫が出土している。このうち90.4%に被熱のあとがみられる。石器は、石鏃1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、116点・3,408g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の99.6%あり、当該時期を360号遺構の帰属時期とみる。

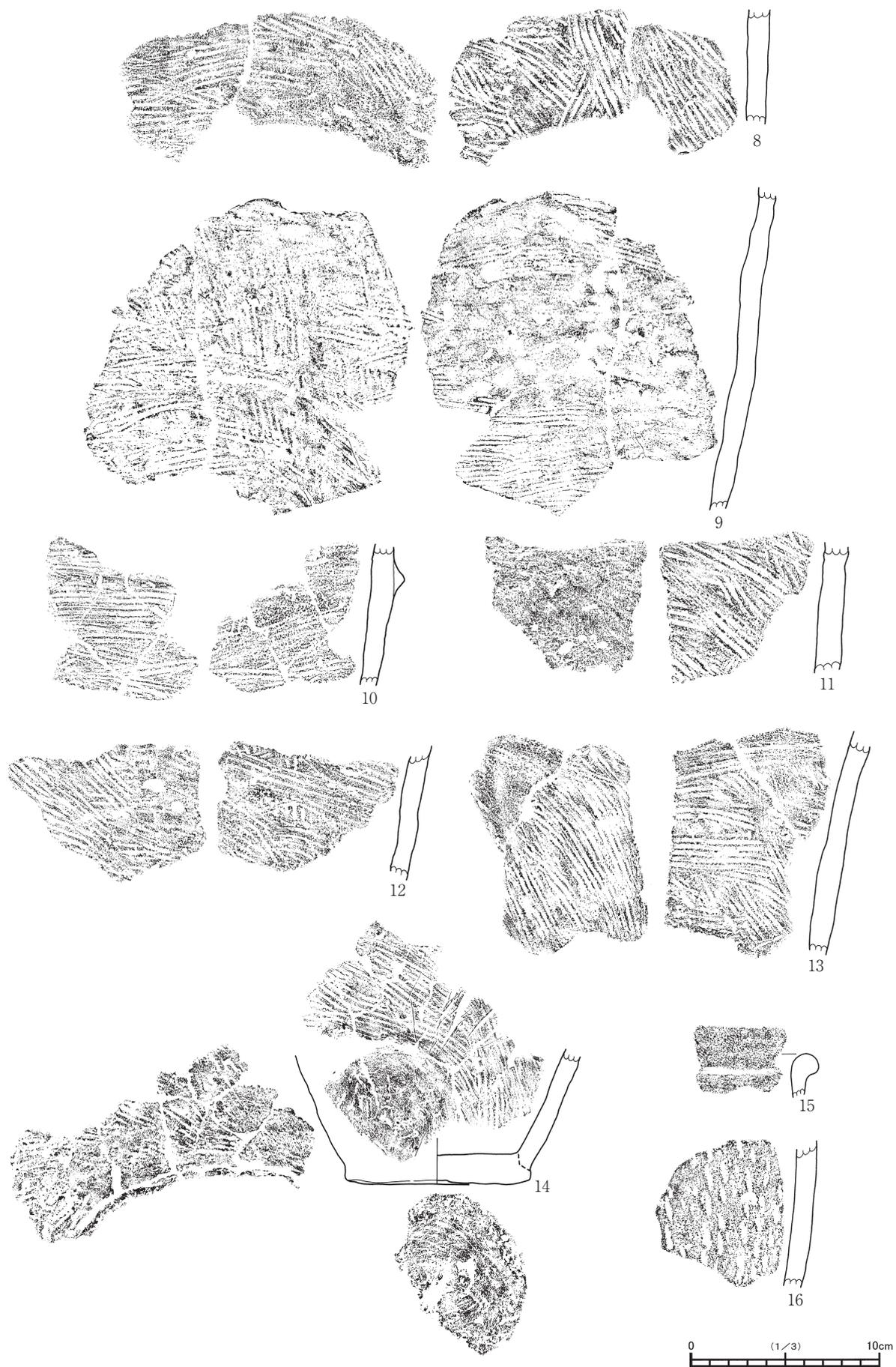
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第542図1～3、第543図4～8に、覆土一括扱いのものを第543図9～20に示した。1・2・9～14は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3～8・15～19は胴部の破片である。3は現存器高206mm・胴部最大径289mmを測る土器の胴部破片である。細い沈線区画内を刺突文で充填、文様帯は縦位のキザミを付す二条の横位隆帯で区分される。内外面ともに



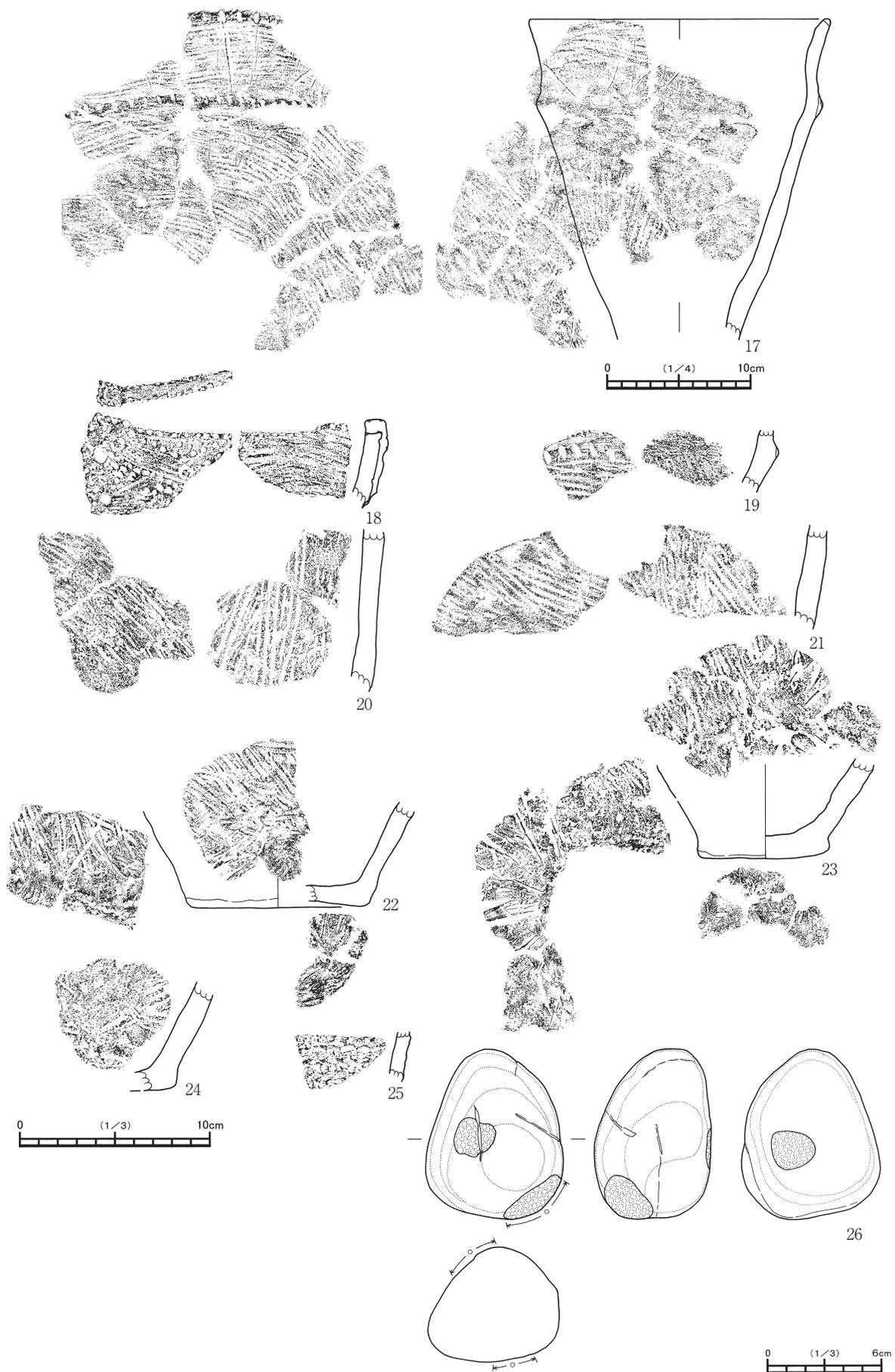
第538図 358号遺構実測図および出土遺物実測図



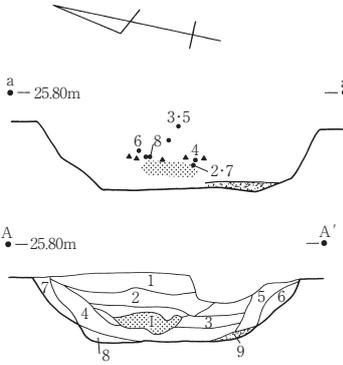
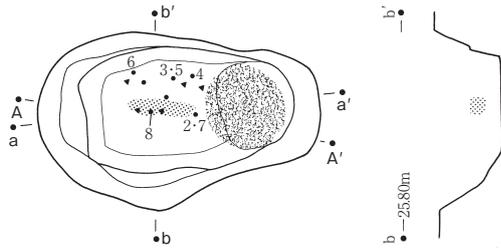
第539図 359号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第540图 359号遺構出土遺物実測図(2)



第541图 359号遺構出土遺物実測図(3)

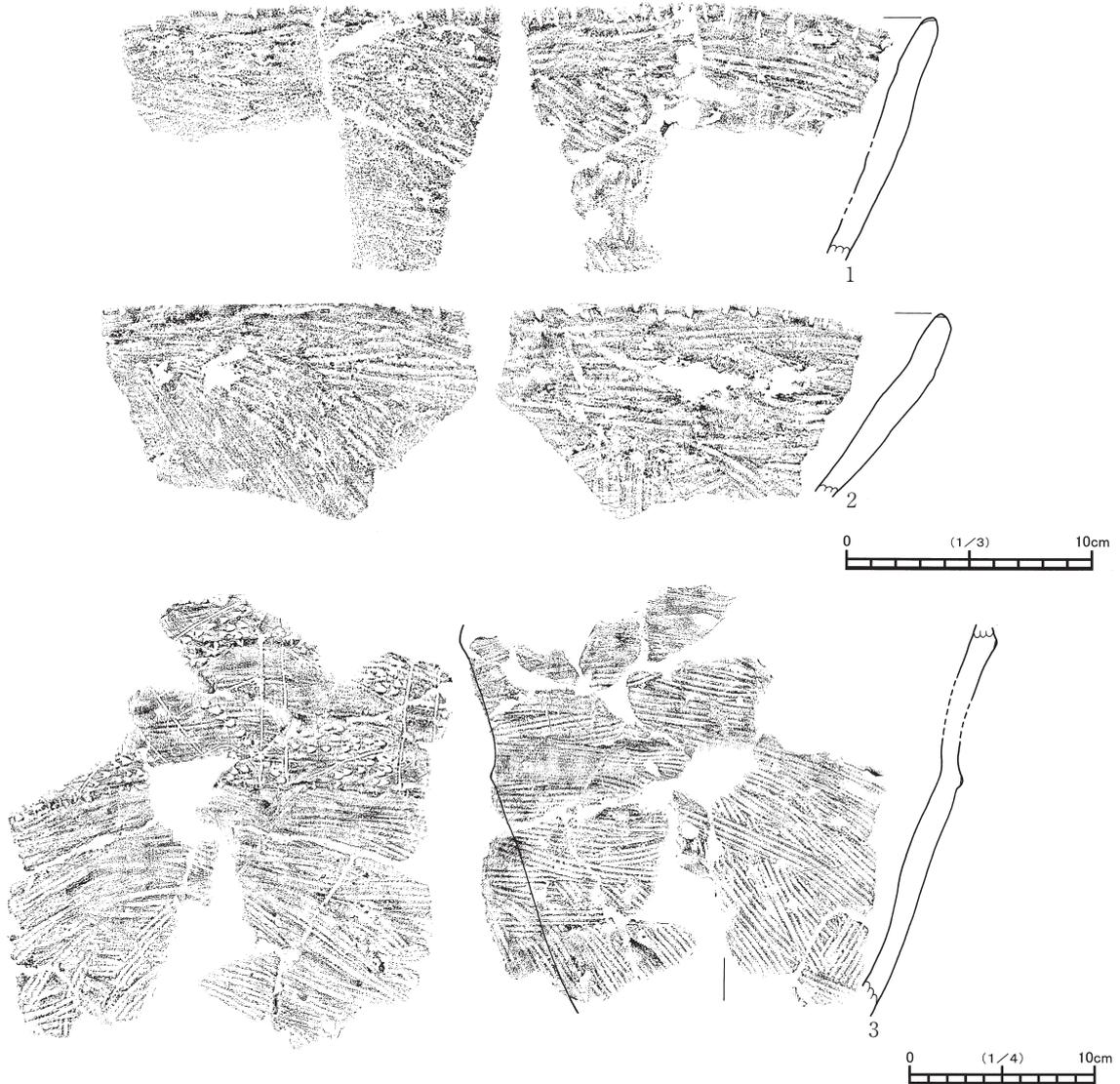
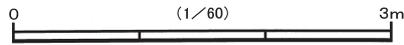


セクション位置：A-A'

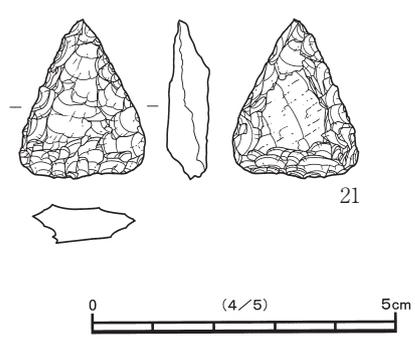
No.	種別（土の混じり具合）	主体貝	その他の貝	備考
1	混土貝層			

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗茶褐色	テフラブロック			
2	暗黒褐色				
3	暗黒褐色				
4	暗褐色	暗褐色土ブロック・ローム粒・少量の焼土粒			
5	暗黒茶色				
6	暗茶色				
7	暗茶色				
8	暗黒褐色				
9					焼土



第542図 360号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第543图 360号遺構出土遺物実測図(2)

横・斜方向の条痕を施す。20は捺糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第543図21に示した。最大長26.0mmを測るチャート製の石鏃である。

361号遺構

【検出位置】 セ28区H13-16、H14-13

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸5.72m・短軸3.28m・深さ105cm。燃焼面5箇所。形状はアメーバ状（第544図）。

【覆土】 暗褐色土・褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックを含む層が多い。

【出土遺物】 107点・5,283gの礫が出土している。このうち98%に被熱のあとがみられる。石器は、無斑晶質安山岩の剥片1点がある。土器は、229点・5,259g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は遺構中央部から東寄り、覆土上層から中層にややまとまって出土している。土器のうちわけは、捺糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の69.6%あり、当該時期を361号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第544図1～4・第545図5～10に、覆土一括扱いのものを第546図11～30に示した。1は推定口径272mm・現存器高99mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。沈線による三角形基調の区画文を刺突文で充填、屈曲部以下は沈線による格子状文を施す。また口唇部に刺突がめぐる。2は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3～8・11～16は胴部、17・18は底部の破片である。9は推定口径346mm・現存器高233mmを測る羽状縄文系・関山式平縁の深鉢形土器である。口唇部に三連?の山形貼付文、口縁部に二連の梯子縄文を鋸歯状に配す。要所に円形貼付文を付す。以下、ループ文・羽状縄文・コンパス文が施される。19～26は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、10・27～30は胴部破片である。9・10など関山式の土器が覆土の上層からややまとまって出土していることから、早期の炉穴覆土が埋まっていく段階で入り込んだものとみられる。

362号遺構

【検出位置】 セ28区I13-04

【種別】 土坑

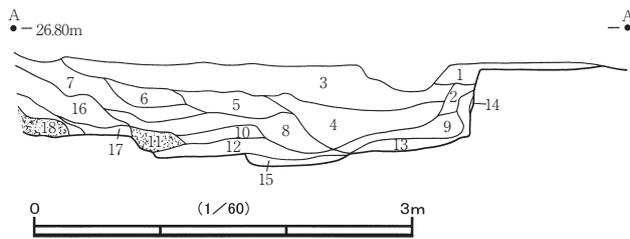
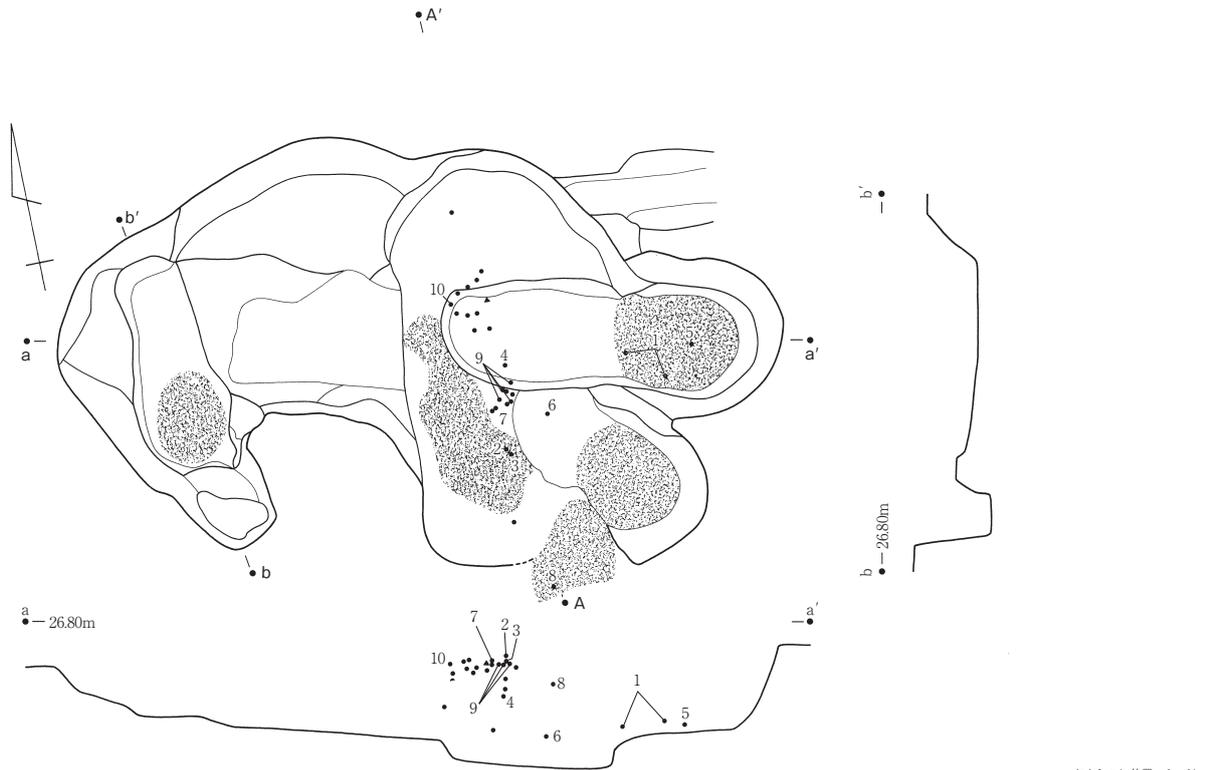
【規模ほか】 長軸2.50m・短軸1.55m・深さ106cm。形状は楕円形（第547図）。

【覆土】 黒色土・暗茶色土などを主体とする。

【重複関係】 方形周溝墓周溝部との重複により西側の一部を欠失する。

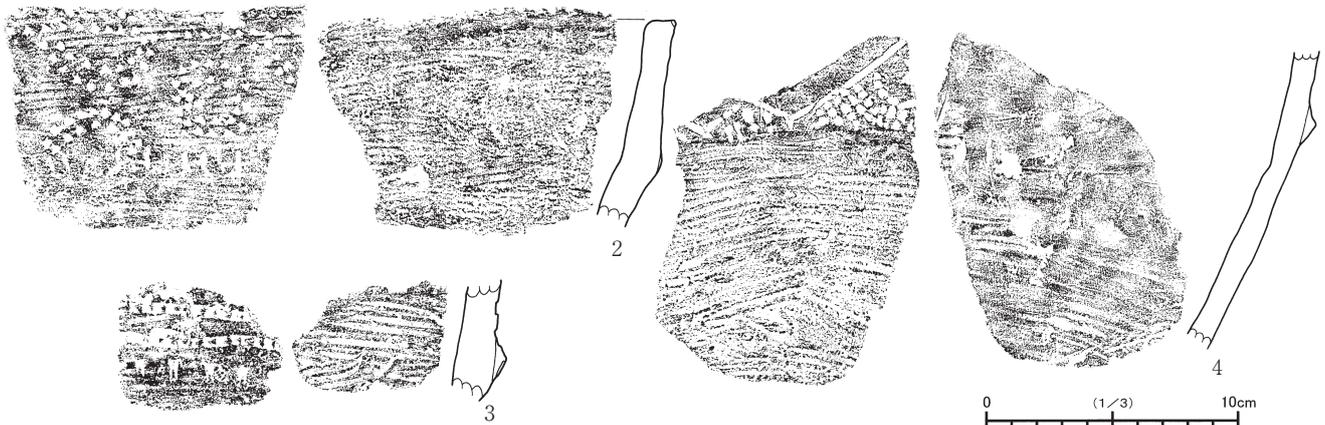
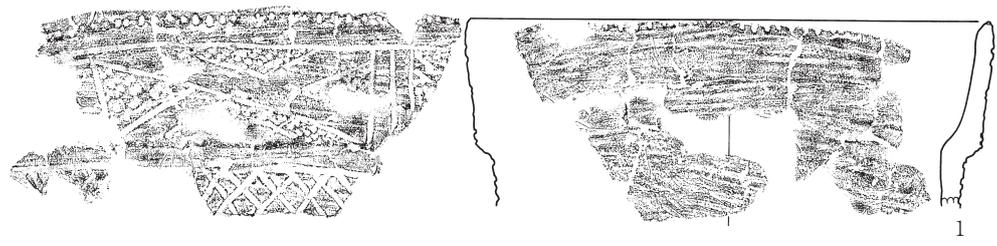
【出土遺物】 10点・314gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、56点・1,724g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、遺構中央やや西より、覆土上層から出土している。土器のうちわけは、捺糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の92.3%あり、当該時期を362号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第548図1～6に、一括扱いのものを第548図7～13に示した。1・2・7・8は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3～6・9・10は胴部の破片である。3は現存器高180mm・胴部最大径336mmを測るもので、二段の横位隆帯がある。11・12は捺糸文系深鉢形土器の胴部破片、13は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。

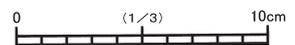
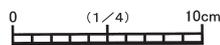
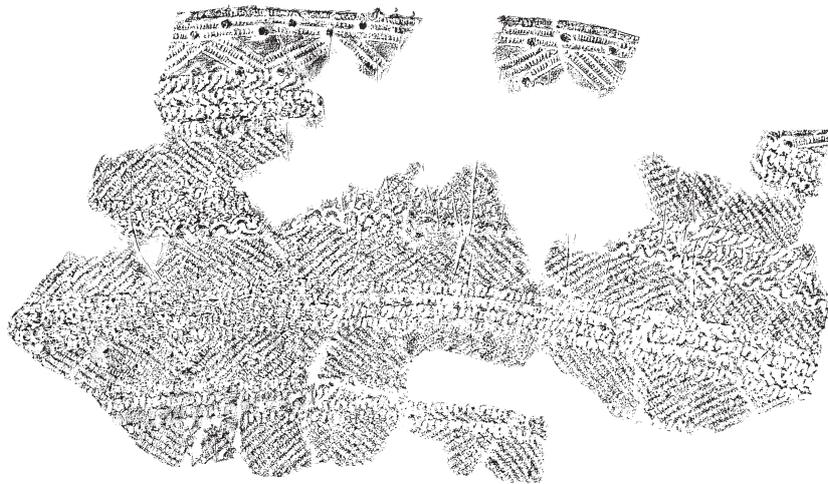
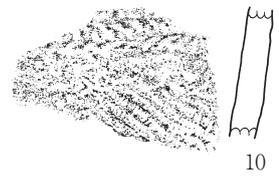
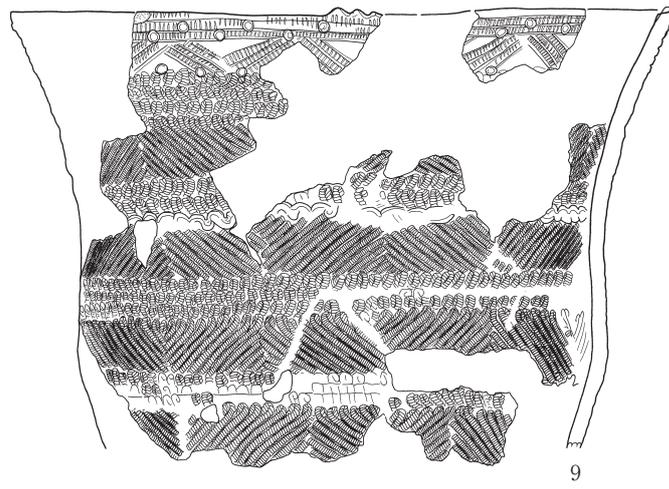
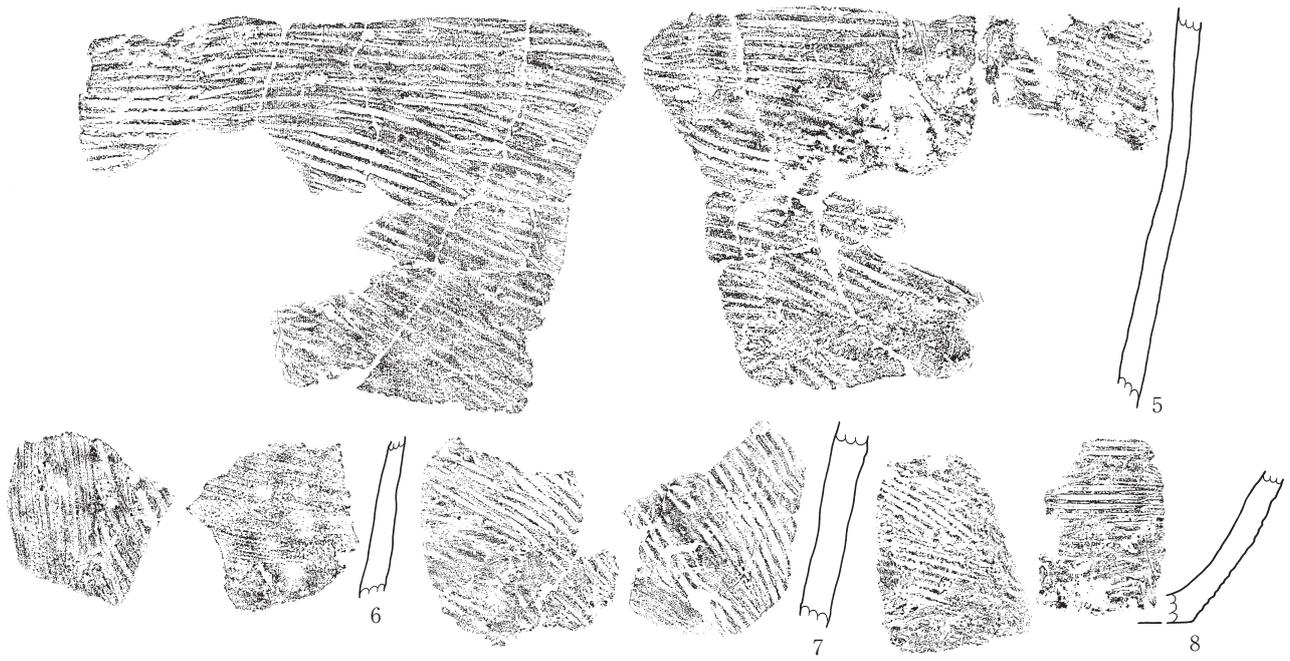


セクション位置：A-A'

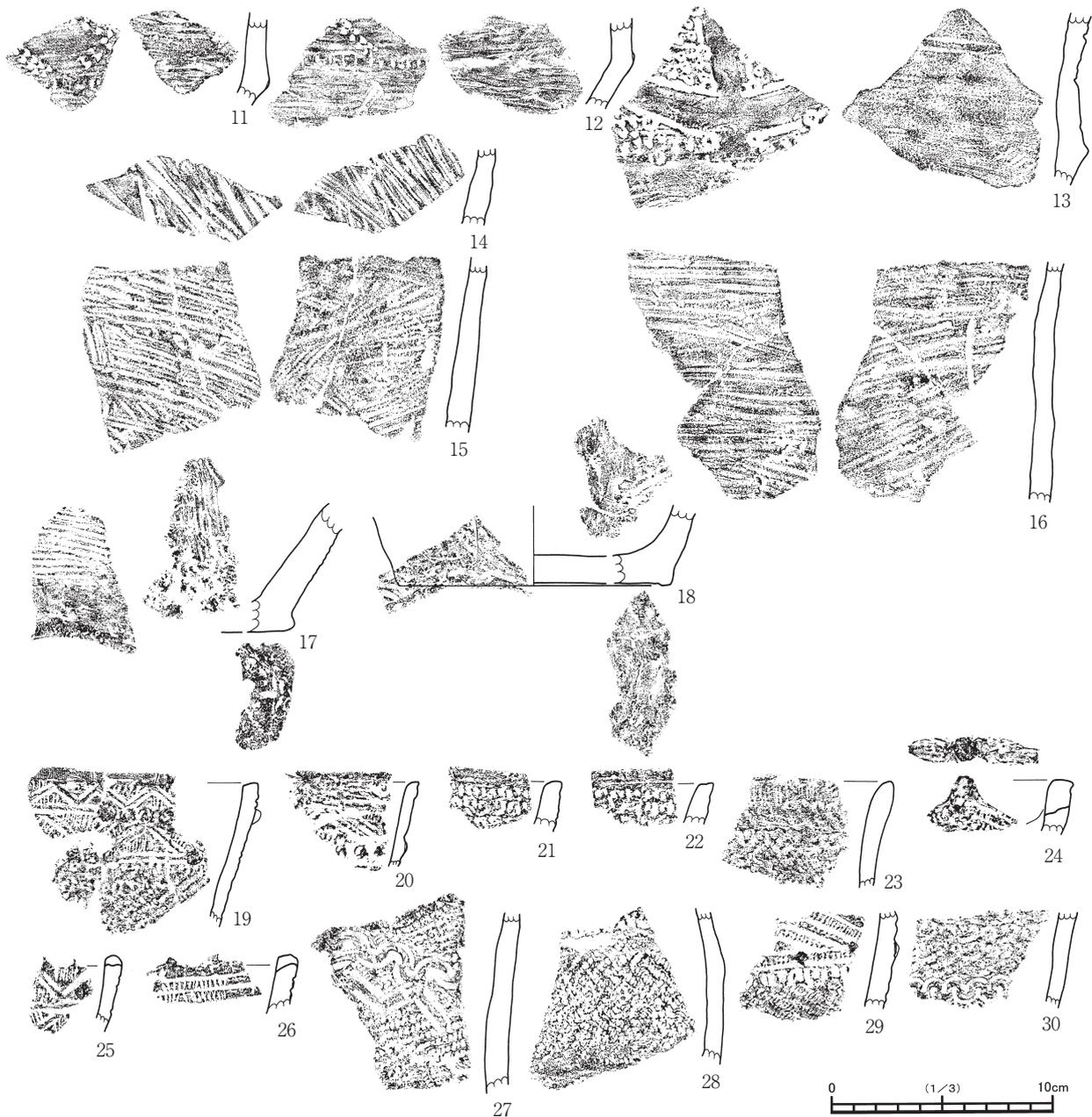
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色				
2	暗茶色				
3	暗褐色	多量のテフラブロック・ローム粒・焼土粒			
4	暗黒褐色	ローム粒・焼土粒・テフラブロック			
5	暗褐色	ロームブロック			
6		焼土塊			
7	褐色	ローム粒・ロームブロック・若干の焼土塊			
8	褐色	ローム粒・テフラブロック			
9	褐色	ローム粒			
10		ロームブロック			
11	明褐色	ローム粒・焼土塊			
12	暗褐色	ローム粒・少量の焼土塊			
13	暗褐色	ローム粒・ロームブロック			
14	暗茶色	ローム・テフラブロック			
15	暗褐色	焼土粒・ローム粒			伊穴覆土
16	暗褐色	多量のローム粒			
17	暗褐色	ロームブロック			
18					焼土



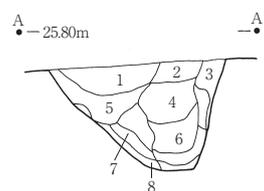
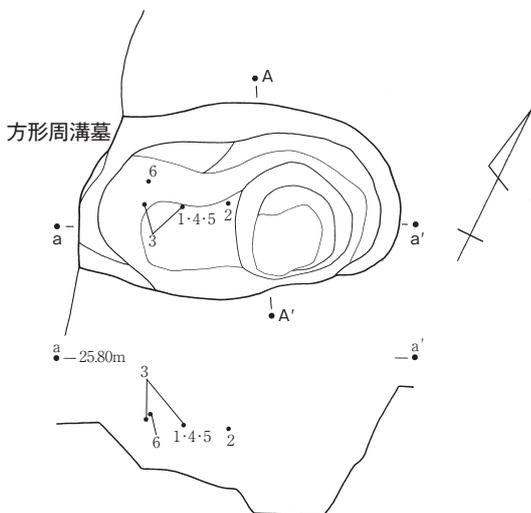
第544図 361号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第545图 361号遺構出土遺物実測図(2)

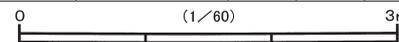


第546図 361号遺構出土遺物実測図(3)

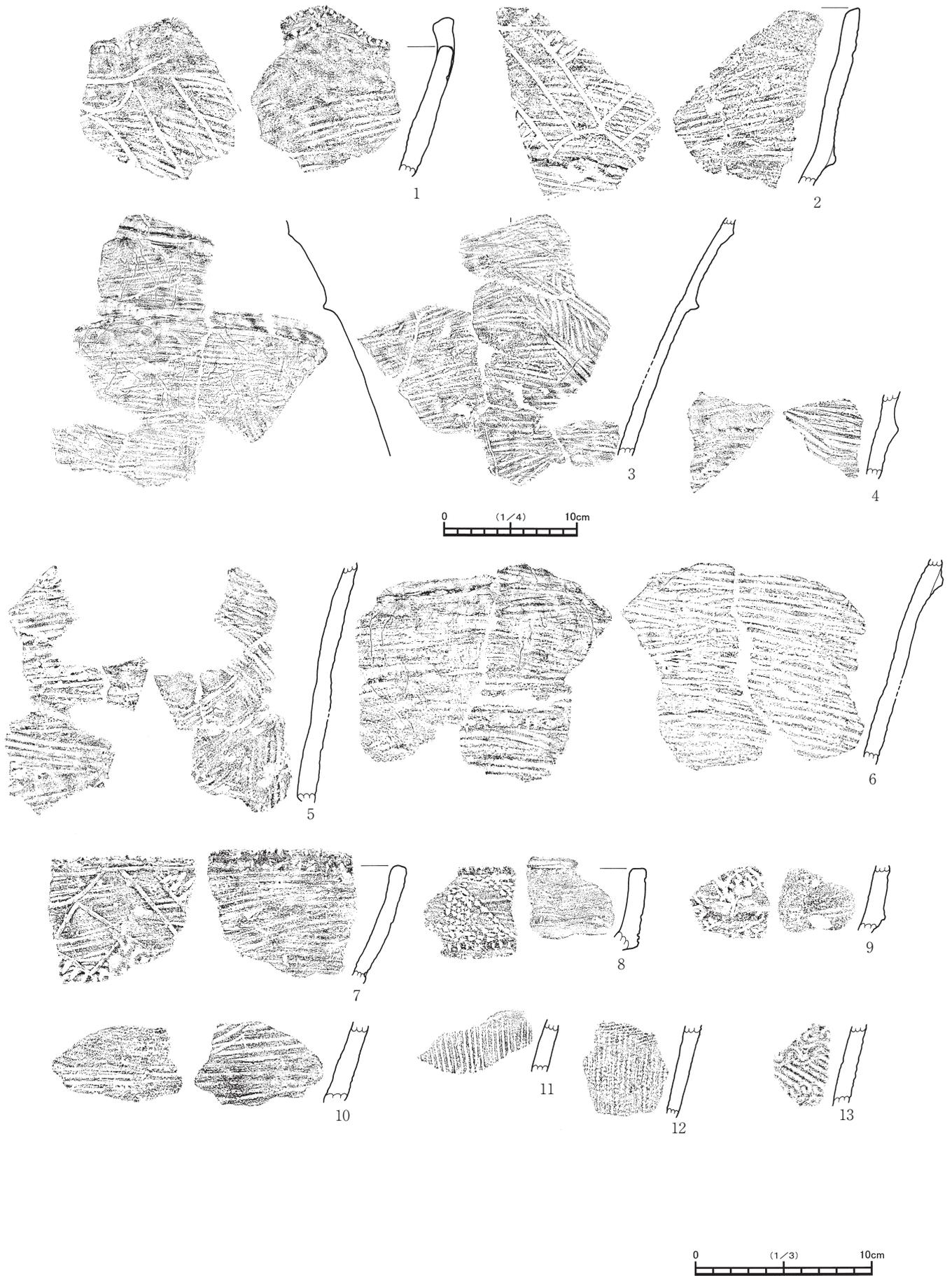


セクション位置：A-A'

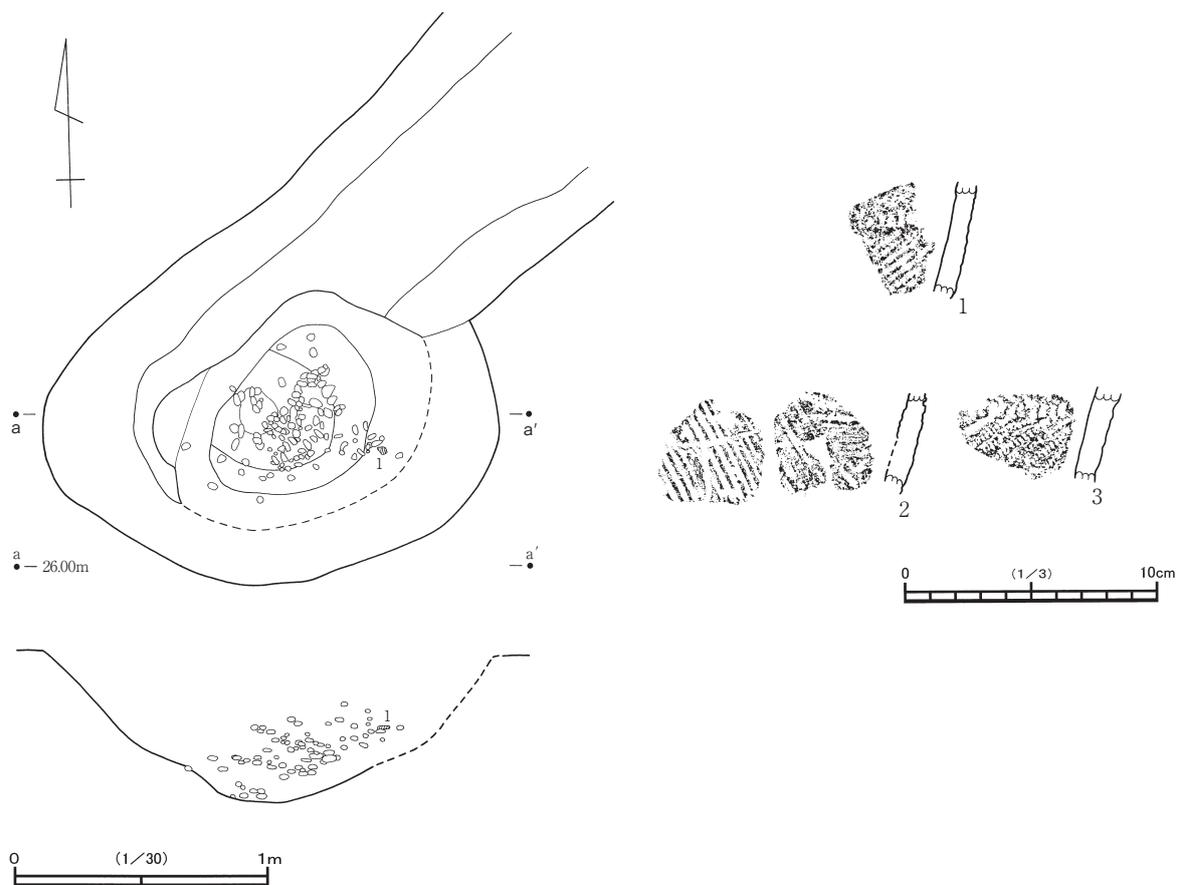
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1		テフラブロック			
2		テフラ			
3	暗茶色				
4	黒色	テフラ			
5	1層よりやや暗い色				
6	黒色	多量のテフラ			
7	暗茶色	ローム粒・テフラ・焼土粒			
8	暗茶色				



第547図 362号遺構実測図・遺物出土状況図



第548图 362号遺構出土遺物実測図



第549図 363号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

363号遺構

【検出位置】 セ28区I14-04

【種別】 集石遺構

【規模ほか】 長軸1.76m・短軸1.42m・深さ60cm。形状は不整形（第549図）。

【出土遺物】 257点・8,293gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、9点・92g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。礫は遺構基底面よりやや浮いた位置、覆土中層から下層にまとまってみられる。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系で全体のおよそ64%あり、当該時期を363号遺構の帰属時期とみる。

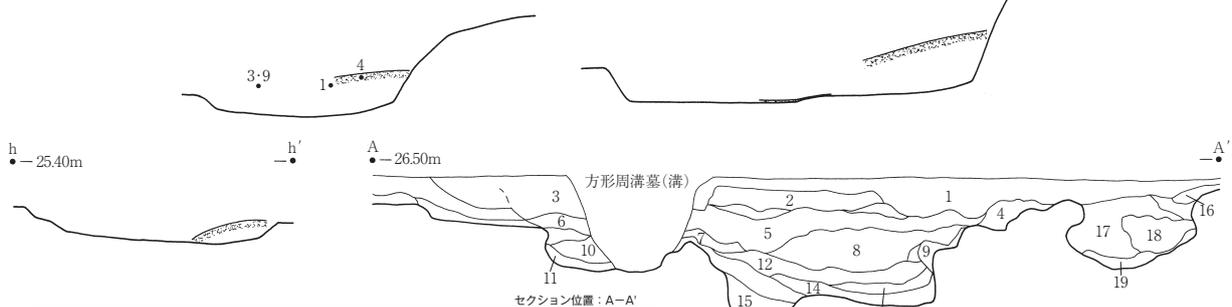
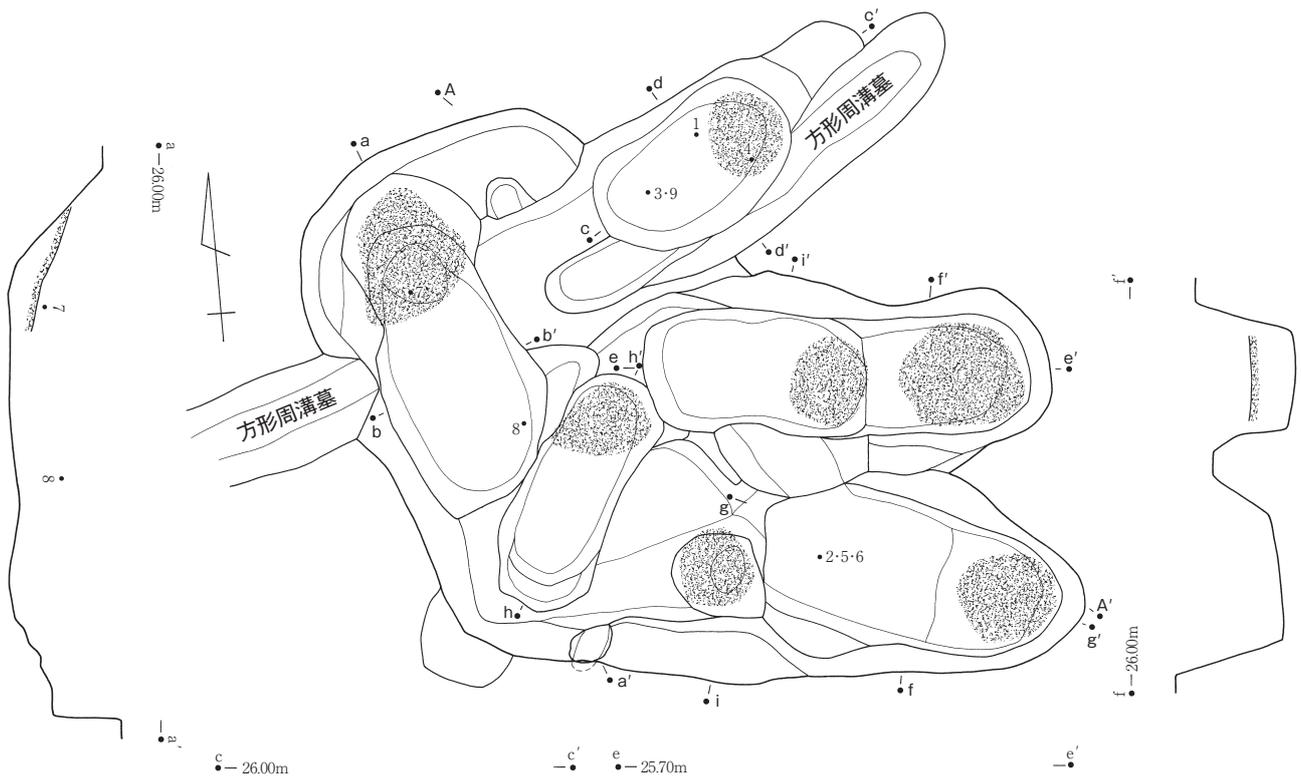
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第549図1に、一括扱いのものを第549図2・3に示した。2は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。1・3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。

364号遺構

【検出位置】 セ28区I13-07・08・11・12

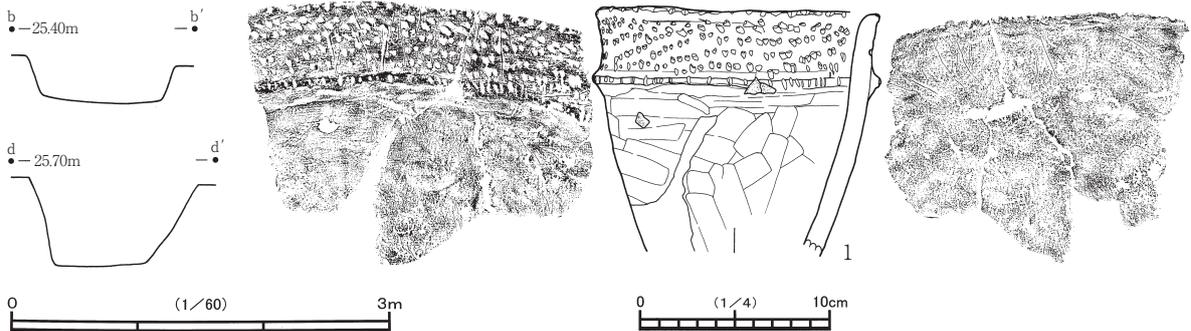
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸5.50m・短軸5.30m・深さ108cm。燃烧面7箇所。形状はアメーバ状（第550図）。

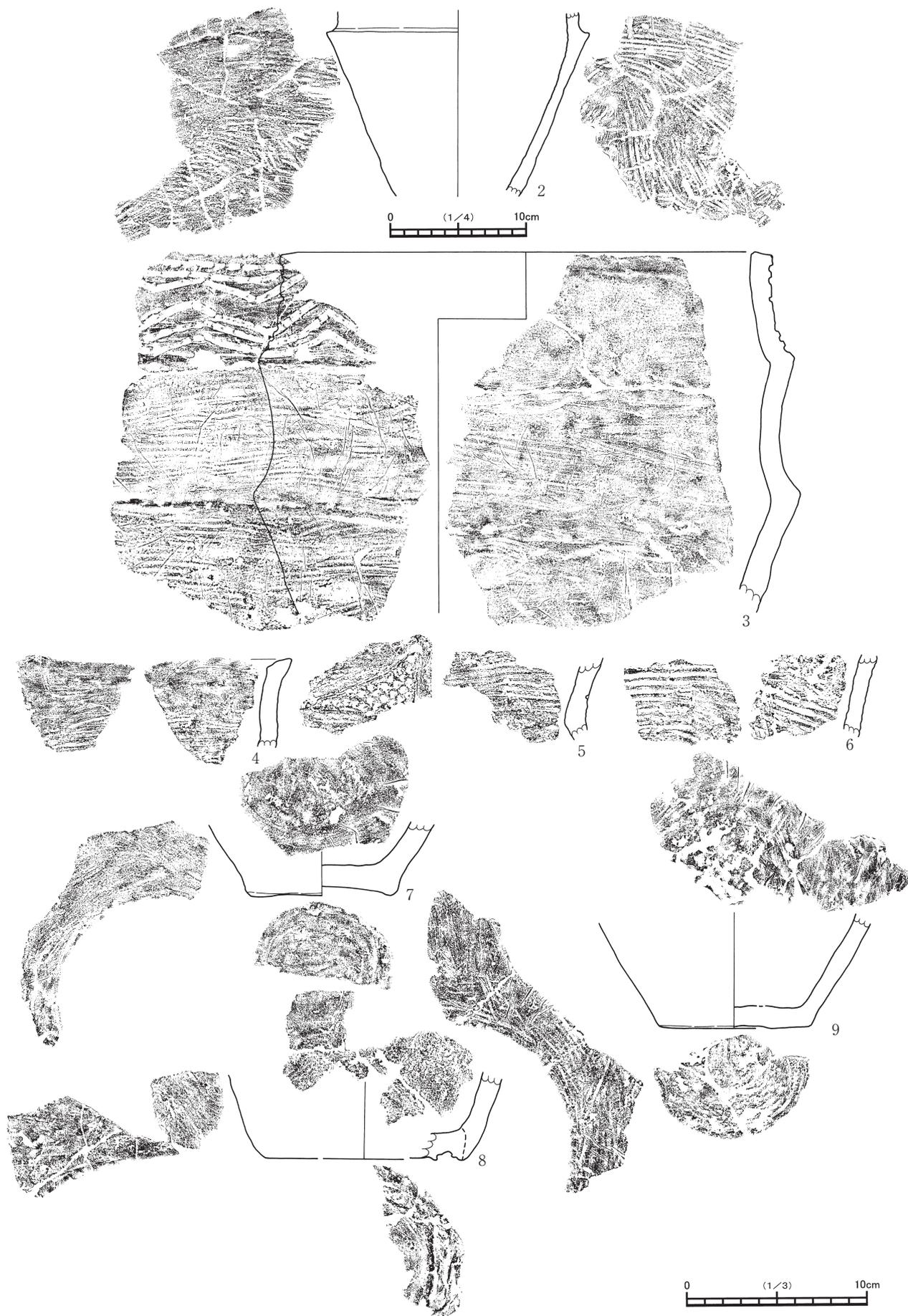


セクション位置：A-A'

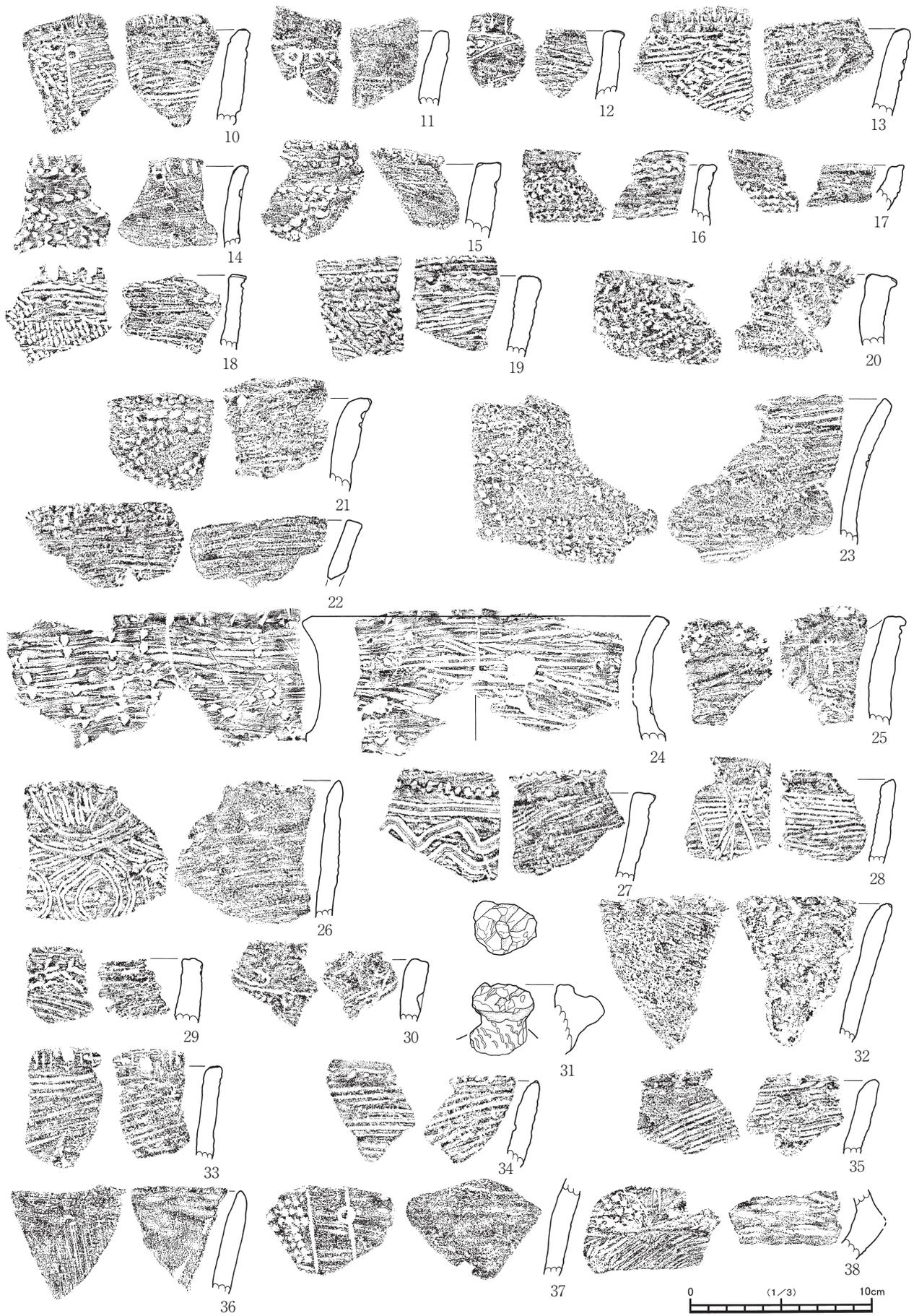
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色	テフラブロック			
2	黒褐色	テフラブロック			
3	黒褐色	多量の焼土粒・ローム粒・若干のロームブロック			
4	暗黒褐色				
5	黒褐色	テフラブロック・ローム粒・ロームブロック			
6	黒褐色	ローム粒			
7		ロームブロック			
8	5層よりやや暗い黒褐色	黒色土ブロック・テフラブロック・ローム粒			
9		焼土・ロームブロック			
10	暗褐色				
11	暗茶色	ローム粒・焼土粒・黒褐色土			
12	暗黒褐色				
13		焼土塊・ロームブロック・ローム粒			
14	暗青褐色	ローム粒・ロームブロック・若干の焼土粒			
15	黒褐色	焼土粒・ローム粒・ロームブロック			
16		テフラ			
17	暗茶褐色	ローム・黒色土			壁面近い
18	暗茶褐色	ロームブロック・黒褐色土			
19	黄褐色	焼けたローム			



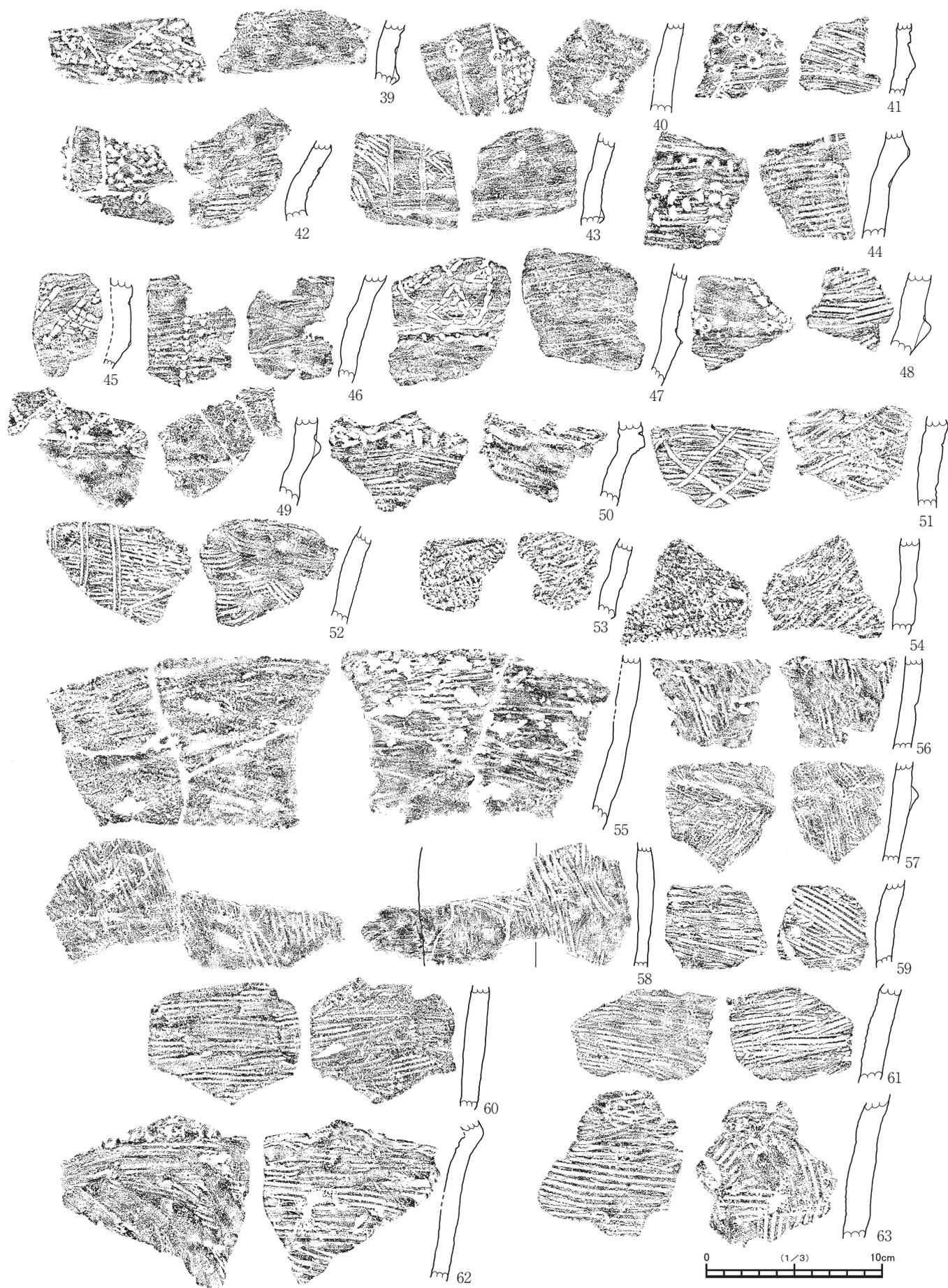
第550図 364号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



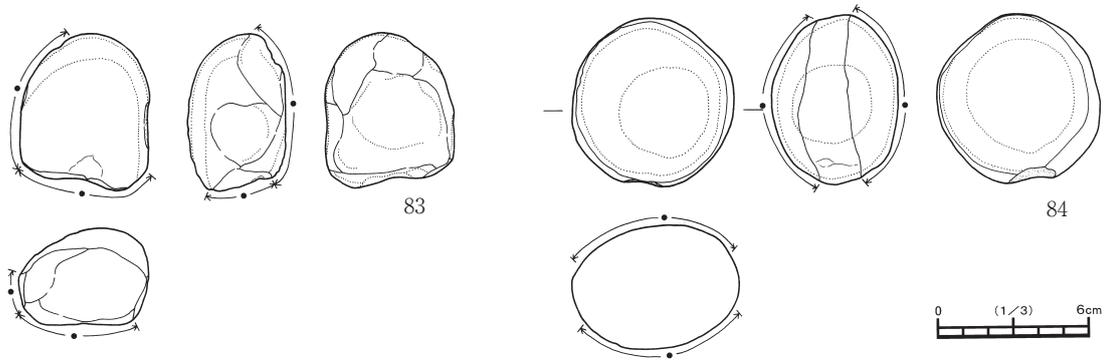
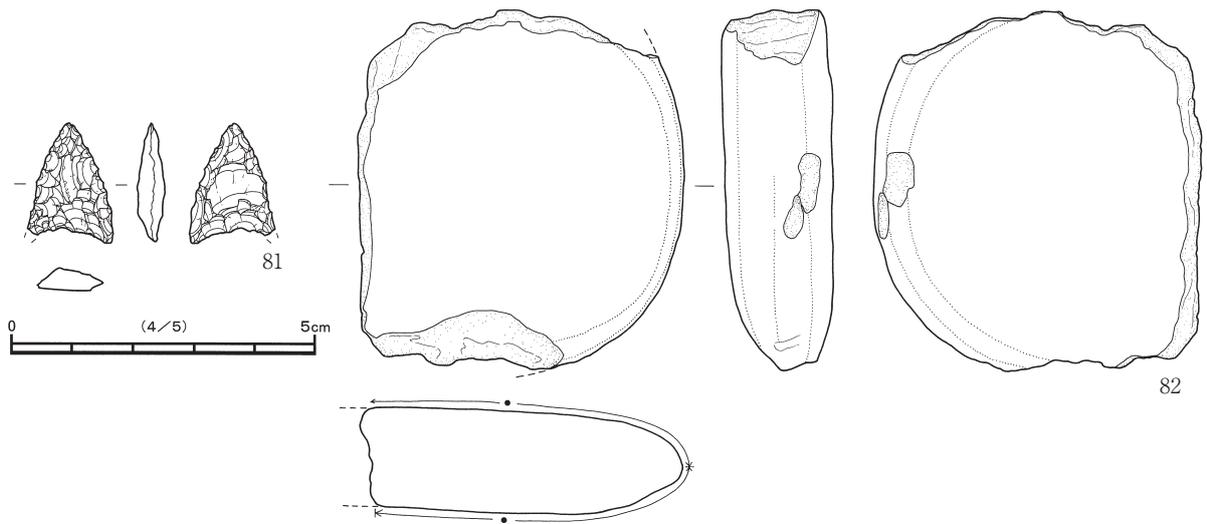
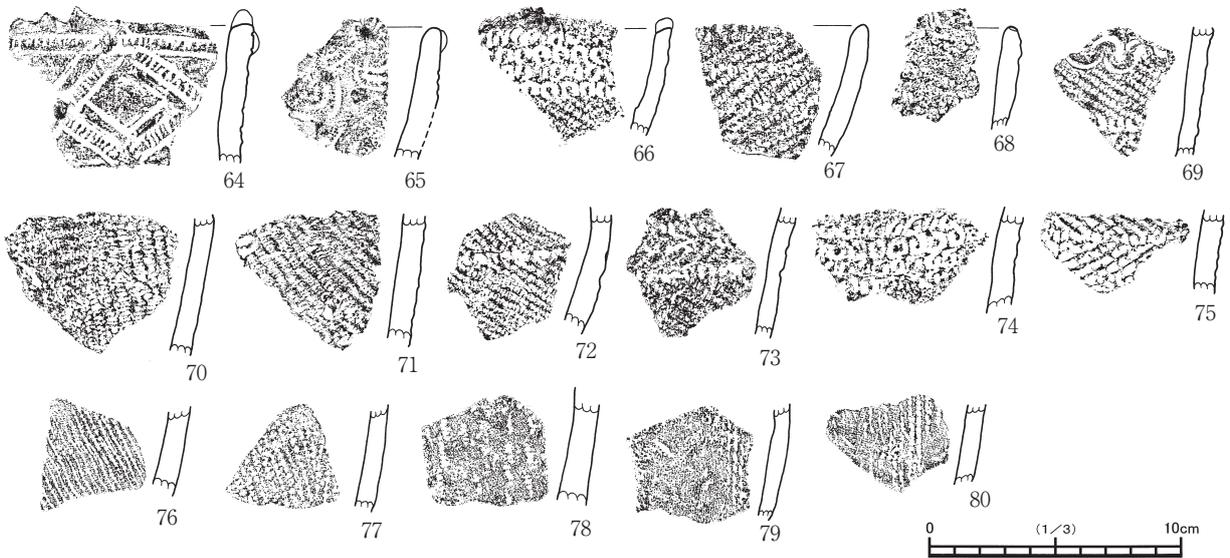
第551图 364号遺構出土遺物実測図(2)



第552图 364号遺構出土遺物実測図(3)



第553图 364号遺構出土遺物実測図(4)



第554图 364号遺構出土遺物実測図(5)

【重複関係】 方形周溝墓周溝部との重複により北側の一部を欠失する。

【覆土】 黒褐色土・暗黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒を含む。

【出土遺物】 499点・29,625gの礫および礫石器が出土している。このうち92.9%に被熱のあとがみられる。石器は、4点出土している。うちわけは、石鏃1点、石皿1点、磨石2点、このほか黒曜石などの剥片2点がある。土器は、696点・14,650g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の93.5%あり、当該時期を364号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第550図1・第551図2～9に、覆土一括扱いのものを第552図10～38・第553図39～63・第554図64～80に示した。1は推定口径146mm・現存器高131mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。斜位の連続刺突文が施され、文様帯はキザミを付す横位隆帯によって区画される。口唇部前面には刺突がめぐる。2は現存器高137mm・胴部最大径193mmを測る条痕文系深鉢形土器で、横位隆帯がめぐる。3は推定口径270mm・現存器高199mm・胴部最大径300mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。曲線を描く横位の押し引き沈線が施される。口唇部に浅い刺突がめぐる。4・10～36は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5・6・37～63は胴部、7～9は底部の破片である。64～68は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、69～75は胴部の破片である。76～80は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第554図81～84に示した。81は最大長19.1mmを測る緻密質安山岩製の石鏃である。82は輝石安山岩製の石皿である。83は輝石安山岩製の磨石である。84は流紋岩質凝灰岩製の磨石である。

365号遺構

【検出位置】 セ28区J12-01・02・05・06

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.05m・短軸1.79m・深さ78cm。燃焼面2箇所（第555図）。

【覆土】 暗黒褐色土・黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【重複関係】 古墳周溝との重複により北側の一部を欠失する。

【出土遺物】 4点・564gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、60点・1,100g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を365号遺構の帰属時期とみる。

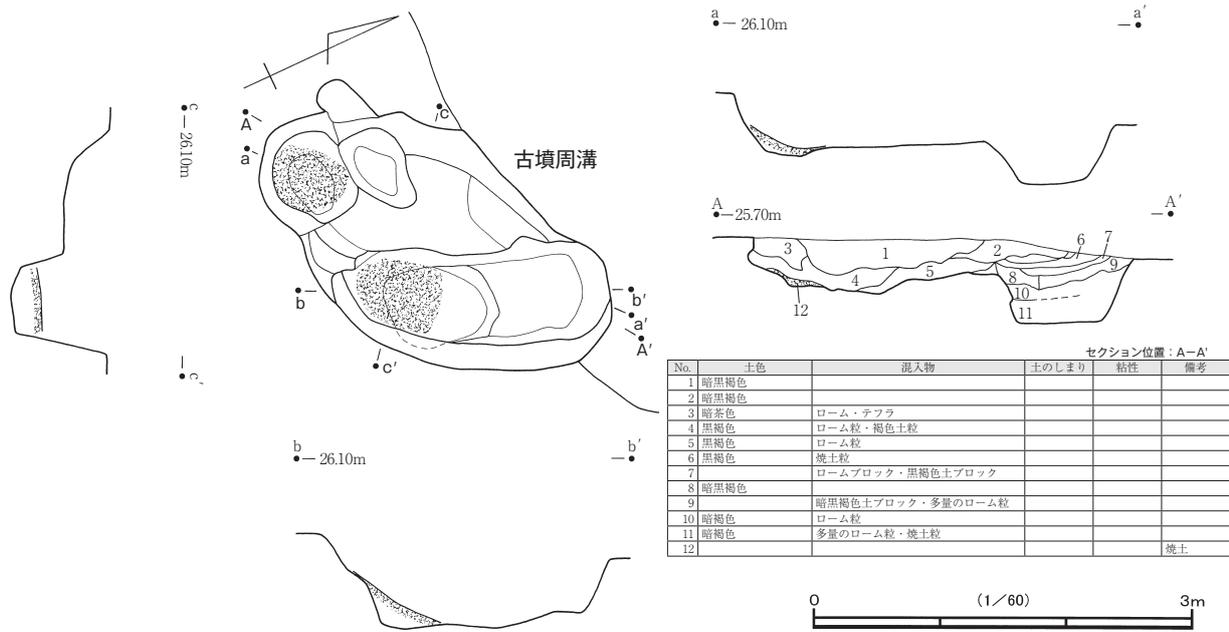
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第555図1～9に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁部の大型破片である。緩やかな波状口縁をもつ。低い横位隆帯が一条めぐるほかは文様はない。内外面ともに横・斜方向の条痕を施す。2・3は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4～7は胴部、8は底部の破片である。9は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。

366号遺構

【検出位置】 セ28区I12-15

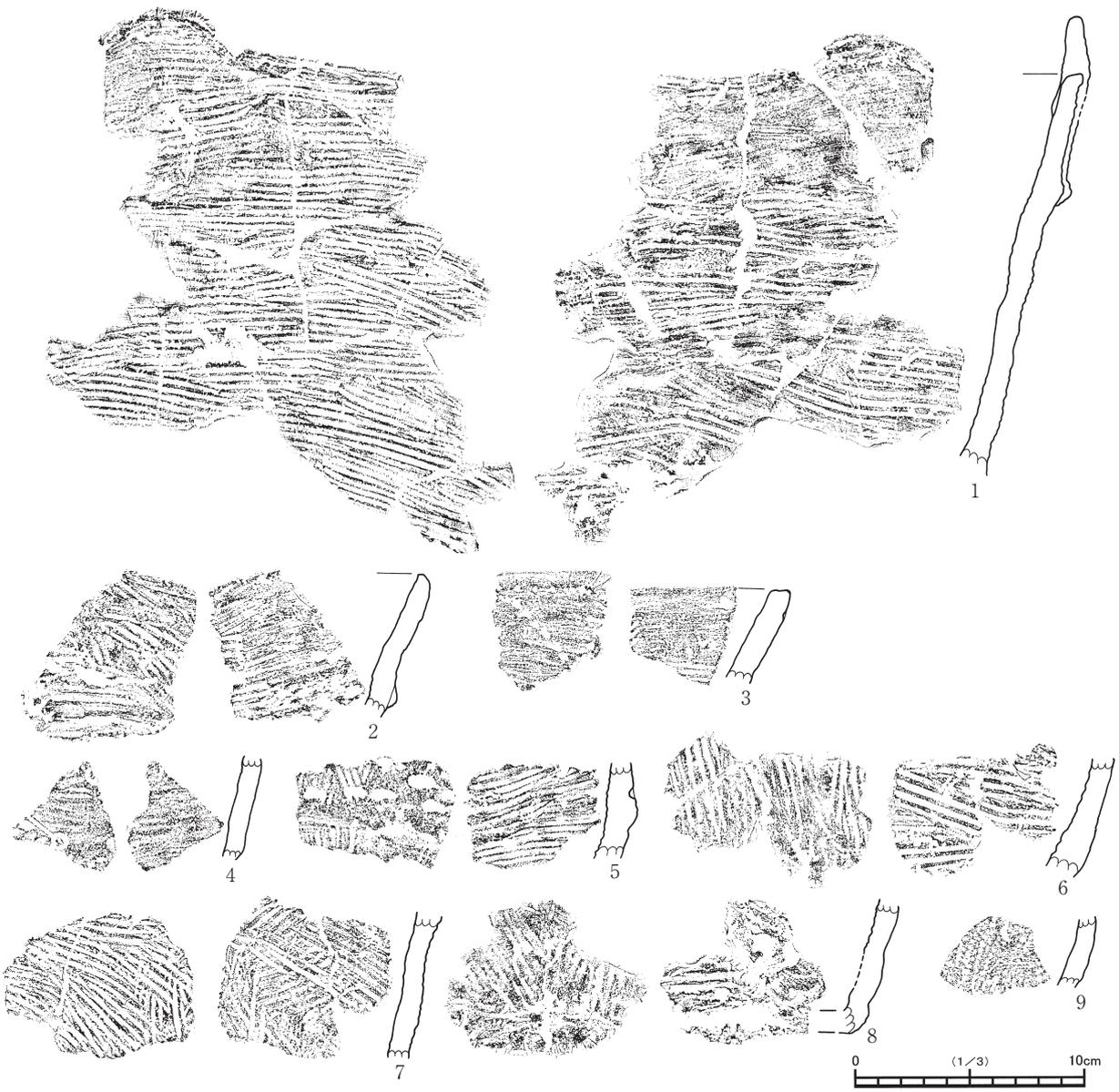
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.00m・短軸2.88m・深さ82cm。燃焼面4箇所。形状はアメーバ状（第556図）。



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色				
2	暗黒褐色				
3	暗茶色	ローム・テフラ			
4	黒褐色	ローム粒・褐色土粒			
5	黒褐色	ローム粒			
6	黒褐色	焼土粒			
7		ロームブロック・黒褐色土ブロック			
8	暗黒褐色				
9		暗黒褐色土ブロック・多量のローム粒			
10	暗褐色	ローム粒			
11	暗褐色	多量のローム粒・焼土粒			
12					焼土



第555図 365号遺構実測図および出土遺物実測図

【重複関係】 南側で367号遺構と重複する。

【出土遺物】 15点・726gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、39点・708g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を366号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第556図1に、一括扱いのものを第556図2～4に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4は胴部破片である。

367号遺構

【検出位置】 セ28区I12-15・16

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.95m・短軸1.15m・深さ92cm。燃焼面3箇所。形状はアメーバ状（第556図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【重複関係】 北側で366号遺構と、西側で368号遺構と重複する。

【出土遺物】 5点・523gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、152点・2,369g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の91.2%あり、当該時期を367号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第557図5～22に示した。5～10は条痕文系深鉢形土器の口縁部、11～20は胴部の破片である。21は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、22は胴部の破片である。

368号遺構

【検出位置】 セ28区J12-03

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.73m・短軸1.72m・深さ45cm。燃焼面4箇所。形状はアメーバ状（第556図）。

【出土遺物】 2点・140gの被熱のあとがみられる礫が出土している。

土器の出土がないので、遺構の詳細時期は不明。

369号遺構

【検出位置】 セ28区J12-03

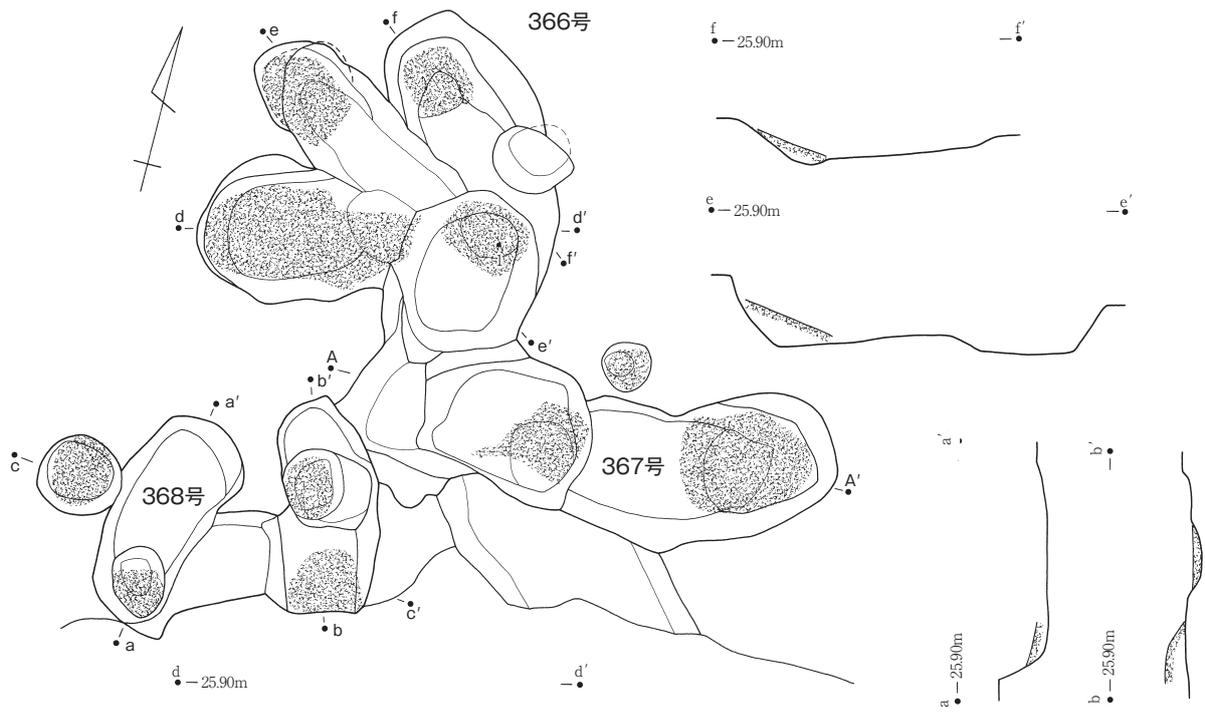
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.20m・短軸2.34m・深さ68cm。燃焼面2箇所。形状はアメーバ状（第558図）。

【覆土】 暗褐色土・暗黒褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

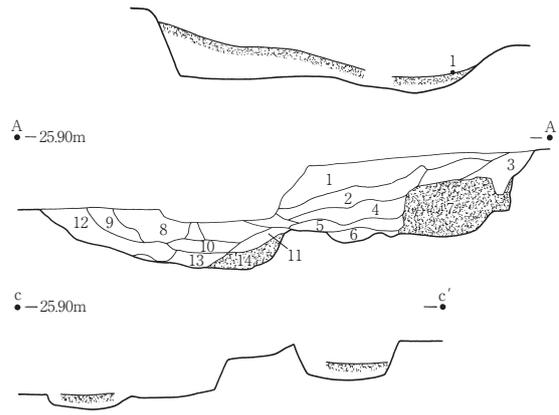
【出土遺物】 3点・715gの礫および礫石器が出土している。このうちの1点に被熱のあとがみられる。石器は、磨石2点が出土している。土器は、42点・903g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ90%あり、当該時期を369号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、一括扱いのものを第558図1～5に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。4は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、5は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第558図6・7に示した。6は最大長87mmを測るデイスait製磨石である。7は最大長85mmを測るデイスait製磨石である。

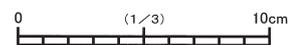
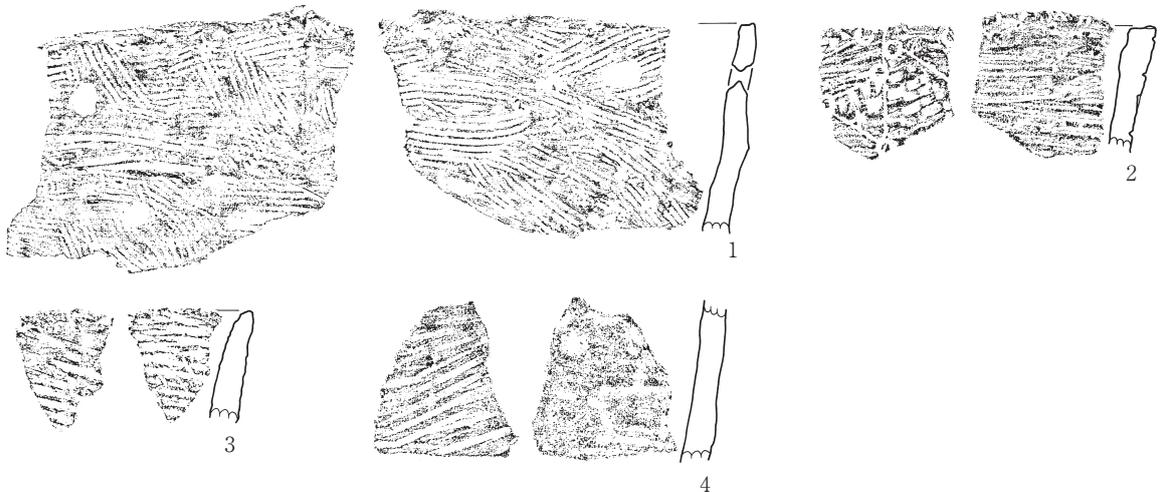


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	ローム粒・ロームブロック・焼土塊			
2	黒色	多量のローム粒			
3	暗茶色	ローム			
4	褐色	多量の焼土粒・ローム粒・ロームブロック			
5		焼土塊			
6	暗黄色	ローム			
7					焼土
8	黒褐色	ローム粒			
9	褐色	ローム粒			
10	暗褐色	焼土			
11		ロームブロック			
12	暗褐色	ローム粒・ロームブロック・焼土塊			
13	褐色	ローム粒・ロームブロック・焼土			
14					焼土

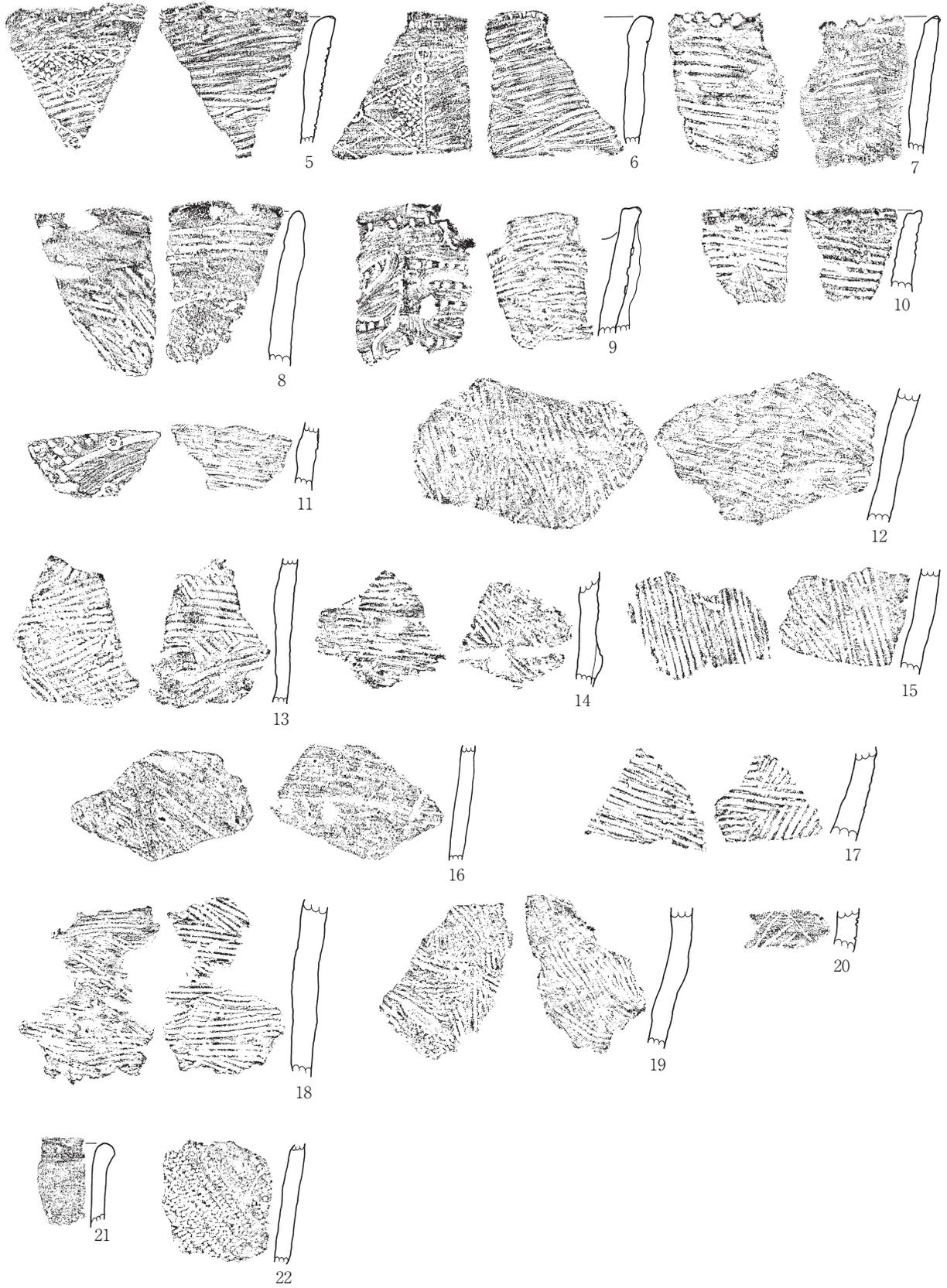


(366号)

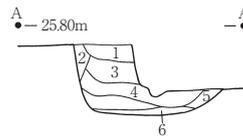
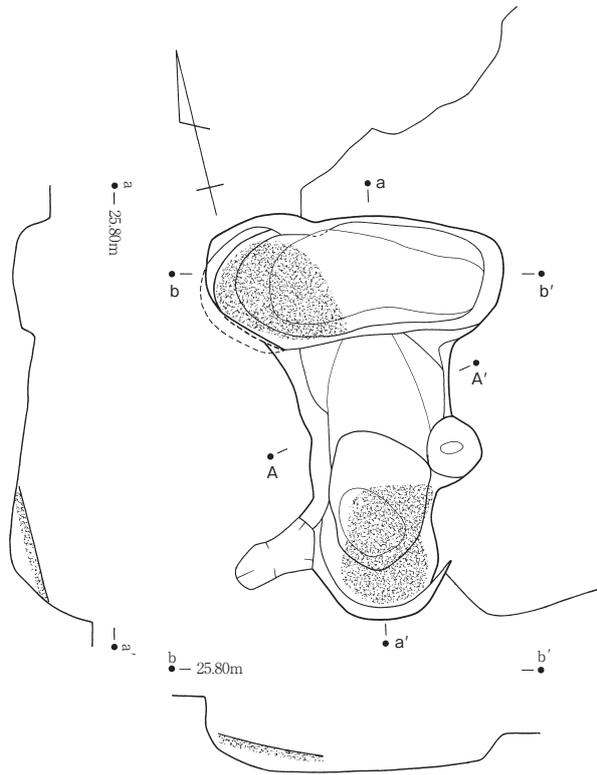


第556図 366・367・368号遺構実測図および出土遺物実測図(1)

<367号>

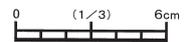
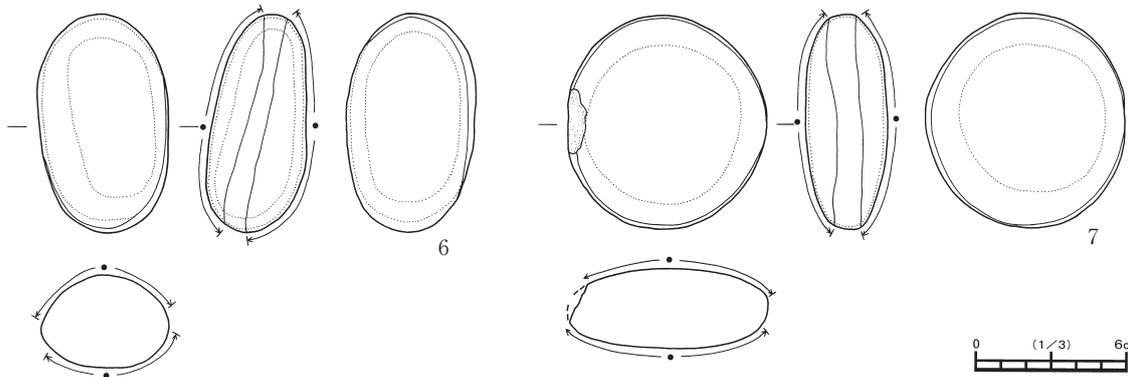
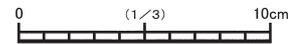
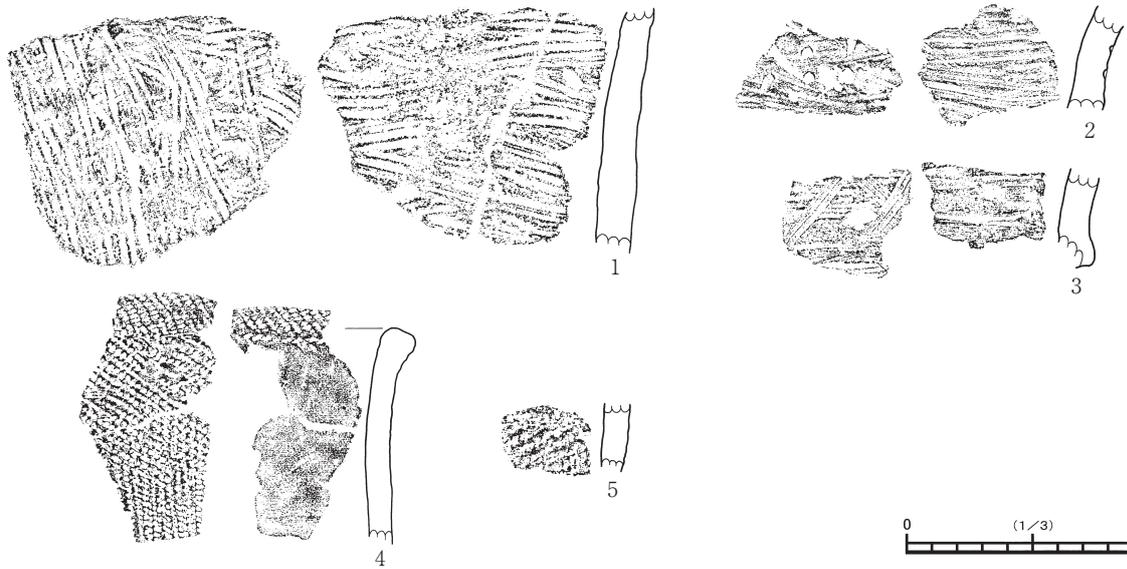
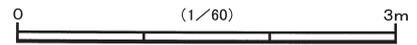


第557图 366・367・368号遺構出土遺物実測図(2)



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色				
2	褐色				
3	暗褐色	多量のローム粒			
4	暗褐色	ローム粒・若干のロームブロック			
5	暗褐色	テフラ粒・若干の焼土粒			
6	暗褐色	ローム粒・焼土塊土粒・褐色土粒			



第558図 369号遺構実測図および出土遺物実測図

370号遺構

【検出位置】 セ28区J12-03・04

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.50m・短軸3.09m・深さ68cm。燃焼面7箇所。形状はアメーバ状（第559図）。

【覆土】 暗褐色土・暗茶色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 8点・1,001gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、彫器1点、このほか黒曜石の剥片2点がある。土器は、96点・1,379g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の98.4%あり、当該時期を370号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、一括扱いのものを第559図1～12に示した。1・2は条痕文系深鉢形土器の口縁部、3～10は胴部の破片である。11は撚糸文系深鉢形土器の胴部、12は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第559図13に示した。最大長22.1mmを測る黒曜石製の彫器である。

371号遺構

【検出位置】 セ28区I12-16、I13-13、J13-01

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸10.89m・短軸5.29m・深さ87cm。燃焼面9箇所。形状はアメーバ状（第560図）。

【出土遺物】 2点・97gの礫および礫石器が出土している。このうちの1点に被熱のあとがみられる。石器は、打製石斧1点が出土している。

【遺物説明】 出土石器を第560図1に示した。最大長62.2mmを測るホルンフェルス製の打製石斧である。

372号遺構

【検出位置】 セ28区J13-06・07

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.68m・短軸1.28m・深さ59cm。主軸方向 87°。燃焼面1箇所。形状はアメーバ状（第561図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により西側の一部を欠失する。

【出土遺物】 7点・357gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、8点・83g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ93%あり、当該時期を372号遺構の帰属時期とみる。

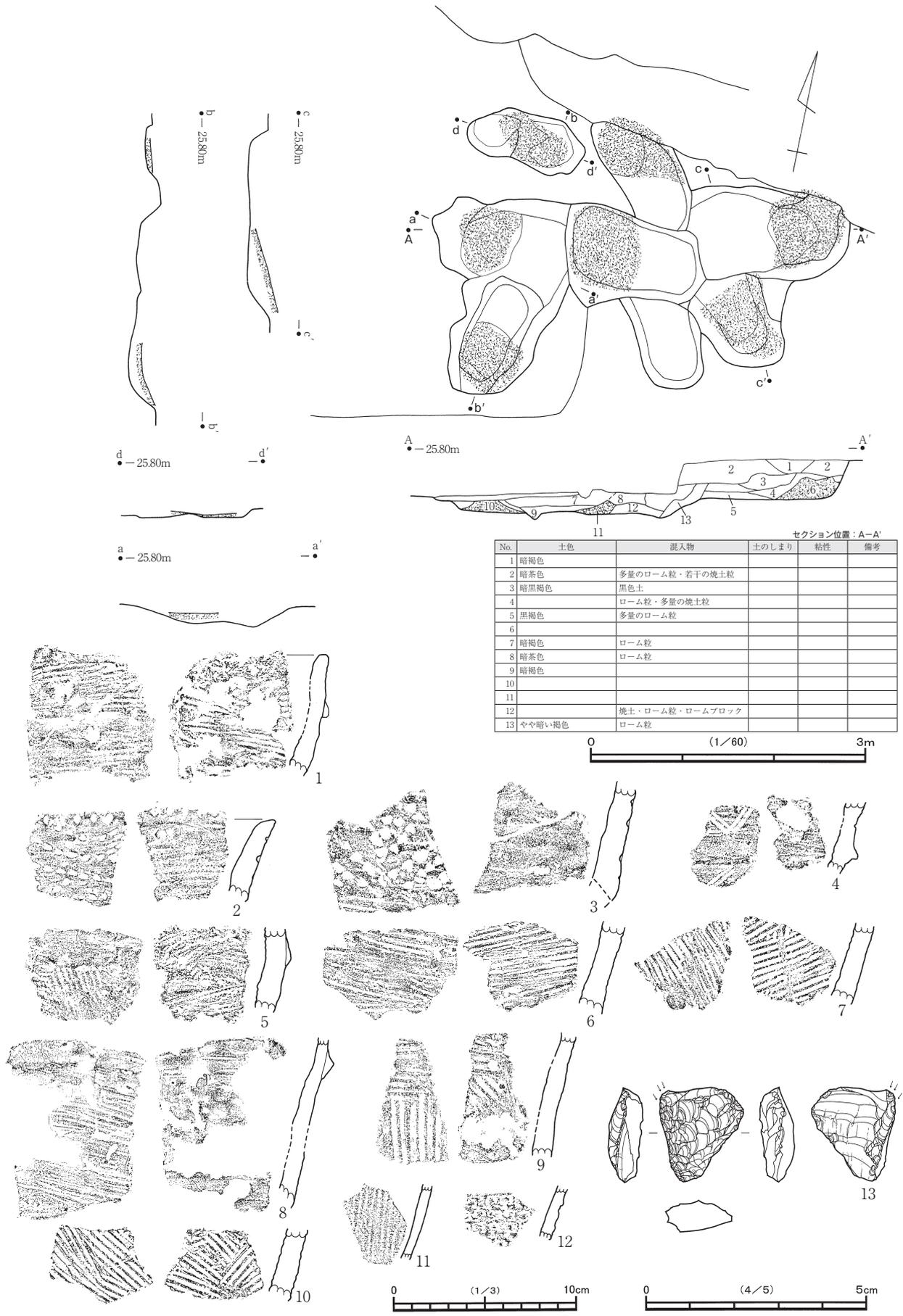
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第561図1～3に示した。1・2は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。

373号遺構

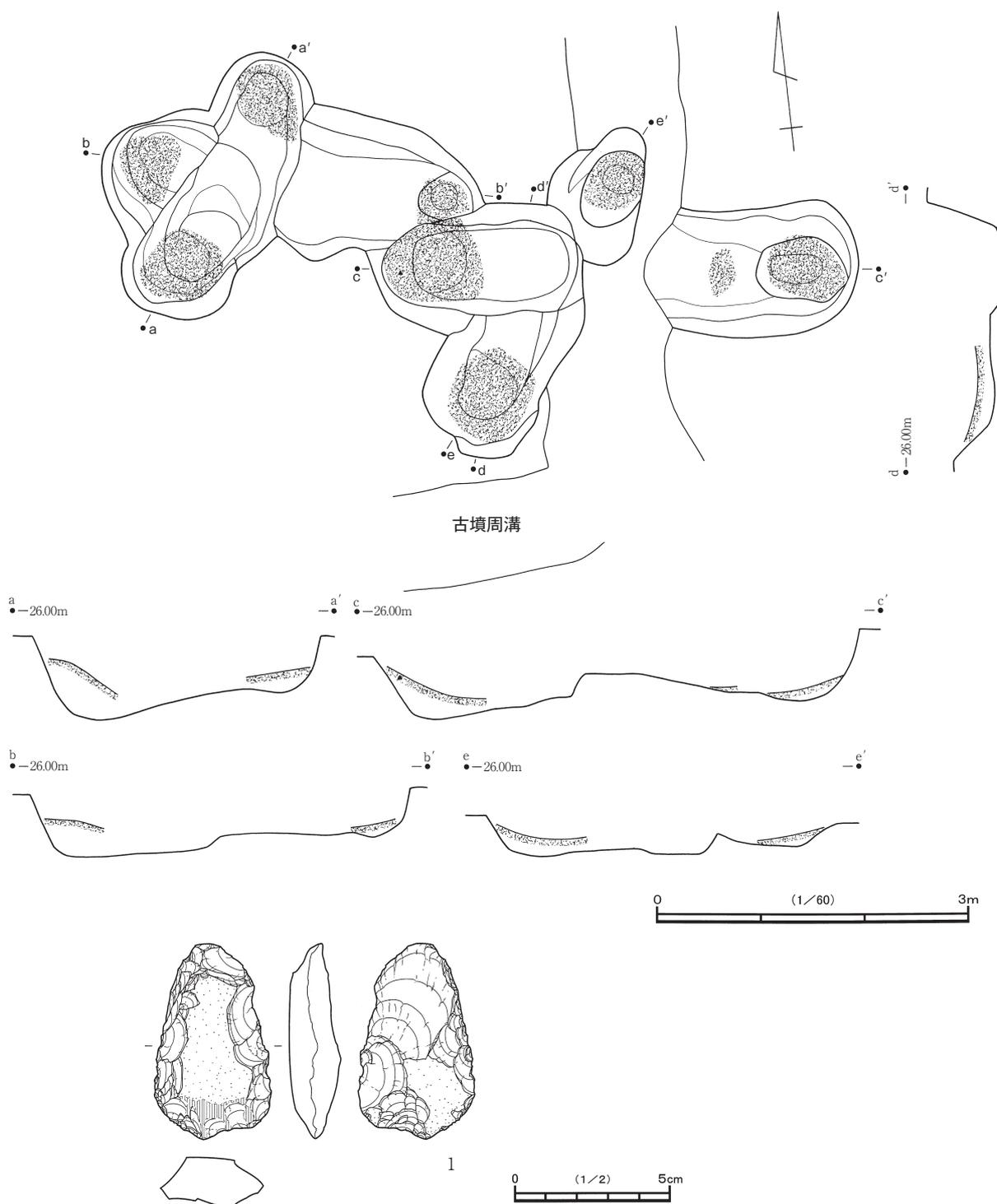
【検出位置】 セ28区G15-14・15

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.37m・短軸0.93m・深さ16cm。形状は隅丸長方形（第561図）。



第559図 370号遺構実測図および出土遺物実測図



第560図 371号遺構実測図および出土遺物実測図

【覆土】 暗褐色土・褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

374号遺構

【検出位置】 セ28区H15-01

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.34m・短軸0.78m・深さ36cm。形状は長楕円形（第561図）。

【覆土】 黒色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

375号遺構

【検出位置】 セ28区H15-09・10・13・14

【種別】 陥し穴？

【規模ほか】 長軸2.36m・短軸0.66m・深さ62cm。形状は長楕円形（第561図）。

【覆土】 暗黒色土・黒褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

376号遺構

【検出位置】 セ28区H16-06

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.23m・短軸0.93m・深さ21cm。主軸方向 134°。燃焼面 1箇所（第561図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 覆土一括扱いで取り上げた1点・11gの土器が出土している。これが条痕文系のものであることから、当該時期を376号遺構の帰属時期とみたい。

【遺物説明】 第561図4は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

377号遺構

【検出位置】 セ28区H17-F・G・J・K

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.71m・短軸1.44m・深さ54cm。形状は楕円形（第562図）。

【覆土】 暗褐色土・褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

378号遺構

【検出位置】 セ54区G21-A

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸0.86m・短軸0.63m・深さ8cm。形状は楕円形。主軸方向 188°。燃焼面 1箇所（第562図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。焼土粒・ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

379号遺構

【検出位置】 セ54区G21-B

【種別】 土坑

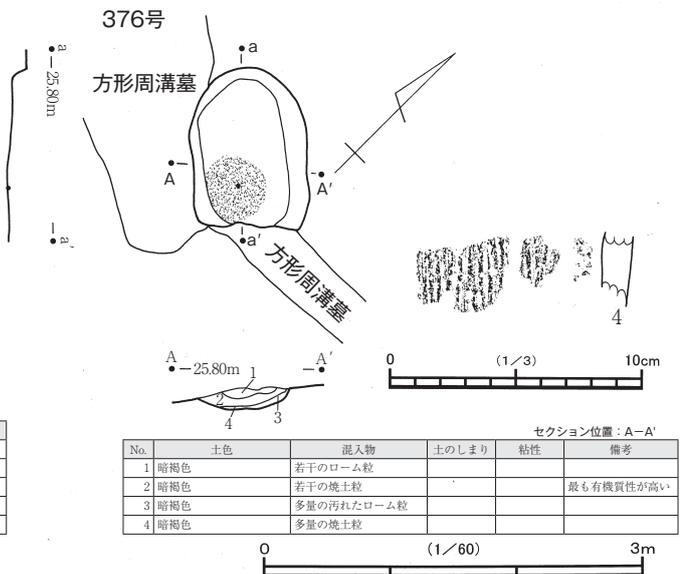
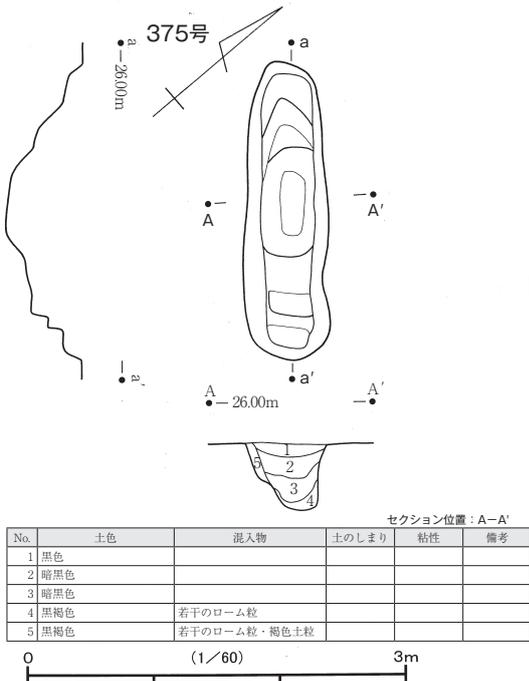
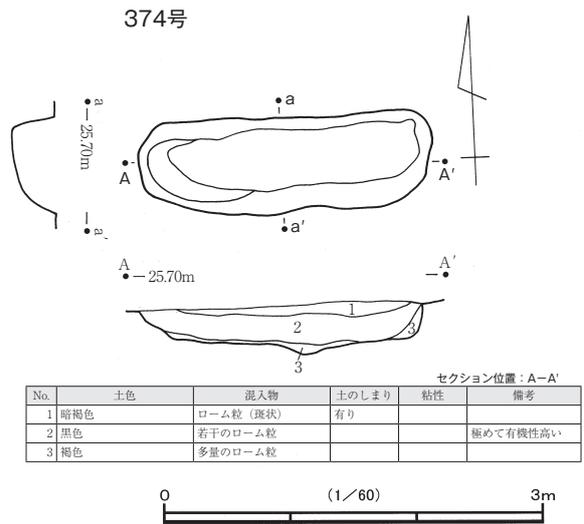
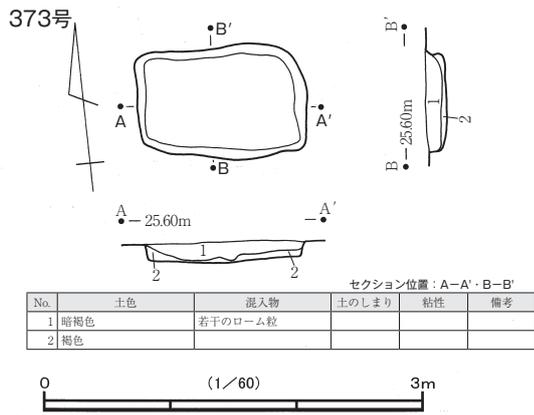
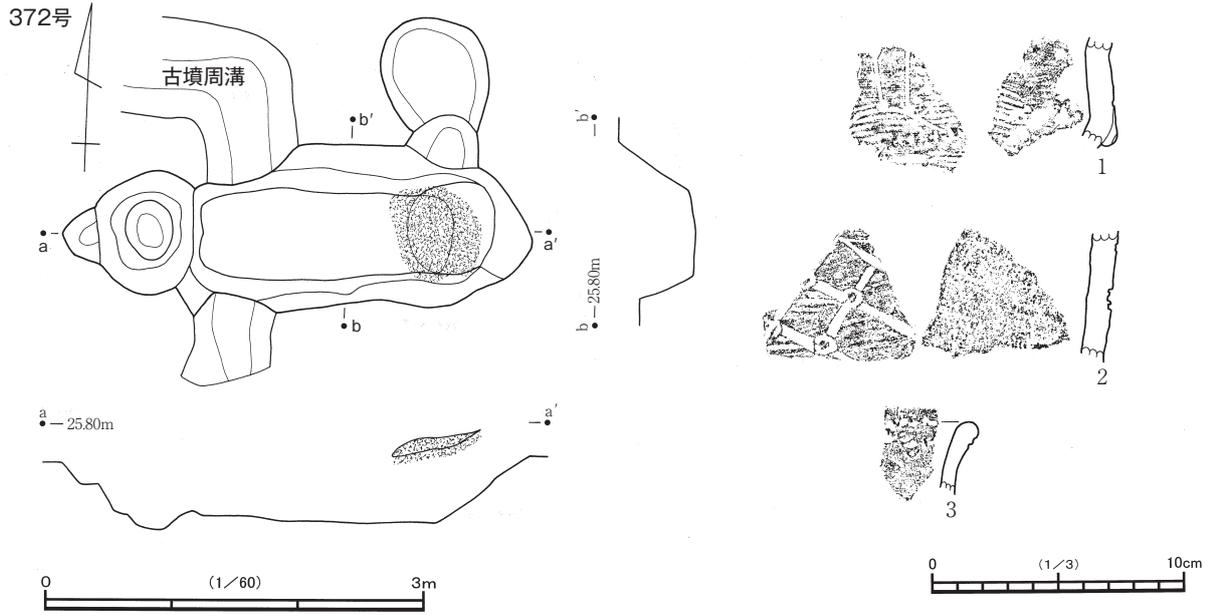
【規模ほか】 長軸1.72m・短軸0.87m・深さ37cm。形状は楕円形（第562図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。

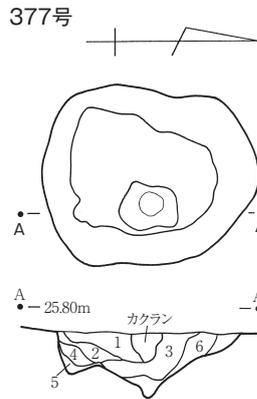
出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

380号遺構

【検出位置】 セ54区G21-I・J

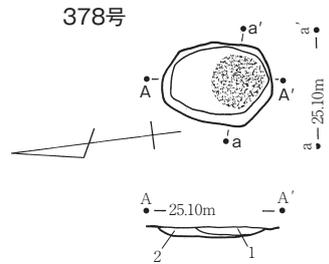
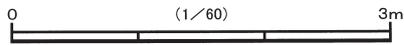


第561図 372・373・374・375・376号遺構実測図および出土遺物実測図



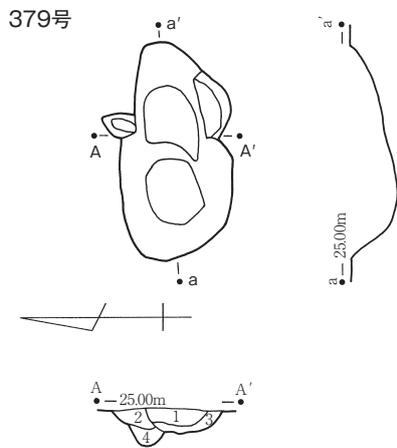
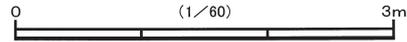
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	ローム粒			有機質性強い
2	暗褐色	ローム粒			有機質性強い (1層より強い)
3	暗褐色	ローム粒			有機質性強い (2層より強い)
4	褐色	多量のローム粒			
5	褐色	ロームブロック			
6	褐色	多量のロームブロック			



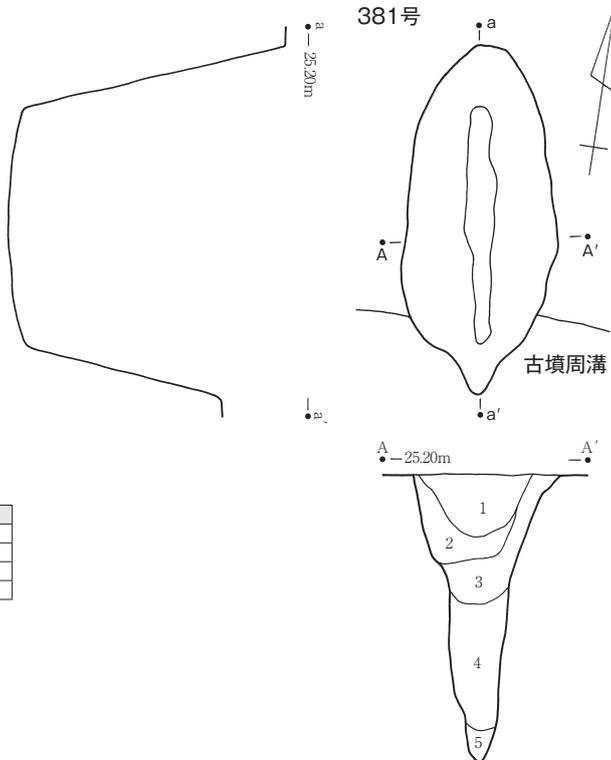
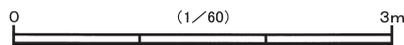
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	焼土・ローム粒 黄褐色混じり暗褐色土			
2	暗褐色(黒褐色に近い)	ローム粒・黄褐色土			



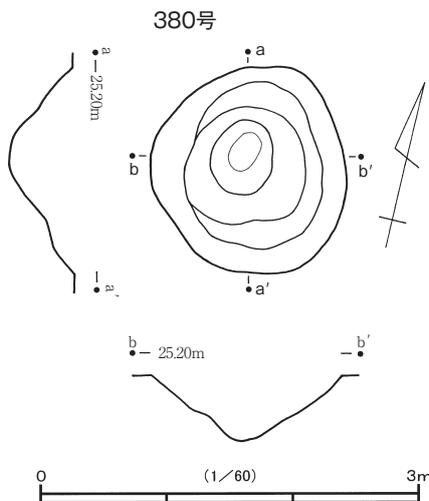
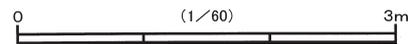
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗褐色土			
2	暗灰褐色	黄褐色土			
3	暗褐色	黒褐色土・黄褐色土			
4	暗褐色+黄褐色	黒褐色土			



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	黄褐色土			
2	暗褐色	黄褐色土			
3	黄褐色	暗褐色土			
4	黄褐色	黒褐色土・少量の暗褐色土・ロームブロック			
5	黄褐色	黒褐色土			



第562図 377・378・379・380・381号遺構実測図

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.66m・短軸1.57m・深さ52cm。形状は円形（第562図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

381号遺構

【検出位置】 セ54区G20-N

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.76m・短軸1.20m・深さ225cm。形状は長楕円形（第562図）。

【覆土】 黄褐色土・暗褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

382号遺構

【検出位置】 セ54区H21-F

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.86m・短軸1.04m・深さ43cm。形状は楕円形。主軸方向 318°。燃焼面1箇所（第563図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。焼土粒・ローム粒などを含む。

【出土遺物】 土器は、23点・252g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系・不明などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系もので全体のおよそ91%あり、当該時期を382号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第563図1～8に示した。1～5は条痕文系深鉢形土器の胴部、6は底部の破片である。7は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。コンパス文が施される。

383号遺構

【検出位置】 セ54区H21-F・J

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.73m・短軸0.80m・深さ27cm。形状は楕円形。主軸方向 245°。燃焼面1箇所（第564図）。

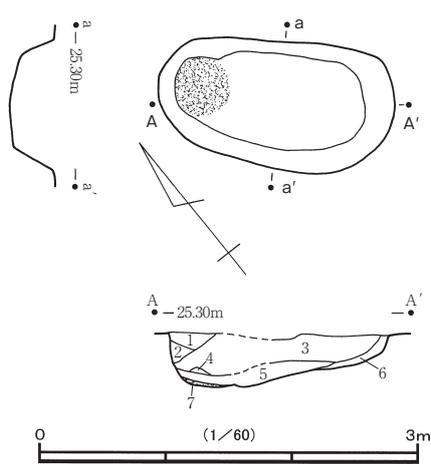
【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

【出土遺物】 被熱する1点・2gの礫が出土している。土器は、46点・720g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体のおよそ97%あり、当該時期を383号遺構の帰属時期とみる。遺構形状等は、本遺跡で主体となる早期条痕文系の時期の炉穴と変わらないが、出土遺物にこれらがほとんどみられないことから、前期に帰属するものと判断せざるをえない。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第564図1～12に示した。1～3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、4～11は胴部の破片である。ループ文・コンパス文などを主要な文様とする。12は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

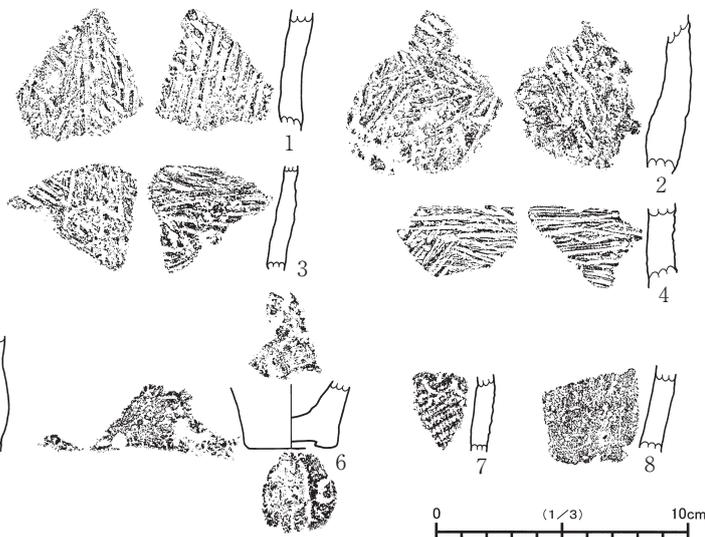
384号遺構

【検出位置】 セ54区H21-I

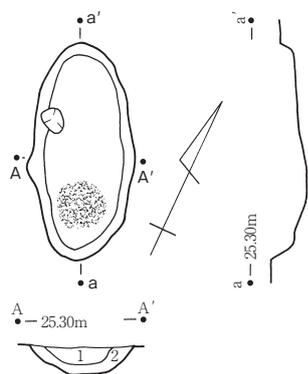


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	黒褐色土			
2	暗褐色	黄褐色土			
3	黒褐色 (暗褐色気味・褐色気味)	少量の炭・焼土ローム粒・暗褐色土			
4	暗褐色	黄褐色土			
5	暗褐色	黄褐色土・焼土			
6	暗褐色	黒褐色土			
7					焼土

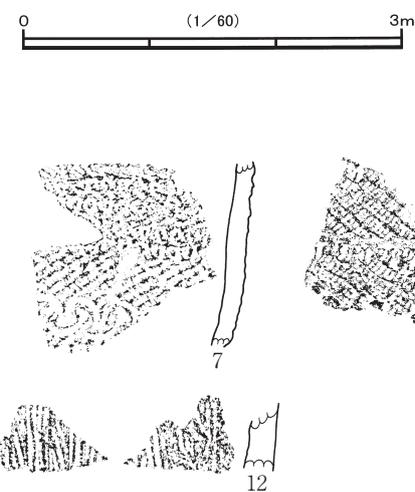


第563図 382号遺構実測図および出土遺物実測図



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ローム粒			
2	暗褐色・黒褐色	少量のローム粒・黄褐色土			



第564図 383号遺構実測図および出土遺物実測図

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.75m・短軸1.12m・深さ49cm。形状は楕円形。主軸方向 180°。燃焼面1箇所（第565図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により北側を欠失する。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 18点・439gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、52点・515g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は遺構の中央部付近、基底面からやや浮いた位置からまとまって出土している。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の98.6%あり、当該時期を384号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第565図1・2・4～6に、覆土一括扱いのものを第565図3・7・8に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部、4～8は胴部の破片である。

385号遺構

【検出位置】 セ54区H20-N

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.61m・短軸0.58m・深さ16cm。形状は楕円形。主軸方向 4°。燃焼面1箇所（第566図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により中央部分を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

386号遺構

【検出位置】 セ54区I15-H

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.55m・短軸1.39m・深さ2.56cm。形状は円形（第567図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【出土遺物】 19点・2,272gの礫および礫石器が出土している。このうち67%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石・敲石1点、磨石1点が出土している。土器は、24点・313g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系・浮島式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体の78.6%あり、当該時期を386号遺構の帰属時期とみる。

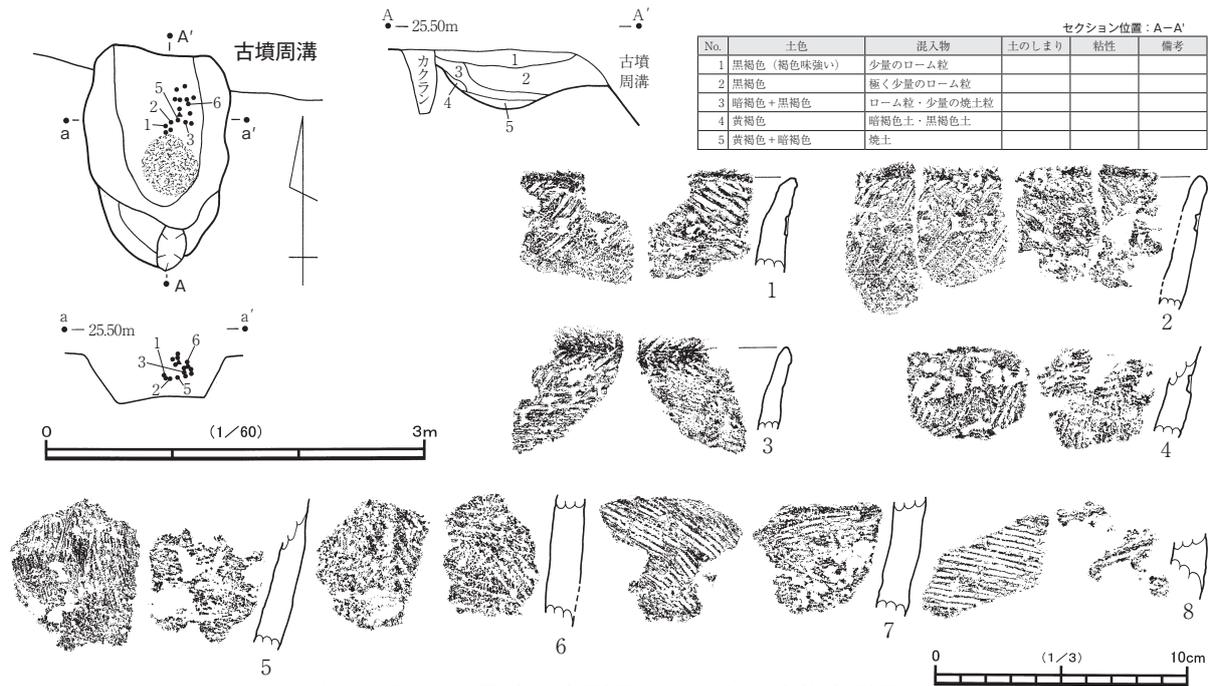
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第567図1～13に示した。1～3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、4～8は胴部の破片である。ループ文・コンパス文などを主要な文様とする。9は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、10・11は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第567図14・15に示した。14はチャート製の磨石・敲石、15は礫質砂岩製の磨石である。

387号遺構

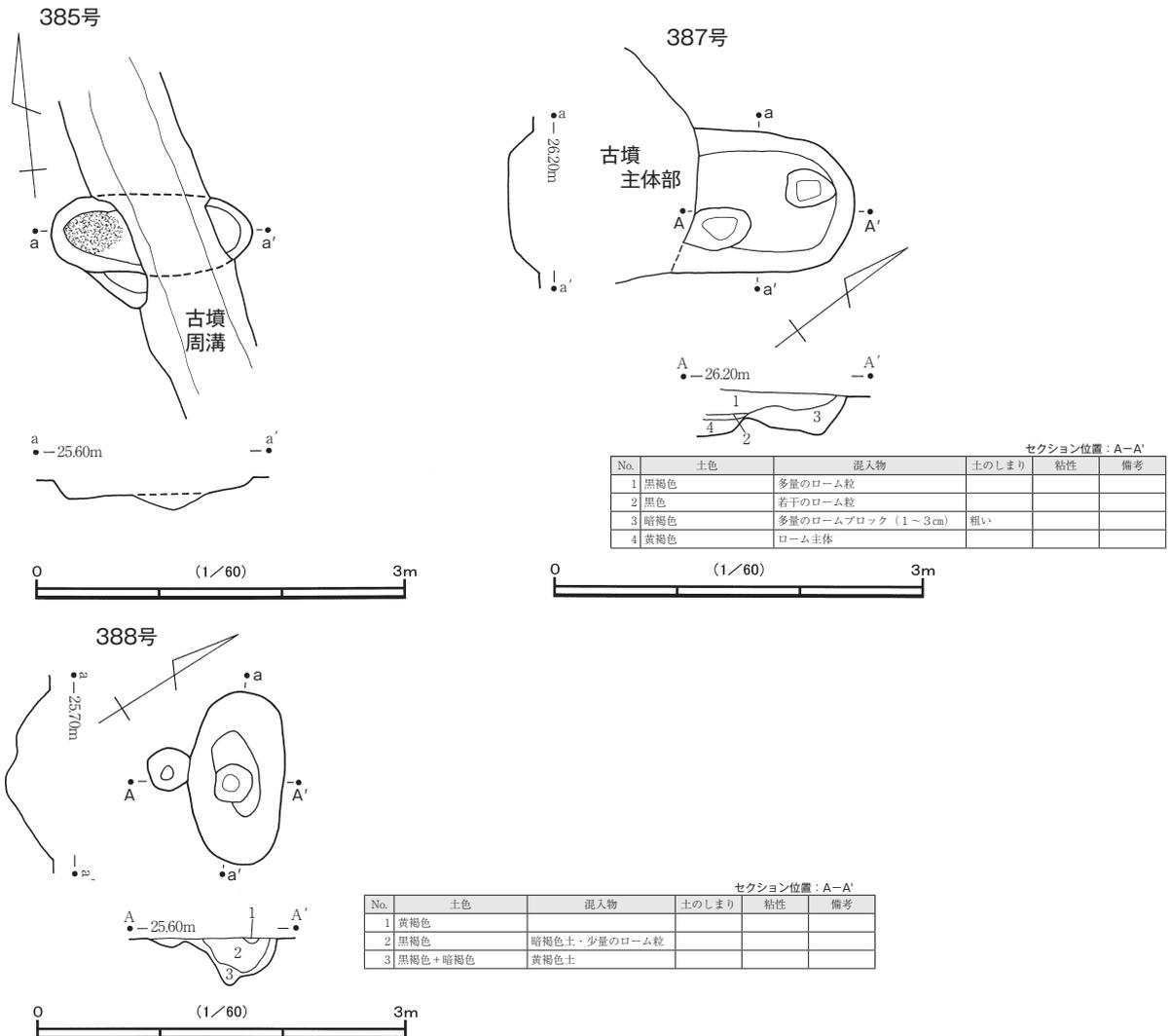
【検出位置】 セ54区H16-P、I16-D

【種別】 土坑

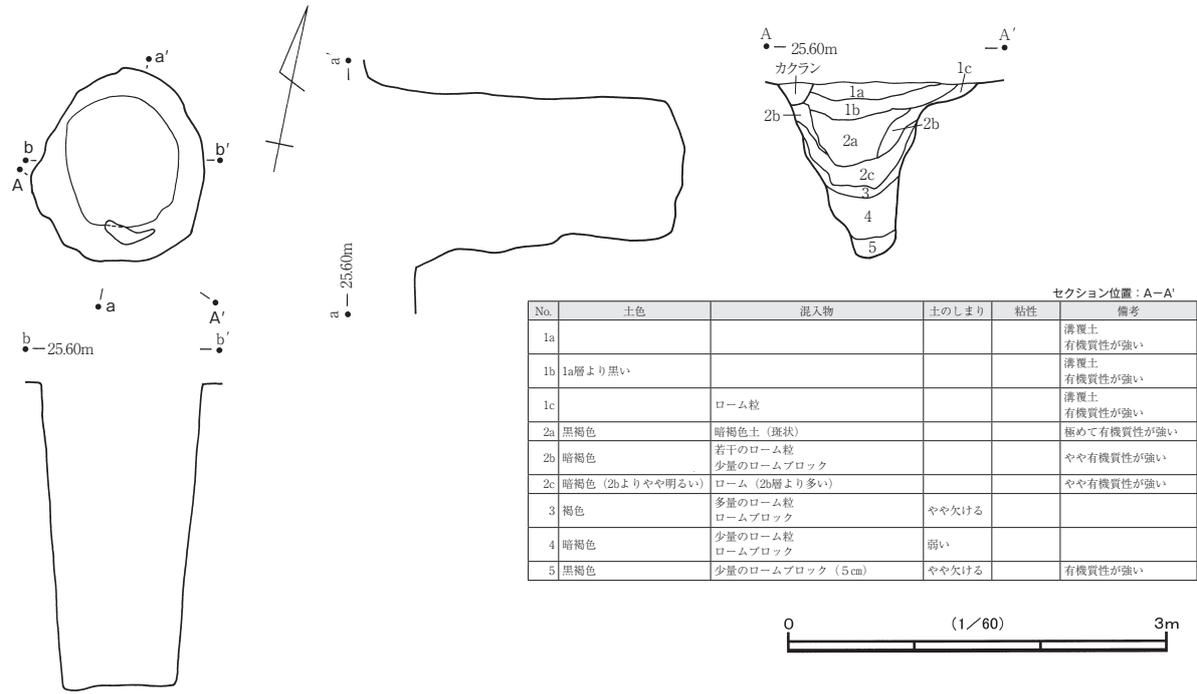
【規模ほか】 長軸0.63m・短軸0.60m・深さ36cm。形状は楕円形？（第566図）。



第565図 384号遺構実測図および出土遺物実測図

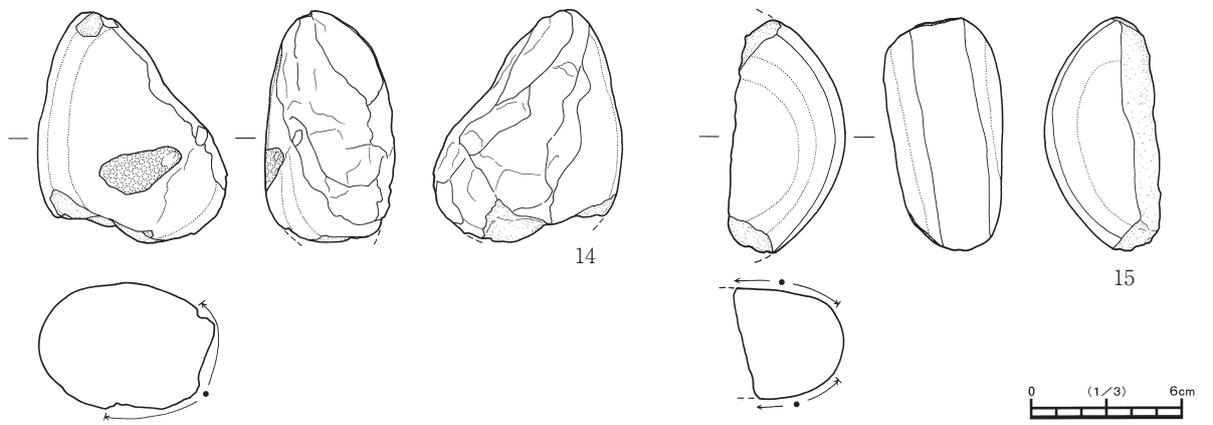
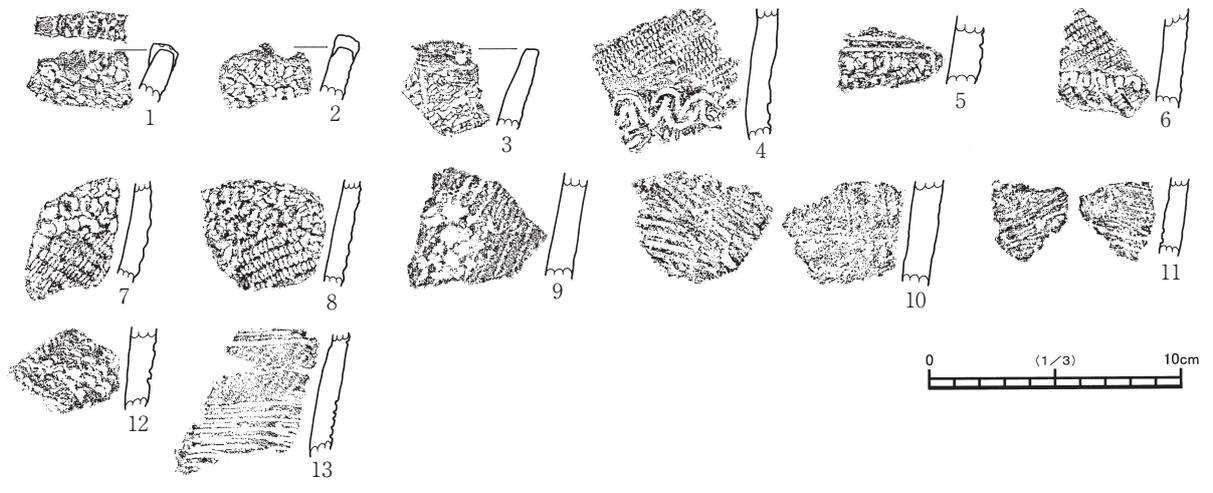


第566図 385・387・388号遺構実測図



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1a					溝覆土 有機質性が強い
1b	1a層より黒い				溝覆土 有機質性が強い
1c		ローム粒			溝覆土 有機質性が強い
2a	黒褐色	暗褐色土 (斑状)			極めて有機質性が強い
2b	暗褐色	若干のローム粒 少量のロームブロック			やや有機質性が強い
2c	暗褐色 (2bよりやや明るい)	ローム (2b層より多い)			やや有機質性が強い
3	褐色	多量のローム粒 ロームブロック	やや欠ける		
4	暗褐色	少量のローム粒 ロームブロック	弱い		
5	黒褐色	少量のロームブロック (5cm)	やや欠ける		有機質性が強い



第567図 386号遺構実測図および出土遺物実測図

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【重複関係】 古墳周溝との重複により南側部分を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

388号遺構

【検出位置】 セ54区I19-H

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.40m・短軸0.75m・深さ37cm。形状は楕円形（第566図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

389号遺構

【検出位置】 セ54区I19-L

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.70m・短軸0.90m・深さ39cm。主軸方向 134°。燃焼面1箇所。形状は楕円形（第568図）。

【覆土】 暗褐色混じりの黒褐色土を主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 8点・182gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、6点・92g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが撚糸文系のものであることから、当該時期を389号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第568図1～4に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、2～4は胴部の破片である。

390号遺構

【検出位置】 セ54区I20-B・F

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.75m・短軸0.70m・深さ26cm。主軸方向 142°。燃焼面1箇所。形状は楕円形（第569図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

391号遺構

【検出位置】 セ54区I20-B

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.51m・短軸0.86m・深さ41cm。主軸方向 118°。燃焼面1箇所。形状は楕円形（第569図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。焼土粒・ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

392号遺構

【検出位置】 セ54区I20-G

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.09m・短軸0.72m・深さ16cm。形状は楕円形（第569図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。

【重複関係】 古墳周溝との重複により北側の一部分を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

393号遺構

【検出位置】 セ54区J20-C・G

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.52m・短軸0.97m・深さ43cm。形状は楕円形（第569図）。

【覆土】 暗褐色土・暗灰褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

394号遺構

【検出位置】 セ54区J20-C

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.10m・短軸0.72m・深さ27cm。形状は楕円形（第569図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

395号遺構

【検出位置】 セ54区J20-I

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.09m・短軸0.89m・深さ35cm。形状は円形（第570図）。

【覆土】 黒色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

396号遺構

【検出位置】 セ54区K17-D・H

【種別】 陥し穴？

【規模ほか】 長軸1.73m・短軸1.22m・深さ241cm。形状は楕円形（第570図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

397号遺構

【検出位置】 セ54区K18-C

【種別】 土坑

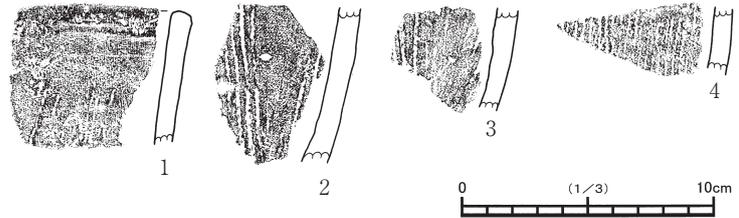
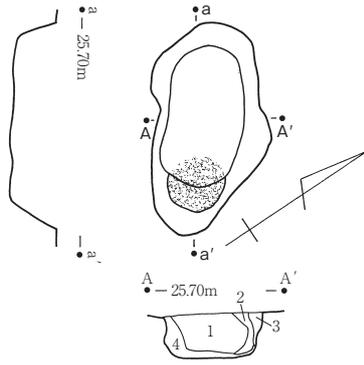
【規模ほか】 長軸1.74m・短軸0.91m・深さ27cm。形状は楕円形（第570図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒などを含む。

【出土遺物】 土器は、2点・32g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・不明などである。遺物はわずかであるが、このうち時期のわかる条痕文系のもをもって、当該時期を397号遺構の帰属時期とみたい。

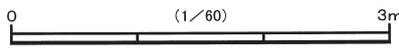
【遺物説明】 第570図1は条痕文系深鉢形土器の胴部破片、2は無文の土器である。

398号遺構

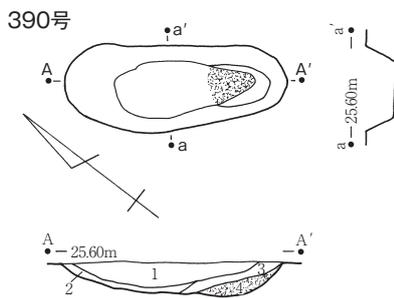


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色混り黒褐色	ローム粒・少量の焼土粒			
2	黒褐色+暗褐色				
3	暗褐色+黄褐色				
4	黒褐色+黄褐色混り暗褐色	焼土粒・ローム粒			

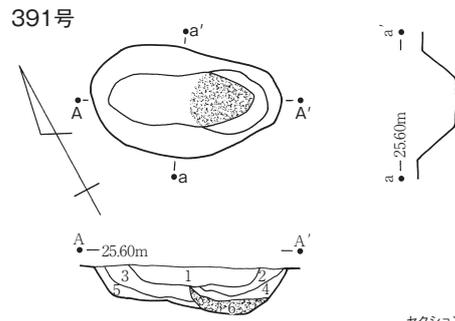
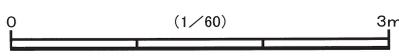


第568図 389号遺構実測図および出土遺物実測図



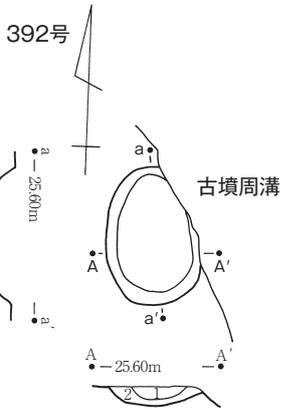
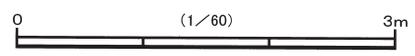
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色(褐色味強い)	少量のローム粒			
2	暗褐色+黒褐色	ローム粒・黄褐色土			
3	暗褐色+黒褐色	焼土			
4					焼土層(ロームの焼けた物)



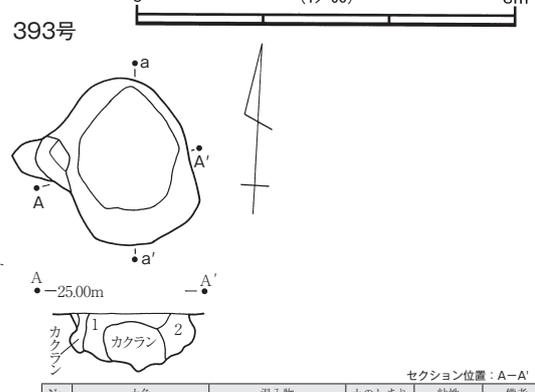
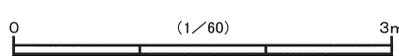
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色(褐色味強い)	焼土・極く少量のローム粒			
2	暗褐色+黒褐色	少量の焼土粒			
3	暗褐色(黒褐色混り)	ローム粒・少量の焼土粒			
4	暗褐色(黒褐色混り)	多量の焼土			
5	暗褐色(黄褐・黒褐色混り)				
6					焼土



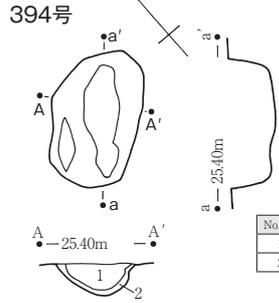
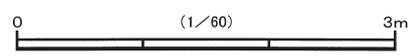
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗褐色土			
2	暗褐色+黄褐色	黒褐色土			



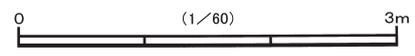
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色+暗灰褐色	黄褐色土			
2	暗褐色	灰褐色土・黄褐色土			

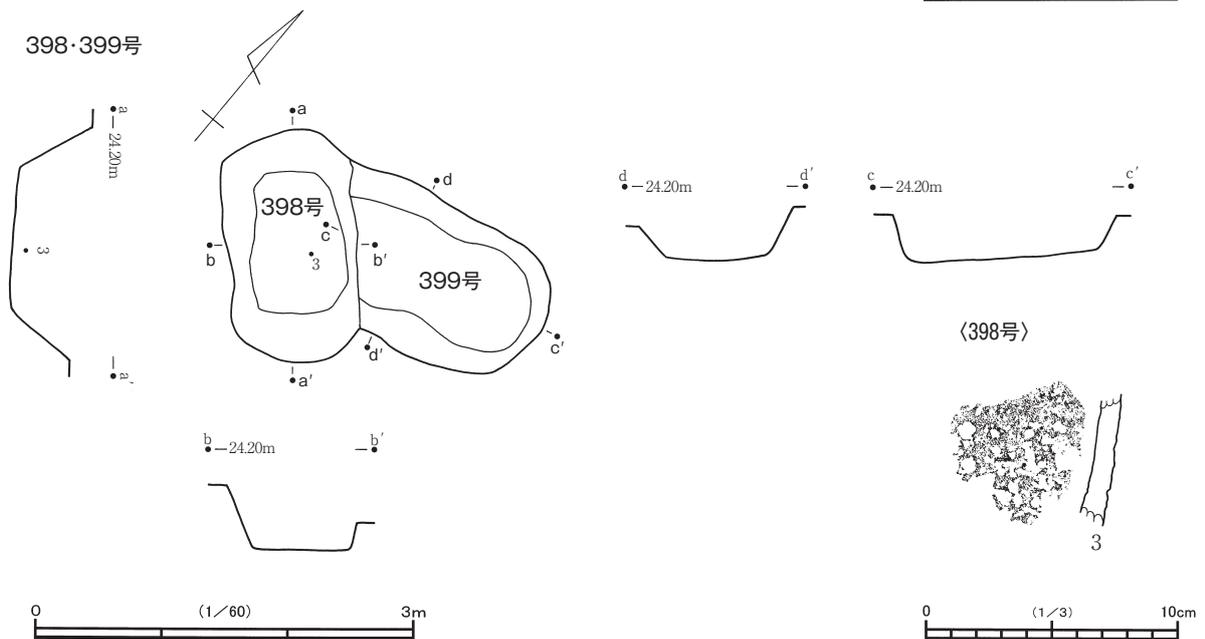
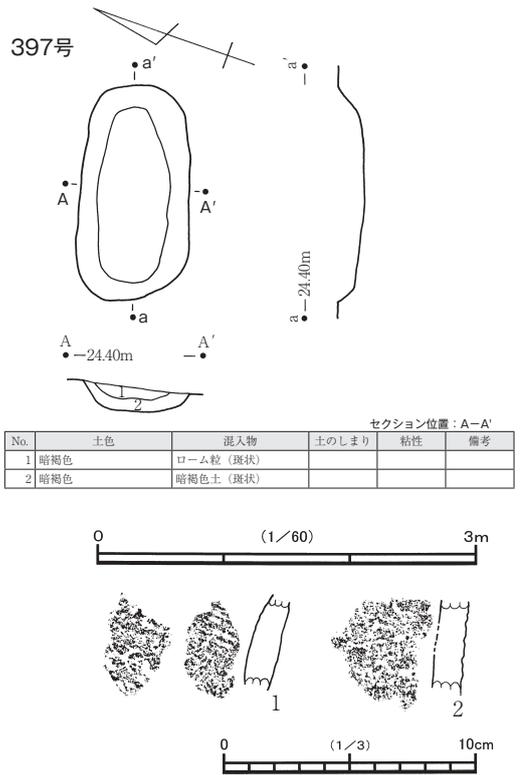
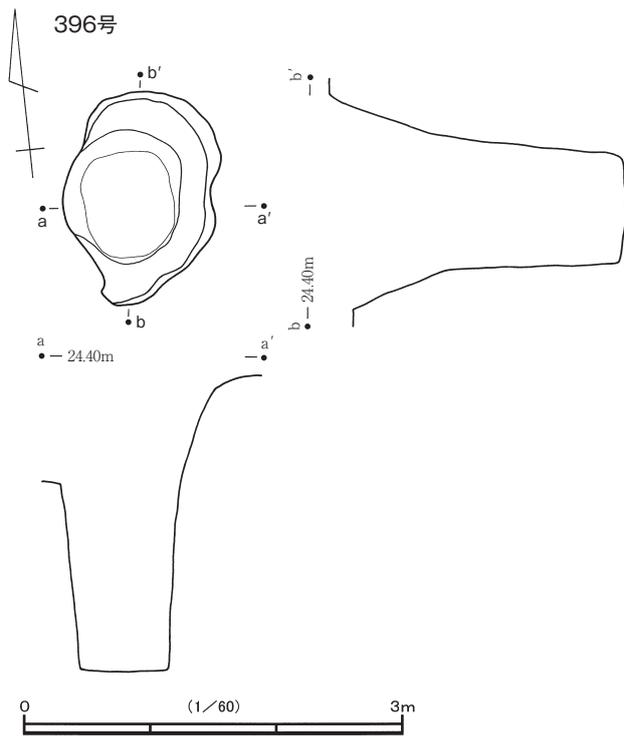
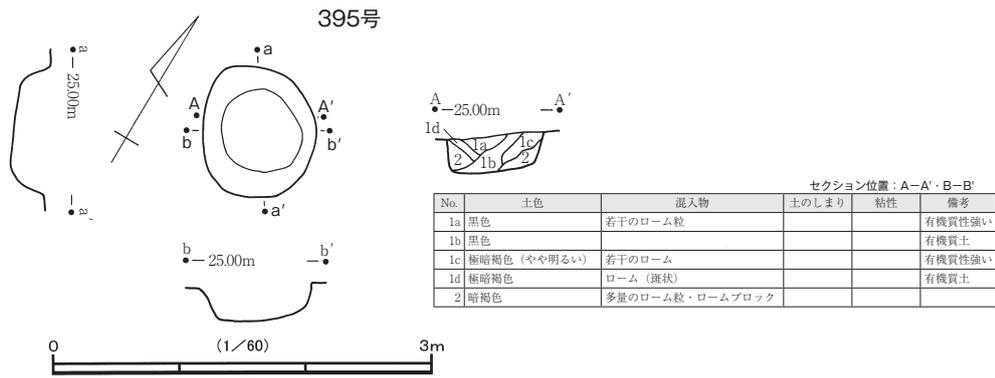


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ローム粒・暗褐色土			
2	暗褐色+暗褐色	黄褐色土			



第569図 390・391・392・393・394号遺構実測図



第570図 395・396・397・398・399号遺構実測図および出土遺物実測図

【検出位置】 セ54区K18-C・G

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.84m・短軸1.05m・深さ68cm。形状は楕円形（第570図）。

【出土遺物】 1点・27gの土器が、遺構中央部基底面付近から出土している。

【遺物説明】 第570図3は繊維を含まない外面器壁の剥落が顕著な無文の土器である。時期は不明。

399号遺構

【検出位置】 セ54区K18-C

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.89m・短軸1.22m・深さ46cm。形状は楕円形（第570図）。

【重複関係】 西側で398号遺構と重複する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

400号遺構

【検出位置】 セ54区K18-C・D

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.33m・短軸1.62m・深さ55cm。形状は楕円形（第571図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【出土遺物】 4点・107gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、7点・123g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・羽状縄文系などである。出土土器が少なく決めてに欠くが、周囲の遺構の状況等も考慮し、400号遺構の帰属を羽状縄文系の時期とみたい。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第571図1～3に示した。1は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。2は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、3は底部の破片である。

401号遺構

【検出位置】 セ54区K18-D

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.99m・短軸1.59m・深さ69cm。形状は楕円形（第572図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。ローム粒の混入が多い。

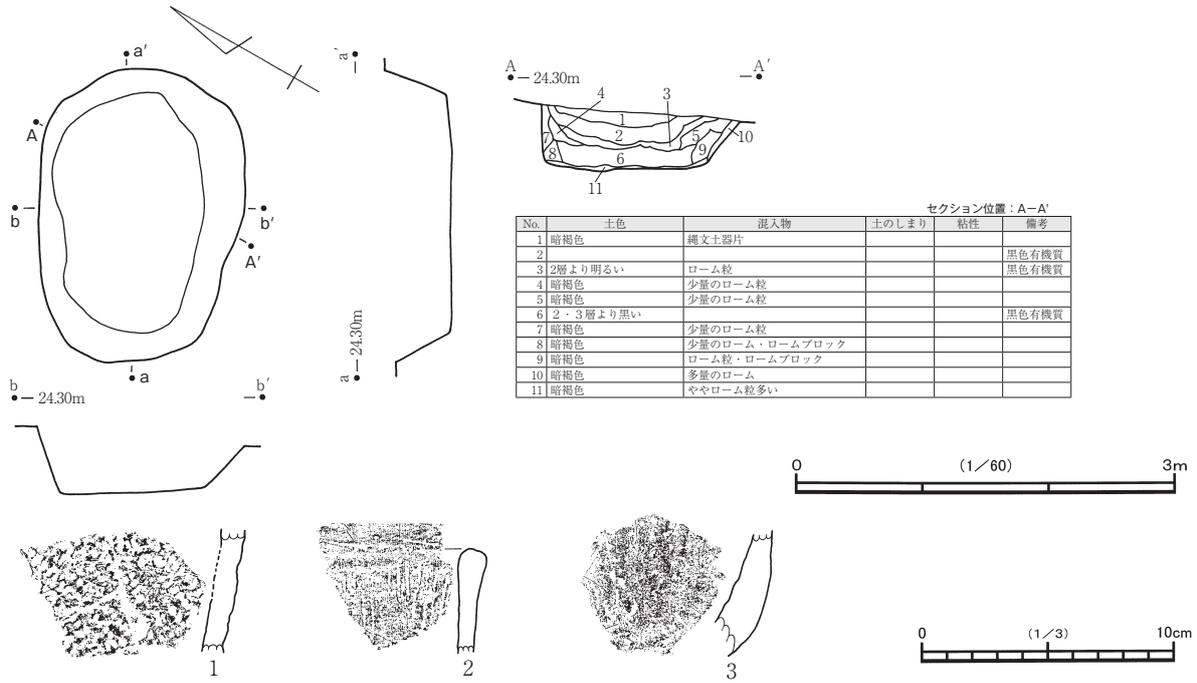
【出土遺物】 17点・376gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、19点・299g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体のおよそ64%あり、当該時期を401号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第572図1～11に示した。1・2は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、3・4は胴部の破片である。5は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、6～8は胴部、9～11は無文の胴部破片である。

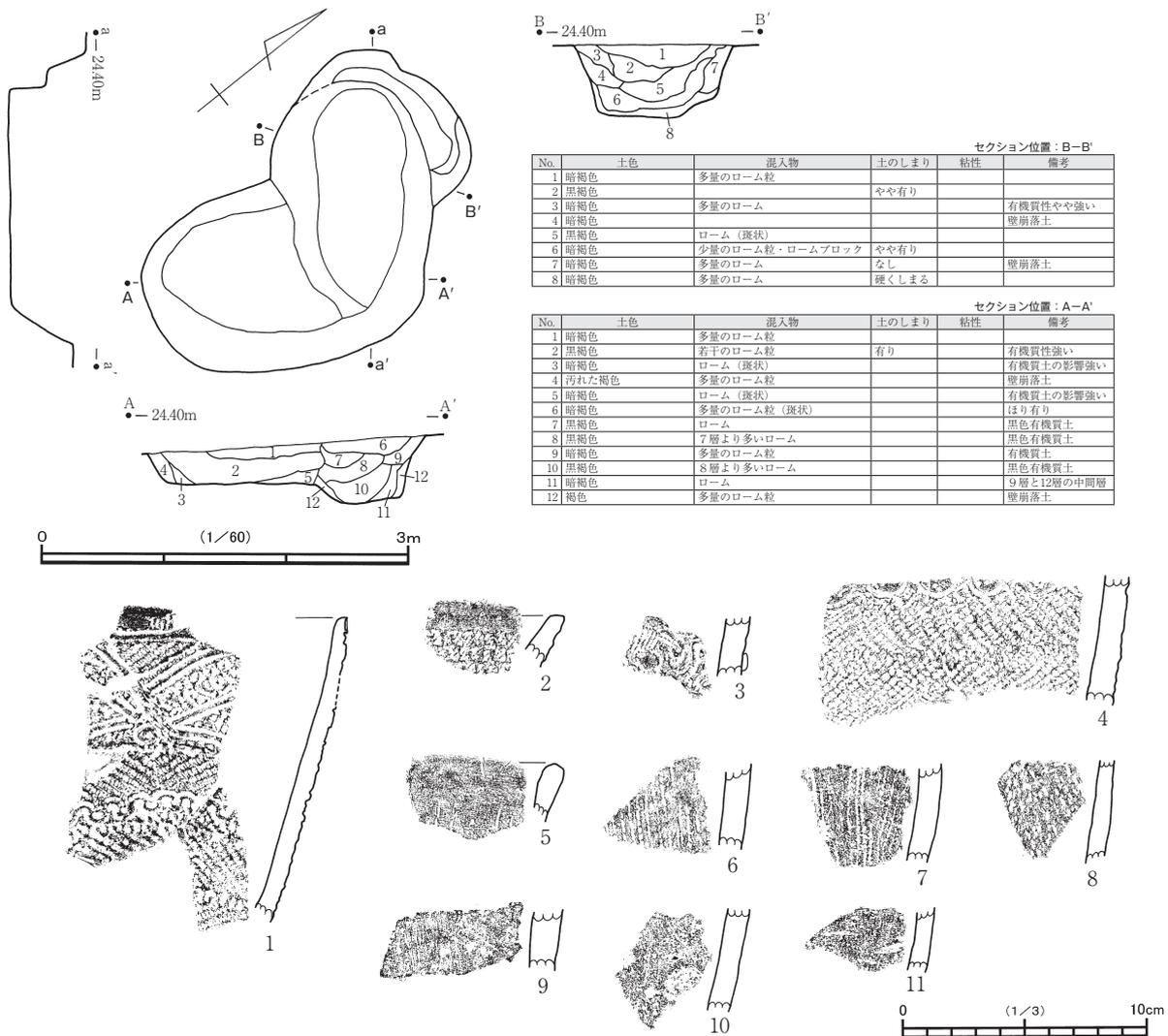
402号遺構

【検出位置】 セ54区K18-G・H

【種別】 土坑



第571図 400号遺構実測図および出土遺物実測図



第572図 401号遺構実測図および出土遺物実測図

【規模ほか】 長軸2.26m・短軸1.20m・深さ63cm。形状は楕円形（第573図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

403号遺構

【検出位置】 セ54区K18-H

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.48m・短軸1.43m・深さ28cm。形状は楕円形（第573図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

【重複関係】 北側で398号遺構と重複する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

404号遺構

【検出位置】 セ54区K18-H

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.42m・短軸1.04m・深さ32cm。形状は楕円形（第573図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【出土遺物】 3点・160gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、5点・166g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体の48.2%あり、当該時期を404号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第573図1・2に示した。1は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。平行線文・ループ文・コンパス文などがみられる。2は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。

405号遺構

【検出位置】 セ54区K18-K

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.32m・短軸1.20m・深さ28cm。形状は円形（第573図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

406号遺構

【検出位置】 セ54区K19-A

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.02m・短軸1.06m・深さ73cm。形状は楕円形（第573図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒などを含む。

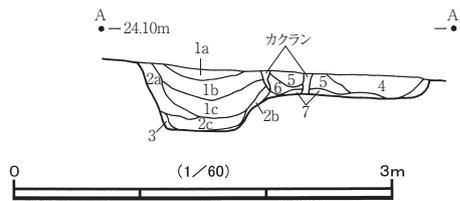
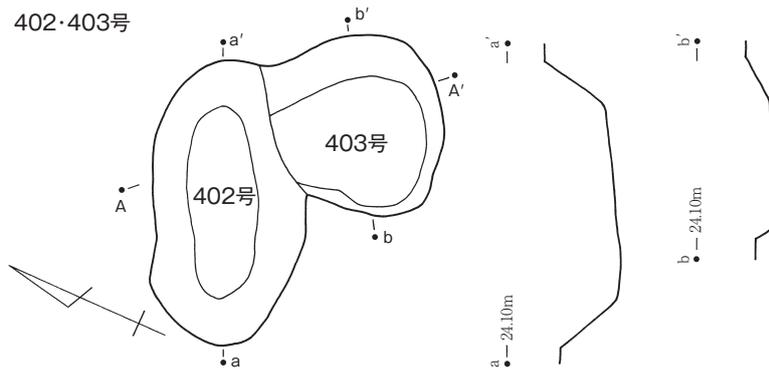
【出土遺物】 覆土一括扱いで取り上げた2点・24gの土器が出土しているが、いずれも図示できない小破片で時期も明確でない。

407号遺構

【検出位置】 セ54区K19-A・E

【種別】 土坑

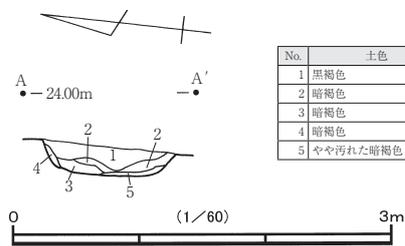
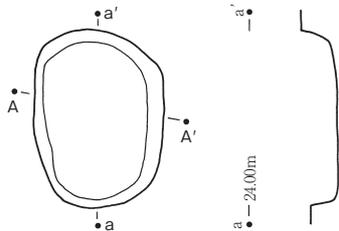
402・403号



セクション位置：A-A'

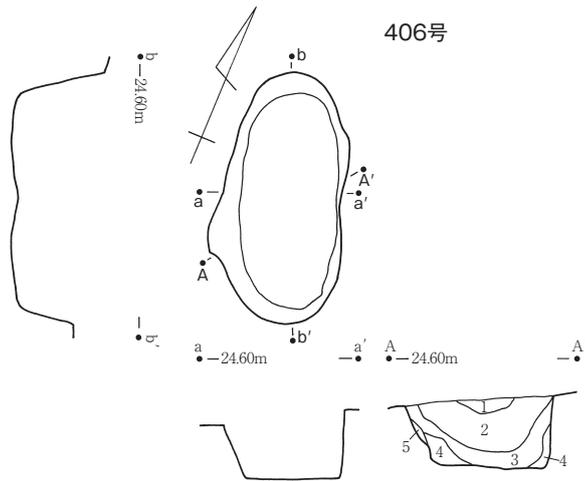
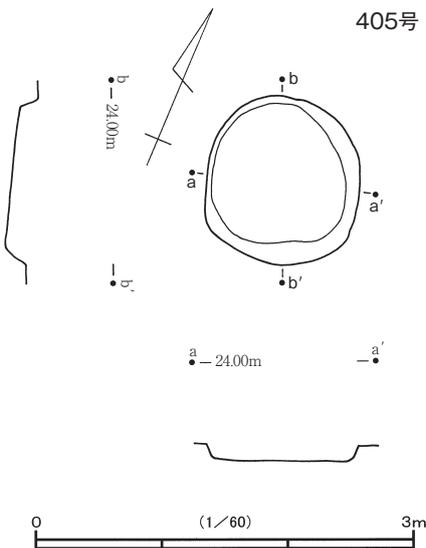
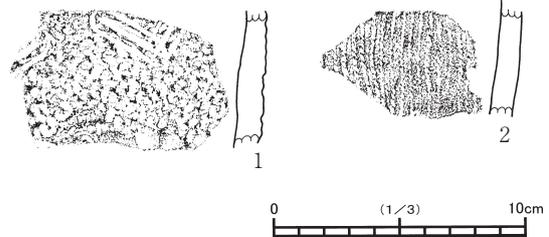
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1a	明暗褐色	多量のローム			
1b	黒色味の強い暗褐色	ローム粒・暗褐色土(斑状)			
1c	暗褐色	少量のローム粒			
2a	暗褐色	やや多量のローム ソフトロームブロック			
2b	暗褐色	多量のロームブロック ローム粒			
2c		多量のローム粒			有機質土の影響強い
3	褐色	多量のソフトローム			
4	黒褐色	微量のローム			
5	暗褐色	ローム粒(斑状)	やや有り		
6	暗褐色	多量のソフトローム粒(大)	やや有り		有機質土
7	やや汚れた暗褐色	多量のソフトローム			

404号



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ローム粒(斑状)			
2	暗褐色	やや多量のローム粒			
3	暗褐色	ローム粒(斑状)			
4	暗褐色	多量のローム粒			
5	やや汚れた暗褐色	多量のソフトローム			



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	若干のローム粒			
2	極暗褐色(黒味強い)	若干のローム	有り		有機性強い
3	暗褐色	やや多いローム粒	硬くしまる		
4	3層より暗い暗褐色	若干のローム粒	硬くしまる		
5	暗褐色	若干のローム	硬くしまる		

第573図 402・403・404・405・406号遺構実測図および出土遺物実測図

【規模ほか】 長軸2.07m・短軸1.50m・深さ48cm。形状は楕円形（第574図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

408号遺構

【検出位置】 セ54区K19-A

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.27m・短軸1.32m・深さ58cm。形状は楕円形（第574図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

409号遺構

【検出位置】 セ54区K19-A・B

【種別】 土坑

【覆土】 黒色有機質土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【規模ほか】 長軸1.76m・短軸1.01m・深さ44cm。形状は楕円形。408号遺構の東側に隣接する（第574図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

410号遺構

【検出位置】 セ54区K19-B

【種別】 土坑

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【規模ほか】 長軸1.50m・短軸1.06m・深さ30cm。形状は楕円形（第574図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

411号遺構

【検出位置】 セ54区K19-E・I

【種別】 土坑

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

【規模ほか】 長軸2.02m・短軸1.13m・深さ62cm。形状は楕円形（第574図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

412号遺構

【検出位置】 セ54区K20-E・I

【種別】 土坑

【覆土】 黒褐色土・褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【規模ほか】 長軸2.09m・短軸1.11m・深さ35cm。形状は楕円形（第574図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

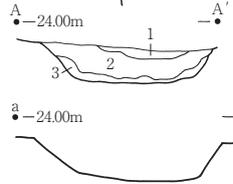
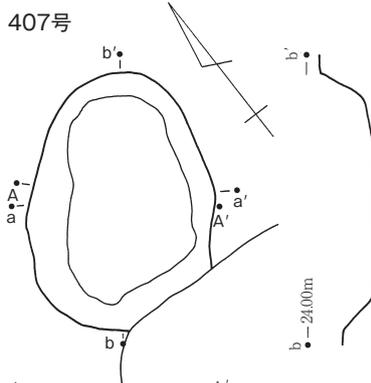
413号遺構

【検出位置】 セ54区K21-A

【種別】 土坑

【覆土】 黒褐色土を主体とする。ローム粒などを含む。

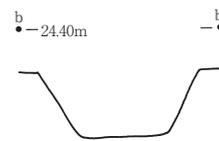
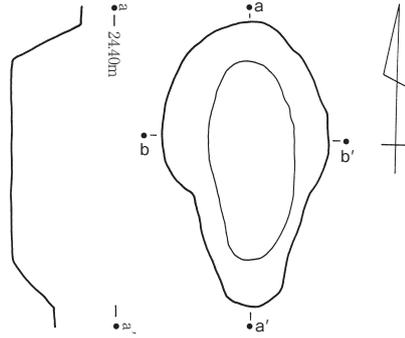
407号



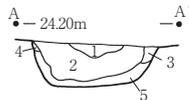
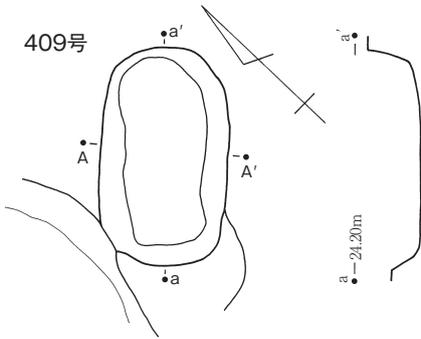
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	ローム粒 (斑状)			
2	暗褐色	褐色土 (斑状)			有機質性高い
3	暗褐色	多量のローム粒			

408号



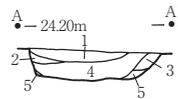
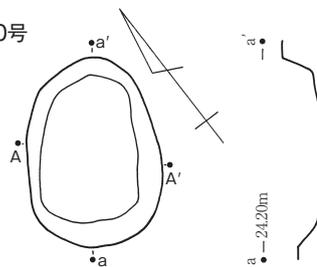
409号



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	暗褐色土 (斑状)・黒色土 (斑状)			
2	黒色	暗褐色土 (斑状)			有機質土
3		ソフトロームブロック			
4	褐色	多量のソフトローム			
5	暗褐色	暗褐色土主体・若干のローム粒	やや有り		

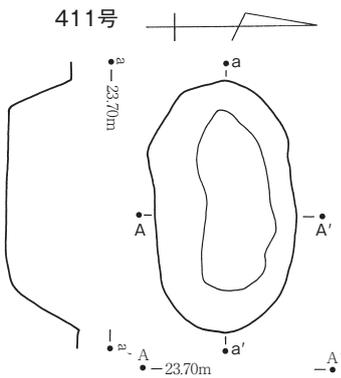
410号



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	少量のローム粒			
2	汚れた褐色	多量のソフトローム粒			
3	汚れた褐色	多量のソフトローム粒			
4	暗褐色	若干のローム			極めて有機性高い
5	暗褐色	ソフトロームブロック (主体層)			

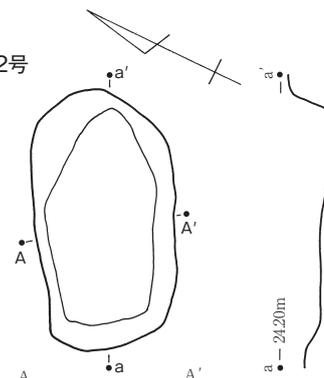
411号



セクション位置：A-A'

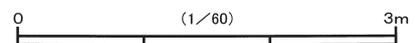
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗褐色土 (斑状)	やや有り		
2	暗褐色				
3	暗褐色	少量のローム粒	有り		有機質性強い

412号



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	若干のローム粒			
2	褐色	多量のソフトロームブロック (1cm) 若干のローム粒			



第574図 407・408・409・410・411・412号遺構実測図

【規模ほか】 長軸2.22m・短軸0.98m・深さ38cm。形状は楕円形（第575図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

414号遺構

【検出位置】 セ54区K22-E

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.45m・短軸2.05m・深さ139cm。形状は楕円形。2基連結（第575図）。

【覆土】 黒褐色土・黄褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

415号遺構

【検出位置】 セ54区K22-N

【種別】 土坑

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒などを含む。

【規模ほか】 長軸1.35m・短軸1.01m・深さ20cm。形状は楕円形（第575図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

416号遺構

【検出位置】 セ54区K22-J

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.17m・短軸0.80m・深さ57cm。形状は楕円形（第575図）。

【覆土】 黒褐色土・黄褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

417号遺構

【検出位置】 セ54区L18-A

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.03m・短軸2.00m・深さ82cm。形状は円形（第575図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

418号遺構

【検出位置】 セ54区K18-M、L18-A

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.44m・短軸1.05m・深さ108cm。形状は長楕円形（第575図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

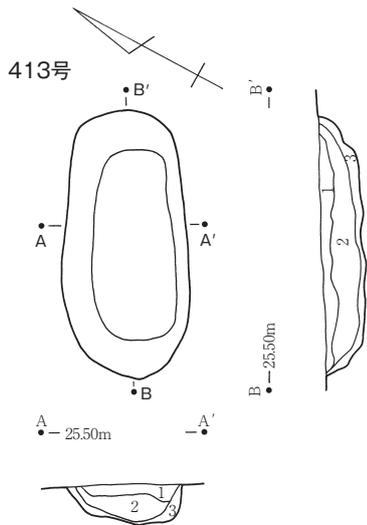
419号遺構

【検出位置】 セ54区L18-B

【種別】 陥し穴

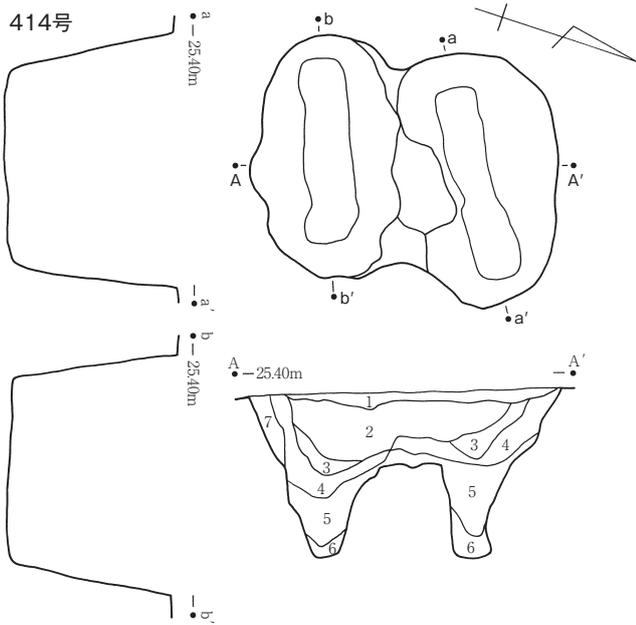
【規模ほか】 長軸2.84m・短軸0.61m・深さ79cm。形状は長楕円形（第576図）。

【覆土】 黄褐色土・黒褐色土などを主体とする。ロームブロックなどを含む。



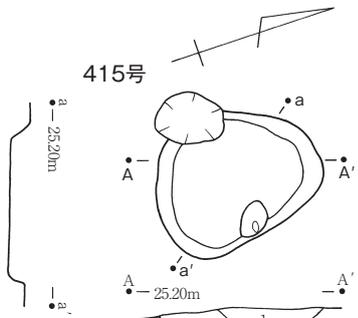
セクション位置：A-A'・B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗黄褐色土			
2	黒褐色	少量のローム粒・暗褐色土			
3	黒褐色+暗褐色+黄褐色				



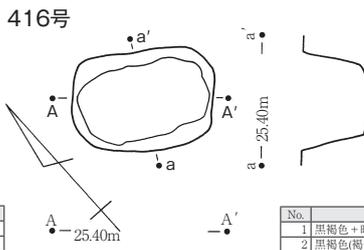
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗黄褐色土			
2	黒褐色 (褐色味強い)	暗褐色土			
3	暗褐色	少量の黄褐色土			
4	暗褐色+黄褐色				
5	黄褐色	少量の暗褐色土・ロームブロック			
6	黄褐色	黒褐色土・暗褐色土	有り		
7	黄褐色	暗褐色土			



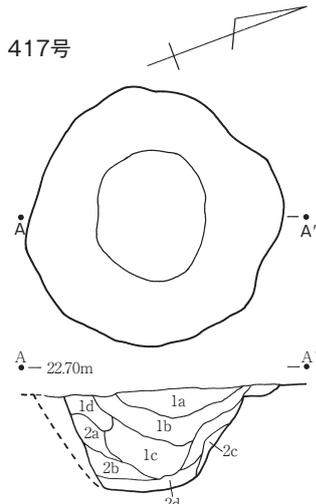
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	黄褐色土・黒褐色土	有り		
2		ローム粒・暗褐色土・黒褐色土			



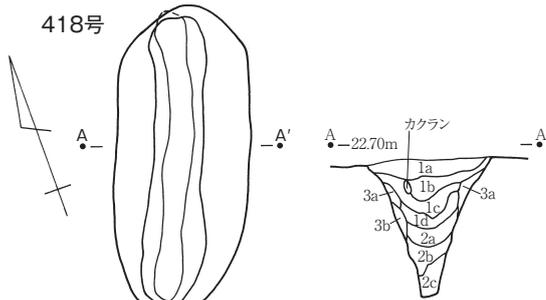
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色+暗黄褐色	ローム粒			
2	黒褐色 (褐色味強い)	ローム粒			
3	黄褐色				
4	黄褐色+暗褐色+黒褐色				
5	暗褐色	黒褐色土			



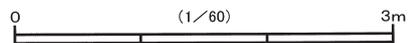
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1a	黒褐色	ローム粒			有機質土の影響強い
1b	黒褐色	ローム粒 (1a層より多い)			有機質土の影響強い
1c	黒褐色	ローム粒 (1b層より多い)			有機質土の影響強い
1d	黒褐色	ローム粒 (1c層より多い)			有機質土の影響強い
2a	暗褐色	汚れたローム	なし		有機質土の影響弱い
2b	暗褐色	汚れたローム	なし		有機質土の影響弱い (2a層より弱い)
2c	暗褐色	汚れたローム	なし		有機質土の影響弱い (2b層より弱い)
2d	暗褐色	汚れたローム	なし		有機質土の影響弱い (2c層より弱い)



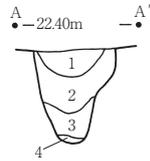
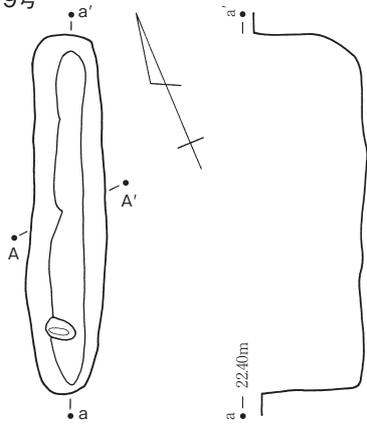
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1a	黒褐色	ローム粒			有機質性強い
1b	黒褐色	ローム粒 (1a層より多い)			有機質性強い
1c	黒褐色	ローム粒 (1b層より多い)			有機質性強い
1d	黒褐色	ローム粒 (2c層より多い)			有機質性強い
2a	暗褐色 (褐色に近い)	ローム・ロームブロック			
2b	暗褐色 (褐色に近い)	ローム・ロームブロック (2a層より多い)			
2c	暗褐色 (褐色に近い)	ローム・ロームブロック (2b層より多い)			
3a	暗褐色	ローム			壁崩壊土
3b	暗褐色	ローム(3a層より多い)			壁崩壊土



第575図 413・414・415・416・417・418号遺構実測図

419号

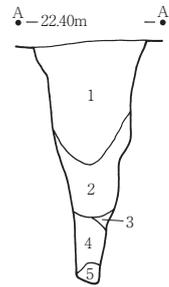
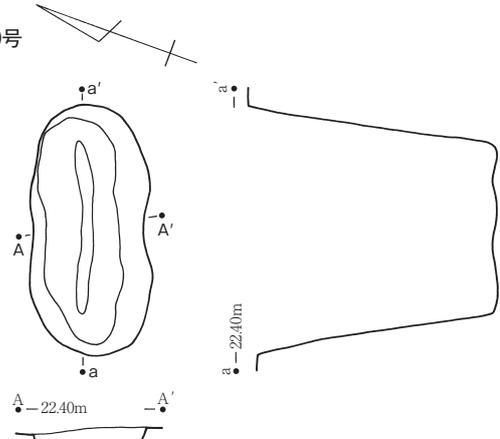


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	多量の褐色土 (塵状)			
2	黄褐色	ソフトローム主体			粗い堆積
3	黄褐色	ハードロームブロック (1cm) 主体	やや硬い		
4	黒色	若干のハードロームブツク (0.5cm)		有り	

0 (1/60) 3m

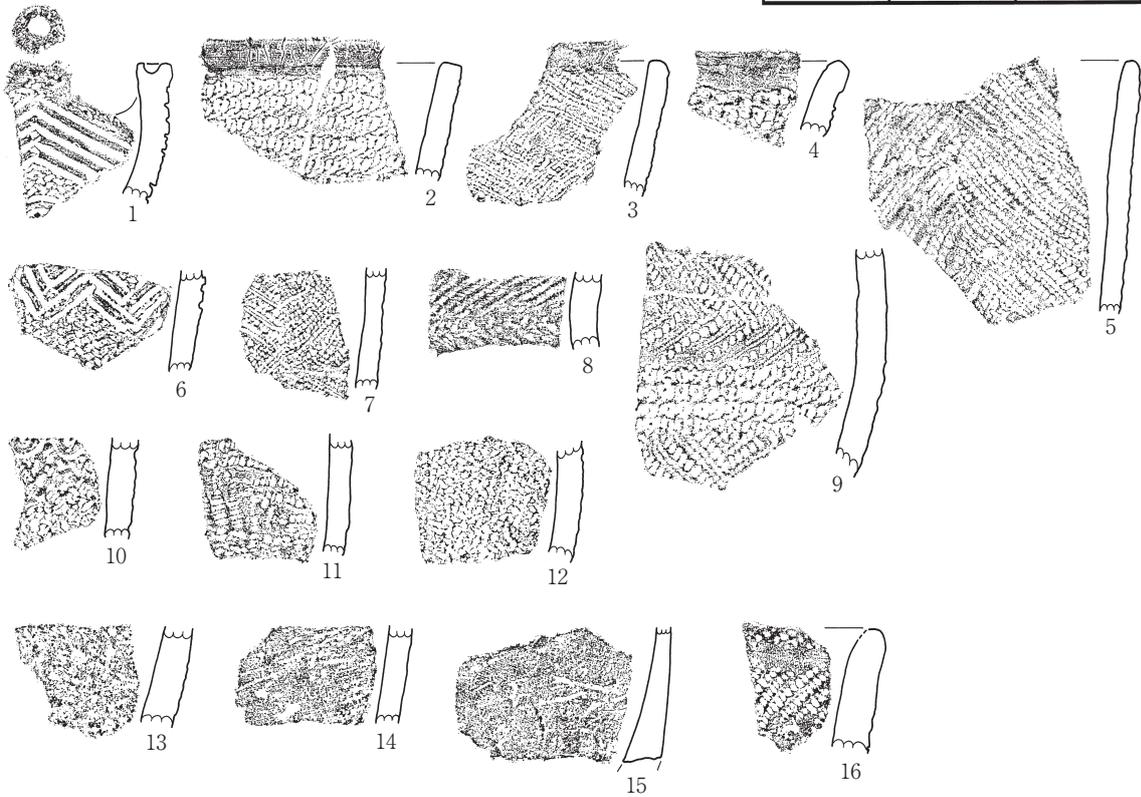
420号



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	多量のローム粒・多量のハードブロック (1cm)			
2	暗褐色	多量のローム粒・多量のハードブロック (1~3cm)			
3	黒色				非常に粗い堆積
4	黄褐色	ローム粒			
5	黒色			有り	

0 (1/60) 3m



0 (1/3) 10cm

第576図 419・420号遺構実測図および出土遺物実測図

【重複関係】 58号住居跡と重複。新旧関係は419号遺構の方が古い。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

420号遺構

【検出位置】 セ54区L18-C

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.00m・短軸0.97m・深さ198cm。形状は長楕円形（第576図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒などを含む。

【出土遺物】 6点・509gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、51点・1,638g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系（無文）・羽状縄文系・加曾利E式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体の89.7%あり、当該時期を420号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第576図1～16に示した。1～5は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、6～12は胴部の破片である。平行線文、ループ文、付加条文などがみられる。13～15は無文の深鉢形土器の胴部破片である。

421号遺構

【検出位置】 セ54区L18-H

【種別】 陥し穴？

【規模ほか】 長軸0.90m・深さ81cm。形状は円形？。床面に小ピットあり。遺構平面図不在のため詳細は不明（第577図）。

【覆土】 黒褐色土を主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

422号遺構

【検出位置】 セ54区L18-G

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.43m・短軸0.81m・深さ104cm。形状は長楕円形（第577図）。

【覆土】 黒褐色土・褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

423号遺構

【検出位置】 セ54区L18-G・H

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.73m・短軸1.60m・深さ18cm。形状は円形（第577図）。

【覆土】 ローム粒を含む暗褐色土。

【出土遺物】 覆土一括扱いで取り上げた2点・77gの土器が出土しているが、時期が明確でなく、本遺構の帰属時期は不明。

【遺物説明】 第577図1・2は無文の深鉢形土器の胴部破片である。

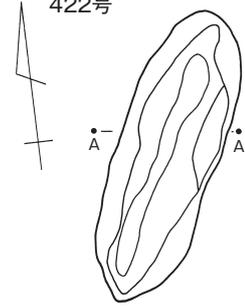
424号遺構

【検出位置】 セ54区L18-L、L19-I

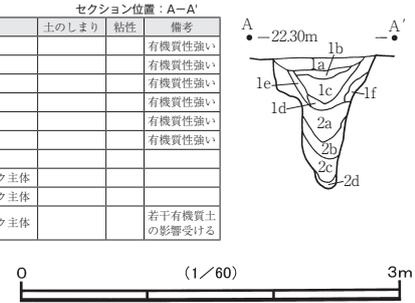
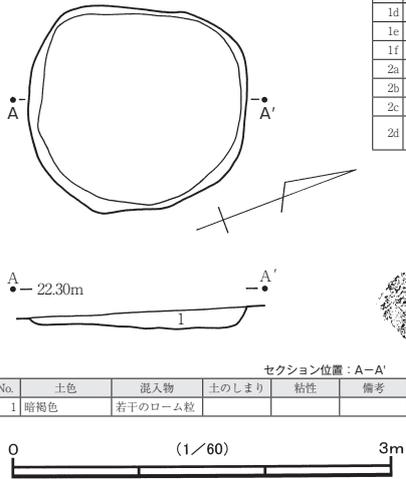
421号



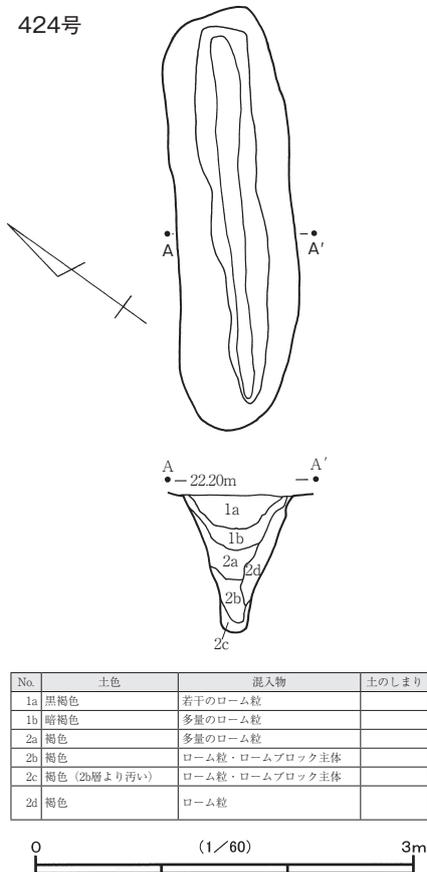
422号



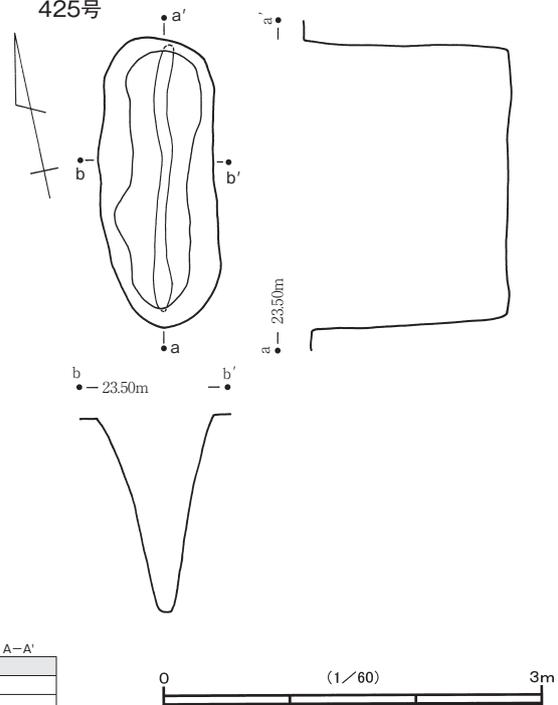
423号



424号



425号



第577図 421・422・423・424・425号遺構実測図および出土遺物実測図

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.35m・短軸0.92m・深さ110cm。形状は長楕円形（第577図）。

【覆土】 褐色土を主体とする。ロームブロック・ローム粒などを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

425号遺構

【検出位置】 セ54区L20-A

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.30m・短軸0.92m・深さ166cm。形状は長楕円形（第577図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

426号遺構

【検出位置】 セ54区L19-P

【種別】 陥し穴？

【規模ほか】 長軸1.36m・短軸0.99m・深さ127cm。形状は円形。床面にピットあり（第578図）。

【覆土】 暗褐色土・暗黒褐色土などを主体とする。ローム粒などを含む。

【重複関係】 古墳周溝と重複のため、東側の一部を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

427号遺構

【検出位置】 セ54区L20-N・0

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.38m・短軸1.37m・深さ174cm。形状は楕円形（第578図）。

【覆土】 黒色土・暗茶褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【重複関係】 古墳周溝と重複のため、西側の一部を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

428号遺構

【検出位置】 セ54区L20-0・P

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.83m・短軸1.33m・深さ48cm。形状は楕円形（第578図）。

【覆土】 黒褐色土・暗茶褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

429号遺構

【検出位置】 セ54区L21-H・L

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.76m・短軸1.58m・深さ251cm。形状は長楕円形（第579図）。

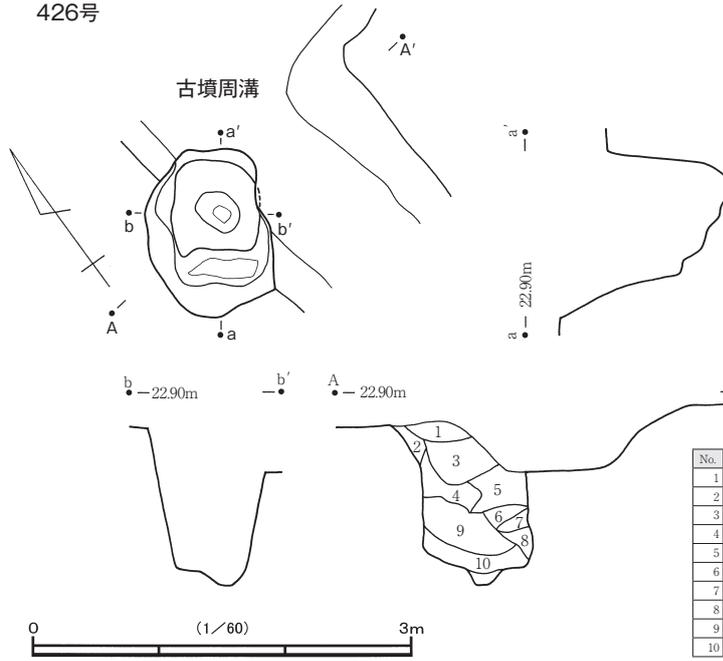
【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

430号遺構

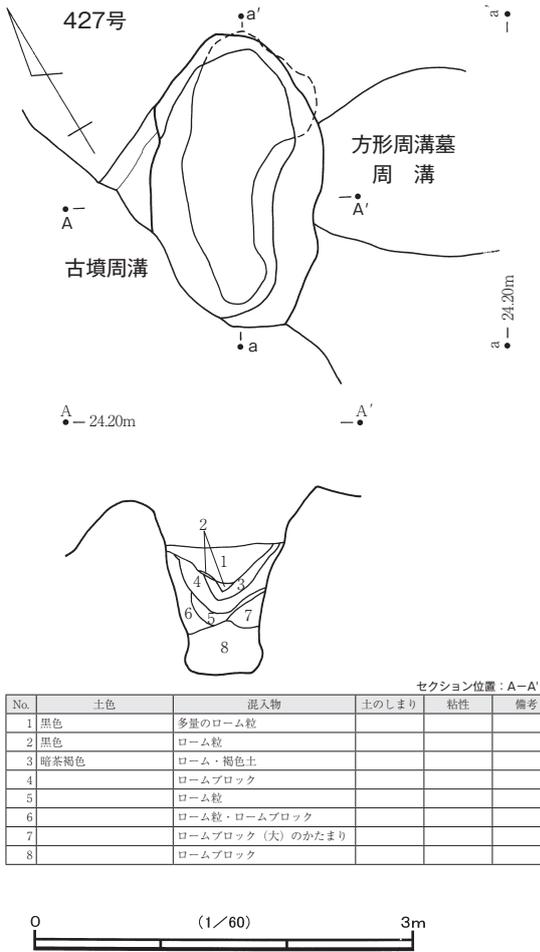
【検出位置】 セ54区L22-B

426号



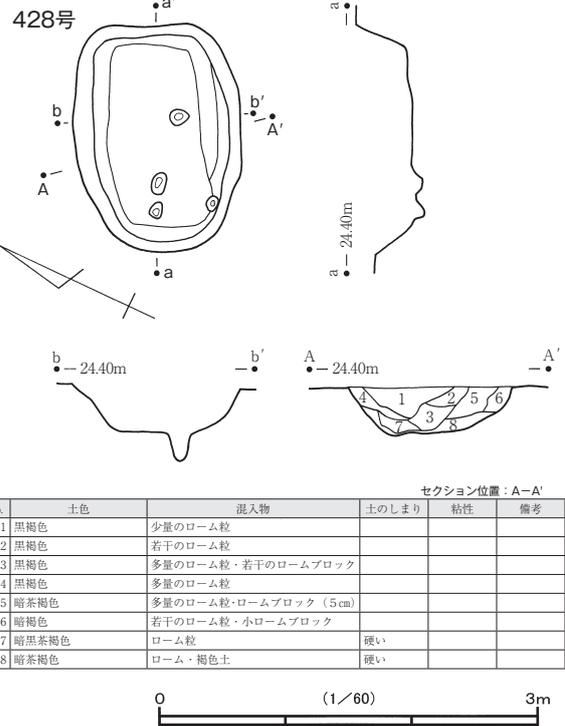
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	多量の褐色粒土			
2	暗褐色		硬い		
3	暗黒褐色	若干の褐色土ブロック			
4					
5	暗黒褐色	褐色土ブロック			
6	暗黒色	ローム粒			
7	暗黒色 (6層より暗い)				
8	暗褐色	ローム粒			
9	暗褐色				
10	暗褐色	多量のローム粒			



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒色	多量のローム粒			
2	黒色	ローム粒			
3	暗茶褐色	ローム・褐色土			
4		ロームブロック			
5		ローム粒			
6		ローム粒・ロームブロック			
7		ロームブロック (大) のかたまり			
8		ロームブロック			

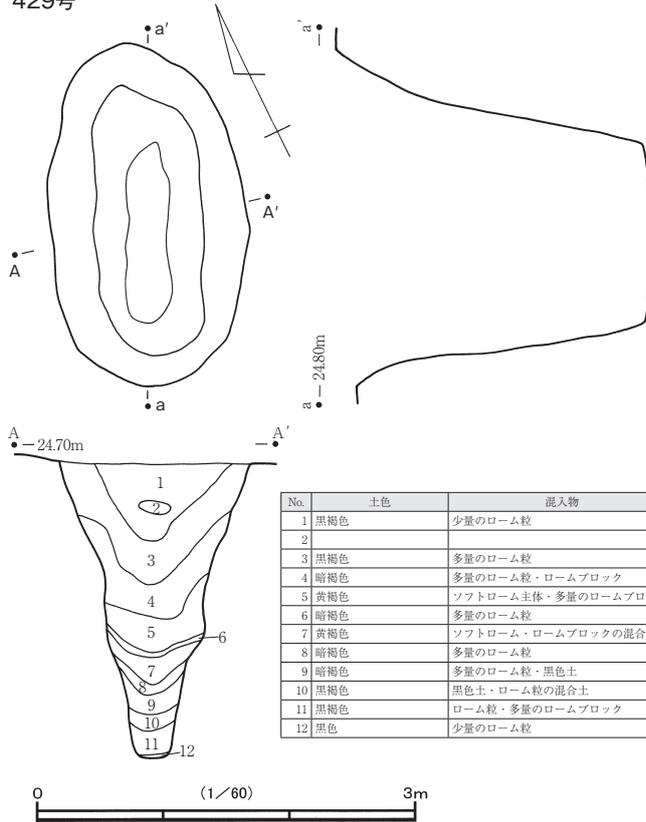


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	少量のローム粒			
2	黒褐色	若干のローム粒			
3	黒褐色	多量のローム粒・若干のロームブロック			
4	黒褐色	多量のローム粒			
5	暗茶褐色	多量のローム粒・ロームブロック (5cm)			
6	暗褐色	若干のローム粒・小ロームブロック			
7	暗黒茶褐色	ローム粒	硬い		
8	暗茶褐色	ローム・褐色土	硬い		

第578図 426・427・428号遺構実測図

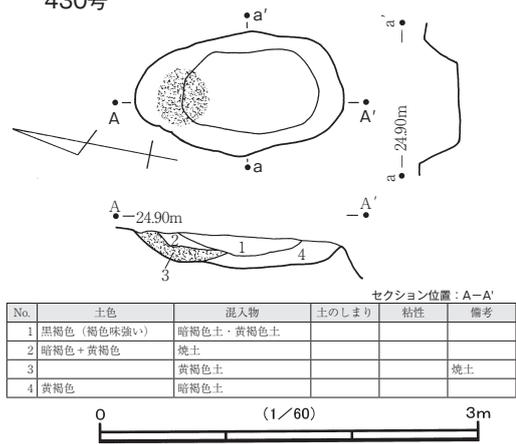
429号



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	少量のローム粒			
2					焼土
3	黒褐色	多量のローム粒			
4	暗褐色	多量のローム粒・ロームブロック			
5	黄褐色	ソフトローム主体・多量のロームブロック			
6	暗褐色	多量のローム粒			
7	黄褐色	ソフトローム・ロームブロックの混合土			
8	暗褐色	多量のローム粒			
9	暗褐色	多量のローム粒・黒色土			
10	黒褐色	黒色土・ローム粒の混合土			
11	黒褐色	ローム粒・多量のロームブロック			
12	黒色	少量のローム粒			

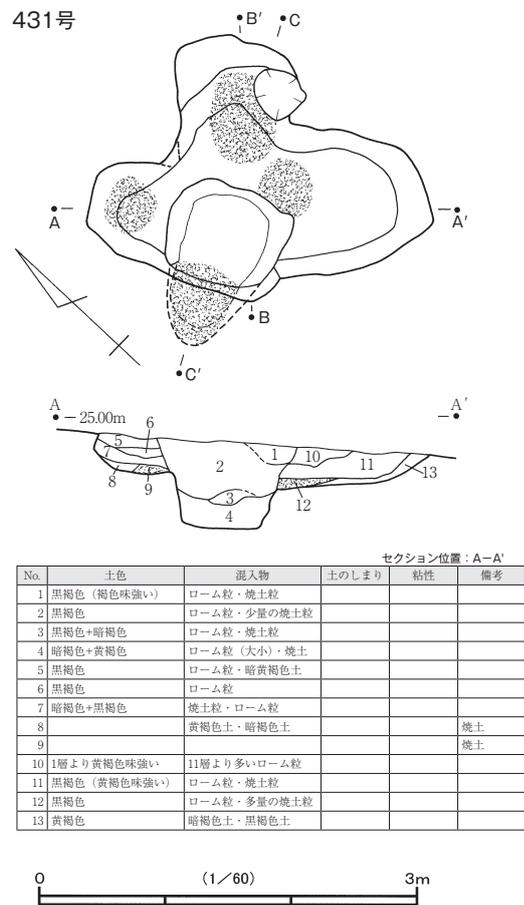
430号



セクション位置：A-A'

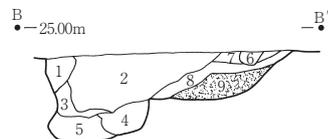
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色 (褐色味強い)	暗褐色土・黄褐色土			
2	暗褐色+黄褐色	焼土			
3		黄褐色土			焼土
4	黄褐色	暗褐色土			

431号



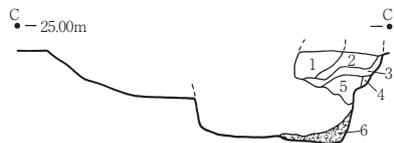
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色 (褐色味強い)	ローム粒・焼土粒			
2	黒褐色	ローム粒・少量の焼土粒			
3	黒褐色+暗褐色	ローム粒・焼土粒			
4	暗褐色+黄褐色	ローム粒 (大小)・焼土			
5	黒褐色	ローム粒・暗黄褐色土			
6	黒褐色	ローム粒			
7	暗褐色+黒褐色	焼土粒・ローム粒			
8		黄褐色土・暗褐色土			焼土
9					焼土
10	1層より黄褐色味強い	11層より多いローム粒			
11	黒褐色 (黄褐色味強い)	ローム粒・焼土粒			
12	黒褐色	ローム粒・多量の焼土粒			
13	黄褐色	暗褐色土・黒褐色土			



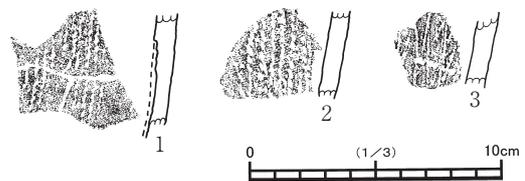
セクション位置：B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色+黒褐色	黄褐色土			
2	黒褐色	ローム粒・少量の焼土粒			
3	黒褐色	ローム粒・少量の焼土粒・暗褐色土			
4	暗褐色	ローム粒・焼土粒・黄褐色土			
5	暗褐色+黄褐色	焼土粒・ローム粒 (大小)			
6	黒褐色				
7	黒褐色	暗黄褐色土			
8	暗褐色+黒褐色	焼土・ローム粒			
9					焼土



セクション位置：C-C'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1		暗褐色土			埴山
2	暗黄褐色				
3	暗褐色	少量のローム			
4	暗褐色+黒褐色	ローム粒			標遺覆土
5	黒褐色	少量の焼土粒・ローム粒			
6					焼土



第579図 429・430・431号遺構実測図および出土遺物実測図

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.66m・短軸1.00m・深さ33cm。形状は楕円形。主軸方向 348°。燃焼面1箇所（第579図）。

【覆土】 黒褐色土・黄褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

431号遺構

【検出位置】 セ54区L22-B

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.77m・短軸2.51m・深さ82cm。燃焼面4箇所。天井部・煙道残存（第579図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

【出土遺物】 被熱した1点・55gの礫が出土している。土器は、6点・41g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ54%あり、当該時期を431号遺構の帰属時期とみる。

【その他】 本遺構は、遺構検出時点で炉穴の天井部および煙出しの穴が残っていることが明らかだったため、これらを写真や図面に記録しながら調査を進めている。煙出しの穴は、遺構の西側に設けられその規模は直径30cmほど、煙道は西から東に向かって斜めに作られ、その下部に燃焼面が位置する。燃焼面のある基底面の高さは、入り口部より30cmほど低く作られている。なお、本遺構はこのほかにも3箇所の燃焼面をもつことから、同じ場所で何度か燃焼部の位置・方向を変えて作り直されたものとみられる。

【遺物説明】 第579図1～3は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。条痕文系の土器については、小片のため図示できなかった。

432号遺構

【検出位置】 セ54区K22-0

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.90m・短軸1.02m・深さ43cm。形状は楕円形。主軸方向 283°。燃焼面1箇所（第580図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒などを含む。

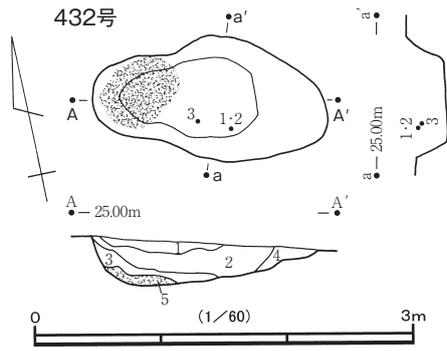
【出土遺物】 被熱した1点・39gの礫が出土している。土器は、42点・580g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、条痕文系・撚糸文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ95%あり、当該時期を432号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第580図1～3に、覆土一括扱いのものを第580図4～8に示した。4・5は条痕文系深鉢形土器の口縁部、1～3・6～8は胴部の破片である。

433号遺構

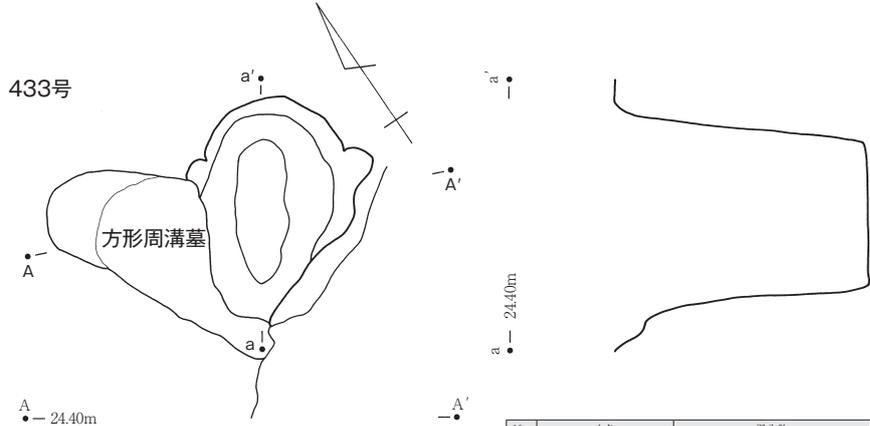
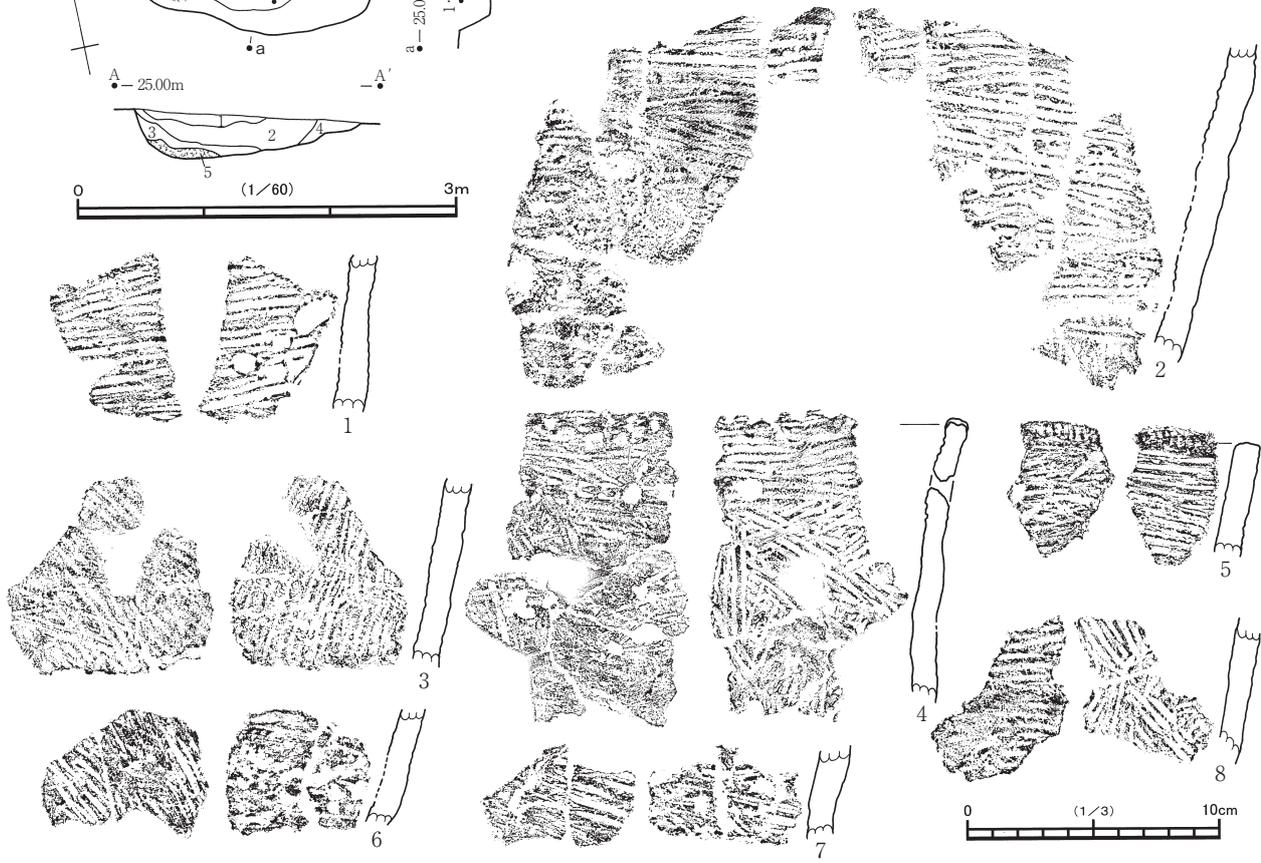
【検出位置】 セ54区L22-M

【種別】 陥し穴



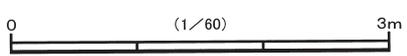
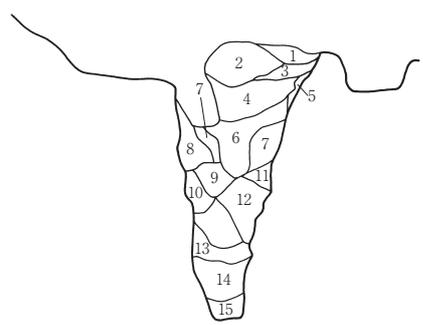
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗黄褐色土・ローム粒・少量の焼土粒			
2	黒褐色	焼土粒・ローム粒			
3	暗褐色	焼土粒・ローム粒・黄褐色土			
4	暗褐色+黒褐色	少量のローム粒			
5					焼土



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗茶褐色	ローム			
2	暗黄褐色	ローム			
3	暗黒茶				
4	暗黒褐色	多量の褐色土粒・ロームブロック			
5		ロームブロック			
6	黒色+暗褐色	ロームブロック(小)			
7	暗褐色	ローム			
8		ローム			
9	褐色				
10	暗黒茶色				
11	暗褐色				
12	暗褐色	黒色土ブロック			
13	暗褐色				
14	黒色				
15	褐色				



第580図 432・433号遺構実測図および出土遺物実測図

【規模ほか】 長軸1.83m・短軸1.36m・深さ236cm。形状は楕円形（第580図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒などを含む。

【重複関係】 方形周溝墓周溝と重複のため、西側の一部を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

434号遺構

【検出位置】 セ54区M21-D・H

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.04m・短軸0.96m・深さ122cm。形状は長楕円形（第581図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

435号遺構

【検出位置】 セ54区M22-B・F

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.64m・短軸1.40m・深さ95cm。2基が重複する（第581図）。

【覆土】 暗褐色土・暗茶褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

436号遺構

【検出位置】 セ54区M22-F

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.32m・短軸0.78m・深さ106cm。形状は長楕円形（第581図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

437号遺構

【検出位置】 セ54区M22-F・G

【種別】 竪穴状遺構

【規模ほか】 長軸2.90m・短軸1.70m・深さ42cm。形状は長方形（第581図）。

【覆土】 黒褐色土を主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

【重複関係】 438号遺構と重複のため、東側の一部を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

438号遺構

【検出位置】 セ54区M22-G

【種別】 陥し穴

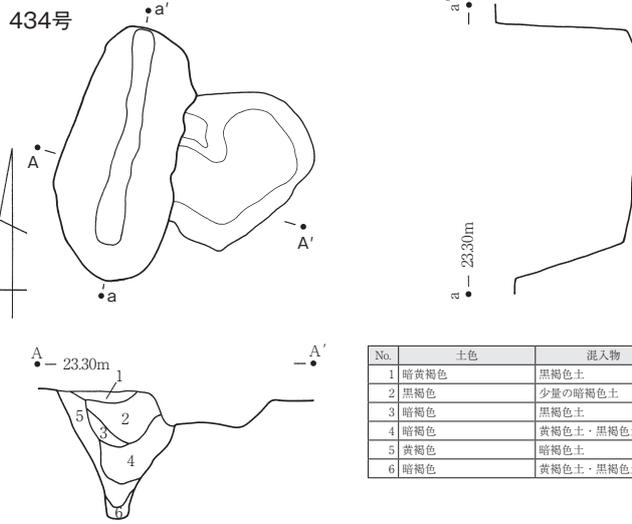
【規模ほか】 長軸2.11m・短軸1.11m・深さ102cm。形状は長楕円形（第581図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

439号遺構

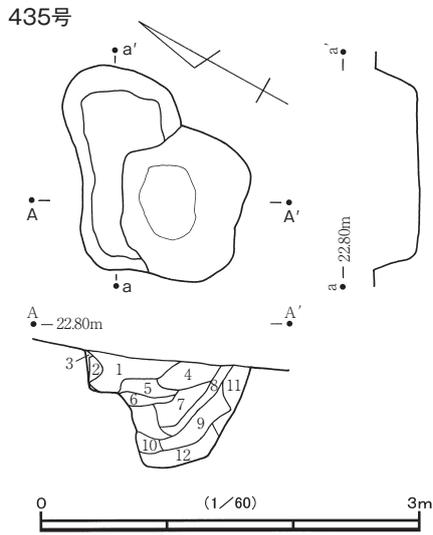
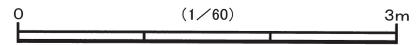
【検出位置】 セ54区M21-L

【種別】 土坑



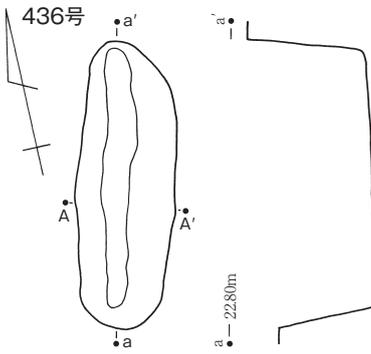
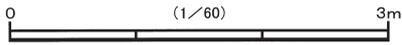
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黄褐色	黒褐色土			
2	黒褐色	少量の暗褐色土			
3	暗褐色	黒褐色土			
4	暗褐色	黄褐色土・黒褐色土			
5	黄褐色	暗褐色土			
6	暗褐色	黄褐色土・黒褐色土			



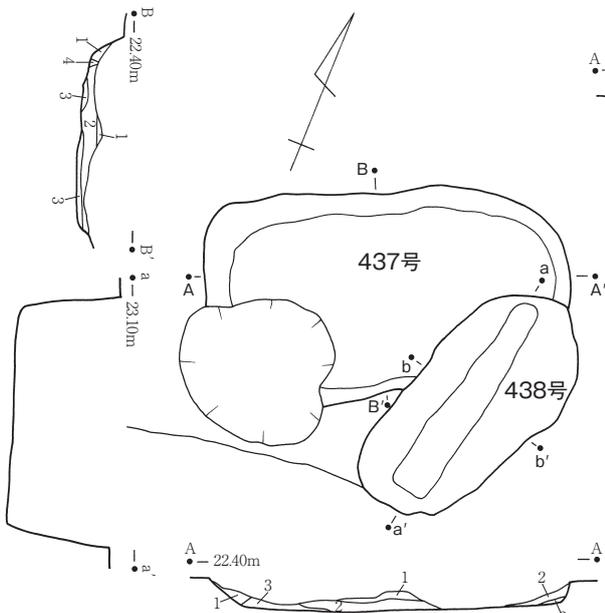
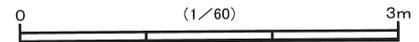
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒色				
2	暗黒褐色				
3	茶色				
4	暗褐色				
5	暗茶褐色	ローム粒・暗茶褐色土粒			
6	暗茶色	ブロック			
7	暗褐色				
8	暗い暗茶褐色				
9	明るい暗茶褐色				
10	暗黒褐色				
11	暗茶褐色				
12	暗褐色		良い		



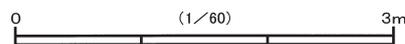
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色+黒褐色				
2	黒褐色	暗褐色土			
3	暗褐色+黄褐色				
4	黄褐色	暗褐色土			
5	黒褐色	暗褐色土・黄褐色土			

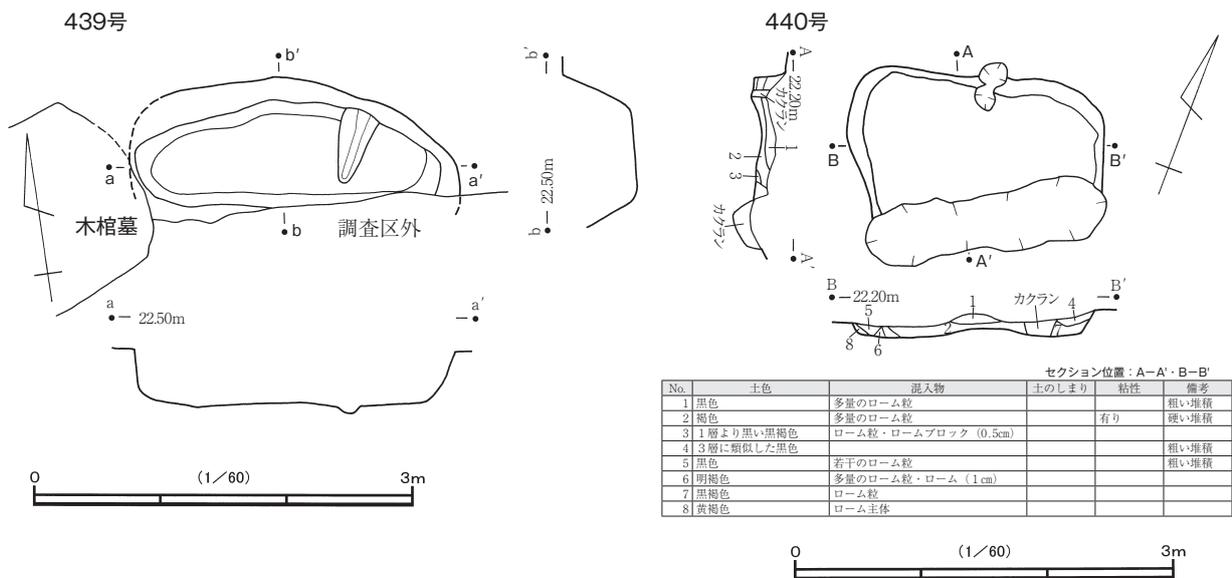


セクション位置：A-A'・B-B'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒色	若干のローム粒			
2	黒褐色	多量のローム粒	やや硬い		
3	明褐色	ローム粒主体・多量のロームブロック (0.5cm)	硬い		
4	黄褐色	多量のローム (斑状)			



第581図 434・435・436・437・438号遺構実測図



第582図 439・440号遺構実測図

【規模ほか】 長軸2.62m・短軸1.02m・深さ63cm。形状は長楕円形。南側の一部は調査区外（第582図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

440号遺構

【検出位置】 セ54区M22-I

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.05m・短軸1.12m・深さ28cm。形状は隅丸長方形？（第582図）。

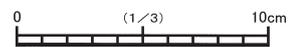
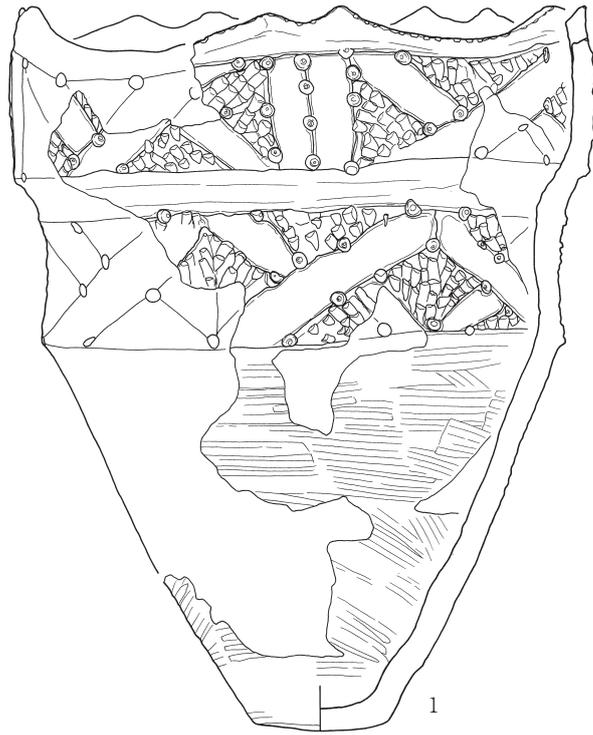
【覆土】 褐色土・黒色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックなどを含む。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

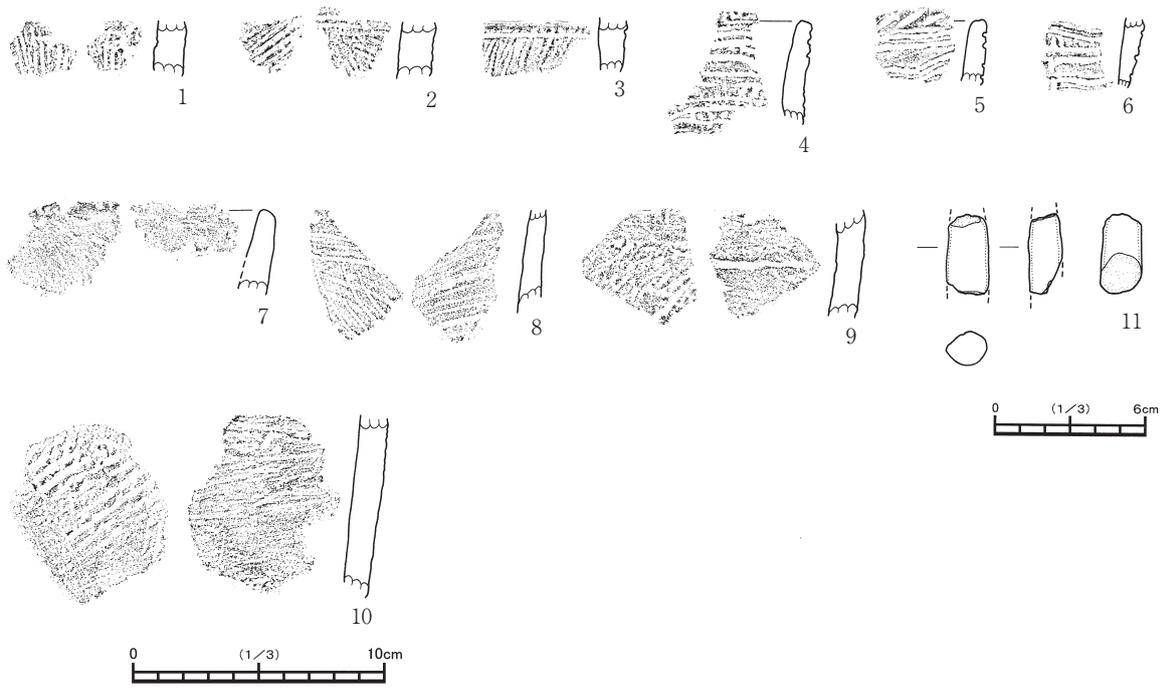
SW80区・古墳下層の遺構

SW80区とは099区調査区内に所在する特定古墳を調査するために設けられた調査区で、調査の際に区域内や古墳墳丘下から縄文関係の遺構が検出されている。内容は縄文前期の住居跡、早期末の炉穴群で、遺物はこれらに伴って、また墳丘盛土内・周溝覆土内などから出土している。本調査区の遺構および遺物類については、資料の不備からここに詳細な内容を示すことができない。第583図1は、発掘調査後すぐに刊行された概報にも掲載されているもので、唯一提示できる資料である。37号墳（調査時No.）の下層から出土したとされるものである。推定口径220mm・器高287mm・底径52mmを測る深鉢形土器で、底面はやや丸底となるため安定した設置ができない。口縁部は二個一組からなる4単位の波状口縁を呈し、口唇部には刻みが施される。口縁部下、胴部中位に段があり、下段はややくびれる。段によって区画された二段構成の文様帯があり、三角形・菱形の微隆帯による文様区画内には押し引き刺突文が充填される。三角形・菱形区画の交点など要所には円形刺突文が施される。また、上段には、文様単位の間、ナデによる二本の太い縦方向の凹線があり、凹線間の境には円形の刺突文が付される。内外面、および底内外面には条痕が施される。胎土には繊維を含み、色調は褐色を呈する。

その他詳細不明の遺構



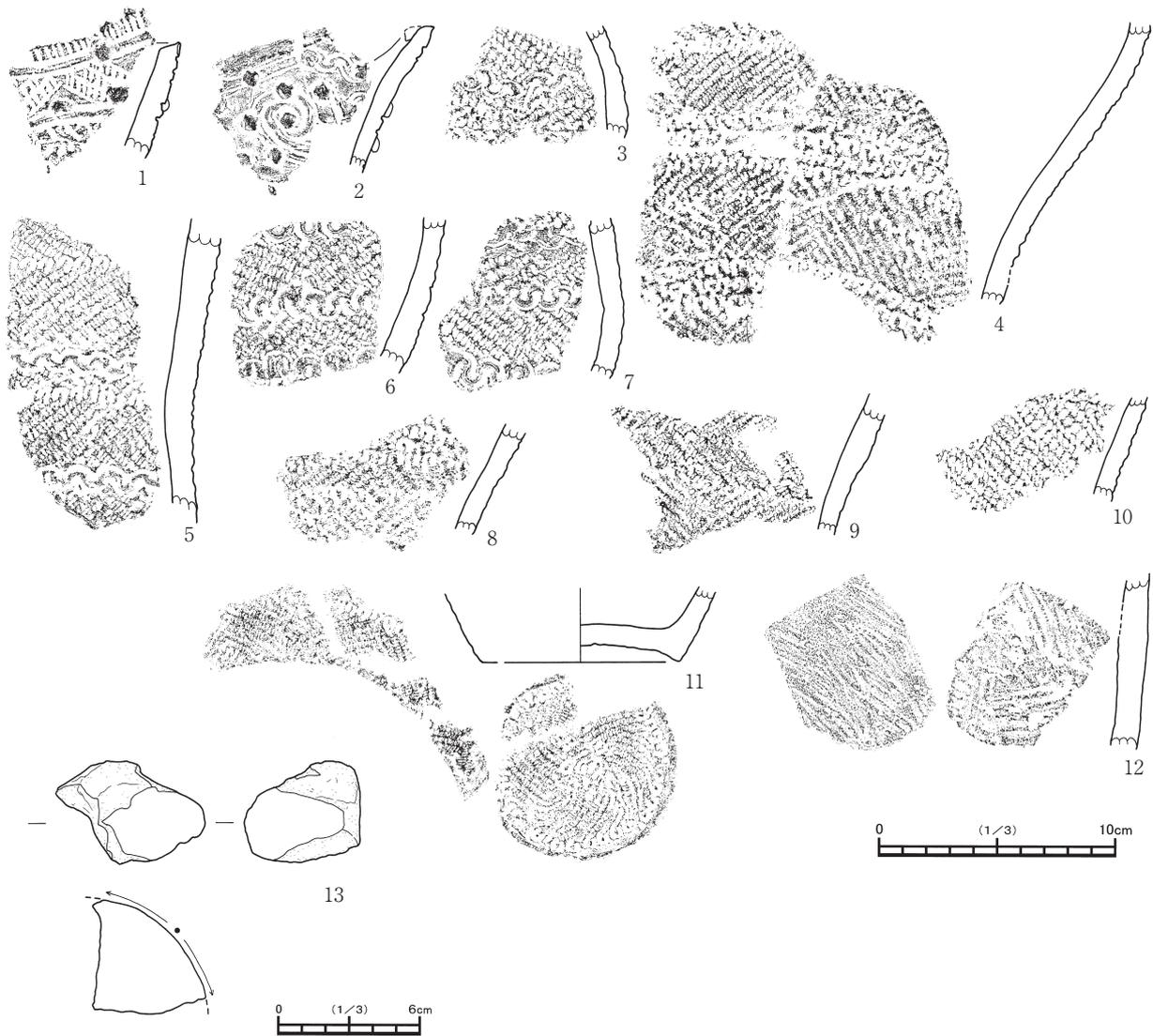
第583图 SW80・古墳下層炉跡出土土器実測図



第584図 064区・検出位置詳細不明遺構出土遺物実測図



第585図 T J区・検出位置詳細不明遺構出土遺物実測図



第586図 099区・検出位置詳細不明遺構出土遺物実測図

各調査区内では、発掘調査時に遺構として認識されていたものの図面等の記録が不十分で、検出位置の詳細が不明な遺構がある。ここでは、それらから出土した遺物のみを掲載する。

064区

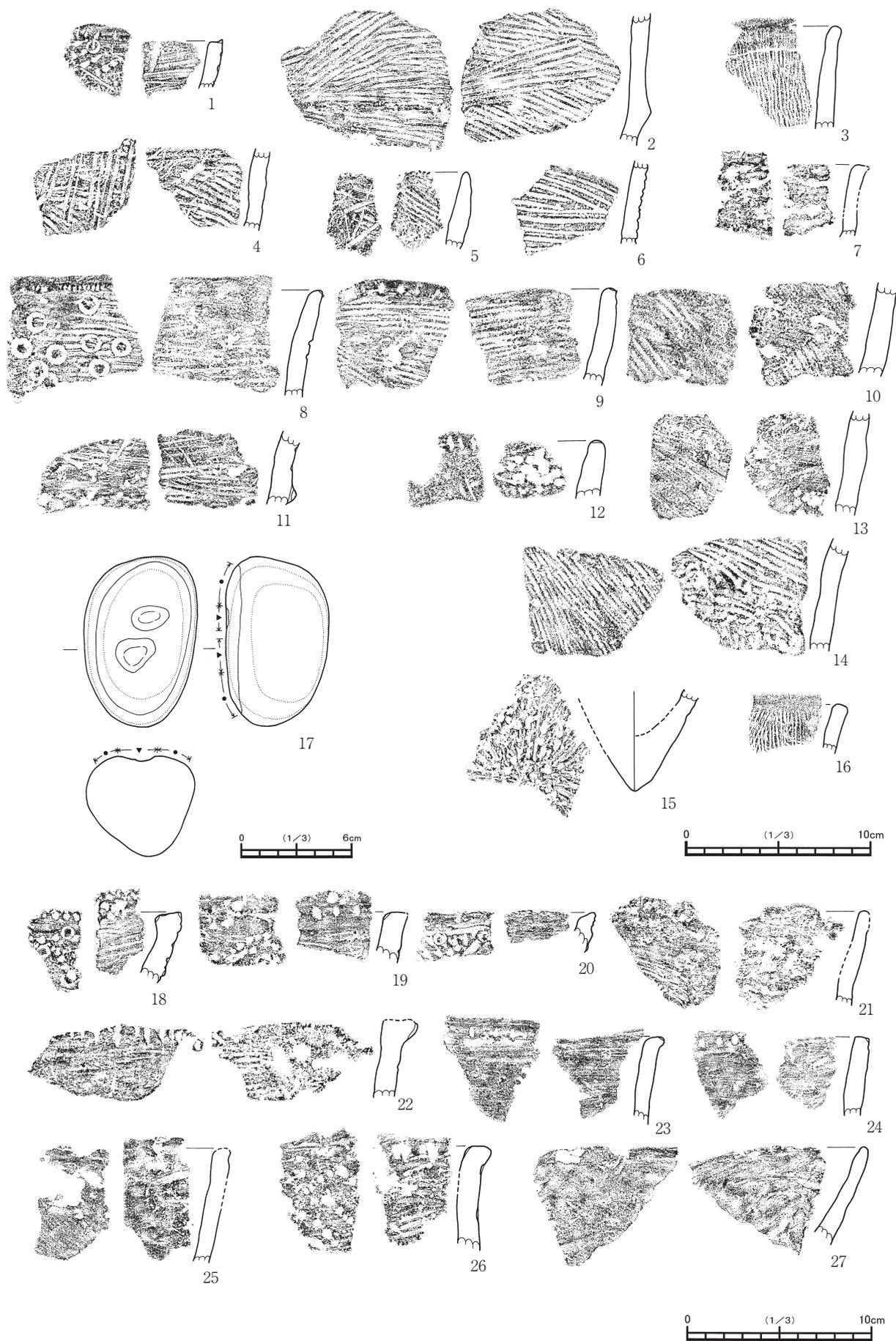
第584図1・2は条痕文系深鉢形土器の胴部、3は撚糸文系深鉢形土器の胴部、4～6は諸磯式とみられる深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。7は条痕文系深鉢形土器の口縁部、8～10は胴部の破片である。11は円柱状の土製品である。

TJ区

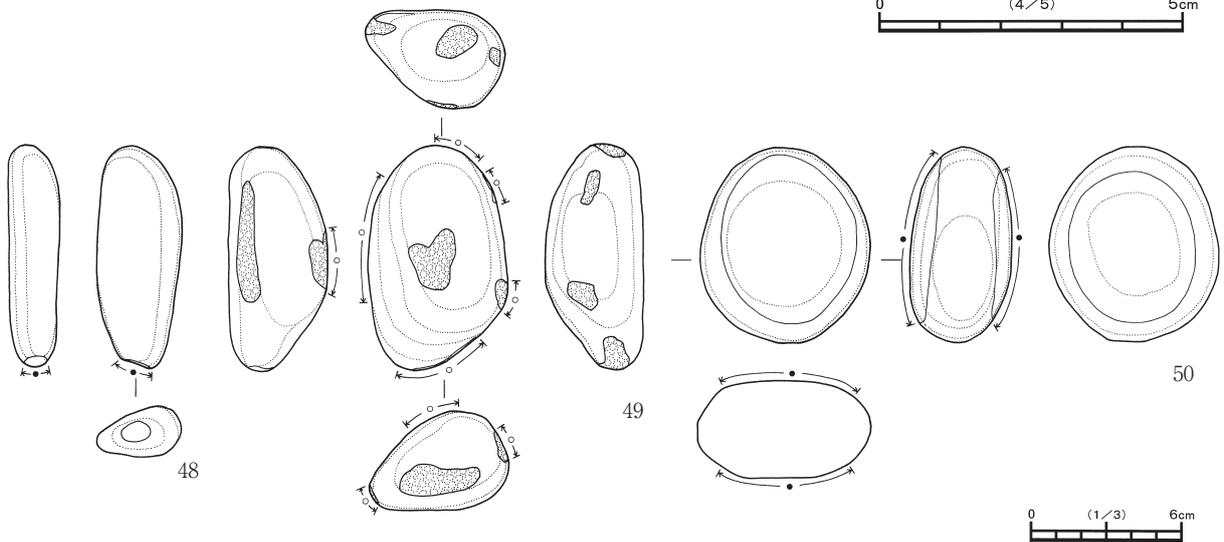
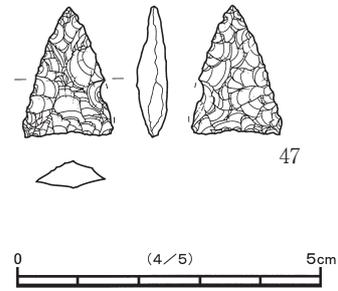
第585図1は現存器高78mm・胴部最大径328mmを測る条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。沈線区画内を斜位の押し引き沈線で充填、要所に円形文を付す。2～6も胴部の破片である。

099区

第586図1・2は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、3～10は胴部、11は底部の破片である。文様には、円形貼付文・コンパス文・ループ文などがみられる。11は底径82mmを測り、上げ底で底面にも縄文が施される。12は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。13は、デイサイト製磨石の破片で



第587図 七28区・検出位置詳細不明遺構出土遺物実測図(1)



第588図 七28区・検出位置詳細不明遺構出土遺物実測図(2)

ある。

セ28区

第587図1は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2は胴部の破片である。3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部の破片である。4は条痕文系深鉢形土器の胴部の破片である。5は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。6は浮島式とみられる胴部破片である。7は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。8・9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、10・11は胴部の破片である。12は条痕文系深鉢形土器の口縁部、13・14は胴部、15は尖底の底部破片である。16は撚糸文系深鉢形土器の口縁部の破片である。18～27は条痕文系深鉢形土器の口縁部、28～38は胴部、39～41は底部の破片である。42は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、43～45は胴部の破片である。46は堀之内2式の深鉢形土器把手部の破片である。

第587図17は、最大長92mmを測る輝石安山岩製凹石である。片面に使用による摩耗痕がみられる。第588図47は、最大長21.7mmを測るチャート製石鏃である。48は、最大長88mmを測る砂岩性の敲石である。下端面に敲打痕がみられる。49は、最大長89mmを測る珪質頁岩製の敲石である。片面中央部、上下端部、両側縁部に敲打痕がみられる。50は、最大長78mmを測る流紋岩質凝灰岩製の磨石である。表裏面に摩耗痕がみられる。

表11 つつき

掘削No	報告No	調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	風かぶりNo	層位	初出層	器種	石材	残存状態	最大長 (m)	最大幅 (m)	最大厚 (m)	重量 (g)	所見	資料番号	備考
359	13	セ28	遺構	炬穴	②	218	325				石鏝	貝岩	完形	18.1	13.6	2.7	0.6		H19	245
359	14	セ28	遺構	炬穴	②	218	325		一拵		02機状石器	埴質頁岩	完形	36.4	28.5	10.7	11.4	側面に自然面を破す副片を素材とし、上下下に副縁が観察できる。下部が薄く、下端部は鋭い縁辺を呈する。	H21	135
359	15	セ28	遺構	炬穴	②	218	325				磨石	砂岩	半欠	60	53	(26)	148.0		H19	246
368	55	セ28	遺構	炬穴	③	221	422				068石鏝	黒曜石	完形	21.4	19.6	4.4	1.3			
368	56	セ28	遺構	炬穴	③	221	422				076砥石	黒曜石	破片	(99)	(78)	60	470.1			
368	57	セ28	遺構	炬穴	③	221	422				黒曜石ホルンフェルス	砂岩	半欠	(100)	(73)	(56)	511.8			
368	58	セ28	遺構	炬穴	③	221	422				01磨石	砂岩	一部欠	102	(58)	48	256.1			
370	21	セ28	遺構	炬穴	③	222	380				R F	黒曜石	完形	18.1	14.7	5.4	1.2		H19	253
371	11	セ28	遺構	炬穴	③	222	380				機状石器?	黒曜石	完形	27.9	17.9	8.8	3.7			
371	12	セ28	遺構	炬穴	③	223	381				01磨石	黒曜石	破片	(78)	98	53	643.7			
371	11	セ28	遺構	炬穴	③	223	381				01磨石	黒曜石	破片	(36)	(41)	(57)	43.0			
380	13	セ28	遺構	炬穴	④	228	368				02磨石	砂岩	完形	51	—	—	9.3			
380	13	セ28	遺構	炬穴	④	228	368				02磨石	砂岩	完形	75	62	41	281.5			
380	14	セ28	遺構	炬穴	④	229	367				01磨石	砂岩	一部欠	73	(45)	25	120.8			
385	36	セ28	遺構	炬穴	④	233	365				石鏝	黒曜石	完形	24.4	18.9	6.0	1.9		H19	252
385	36	セ28	遺構	炬穴	④	233	365				機状石器?	黒曜石	完形	27.9	12.9	8.8	3.7			
386	103	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				01石鏝	黒曜石	完形	21.0	16.2	4.7	1.2	平基無蓋石鏝。表裏とも人念な調整が見られる。	H20	5
386	104	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				01石鏝	チャート	完形	17.1	14.2	3.5	0.6	平基無蓋石鏝。裏面に素材の剥離面を残す。	H20	4
386	105	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				01石鏝	黒曜石	一部欠	(13.5)	13.8	4.7	0.8	やや非対称の凹基無蓋石鏝。先端部を欠く。	H20	3
386	106	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				U F	黒曜石	完形	25.7	14.8	5.8	1.8		H19	105
386	107	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				磨石・砥石	砂岩	半欠	(115)	106	(45)	636.3			
386	108	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				01磨石・砥石	黒曜石	破片	(75)	(51)	(43)	227.6			
386	109	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				01磨石・砥石	黒曜石	破片	81	58	39	261.4			
386	110	セ28	遺構	炬穴	④	237	395				01磨石	黒曜石	破片	(91)	(73)	(42)	349.0			
387	19	セ28	遺構	炬穴	④	238	394				005右片尖頭器	貝岩	一部欠	(41.9)	14.1	4.6	2.7	草節期	H18	5
387	19	セ28	遺構	炬穴	④	238	394				砥石	黒曜石	完形	37.0	—	18.0	15.6			
387	19	セ28	遺構	炬穴	④	239	394		サンブル		石核	玉髓	一部欠	34	33	16	30.9			
387	19	セ28	遺構	炬穴	④	243	354				石核	無蓋皿質安山岩	完形	42	—	—	17.8			
407	28	セ28	遺構	炬穴	④	244	352				01機状石器	黒曜石	完形	52.7	28.9	15.5	26.9	自然面を有する厚手の副片上下に小副縁が観察できる。下部は斜行する筋理と反体筋の調整によって鋭い縁辺を呈する。炬穴等出土。	H21	136
		セ28	遺構	炬穴	④	245	351				石核	無蓋皿ガラス質安山岩	完形	49	—	—	10.8			
		セ28	遺構	炬穴	④	245	351				石核	無蓋皿質安山岩	完形	55	—	—	25.0			
409	19	セ28	遺構	炬穴	④	246	373				石核	チャート	完形	58.6	62.1	35.5	176.0	やや小ぶりのこぶし状山縁の一端に表裏側面に少々の副縁と微かな打撃による溝状部が観察できる。上部を刃部とした機弁と見られる。	H21	196
409	20	セ28	遺構	炬穴	④	246	373				砥石	無蓋皿質安山岩	完形	67	49	27	129.0			
		セ28	遺構	炬穴	④	246	373				石核	玉髓	完形	44	—	—	19.7			
		セ28	遺構	炬穴	④	246	373				石核	無蓋皿質安山岩	完形	51	—	—	29.4			
		セ28	遺構	炬穴	④	246	373				02磨石	黒曜石	完形	30	—	—	3.4			
412	19	セ28	遺構	炬穴	④	250	355				01石鏝	チャート	完形	22.8	17.3	4.7	1.4		H19	251
415	8	セ28	遺構	炬穴	④	250	355				01石鏝	無蓋皿密質安山岩	完形	31.5	21.6	8.5	5.6		H19	271
417	13	セ28	遺構	炬穴	⑤	261	377				01磨石	黒曜石	破片	(80)	(78)	(54)	404.6			
417	14	セ28	遺構	炬穴	⑤	261	377				01磨石・砥石	黒曜石	完形	100	67	57	495.2			
419	15	セ28	遺構	炬穴	⑤	262	389		サンブル		01磨石・砥石	黒曜石	完形	130	75	58	841.2			
421	29	セ28	遺構	炬穴	⑤	263	388				02砥石	黒曜石	完形	104	75	34	418.2			
421	30	セ28	遺構	炬穴	⑤	263	388				石鏝	黒曜石	完形	19.9	13.2	3.4	0.6			
421	30	セ28	遺構	炬穴	⑤	263	388				機状石器	チャート	完形	24.2	28.1	6.2	5.8	副片の一方の副縁を折り取り、反対側に連続調整が見られる。上部を打面とする使用痕の観察ができるが、典型的でない。炬穴等出土。	H21	138
422	18	セ28	遺構	炬穴	⑤	264	386				01 R F	黒曜石	完形	33.0	30.8	10.6	6.1	使用痕 旧石器	H19	243
422	19	セ28	遺構	炬穴	⑤	264	386				02磨石	流紋岩質硬岩(古期)	半欠	100	(65)	44	377.4			
423	21	セ28	遺構	炬穴	⑤	265	387				003砥石	黒曜石	一部欠	(101)	(75)	45	476.7			
423	22	セ28	遺構	炬穴	⑤	265	387				02砥石	砂岩	半欠	(95)	(50)	(39)	252.6			
423	23	セ28	遺構	炬穴	⑤	265	387				002砥石	黒曜石	完形	25.5	15.4	4.3	1.2		H19	254
423	24	セ28	遺構	炬穴	⑤	265	387				002砥石	砂岩	一部欠	(59)	(49)	39	205.6			
423	24	セ28	遺構	炬穴	⑤	265	387				石核	チャート	完形	44	—	—	12.5			

表11 つつき

挿入No	報告No	調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	風カノ小	層位	初出	器種	石材	残存状態	最大長 (m)	最大幅 (m)	最大厚 (m)	重量 (g)	所見	資料番号	備考
424	11	セ28	遺構	炬穴	⑤	266	390			01 サンブル	機形石器	珪質頁岩	完形	30.0	16.7	7.2	3.5	自然面を有する副片に上下からの剥離が観察できる。縦断面が概ね直し、下部縁辺には使用痕と思われる小剥離がある。炬穴等出土	H21	137
428	3	セ28	遺構	炬穴	⑥	275	329				磨石	流紋岩質凝灰岩(古期)砂岩	半欠	(96)	(81)	(56)	389.6			
428	4	セ28	遺構	炬穴	⑥	275	329			01 破石	01 破石		半欠	(47)	(60)	(42)	171.5			
430	15	セ28	遺構	炬穴	⑥	277	349			01 燗石核	01 燗石核	チャート	完形	61.8	33.9	22.3	53.9	細長の自然石を縦にうち割り、上下からの剥離によって器厚を調整し、下部に鋭い刃部を作っている。上部には敲打によると思われる潰れがある。炬穴等出土	H21	131
430	16	セ28	遺構	炬穴	⑥	277	349				01 破石	流紋岩質凝灰岩(新期)砂岩	一部欠	(56)	(65)	(44)	242.2			
430	17	セ28	遺構	炬穴	⑥	277	349				01 破石	砂岩	一部欠	(87)	49	34	211.8			
430	18	セ28	遺構	炬穴	⑥	277	349				01 破石	砂岩	破片	(51)	(55)	(28)	118.7			
433	42	セ28	遺構	炬穴	⑥	279	348				01 石核	珪質頁岩	完形	7.3	47	39	104.8			
436	4	セ28	遺構	落ち込み	⑥	283	330				UF	珪質頁岩	完形	22.9	14.5	6.8	1.8			
436	4	セ28	遺構	落ち込み	⑥	283	330				機形石器?	黒燐石	完形	29.8	14.9	11.1	4.3			
438	16	セ28	遺構	炬穴	⑥	285	321				磨石	スコリア質安山岩	破片	(36)	(59)	(35)	63.2			
438	17	セ28	遺構	炬穴	⑥	285	321				磨石	スコリア質安山岩	完形	92	67	34	202.3			
444	19	セ28	遺構	炬穴	⑦	283	313				ノミ状石器	無基質安山岩	完形	67	34	18	52.4			
444	20	セ28	遺構	炬穴	⑦	283	313				01 磨石	砂岩	完形	107	48	28	193.1			
444	21	セ28	遺構	炬穴	⑦	283	313				01 磨石	砂岩	破片	(60)	(49)	(60)	234.2			
447	28	セ28	遺構	炬穴	⑦	286	316				01 磨石製品	黒燐石	完形	43	32	18	5.2			
449	29	セ28	遺構	炬穴	⑦	286	316				002 石鏃	黒燐石	完形	21.4	17.5	4.8	2.2			
449	30	セ28	遺構	炬穴	⑦	286	315				01 破石	砂岩	一部欠	(90)	57	38	261.4			
453	40	セ28	遺構	炬穴	⑧	298	392			01 打製石斧	01 打製石斧	黒燐石ホルンフェルス	完形	64.9	47.3	15.8	65.6	非常に短い。自然面を有する副片の全副片を整形している。風化が顕著である。炬穴等出土	H21	133
453	41	セ28	遺構	炬穴	⑧	298	392		サンブル		磨製石斧	閃緑火成岩	一部欠	(53)	40	11	27.4			
455	28	セ28	遺構	炬穴	⑧	299	242				02 磨石製品	黒燐石(斜長石・輝石)	破片	77	50	44	29.3			
455	29	セ28	遺構	炬穴	⑧	299	242				003 石皿	スコリア質安山岩	破片	(51)	(51)	(30)	40.3			
457	32	セ28	遺構	炬穴	⑧	300	396		一括	01 機形石器	01 機形石器	砂質頁岩	完形	49.4	37.2	16.7	29.5	元々は打製石斧の破損品と見られるが、上部の折れ面には後の剥離が観察出来、何かを打ち割るときのパンチのような使用が想定できる。炬穴等出土	H21	132
457	33	セ28	遺構	炬穴	⑧	300	396				003 石皿	黒燐石製品	完形	57	35	21	3.8			
458	9	セ28	遺構	炬穴	⑧	301	360				003 石皿	輝石(斜長石・輝石)	破片	(64)	(97)	(52)	315.2			
460	1	セ28	遺構	炬穴	⑨	304	257				01 石皿	黒燐石(斜長石・輝石)	破片	28	—	—	1.1			
467	77	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				石皿	スコリア質安山岩	破片	(65)	(45)	(38)	90.4	サンブル		
467	78	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				石皿	チャート	完形	48.1	12.1	6.6	3.6			
467	78	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				機形石器	黒燐石	完形	45.2	28.6	9.0	13.7			
467	79	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261		一括	01 サンブル	01 打製石斧	輝石安山岩	完形	97.7	59.6	26.1	203.8	自然面を打ちたい厚手の副片を素材として削られている。表面右側に使用時の痕跡と思われる潰れ、下部には磨痕が観察できる。炬穴等出土	H21	134
467	80	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				01 機形石器	頁岩	完形	75	35	22	81.0			
467	81	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				006 破石	スコリア質安山岩	破片	(70)	(60)	(13)	33.7			
467	82	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				石皿	テオサイト(三葉)	破片	(75)	(59)	(45)	386.4	中央部に敲打痕をのこす。		
467	83	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				01 磨石・破石	輝石安山岩(四葉)	半欠	(109)	(64)	(65)	569.5	サンブル		
467	84	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				01 磨石・破石	砂岩	完形	98	70	46	485.2			
467	85	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				01 磨石・破石	輝石安山岩(三葉)	完形	85	28	25	84.2			
468	86	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				破石	砂岩	一部欠	(70)	(57)	(43)	240.8			
468	87	セ28	遺構	炬穴	⑨	306	261				01 磨石	輝石安山岩(四葉)	完形	86	73	33	310.0			
471	32	セ28	遺構	炬穴	⑨	307	363				01 磨石	輝石(斜長石・輝石)	—	31	—	—	1.4			
471	33	セ28	遺構	炬穴	⑨	308	258				01 磨石・破石	輝石(斜長石・輝石)	完形	88	70	30	273.5			
471	33	セ28	遺構	炬穴	⑨	308	258				01 磨石	砂岩	破片	(61)	(78)	(48)	281	サンブル		
475	34	セ28	遺構	炬穴	⑨	310	260				01 磨石	輝石(斜長石・輝石)	完形	32	—	—	3.3			
475	34	セ28	遺構	炬穴	⑨	310	260				01 磨石	輝石(斜長石・輝石)	完形	57	48	34	23.9	サンブル		
475	35	セ28	遺構	炬穴	⑨	310	260				01 磨石	砂岩	完形	64	44	215.3	44			
475	36	セ28	遺構	炬穴	⑨	310	260				01 磨石	輝石安山岩(四葉)	破片	(109)	(93)	(58)	469.8	サンブル		
475	37	セ28	遺構	炬穴	⑨	310	260				01 磨石	輝石(三葉)	破片	(69)	(62)	(37)	199.8			
475	37	セ28	遺構	炬穴	⑨	310	260				01 磨石	砂岩	完形	82	38	34	254.4			
479	29	セ28	遺構	炬穴	⑨	312	251				006 破石	輝石安山岩(四葉)	破片	(141)	(91)	(60)	688.4	表面の一部に敲打痕あり。		
479	30	セ28	遺構	炬穴	⑨	312	251				01 磨石	砂岩	完形	81	64	42	228.2			
479	31	セ28	遺構	炬穴	⑨	312	251				01 磨石	輝石安山岩(四葉)	破片	(44)	(49)	(45)	38.9			
479	32	セ28	遺構	炬穴	⑨	312	251				01 磨石	輝石安山岩(四葉)	破片	(46)	(56)	(34)	130.9			
481	7	セ28	遺構	落ち込み	⑩	318	414		一括		03 石鏃	チャート	完形	18.2	14.9	4.5	1.0			
481	7	セ28	遺構	落ち込み	⑩	318	414				01 石核	赤玉	—	48	—	—	46.6			

表11 つつき

掘削No	報告No	調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	堀り小池	層位	初出地	器種	石材	残存状態	最大長 (m)	最大幅 (m)	最大厚 (m)	重量 (g)	所見	資料番号	備考
489	5	7-28	遺構	連構	① 早期	322	435			01 磨石	砂岩	半欠	(85)	(56)	(36)	255.2				
490	10	7-28	遺構	炬穴	① 早期	324	431			01 磨石・砥石	黒石安山岩	完形	79	53	24	143.9				
491	13	7-28	遺構	炬穴	② 早期	328	302			01 磨石・砥石	黒石安山岩 (三配)	完形	60	40	34	80.5		H19	103 黒曜石産地分析No182	
497	4	7-28	遺構	炬穴	② 早期	330	303			01 石鏡	黒曜石	一部欠	(16.5)	(14.2)	5.6	1.3	特選片断欠損	H21	128	
499	21	7-28	遺構	炬穴	② 早期	331	309		01 サンブル	01 画像石核	チャート	完形	(44.0)	37.8	17.2	40.8	扁平な自然産の上下に剥離を集中して観察できる。下部には潰れを作った剥離が集中している。炬穴等出土	H21	130	
500	15	7-28	遺構	炬穴	② 早期	332	310-A				チャート	完形	26.5	26.4	8.1	5.1	調整および使用によると思われる小剥離が観察できる。炬穴等出土	H21		
500	16	7-28	遺構	炬穴	② 早期	332	310				軽石製品	完形	66	31	27	10.5	他1個体			
505	54	7-28	遺構	炬穴	② 早期	333	283			01 磨石	軽石(斜長石・輝石)	完形	63	55	46	235.3		H19	101 黒曜石産地分析No181	
508	39	7-28	遺構	炬穴	② 早期	334	284			01 石鏡	黒曜石	完形	11.5	9.3	2.8	0.4		H19		
509	11	7-28	遺構	炬穴	② 早期	335	285			01 石鏡	チャート	完形	19.4	17.2	6.2	1.8		H19	102	
509	12	7-28	遺構	炬穴	② 早期	335	285			01 磨石	砂岩	完形	69	37	15	54.1				
510	11	7-28	遺構	炬穴	② 早期	336	297			01 石核	チャート	完形	46	—	—	24.7				
513	20	7-28	遺構	炬穴	② 早期	337	211			01 石鏡	チャート	完形	20.5	16.1	7.5	2.2		H18	95	
513	21	7-28	遺構	炬穴	② 早期	337	211			01 石鏡	黒曜石	一部欠	(12.7)	9.6	2.2	0.3		H18	252 黒曜石産地分析No178	
514	18	7-28	遺構	炬穴	② 早期	338	212			01 R.F	黒石安山岩 (四配)	破片	(77)	(94)	(53)	463.6				
514	19	7-28	遺構	炬穴	② 早期	338	212			01 石鏡	チャート	完形	24.6	14.0	5.6	3.0		H19	157	
516	29	7-28	遺構	炬穴	② 早期	339	256			01 打製石斧	黒石安山岩 (四配)	破片	(50)	(53)	(37)	114.5				
516	30	7-28	遺構	炬穴	② 早期	339	256			01 砥石	珪質頁岩	完形	85.8	38.5	15.3	69.6	断面剥離有り。画面赤化	H19	96	
516	30	7-28	遺構	炬穴	② 早期	339	256			01 砥石	凝灰質砂岩	完形	121	57	30	489.7	サンブル			
516	31	7-28	遺構	炬穴	② 早期	339	256			001 尖頭器	頁岩	完形	76.0	38.6	11.1	37.0	基部何側縁に決りを入れる。旧石器から	H18	2	
520	17	7-28	遺構	炬穴	② 早期	344	305			00 磨石	チャート	半欠	(73)	(79)	(38)	318.7				
520	18	7-28	遺構	炬穴	② 早期	344	305			01 機状石器	頁岩	完形	45.9	35.3	7.0	12.6	薄手の剥片の両側面を調整によってやや平行に整形し、背面右上に斜めの刃部を作出。下部も調整によって鋭利にしている。炬穴等出土	H21	129	
523	3	7-28	遺構	炬穴	② 早期	344	305			01 原石	瑪瑙	完形	62	38	23	81.3				
523	4	7-28	遺構	炬穴	② 早期	347	219			003 磨石	花崗閃緑岩	一部欠	(91)	89	33	408.0	他破片散点			
525	19	7-28	遺構	炬穴	② 早期	349	215			01 スクレパー	砂岩	完形	76	45	32	157.6				
525	19	7-28	遺構	炬穴	② 早期	349	215			01 スクレパー	無珪質安山岩	完形	53	67	12	37.5				
527	6	7-28	遺構	炬穴	② 早期	351	281			02 石核	珪質頁岩	完形	38	—	—	13.7				
530	37	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	353	282			002 磨石	石英岩	半欠	91	(66)	(31)	275.3				
537	67	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	354	200			01 石鏡	花崗閃緑岩	破片	(67)	(33)	(38)	114.3				
537	68	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	357	238		サンブル	01 石鏡	黒曜石	片断欠損	18.2	(15.0)	5.2	1.1		H19	89 黒曜石産地分析No179	
537	69	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	357	238			01 打製石斧	黒石安山岩 (三配)	一部欠	(84)	59	49	233.6	サンブル			
537	70	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	357	238			01 磨石	チャート	半欠	(93)	(73)	(49)	314.0	サンブル			
541	26	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	357	238			003 磨石	砂岩	完形	94	(56)	57	335.0	サンブル			
543	21	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	359	240			003 磨石	チャート	完形	89	79	60	538.6				
544	81	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	360	236			01 石鏡	チャート	完形	26.0	20.5	6.7	3.6		H19	88	
554	82	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	364	198			石鏡	凝灰質安山岩	完形	19.1	14.0	4.2	1.1	片断欠	H19	49	
554	84	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	364	198			01 磨石	黒石安山岩 (三配)	破片	(153)	(138)	(45)	1429.8	不明			
554	84	7-28	遺構	炬穴	③ 早期	364	198			01 磨石	黒石安山岩 (四配)	半欠	(62)	51	38	140.0				
558	6	7-28	遺構	炬穴	④ 早期	369	262			磨石	流紋岩質凝灰岩 (古期)	完形	67	61	49	284.2	不明			
558	7	7-28	遺構	炬穴	④ 早期	369	262			磨石	チャート	完形	87	52	39	250.7				
559	13	7-28	遺構	炬穴	④ 早期	370	263			2 磨石	チャート	一部欠	85	(78)	32	330.0				
560	1	7-28	遺構	炬穴	④ 早期	371	267			01 磨石	黒曜石	完形	22.1	18.9	6.9	2.6		H19	99 黒曜石産地分析No180	
567	15	7-54	遺構	炬穴	不明	386	121			02 磨石・砥石	ホルンフェルス	完形	62.2	37.1	16.0	42.2		H19	100	
567	14	7-54	遺構	炬穴	不明	386	121			02 磨石	チャート	半欠	(92)	(74)	(51)	390.9				
586	13	099	遺構	燧石住居?	不明	?	1165		燧土サンブル	燧質砂岩	完形	(62)	(45)	(41)	248.0					
587	17	7-28	遺構	炬穴?	不明	?	299		01 石	チャート	完形	(44)	(62)	(48)	101.7					
588	47	7-28	遺構	落ち込み	不明	?	221		燧土	黒石安山岩 (三配)	完形	92	60	55	465.1	落ち込み				
588	48	7-28	遺構	炬穴?	不明	?	221		燧土	チャート	一部欠	21.7	(14.6)	4.6	1.1	の破損か? 平基無珪質石鏡。右側縁一部欠損。調整中	H20	8		
588	49	7-28	遺構	炬穴?	不明	?	221		燧土	砂岩	完形	88	33	20	89.6	落ち込み				
588	50	7-28	遺構	炬穴?	不明	?	221		燧土	珪質頁岩	完形	89	39	269.7	落ち込み					
588	50	7-28	遺構	炬穴?	不明	?	221		燧土	流紋岩凝灰岩	完形	78	67	40	296.7	落ち込み				
588	50	7-28	遺構	炬穴?	不明	?	221		燧土	チャート	完形	24	—	—	7.3					

表11-2 遺構出土石器属性表 (その他の遺構) 剥片類

調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No.	遺構旧No.	地区・グリッドNo.	層位	取り上げNo.	器種	石材	残存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考
064	遺構	和穴	不明	73	201			SK8001	剥片	チャート	—	25	—	—	5.1	
064	遺構	不明	不明		44		覆土		剥片	黒曜石	—	45	—	—	4.4	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			22	剥片	黒曜石	—	36	—	—	5.8	他1個体
069	遺構	和穴	早期	123	3137			37	剥片	黒曜石	—	22	—	—	2.8	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			44	剥片	黒曜石	—	24	—	—	3.0	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			57	剥片	黒曜石	—	24	—	—	4.2	他1個体
069	遺構	和穴	早期	123	3137			92	剥片	黒曜石	—	22	—	—	3.3	他1個体
069	遺構	和穴	早期	123	3137			100	剥片	玉髓	—	22	—	—	1.8	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			47	剥片	黒曜石	—	15	—	—	0.3	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			47	剥片	瑠璃質頁岩	—	15	—	—	0.3	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			3	剥片	無珠品ガラス質安山岩	—	10	—	—	0.2	他12個体
069	遺構	和穴	早期	123	3137			21	剥片	無珠品ガラス質安山岩	—	13	—	—	0.2	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			59	剥片	頁岩	—	6	—	—	0.1	
069	遺構	和穴	早期	123	3137			44	剥片	頁岩	—	9	—	—	0.1	
069	遺構	和穴	早期	123	3137		一括		剥片	黒曜石	—	16	—	—	12.3	他7個体
069	遺構	不明	不明	128~126	3181~3183			13	剥片	黒曜石	—	29	—	—	5.2	他8個体
069	遺構	集石遺構	早期	144	3316-A			41	剥片	緑色片岩	—	29	—	—	1.8	
069	遺構	集石遺構	不明	144	3316-A			1	剥片	砂岩	—	31	—	—	10.9	12.7割穴?
069	遺構	不明	不明		110				剥片	粘板岩	—	40	—	—	3.5	
069	遺構	不明	不明		046			002	剥片	頁岩	—	37	—	—	3.5	
069	遺構	不明	不明		051			001	剥片	チャート	—	30	—	—	7.8	
069	遺構	不明	不明		059			002	剥片	チャート	—	37	—	—	7.8	
069	遺構	不明	不明		070			001	剥片	黒曜石	—	38	—	—	49.2	他1個体
069	遺構	和穴	早期	173	070			054	剥片	黒曜石	—	21	—	—	1.2	
069	遺構	和穴	早期	173	039		一括	054	剥片	黒曜石	—	19	—	—	2.1	他1個体
069	遺構	和穴	早期	173	039		一括	001	剥片	無珠品ガラス質安山岩	—	23	—	—	3.2	他1個体
069	遺構	和穴	早期	176	074			001	剥片	無珠品ガラス質安山岩	—	37	—	—	2.6	
069	遺構	和穴	早期	177	064				剥片	無珠品質安山岩	—	40	—	—	11.8	
069	遺構	和穴	早期	177	064				剥片	チャート	—	18	—	—	2.0	
069	遺構	和穴	早期	177	064		一括		剥片	無珠品ガラス質安山岩	—	29	—	—	1.6	
069	遺構	和穴	早期	177	064				剥片	黒曜石	—	24	—	—	7.2	
069	遺構	和穴	早期	178	078			003	剥片	頁岩	—	25	—	—	2.4	
069	遺構	和穴	早期	181	065			001	剥片	黒曜石	—	25	—	—	6.8	他6個体
069	遺構	和穴	早期	181	065			046	剥片	黒曜石	—	38	—	—	15.2	他1個体
069	遺構	和穴	早期	181	065				剥片	黒曜石	—	32	—	—	9.1	他3個体
069	遺構	和穴	早期	181	065				剥片	チャート	—	21	—	—	1.4	
069	遺構	和穴	早期	181	065			01	剥片	黒曜石	—	27	—	—	3.5	
069	遺構	和穴	早期	181	065			0431	剥片	黒曜石	—	19	—	—	3.9	
069	遺構	和穴	早期	181	065			42	剥片	黒曜石	—	28	—	—	3.0	
069	遺構	和穴	早期	181	065			001	剥片	黒曜石	—	18	—	—	0.9	
069	遺構	和穴	早期	184	067			014	剥片	頁岩	—	26	—	—	3.8	
069	遺構	和穴	早期	184	067			001	剥片	黒曜石	—	19	—	—	1.8	
069	遺構	不明	不明	193	28				剥片	黒曜石	—	31	—	—	6.0	
069	遺構	不明	不明	200	034			6	剥片	黒曜石	—	28	—	—	3.6	
069	遺構	不明	不明	210	039				剥片	黒曜石	—	18	—	—	0.9	
069	遺構	不明	不明	217	324				剥片	瑠璃質頁岩	—	5	—	—	6.3	
069	遺構	不明	不明	220	420		一括	01	剥片	瑠璃質頁岩	—	35	—	—	3.1	
069	遺構	不明	不明	221	422			01	剥片	チャート	—	26	—	—	0.6	
069	遺構	不明	不明	222	380				剥片	凝灰質砂岩	—	17	—	—	3.5	
069	遺構	不明	不明	222	380				剥片	瑠璃質頁岩	—	31	—	—	2.4	
069	遺構	不明	不明	228	368			01・02	剥片	黒曜石	—	23	—	—	1.5	
069	遺構	不明	不明	228	368			01・02	剥片	黒曜石	—	4	—	—	1.3	
069	遺構	不明	不明	228	368			01・02	剥片	黒曜石	—	7	—	—	2.4	
069	遺構	不明	不明	233	365				剥片	黒曜石	—	17	—	—	1.4	
069	遺構	不明	不明	237	395				剥片	黒曜石	—	16	—	—	0.6	
069	遺構	不明	不明	237	395			01	剥片	黒曜石	—	27	—	—	5.7	
069	遺構	不明	不明	237	395			01	剥片	黒曜石	—	19	—	—	2.2	
069	遺構	不明	不明	237	395			003	剥片	黒曜石	—	26	—	—	4.3	
069	遺構	不明	不明	244	352				剥片	無珠品ガラス質安山岩	—	30	—	—	4.0	
069	遺構	不明	不明	250	355			01	剥片	黒曜石	—	15	—	—	0.5	
069	遺構	不明	不明	251	357			01	剥片	黒曜石	—	27	—	—	4.4	
069	遺構	不明	不明	251	357			01	剥片	黒曜石	—	27	—	—	2.2	
069	遺構	不明	不明	251	357			01	剥片	黒曜石	—	15	—	—	0.8	
069	遺構	不明	不明	251	357			01	剥片	黒曜石	—	32	—	—	2.7	
069	遺構	不明	不明	254	356			02	剥片	龍背石ホルンフェルス	—	37	—	—	3.9	
069	遺構	不明	不明	256	355				剥片	無珠品質安山岩	—	20	—	—	1.1	

表11-2 つづき

調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No.	遺構旧No.	地区・グリッドNo.	層位	取り上げNo.	器種	石材	残存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考
セ28	遺構	和穴	早期	256	335				銅片	無炭素質安山岩	—	28	—	—	1.3	
セ28	遺構	和穴	早期	256	335				銅片	無炭素質安山岩	—	21	—	—	1.8	
セ28	遺構	和穴	早期	256	332				銅片	無炭素質安山岩	—	34	—	—	5.9	
セ28	遺構	和穴	早期	256	335			02	銅片	無炭素質安山岩	—	22	—	—	1.3	
セ28	遺構	和穴	早期	286	335				銅片	珪質頁岩	—	24	—	—	2.7	
セ28	遺構	和穴	早期	283	388				銅片	珪質頁岩	—	28	—	—	17.1他2個体	
セ28	遺構	竪穴状遺構	早期	284	386				銅片	珪質頁岩	—	44	—	—	14.3	
セ28	遺構	和穴	早期	265	387				銅片	無炭素質安山岩	—	32	—	—	4.3	
セ28	遺構	和穴	早期	265	387				銅片	無炭素質安山岩	—	36	—	—	8.7	
セ28	遺構	和穴	早期	265	387				銅片	無炭素質安山岩	—	34	—	—	3.7	
セ28	遺構	和穴	早期	265	387				銅片	チャート	—	34	—	—	2.9	
セ28	遺構	和穴	早期	265	387				銅片	黒曜石	—	22	—	—	2.4	
セ28	遺構	和穴	早期	271	344				銅片	黒曜石	—	37	—	—	8.0	
セ28	遺構	和穴	早期	271	344				銅片	黒曜石	—	25	—	—	2.1	
セ28	遺構	和穴	早期	279	348				銅片	無炭素質安山岩	—	30	—	—	3.6	
セ28	遺構	和穴	早期	283	330				銅片	重晶石ホルンfels	—	40	—	—	2.4	
セ28	遺構	和穴	早期	285	321				銅片	黒曜石	—	19	—	—	1.9	
セ28	遺構	和穴	早期	285	321				銅片	黒曜石	—	16	—	—	3	
セ28	遺構	和穴	早期	285	321				銅片	黒曜石	—	27	—	—	1.5	
セ28	遺構	和穴	早期	285	321				銅片	黒曜石	—	23	—	—	2.0	
セ28	遺構	和穴	早期	285	321				銅片	黒曜石	—	18	—	—	0.6	
セ28	遺構	和穴	早期	286	322				銅片	チャート	—	29	—	—	3.0	
セ28	遺構	和穴	早期	286	322				銅片	黒曜石	—	28	—	—	2.3	
セ28	遺構	和穴	早期	292	312			01	銅片	チャート	—	26	—	—	2.3	
セ28	遺構	和穴	早期	286	315			002	銅片	黒曜石	—	39	—	—	2.8	
セ28	遺構	和穴	早期	288	392				銅片	チャート	—	25	—	—	3.7	
セ28	遺構	和穴	早期	288	392				銅片	チャート	—	28	—	—	3.7	
セ28	遺構	和穴	早期	289	242		一括		銅片	無炭素質安山岩	—	34	—	—	4.9	
セ28	遺構	和穴	早期	300	396				銅片	無炭素質安山岩	—	24	—	—	2.9	
セ28	遺構	和穴	早期	300	396				銅片	チャート	—	30	—	—	6.6	
セ28	遺構	和穴	早期	300	396				銅片	黒曜石	—	22	—	—	1.5	
セ28	遺構	和穴	早期	300	396				銅片	黒曜石	—	18	—	—	1.9	
セ28	遺構	和穴	早期	301	360			008	銅片	輝石安山岩 (三葉)	—	23	—	—	2.8	
セ28	遺構	和穴	早期	306	261			01	銅片	黒曜石	—	25	—	—	2.8	
セ28	遺構	和穴	早期	307	363				銅片	黒曜石	—	11	—	—	11	
セ28	遺構	和穴	早期	310	260			02	銅片	無炭素質安山岩	—	18	—	—	1.2	
セ28	遺構	和穴	早期	310	260				銅片	無炭素質安山岩	—	20	—	—	0.7	
セ28	遺構	和穴	早期	310	260				銅片	無炭素質安山岩	—	39	—	—	3.7	
セ28	遺構	和穴	早期	310	260				銅片	黒曜石	—	32	—	—	6.5	
セ28	遺構	落ち込み	早期	317	413				銅片	チャート	—	42	—	—	4.1	
セ28	遺構	和穴	早期	318	414			03	銅片	黒曜石	—	22	—	—	1.5	
セ28	遺構	和穴	早期	321	427			01	銅片	黒曜石	—	24	—	—	2.0	
セ28	遺構	和穴	早期	331	309				銅片	黒曜石	—	36	—	—	3.4	
セ28	遺構	和穴	早期	331	309			02	銅片	チャート	—	22	—	—	3.0	
セ28	遺構	和穴	早期	331	309			01	銅片	黒曜石	—	21	—	—	4.1	
セ28	遺構	和穴	早期	333	283			01	銅片	チャート	—	44	—	—	15.9	
セ28	遺構	和穴	早期	333	283				銅片	黒曜石	—	14	—	—	0.5	
セ28	遺構	和穴	早期	333	283				銅片	黒曜石	—	32	—	—	1.5	
セ28	遺構	和穴	早期	334	284				銅片	黒曜石	—	15	—	—	0.3	
セ28	遺構	和穴	早期	334	284				銅片	チャート	—	25	—	—	3.4	
セ28	遺構	和穴	早期	335	285			02	銅片	無炭素質安山岩	—	42	—	—	8.6	
セ28	遺構	和穴	早期	335	285				銅片	チャート	—	34	—	—	14.0	
セ28	遺構	和穴	早期	337	211				銅片	チャート	—	19	—	—	1.0	
セ28	遺構	和穴	早期	339	256				銅片	黒曜石	—	25	—	—	2.5	
セ28	遺構	和穴	早期	345	214				銅片	黒曜石	—	16	—	—	0.5	
セ28	遺構	和穴	早期	347	215				銅片	黒曜石	—	21	—	—	1.3	
セ28	遺構	和穴	早期	349	215				銅片	黒曜石	—	26	—	—	3.3他2個体	
セ28	遺構	和穴	早期	351	281				銅片	珪質頁岩	—	22	—	—	2.4	
セ28	遺構	和穴	早期	352	216				銅片	黒曜石	—	21	—	—	1.2	
セ28	遺構	和穴	早期	352	282			012	銅片	黒曜石	—	24	—	—	1.3	
セ28	遺構	和穴	早期	353	200				銅片	黒曜石	—	22	—	—	3	
セ28	遺構	和穴	早期	354	200				銅片	黒曜石	—	19	—	—	0.4	
セ28	遺構	和穴	早期	354	200				銅片	黒曜石	—	10	—	—	0.1	
セ28	遺構	和穴	早期	355	199			005	銅片	黒曜石	—	8	—	—	3.2	
セ28	遺構	和穴	早期	357	238				銅片	黒曜石	—	24	—	—	2.1	
セ28	遺構	和穴	早期	357	238				銅片	黒曜石	—	28	—	—	6	
セ28	遺構	和穴	早期	359	240				銅片	黒曜石	—	18	—	—	1.0	
セ28	遺構	和穴	早期	360	236				銅片	黒曜石	—	23	—	—	1.5	
セ28	遺構	和穴	早期	361	196			008	銅片	無炭素質安山岩	—	63	—	—	48.4	
セ28	遺構	和穴	早期	364	198				銅片	珪質頁岩	—	34	—	—	7.9	

表11-2 つづき

調査区	種別	遺構種類		時期	遺構新No.	遺構旧No.	地区・グリッドNo.	層位	取り上げNo.	器種	石材	残存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考
セ28	遺構	炬穴	⑬	早期	364	198			02	剥片	黒曜石	—	28	—	10	4.5	黒曜石産地分析No98
セ28	遺構	炬穴	⑭	早期	370	263				剥片	黒曜石	—	18	—	—	1.6	
セ28	遺構	炬穴	⑭	早期	370	263			2	剥片	黒曜石	—	28	—	—	3.2	他1個体
セ28	不明	貝ノロツク	⑬	不明	26	423			01	剥片	黒曜石・ホルンフエルス	—	22	—	—	4.9	
セ28	不明	貝ノロツク	⑬	不明	26	423			002	剥片	ホルンフエルス	—	22	—	—	3.2	
セ28	遺構	不明		早期		221	18			剥片	黒曜石	—	18	—	4	0.8	落ち込み
セ28	遺構	不明		早期		221	18			剥片	黒曜石	—	18	—	3	0.7	落ち込み
セ28	遺構	不明		早期		221	18			剥片	黒曜石	—	43	—	21	21.5	落ち込み

表12 遺構出土礫集計表 (その他の遺構)

新No	調査区	旧No	グループ	位置	種別	合計		被熱		黒・灰色化		無被熱自然礫		礫石器		備考
						点数	重量 (g)	点数	比率 (%)	重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)	重量 (g)	
61	064	SF207	2B-27		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
62	064	SX939	2B-43・53		土坑	6	276	5	94.2	0	0	0	0	1	16	5.8
63	064	SF209	2B-84・85		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
64	064	SF208	2B-85・86		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
65	064	SK208	2B-67・77		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
66	064	SF206	2B-79		炬穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
67	064	SK204	2C-31		陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
68	064	SK202	2C-51・61		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
69	064	SK203	2C-02		陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
70	064	SF204	2C-62・63・72・73		陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
71	064	SF205	2C-15		陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
72	064	SF201	2C-38		炬穴	22	1175	15	105.1	7	124	10.6	0	0	0	0.0
73	064	SF202	2C-36		炬穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
74	064	SF203	2C-66・76		炬穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
75	064	SK203	2C-75		炬穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
76	064	SK203	2C-71		陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
77	064	SX901	3B-50		陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
78	79	4号	西側		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
79	79	4号	西側		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80	79	3号	西側		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
81	79	7号	西側		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
82	79	2号	西側		炬穴	19	1789	13	787	4	239	13.4	0	0	0	
83	79	6号	西側		炬穴	4	151	0	0	4	151	100.0	0	0	0	0.0
84	79	1号	西側		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
85	79	9号	西側		炬穴	62	2016	30	1072	32	944	46.8	0	0	0	0.0
86	79	西側6号	西側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
87	79	西側5号	西側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
88	79	西側4号	西側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
89	79	西側11・12号	西側		炬穴	39	1718	11	501	29.2	70.8	0	0	0	0	0.0
90	79	10号(西)	西側		炬穴	7	416	5	267	88.2	11.8	0	0	0	0	0.0
91	79	10号(東)	東側		土坑	32	3626	13	1331	31.2	1181	32.6	2	153	4.2	1161
92	79	29号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
93	79	30号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
94	79	28号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
95	79	27号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
96	79	31号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
97	79	26号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
98	79	4号	東側		土坑	19	1281	6	410	32.0	351	27.4	0	0	0	25.8
99	79	1号	東側		土坑	1	129	1	129	100.0	0	0	0	0	0	0.0
100	79	5号	東側		土坑	26	1094	13	563	51.5	531	48.5	0	0	0	0.0
101	79	2号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
102	79	3号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
103	79	11号	東側		土坑	3	226	1	55	24.3	171	75.7	0	0	0	0.0
104	79	10号(東)	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
105	79	6号	東側		土坑	3	159	3	159	100.0	0	0	0	0	0	0.0
106	79	13号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
107	79	8号	東側		土坑	1	39	1	39	100.0	0	0	0	0	0	0.0
108	79	12号	東側		土坑	1	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
109	79	7号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
110	79	9号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
111	79	16号(西)	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
112	79	16号(東)	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
113	79	14号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
114	79	15号	東側		土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
115	099	3075	2B-87・97		炬穴	8	291	5	233	80.1	58	19.9	0	0	0	0.0
116	099	3066	2B-78・79・88・89		炬穴	21	1752	12	752	42.9	1000	57.1	0	0	0	0.0
117	099	3128	2B-43・44・54		炬穴	18	2668	4	495	18.6	556	20.8	2	1497	56.1	120
118	099	3073	2B-82・83		炬穴	7	391	6	227	58.1	164	41.9	0	0	0	0.0
119	099	3074	2B-92・93		炬穴	13	542	3	94	17.3	448	82.7	0	0	0	0.0
120	099	3007	2B-94 FF-03・04		炬穴	13	814	7	546	67.1	268	32.9	0	0	0	0.0
121	099	3078	2B-03		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
122	099	3080	2B-04		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
123	099	3137	2B-20・30		炬穴	418	18382	179	8839	48.1	7332	39.9	4	70	0.4	2141
124	099	3060	2B-77・87		炬穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
125	099	3059	2B-27・28		炬穴	256	3256	86	1520	46.7	1736	53.3	0	0	0	0.0
126	099	3183	2B-75・76		炬穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
127	099	3182	2B-75		炬穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表12 つつき

新No	調査区	旧No	グループ	位置	種別	合計			被熱			無被熱自然燐			燐石器			備考	
						点数	重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)		
128	099	3181		GE-75・76・85・86	如穴	125	7221	55	3705	51.3	40	3516	48.7	0	0	0.0	0	0.0	0.3181~3183
129	099	3180		GE-85・95	如穴	62	1766	19	551	31.2	72	1108	62.7	0	0	0.0	1	107	6.1
130	099	3179		GE-86・96	如穴	110	4543	26	1344	29.6	83	3135	69.0	0	0	0.0	1	64	1.4
131	099	3178		GE-87	如穴	14	785	4	378	48.2	10	407	51.8	0	0	0.0	0	0	0.0
132	099	3184		GE-97	如穴	51	1545	19	714	46.2	32	831	53.8	0	0	0.0	0	0	0.0
133	099	3038		ID-16・17	集石遺構	101	4314	20	954	22.1	81	3360	77.9	0	0	0.0	0	0	0.0
134	099	3363		BE-55・56・65	集石遺構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
135	099	3121		GE-40	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
136	099	3118		GE-97	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
137	099	3341		NG-31	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
138	099	3342		NG-34	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
139	099	3336		NG-16	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
140	099	3335		NG-27	土坑	4	319	0	0	0.0	3	142	44.5	1	177	55.5	0	0	0.0
141	099	3331		NI-20、NI-01・11	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
142	099	3330		NI-01	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
143	099	3362		OG-43・44	集石遺構	47	2525	0	0	0.0	47	2525	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0
144	099	3316A		OG-62・63・72・73	集石遺構	100	5064	50	2532	50.0	50	2532	50.0	0	0	0.0	0	0	0.0
145	099	3316B		OG-73	土坑?	30	1550	17	767	49.5	13	783	50.5	0	0	0.0	0	0	0.0
146	099	3304		OG-39・40	如穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
147	099	3357		OG-67・77	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
148	099	3319		OG-77	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
149	099	3303		PG-72	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
150	099	3324		OH-47	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
151	099	3301		OH-30・40	集石遺構	335	18857	100	4385	27.7	235	11472	72.3	0	0	0.0	0	0	0.0
152	099	3302		PH-41	縮し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
153	099	046		IB-A1	土坑	2	88	1	77	87.5	1	11	12.5	0	0	0.0	0	0	0.0
154	099	045		IB-A1・A2	土坑	77	3036	26	1030	33.9	50	1882	62.0	0	0	0.0	1	124	4.1
155	099	054		IB-A2	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
156	099	044		IB-A2・A4	土坑	30	1454	7	464	31.9	32	990	68.1	0	0	0.0	0	0	0.0
157	099	048		IB-A3	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
158	099	047		IB-A3	如穴	18	522	7	244	45.9	10	183	34.4	0	0	0.0	1	105	19.7
159	099	049		IB-A3・C1	土坑	9	448	2	140	31.3	7	308	68.8	0	0	0.0	0	0	0.0
160	099	050		IB-C1	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
161	099	051		IB-A3・C1	土坑	13	189	1	3	1.6	14	186	98.4	0	0	0.0	0	0	0.0
162	099	052		IB-C2	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
163	099	057		IB-C1・C3	如穴?	69	2707	26	1420	52.5	43	1287	47.5	0	0	0.0	0	0	0.0
164	099	056		IB-C3・C4	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
165	099	063		IB-C3・IC-A1	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
166	099	059		IC-A1	土坑	17	682	7	416	60.1	10	276	39.9	0	0	0.0	0	0	0.0
167	099	058		IC-A1	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
168	099	061		IC-A2	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
169	099	075		IC-B1・B2	縮し穴遺構	405	17655	158	8874	50.3	246	8655	49.0	0	0	0.0	1	126	0.7
170	099	083		IB-B1・B2・B3・B4	如穴	65	2508	19	651	26.0	46	1857	74.0	0	0	0.0	0	0	0.0
171	099	072		2B-A3	如穴	11	189	9	171	90.5	2	18	9.5	0	0	0.0	0	0	0.0
172	099	071		IB-D4	如穴	16	1016	8	496	48.8	8	520	51.2	0	0	0.0	0	0	0.0
173	099	070		IB-B2・D4、2C-C1・C3	如穴	170	8063	90	4474	55.5	78	2919	36.2	0	0	0.0	2	670	8.3
174	099	073		2A-A4・B3・C2・D1・C4・D3	如穴	332	15525	107	5277	34.0	225	10248	66.0	0	0	0.0	0	0	0.0
175	099	039		2B-A2・B1・M4・B3	如穴	288	8198	107	1776	21.7	214	3732	45.8	0	0	0.0	2	2570	32.6
176	099	074		2B-C2	縮し穴遺構	22	1084	12	680	62.7	10	404	37.3	0	0	0.0	0	0	0.0
177	099	064		2B-C1・C2・C3・C4	如穴	322	12601	122	6125	48.6	195	6242	49.5	3	141	1.1	0	0	0.0
178	099	078		2B-C1・D3	如穴	284	18785	104	9049	48.2	179	9726	51.8	0	0	0.0	1	10	0.1
179	099	077		2B-B3	縮し穴遺構	15	565	4	286	50.6	11	279	49.4	0	0	0.0	0	0	0.0
180	099	038		2A-D4・3A-C3	縮し穴遺構	252	3741	24	710	71.0	228	3004	80.9	0	0	0.0	0	0	0.0
181	099	065		2B-B2・B4、3B-A1・A3	如穴	649	30299	286	16148	53.3	353	13662	45.1	10	489	1.6	0	0	0.0
182	099	069		2B-D2・3B-C1	如穴	209	9523	69	3475	36.5	138	5765	60.3	0	0	0.0	2	283	3.0
183	099	066		3B-A2	縮し穴遺構	10	183	2	16	8.7	8	167	91.3	0	0	0.0	0	0	0.0
184	099	067		3B-A1	縮し穴遺構	274	10897	72	2913	26.7	200	6622	60.8	0	0	0.0	2	1362	12.5
185	099	068		3B-C1・C2	縮し穴遺構	165	4495	51	1999	44.5	114	2496	55.5	0	0	0.0	0	0	0.0
186	099	080		3A-C1	土坑	11	248	4	138	55.6	7	110	44.4	0	0	0.0	0	0	0.0
187	099	081		3A-C1・B3、3B-A2・B1	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
188	099	021		3A-B4	如穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
189	099	031		4A-A3	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
190	099	016		4A-C1	土坑?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
191	099	029		4A-C1	土坑	2	249	1	79	31.7	0	0	0.0	1	170	68.3	0	0	0.0
192	099	082		3A-D4	土坑	1	33	0	0	0.0	1	33	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0
193	099	028		3A-D4	土坑	3	13	0	0	0.0	3	13	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0
194	099	034		4A-C3	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0

表12 つつき

新No	調査区	旧No	グループ	位置	種別	合計		被熱			無被熱自然燐			燐石器			備考		
						点数	重量(g)	赤色化 重量(g)	比率(%)	点数	重量(g)	比率(%)	点数	重量(g)	比率(%)	点数		重量(g)	比率(%)
195	セ72	023		3B-B1	堅穴遺構	68	1873	23	772	41.2	45	1101	58.8	0	0	0.0	0	0	0.0
196	セ72	040		3B-B2・B4、4B-A1・A3	堅穴	73	2222	16	673	30.3	56	1375	61.9	0	0	0.0	1	174	7.8
197	セ72	027		4A-D1	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
198	セ72	015		4A-D2	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
199	セ73	028		R2-F	土坑	1	88	1	88	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
200	セ73	034		R3-P	土坑	1	110	0	0	0.0	1	110	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0
201	セ73	035		C3-P	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
202	セ73	037		D5-B・F	堅穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
203	セ73	025		D4-I・I・N	堅穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
204	セ73	024		D4-M・N	堅穴?	2	23	1	16	69.6	1	7	30.4	0	0	0.0	0	0	0.0
205	セ73	030		D4-I・K・N・O	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
206	セ73	026		D4-N	堅穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
207	セ73	040A		D5-F	堅穴?	1	11	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
208	セ73	040B		D5-F・J	堅穴?	1	26	1	26	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
209	セ73	038		D5-G	堅穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
210	セ73	039		D5-G・K	土坑	6	664	3	308	46.4	3	356	53.6	0	0	0.0	0	0	0.0
211	セ73	041		D5-G・K	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
212	セ73	031		D5-J	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
213	セ73	032		D5-N	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
214	セ73	018		D5-K・O	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
215	セ73	410		① 16-04	堅穴遺構	17	801	6	347	43.3	9	279	34.8	0	0	0.0	2	175	21.8
216	セ73	326		① 17-14・15	落ち込み	22	782	12	449	57.4	10	333	42.6	0	0	0.0	0	0	0.0
217	セ73	324		② 17-01・02	堅穴	310	15967	142	7086	44.4	163	8368	52.4	0	0	0.0	5	513	3.2
218	セ73	325		② 17-03・04・07	堅穴	52	2004	24	1160	57.9	27	696	34.7	0	0	0.0	1	148	7.4
219	セ73	430		③ 18-15	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
220	セ73	420		③ 18-12	堅穴	10	783	4	353	45.1	6	430	54.9	0	0	0.0	0	0	0.0
221	セ73	422		③ 19-09・13	堅穴	77	5661	23	1721	30.4	51	2703	47.7	0	0	0.0	3	1237	21.9
222	セ73	380		③ 19-06・07・10・11	堅穴	1	57	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
223	セ73	381		③ 19-06・07・10・11	堅穴	79	4529	40	2487	54.9	37	1353	29.9	0	0	0.0	2	689	15.2
224	セ73	382		③ 19-08	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
225	セ73	389		④ 18-02・06	堅穴	40	3593	14	1511	42.1	24	1879	52.3	2	203	5.6	0	0	0.0
226	セ73	371		④ 18-06	堅穴	2	371	1	99	26.3	1	278	73.7	0	0	0.0	0	0	0.0
227	セ73	370		④ 18-05・06	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
228	セ73	368		④ 18-02・03・06・07	堅穴	102	3199	44	1778	55.6	57	1412	44.1	0	0	0.0	1	9	0.3
229	セ73	367		④ 18-06・07	土坑	26	1502	12	230	15.3	12	871	58.0	0	0	0.0	2	401	26.7
230	セ73	366		④ 18-06・10	土坑	4	34	1	7	20.6	3	27	79.4	0	0	0.0	0	0	0.0
231	セ73	437		④ 18-07・11	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
232	セ73	437		④ 18-10	土坑	5	29	1	5	17.2	4	24	82.8	0	0	0.0	0	0	0.0
233	セ73	365		④ 18-10	堅穴	57	2931	17	1342	45.8	38	1577	53.8	2	12	0.4	0	0	0.0
234	セ73	343		④ 18-14	堅穴	25	1313	10	471	35.9	15	842	64.1	0	0	0.0	0	0	0.0
235	セ73	342		④ 18-14・15	堅穴	69	2999	31	1115	37.2	37	1880	62.7	1	4	0.1	0	0	0.0
236	セ73	372		④ 18-03・04・07・08	堅穴	15	279	3	169	60.6	12	110	39.4	0	0	0.0	0	0	0.0
237	セ73	395		④ 18-08・19-05	堅穴	354	16403	147	7958	48.5	202	6890	42.0	1	62	0.4	4	1493	9.1
238	セ73	394		④ 18-07・08・11・12	堅穴	57	2992	29	1802	60.2	28	1190	39.8	0	0	0.0	0	0	0.0
239	セ73	419		④ 18-04・19-01	堅穴	21	2155	5	654	30.3	14	1371	63.6	1	100	4.6	1	30	1.4
240	セ73	417		④ 19-05・06	堅穴	3	90	1	70	77.8	2	20	22.2	0	0	0.0	0	0	0.0
241	セ73	418		④ 19-05	堅穴	4	296	2	83	28.0	1	51	17.2	0	0	0.0	0	0	0.0
242	セ73	353		④ 19-05・09	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
243	セ73	354		④ 19-09・13	堅穴	16	1130	7	595	52.7	8	518	45.8	0	0	0.0	1	17	1.5
244	セ73	352		④ 19-09	堅穴	7	723	6	697	96.4	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
245	セ73	351		④ 19-09・10・11	堅穴	18	1059	13	688	65.0	1	123	11.6	2	213	20.1	2	35	3.3
246	セ73	373		④ 18-06・10・11	堅穴	59	1471	2	368	25.0	42	747	50.8	0	0	0.0	5	356	24.2
247	セ73	339		④ 18-11・15	土坑	3	34	2	29	85.3	1	5	14.7	0	0	0.0	0	0	0.0
248	セ73	340		④ 18-15	土坑	19	597	6	472	79.1	13	125	20.9	0	0	0.0	0	0	0.0
249	セ73	341		④ 18-15	土坑	8	241	6	224	92.9	2	17	7.1	0	0	0.0	0	0	0.0
250	セ73	355		④ 18-16	堅穴	43	1144	17	1144	100.0	26	1331	53.8	0	0	0.0	0	0	0.0
251	セ73	357		④ 19-12・13	堅穴	46	1842	32	1107	60.1	13	681	37.0	1	54	2.9	0	0	0.0
252	セ73	356		④ 19-13	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
253	セ73	338		④ 18-16	土坑	4	41	2	24	58.5	2	17	41.5	0	0	0.0	0	0	0.0
254	セ73	336		④ 18-16	堅穴	12	980	6	518	52.9	6	462	47.1	0	0	0.0	0	0	0.0
255	セ73	337		④ 18-15・16、18-03・04	堅穴	36	1268	12	579	45.7	24	689	54.3	0	0	0.0	0	0	0.0
256	セ73	335		④ 18-04	堅穴	54	1591	15	676	42.7	39	912	57.3	0	0	0.0	0	0	0.0
257	セ73	334		④ 18-03・04	土坑	16	166	5	166	100.0	11	158	48.8	0	0	0.0	0	0	0.0
258	セ73	378		⑤ 19-03	堅穴	16	657	12	502	76.4	4	155	23.6	0	0	0.0	0	0	0.0
259	セ73	375		⑤ 19-02・03・06	堅穴	2	432	2	432	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
260	セ73	376		⑤ 19-03	堅穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
261	セ73	377		⑤ 19-15・19-03	堅穴	66	3985	34	2291	57.5	29	764	19.2	1	31	0.8	0	0	0.0
																	899	22.6	

表12 つつき

新No	調査区	旧No	グループ	位置	種別	合計			被熱			黒・灰色化			無機熱自然燐			燐石器			備考	
						点数	重量(g)	比率(%)	点数	重量(g)	比率(%)	点数	重量(g)	比率(%)	点数	重量(g)	比率(%)	点数	重量(g)	比率(%)		点数
329	セ28	301	02	H11-09・10	如穴	88	37.34	1297	31	1297	31	2437	57	65.3	0	0	0	0	0	0	0	
330	セ28	303	02	H11-09・13	如穴	30	936	32.3	11	302	34.7	634	19	634	0	0	0	0	0	0	0	
331	セ28	309	02	H11-12・16	如穴	26	1435	236	8	236	16.4	1159	80.8	0	0	0	0	40	2.8	0	0	
332	セ28	310	02	H11-16	如穴	70	2722	570	25	570	20.9	2142	78.7	0	0	0	0	10	0.4	0	0	
333	セ28	283	02	H10-15・16・H10-04	如穴	50	3182	1715	25	1715	53.9	2422	38.7	0	0	0	0	235	7.4	0	0	
334	セ28	284	02	H10-04・H11-01	如穴	8	1230	984	5	984	80.0	246	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
335	セ28	285	02	H11-01・05	如穴	48	1766	409	9	409	23.2	1303	73.8	0	0	0	0	54	3.1	0	0	
336	セ28	297b	02	H11-06・07	如穴	76	2787	923	25	923	33.1	1840	66.0	0	0	0	0	24	0.9	0	0	
337	セ28	211	02	H10-16・H11-13	如穴	66	2782	1162	28	1162	42.5	1107	40.5	0	0	0	0	1	463	16.9	0	
338	セ28	212	02	H11-10・13・14	如穴	126	5588	3524	75	3524	63.3	1930	34.7	0	0	0	0	1	114	2.0	0	
339	セ28	256	02	H11-14・H11-02	如穴	6	1200	3	3	309	42.4	133	11.1	0	0	0	0	2	558	46.5	0	
340	セ28	235	02	H11-14・H11-02	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
341	セ28	308	02	H11-03	如穴	5	201	175	3	175	87.1	26	12.9	0	0	0	0	0	0	0	0	
342	セ28	307	02	H11-03・04	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
343	セ28	306	02	H11-03・04	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
344	セ28	305	02	H11-07・08	如穴	17	2383	1606	7	1606	67.4	366	15.4	0	0	0	0	3	411	17.2	0	
345	セ28	214	02	H11-11・12	如穴	45	1687	490	10	490	29.0	1197	71.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
346	セ28	213	02	H11-11	如穴	40	1495	627	14	627	41.9	26	868	58.1	0	0	0	0	0	0	0	0
347	セ28	219	02	H11-15・16	如穴	24	1239	7	234	18.9	15	440	35.5	0	0	0	0	2	565	45.6	0	
348	セ28	217	02	H11-08・12	如穴	19	750	633	7	633	84.4	2	117	15.6	0	0	0	0	0	0	0	0
349	セ28	215	02	H11-12	如穴	61	2817	42	1628	57.8	18	1152	40.9	0	0	0	0	1	37	1.3	0	
350	セ28	218	02	H11-04・H12-01	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
351	セ28	281	02	H12-05	如穴	20	844	559	12	559	66.2	7	272	32.2	0	0	0	0	0	0	0	0
352	セ28	216	02	H11-12・H12-09	如穴	25	425	138	6	138	32.5	19	287	67.5	0	0	0	0	0	0	0	0
353	セ28	282	02	H12-05・09	如穴	25	1736	753	12	753	43.4	12	708	40.8	0	0	0	0	0	0	0	0
354	セ28	200	03	H12-11・15	如穴	105	5355	2839	57	2839	53.0	47	2402	44.9	0	0	0	0	1	114	2.1	0
355	セ28	199	03	H12-16・H13-13	如穴	38	1692	16	670	39.6	22	1022	60.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
356	セ28	237	03	H12-16	土坑	19	1259	617	13	617	49.0	6	642	51.0	0	0	0	0	0	0	0	0
357	セ28	238	03	H12-03・04・07・08	如穴	16	1807	630	9	630	34.9	4	305	16.9	0	0	0	0	3	872	48.3	0
358	セ28	239	03	H12-08・H13-05	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
359	セ28	240	03	H12-12・H13-09	如穴	48	2417	1067	29	1067	44.1	17	699	28.9	0	0	0	0	1	588	22.3	0
360	セ28	236	03	H13-14	如穴	13	1336	891	9	891	66.7	3	317	23.7	0	0	0	0	0	0	0	0
361	セ28	196	03	H13-16・H14-13	如穴	107	5283	36	1685	31.9	5283	66.1	70	3493	66.1	0	0	0	0	0	0	0
362	セ28	231	03	H13-04	土坑	0	314	188	3	188	59.9	7	126	40.1	0	0	0	0	0	0	0	0
363	セ28	232	03	H14-04	集石遺構	257	8293	65	1947	23.5	192	6346	76.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
364	セ28	198	03	H13-07・08・11・12	如穴	4	564	11056	175	11056	37.3	318	16492	55.7	0	0	0	0	0	0	0	0
365	セ28	264	00	H12-01・02・05・06	如穴	4	564	359	1	359	99.1	5	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	
366	セ28	265	00	H12-15	如穴	15	726	230	6	230	31.7	9	496	68.3	0	0	0	0	0	0	0	0
367	セ28	266	00	H12-15・16	如穴	5	523	1.7	1	1.7	1.7	4	514	98.3	0	0	0	0	0	0	0	0
368	セ28	243	00	H12-03	如穴	2	140	50	1	50	35.7	1	90	64.3	0	0	0	0	0	0	0	0
369	セ28	262	00	H12-03	如穴	3	715	135	1	135	18.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
370	セ28	263	00	H12-03・04	如穴	8	1001	231	4	231	23.1	4	770	76.9	0	0	0	0	2	580	81.1	0
371	セ28	267	00	H12-16・H13-13・H13-01	如穴	2	97	0	0	0	0	1	55	56.7	0	0	0	0	0	0	0	0
372	セ28	445	00	H13-06・07	如穴	7	357	0	0	0	0	7	357	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0
373	セ28	119	05	H15-14・15	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
374	セ28	118	05	H15-01	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
375	セ28	161	05	H15-09・10・13・14	陥し穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
376	セ28	110	05	H16-06	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
377	セ28	106	05	H17-F・G・J・K	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
378	セ54	86		G21-A	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
379	セ54	85		G21-B	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
380	セ54	84		G21-I・J	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
381	セ54	89		G20-N	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
382	セ54	92		B21-F	如穴	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
383	セ54	93		B21-F・J	如穴	1	2	0	0	0	0	1	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0
384	セ54	95		B21-I	如穴	18	439	5	1.1	17	434	98.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
385	セ54	174		B20-N	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
386	セ54	121		H15-H	陥し穴	19	2272	768	8	768	33.8	7	755	33.2	2	111	4.9	0	0	0	0	0
387	セ54	190		H16-P・H16-D	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
388	セ54	175		H19-H	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
389	セ54	176		H19-L	如穴	8	182	129	7	129	70.9	1	53	29.1	0	0	0	0	0	0	0	0
390	セ54	173		B20-B・F	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
391	セ54	172		B20-B	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
392	セ54	138		B20-G	如穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
393	セ54	183		B20-C・G	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
394	セ54	184		B20-C	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
395	セ54	53		B20-I	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表12 つつき

新No	調査区	旧No	グループ	位置	種別	合計		被熱		黒・灰色化		無被熱自然礫		礫石器		備考
						点数	重量(g)	点数	重量(g)	比率(%)	重量(g)	比率(%)	比率(%)	重量(g)	比率(%)	
396	セ54	188		K17-D・H	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
397	セ54	179		K18-C	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
398	セ54	65A		K18-C・G	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
399	セ54	65B		K18-C	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
400	セ54	64		K18-C・D	土坑	4	107	100.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
401	セ54	63a・b		K18-D	土坑	17	376	3	196	180	47.9	0	0	0	0	0.0
402	セ54	66		K18-G・H	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
403	セ54	67		K18-H	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
404	セ54	70		K18-H	土坑	3	160	1	51	31.9	68.1	0	0	0	0	0.0
405	セ54	71		K18-K	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
406	セ54	186		K19-A	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
407	セ54	62b		K19-A・E	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
408	セ54	59		K19-A	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
409	セ54	187		K19-A・B	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
410	セ54	60		K19-B	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
411	セ54	180		K19-E・I	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
412	セ54	57		K20-E・I	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
413	セ54	170		K21-A	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
414	セ54	136		K22-E	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
415	セ54	194		K22-N	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
416	セ54	195		K22-J	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
417	セ54	81		L18-A	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
418	セ54	80		K18-M・L18-A	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
419	セ54	79B		L18-B	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
420	セ54	76		L18-C	陥し穴	6	509	4	327	64.2	35.8	0	0	0	0	0.0
421	セ54	74		L18-H	陥し穴?	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
422	セ54	77		L18-G	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
423	セ54	75		L18-G・H	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
424	セ54	82		L18-L・L19-I	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
425	セ54	120		L19-A	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
426	セ54	129		L19-B	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
427	セ54	130		L20-A・O	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
428	セ54	132		L20-D・P	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
429	セ54	145		L21-H・L	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
430	セ54	191		L22-B	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
431	セ54	192		L22-B	陥し穴	1	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
432	セ54	193		L22-O	陥し穴	1	39	0	0	39	100.0	0	0	0	0	0.0
433	セ54	144		L22-M	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
434	セ54	162		M21-D・H	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
435	セ54	164		M22-B・F	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
436	セ54	163		M22-F	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
437	セ54	165		M22-F・G	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
438	セ54	166		M22-G	陥し穴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
439	セ54	157		M21-L	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
440	セ54	167		M22-I	土坑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27	セ28	421				29	1133	6	283	25.0	850	75.0	0	0	0	0.0
26	セ28	423				24	982	8	508	51.2	484	48.8	0	0	0	0.0
					計	11540	537181	4467	230241	42.9	264974	49.3	6854	149	35112	6.5

市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書 第25集
(上総国分寺台遺跡調査報告XXIII)

市原市天神台遺跡 I (本文篇 1)

平成25年 2月28日 発行

編集発行 市原市教育委員会
(市原市埋蔵文化財調査センター)
市原市能満1489番地
TEL 0436(41)9000

印刷 株式会社 **ぎょうせい**
東京都江東区新木場 1丁目18番11号
TEL 03(6892)6296